THE ESSENTIAL

EVANGELION CHRONICLE

SIDE A

Sony Magazines Deluxe
2007年11月25日発行　第17巻第30号通巻第604号

SIDE A

SHE SAID, "DON'T MAKE OTHERS SUFFER FOR YOUR PERSONAL HATRED"

定価2,604円(税込)

エッセンシャル エヴァンゲリオン・クロニクル

THE ESSENTIAL
EVANGELION
CHRONICLE
SIDE A

残酷な天使のテーゼ

ABSOLUTE
TERROR
FIELD

TEST TYPE

ANGELS

EVA-01

TOKYO-3

オープニング

物語の鍵を握る重要な要素が多数のカットにて散りばめられているオープニング。その中に劇中の用語が白抜き文字のテロップで登場しているが、「ADAM」だけ白地に黒抜き文字という真逆で表現されている。これはNERV本部の地下に捕らわれた「アダム」と呼ばれる存在について、作品終盤で明かされる仕掛けのヒントであったのかもしれない。なお、「SECOND IMPACT」の文字は黒地に赤抜きの文字。ちなみに最後のカットは、庵野監督の絵コンテによると死海文書の天使文字。

歌：高橋洋子　作曲：佐藤英敏
作詞：及川眠子　編曲：大森俊之

THE ESSENTIAL EVANGELION CHRONICLE SIDE A

エッセンシャル エヴァンゲリオン・クロニクル

目次

CONTENTS

キャラクター＆エヴァンゲリオン

CHARACTER & EVANGELION

エピソードガイド＆チェックポイント

EPISODE GUIDE & CHECK POINT

グッズコレクション

GOODS COLLECTION

キャラクター&エヴァンゲリオン

THE ESSENTIAL
EVANGELION
CHRONICLE
SIDE A

CHARACTER & EVANGELION

人物相関図

各組織の活動と関係

特務機関NERV

使徒の調査や研究、殲滅を目的とした特務機関。国連直属の非公開組織で超法規的に保護される国際武装集団だが、国連には直接的な影響力はなく、実質ゼーレと人類補完委員会の監視下にある。

ゼーレ/人類補完委員会

ゼーレは人類補完計画の完遂を目指す国際秘密結社で、国連をも掌握する巨大な組織。また、国連直属の諮問機関である人類補完委員会の代表者は、ゼーレにおいても重要な位置を占めていると目されている。

国連/国連軍

2015年においては全世界の指導者とも呼べる存在となった国際機構。加盟各国は自国の軍隊を派遣、国連がこれを国連軍として再編成し、世界の治安維持と使徒に対する防衛を担っている。

日本国政府

日本国を統治する内閣や中央官庁などの統治機関の総称。国連に協力的ではあるが、超法規的に保護されたNERVの強権ぶりにはあまりよい顔をしておらず、その関係は良好とは言い難い。

特務機関NERV

監査対象・影響力

最高司令官
碇ゲンドウ

上司・協力と監視
上司・協力
父・愛憎
上司・深い信頼
部下・親愛
上司・特殊な関係

EVA零号機専属操縦者
綾波レイ

部下・監督対象
部下・嫉妬?
元部下・監督対象
部下・無関心?
同僚・興味
同僚・競争心
同僚・興味?
同僚・無関心
部下・保護

EVA初号機専属操縦者
碇シンジ

同僚・複雑な感情
同僚・競争心と興味

EVA弐号機専属操縦者
惣流・アスカ・ラングレー

級友・友情
部下・保護

民間

級友・友情

第3新東京市立第壱中学校2年A組
相田ケンスケ

級友・恋愛感情

第3新東京市立第壱中学校2年A組
鈴原トウジ

級友・委員長

第3新東京市立第壱中学校2年A組
洞木ヒカリ

上位組織・
同調と利用

部下・
複雑な関係

部下・
協力者

副司令官
冬月コウゾウ

元上司・
憧れ

特殊監察部 他
加持リョウジ

配下・
指令

最高幹部/人類補完委員会議長
キール・ローレンツ

所属・
協力と監視

ゼーレ

上司・服属

部下・指令

同僚・旧友

上司・服属

同僚・元恋人

部下・
特殊な関係

中央作戦司令室付
青葉シゲル

上司・
無関心

上司・
保護者

戦術作戦部作戦局第一課
葛城ミサト

同僚・旧友

技術開発部技術局一課
赤木リツコ

同僚・協力

同僚・協力

上司・
保護者

同居人・
飼い主

上司・尊敬

上司・敬愛

部下・指令

同居人・
ペット

部下・
指令

葛城家
ペンペン

中央作戦司令部作戦局第一課
日向マコト

技術開発部技術局一課
伊吹マヤ

同僚・協力

NERV

碇シンジ

**人と接することに臆病な"第3の適格者"。
命がけの戦いと周囲の人々とのふれあいを通し、
自身の存在意義を見出していく。**

汎用人型決戦兵器・人造人間エヴァンゲリオン初号機の適格者——サードチルドレンとして、人類補完委員会直属の諮問機関とされるマルドゥック機関に選出された少年が碇シンジである。彼は、操縦者としての訓練を受けることなくEVAに乗り始めたという点において、適格者の中でも特異な存在である。初搭乗時に41.3%という高いシンクロ率を記録し、EVAの操縦者として最高とも言える適性を示したシンジは、本人の内向的な性質とは裏腹に、数々の戦闘において最前線に立つことを義務付けられる。戦闘の最中にも幾度となく苦悩する様子を見せ、長い間EVAに乗る理由を見出せずにいたシンジ。それでも彼がEVAに乗り続けていた理由は、自分に課せられたこと——放棄も可能であるはずの「任務」を拒むことができないという消極的な心理によるものである。以降もシンジは数少ない適格者として、義務感、恐怖心、3年ぶりに再会した父である碇ゲンドウへの屈折した感情などを抱えながら初号機に搭乗し、使徒と対峙した。

NERV最高司令官である父から初号機に搭乗するよう命令され、「乗れるわけないよ」と答えるシンジ。親子としての会話は交わされず、意志の疎通はほぼ皆無だった。

恐怖に駆られながら、「逃げちゃダメだ」と自分に言い聞かせるように繰り返すシンジ。初号機の専属操縦者としての負担は計り知れず、心の葛藤に苛まれることも多くなる。

PERSONAL DATA

- 名前：碇シンジ
- 年齢：14歳
- 国籍：日本
- 生年月日：A.D.2001/06/06
- 血液型：A型
- 所属：NERV/EVA初号機専属操縦者

SHINJI IKARI

Illustration by Youichi Fukano(M.I.C.)

碇シンジ

人間関係

もともと内向的な性格の持ち主であるシンジは、痛みを恐れ、つねに互いに傷つかない距離を保とうとする傾向の持ち主である。その結果、相手に対し強くものを言えなかったり、表面だけ人にあわせるような態度をとることが多い。

父が最高司令官を務め、使徒迎撃を主任務とする特務機関NERVに召集されたシンジは、以降、人類存亡の鍵を握るEVAの操縦者という特殊な人員としてNERV本部に在籍し、その所在地である第3新東京市で暮らすこととなる。そこでの彼の人間関係は、その特殊な立場を中心に構築されていく。ゲンドウとの関係について大きな葛藤を抱える一方で、上司兼保護者の葛城ミサト、零号機専属操縦者の綾波レイ、弐号機専属操縦者の惣流・アスカ・ラングレーらNERVを中心とした人間関係は、シンジにとって成長を促す一因となる。また、一般人としての生活でもクラスメイトの鈴原トウジや相田ケンスケとの交流が深まることで、他人との間に壁を作ろうとする内向的な性格に改善のあとが見られるようになる。

トウジとケンスケの存在は思いのほか大きく、彼らといるときのシンジは少年らしい表情を見せることも多い。

■ 碇ゲンドウとの関係

ほとんどの場合、父親ではなく「NERV最高司令官」として自分に接するゲンドウに対し、愛憎が入り混じった感情を抱いているように見受けられるシンジ。その複雑な感情は、若干14歳の少年を苦悩させるに十分すぎるものだった。

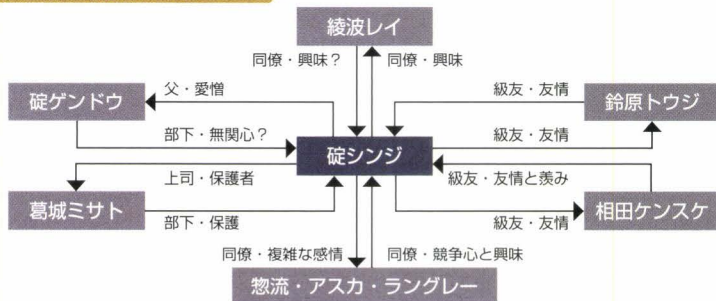
自分とは親子らしい会話を交わさないが、レイとは親密なようすのゲンドウ。それを見たシンジの心中は複雑であっただろう。

■ 綾波レイとの関係

他者との絆のためにEVAに乗り、それ以外に何も持たないというEVA零号機専属操縦者、綾波レイ。彼女の生き方はEVA初号機専属操縦者であるシンジの心に強い衝撃を与え、結果として彼の前向きな思考を引き出す一因となる。

ゲンドウの命令に従い、満身創痍の身で初号機に乗ろうとしたレイ。その姿を見たシンジは、初号機に乗る決意を固めた。

▶ 人物相関図(～第拾参話)

綾波レイ
同僚・興味?
同僚・興味
碇ゲンドウ
父・愛憎
部下・無関心?
級友・友情
鈴原トウジ
級友・友情
碇シンジ
上司・保護者
級友・友情と羨み
葛城ミサト
部下・保護
級友・友情
相田ケンスケ
同僚・複雑な感情
同僚・競争心と興味
惣流・アスカ・ラングレー

活動

シンジの生活の中心となっているのは、NERVにおけるEVA関連の実験、EVA初号機に搭乗しての使徒殲滅作戦の遂行といった活動である。彼自身は決してEVAに搭乗することを望んでいたわけではなく、当初は操縦者として消極的な面が強く見られた。長い間EVAに乗る理由を見出せずにいたためか、使徒との戦闘の最中にも幾度となく苦悩する様子を見せている。しかし、他の適格者や周囲の大人たちと関わっていくうちに、彼は少しずつEVAに乗る理由を見出していくこととなる。それと並行するようにして、作戦的な面においても少しずつ成長が見られる。戦闘を重ねるごとに他の適格者らが操るEVAとの共同戦闘が多く見られるようになり、特に弐号機が戦闘に参加するようになってからは、初号機単独での戦闘はほぼなくなり、2機もしくは3機で展開される作戦の中で自らの役割を果たすこと——他者との協調を覚えていく。その成長はNERVにおける活動だけでなく、一般人としての生活にもよい影響を与えたようだ。

■ NERVにおける活動

適格者としての高い適性を持っていたため、シンジは数々の戦闘においてEVA初号機を駆って最前線に立っている。彼が操縦する初号機は初戦の対第3使徒戦以降、多くの戦闘において主力を担い、使徒の殲滅に貢献している。ただし、時には命令違反なども見られ、シンジの初号機専属操縦者としての自覚は薄いと言わざるを得ない状態であった。これは、EVAに乗り始めてからしばらくのあいだ、EVAに乗る明確な理由を持っていなかったためと考えられる。

シンジの操縦する初号機。暴走するといった不安定な部分もあるが、多くの戦闘において主力を担っている。

表情

プラグスーツ

中学校制服

所属 NERV

汎用人型決戦兵器
人造人間エヴァンゲリオン初号機

EVA-01 TEST TYPE

人の造りし人類の切り札

未知の存在である使徒に対し、人類が抗しうる唯一の切り札とされる汎用人型決戦兵器・人造人間エヴァンゲリオン。天文学的な予算と14年の歳月を費やして建造された非軍事兵器である。運用する特務機関NERVにおいてEVAと呼称される同兵器のテストタイプがEVA初号機である。起動に成功し初めて実戦に投入されたEVAである初号機は、試験機でありながら単独で第3使徒サキエルらを殲滅するなど、高い潜在能力を有していた。しかしEVAには、頭部の修復費用だけでも国家が傾くほど莫大な金額がかかり、兵器としてはコストパフォーマンスが著しく低いという欠点もあった。さらに幾度かの戦闘において、本来は停止状態にあった機体が再起動、オペレーターからの操作を受け付けず、操縦者の意志とも無関係に活動を続ける"暴走"が発生。建造を担ったとされるNERV本部にも制御し切れないという危うさを秘めた諸刃の剣であることが露見した。

DATA

■ 機　体：EVA-01 TEST TYPE
初号機
■ 搭乗者：3rd Children
碇シンジ
■ 主装備：パレットライフル
ハンドガン
プログレッシブ・ナイフ　他

使徒との交戦記録（～第拾参話）

使徒	結果
第3使徒サキエル	⇒暴走により殲滅
第4使徒シャムシエル	⇒単独で殲滅
第5使徒ラミエル	⇒一旦敗北。再戦後に殲滅
第6使徒ガギエル	⇒交戦せず
第7使徒イスラフェル	⇒一旦敗北。再戦後に殲滅
第8使徒サンダルフォン	⇒交戦せず
第9使徒マトリエル	⇒チームプレイにて殲滅
第10使徒サハクィエル	⇒チームプレイにて防御担当
第11使徒イロウル	⇒交戦せず

Illustration by Hirofumi Ichikawa

EVA初号機

機体の特徴

テストタイプのおもな目的は稼働データの収集と考えられる。そのため初号機は本格的な実戦を想定して造られただけでなく、実験的な要素が組み込まれたモデルであると推測される。また、南極で発見されたアダムの調査及び研究によって得たものからEVAを創造するとされるE計画には謎が多く、EVAの中で、初号機だけは唯一リリスなる使徒から造られたとも言われている。その真相は定かではないが、碇ゲンドウにはこの初号機を特別視する節も見受けられるため、特殊な意味合いを持つ機体であることは間違いない。

■ 動力

NERV本部が所有するEVAは、稼動時の莫大な運動エネルギーを賄うためアンビリカル・ケーブルと呼ばれるケーブルを用い、有線で電力供給を受ける。なお、緊急時には内部電源による稼働も可能だが、活動時間は制限される。

対使徒戦の主戦場となる第3新東京市の各所には、ケーブルが内蔵された電力供給ビルが建造されている。

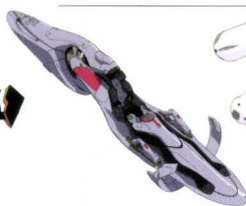
アンビリカル・ケーブル

■ 操縦席

操縦席は本体から独立して存在し、エントリープラグという円筒状のプラグ内に設けられている。これがEVA本体に挿入されることで起動の準備が整い、内部にL.C.L.と呼ばれる呼吸可能な液体が注入される。ちなみに、初号機のエントリープラグは改良が施されているため、部分的な形状が試作機の零号機のものと異なっている。

プラグ内の衝撃を和らげ、操縦者を守る働きを持つL.C.L.。さらに操縦者はL.C.L.中の酸素を直接肺に取り入れて呼吸可能となる。

EVAと操縦者は神経接続される。そのため、機体のダメージが操縦者に直接フィードバックされ、幻痛として当人を苛む。

エントリープラグ

エントリープラグ内部インテリア

■ 外装

テストタイプである初号機は、プロトタイプにはない格闘兵装が収納された肩部や、姿勢制御ノズルを内蔵したと思しき胸部装甲を持つ。なお、素体頭部の目の数は零号機が1、初号機が2、弐号機が4とそれぞれ異なっている。

外装が破壊された初号機の素体。その外装は強固な装甲であると同時に、EVAの強大な力を抑えるため拘束具としての役割も果たす。

■ 内蔵兵装

初号機から増設された肩部外装には、固定武装として格闘武器であるプログレッシブ・ナイフが内蔵されている。なお、初号機の稼働データがフィードバックされた結果か、弐号機には改良型の内蔵兵装が受け継がれている。

A.T.フィールドを中和しての近接戦闘では、最も頼りになる格闘武器。その威力は、使徒のコアを貫くに十分なものだった。

プログレッシブ・ナイフ　PK-01

使徒との戦闘

未知の存在である使徒が展開するA.T.フィールドと呼ばれる絶対不可侵の障壁を破るには、同様にA.T.フィールドを展開し、中和するしかない。その意味で、A.T.フィールドの展開が可能であるEVAは、汎用性はあるものの、あくまで使徒殲滅が目的のカウンターウェポンと言える。その機体の中でも戦闘経験が最も多いのが初号機であり、様々なケースで使徒と交戦、これを殲滅している。初陣ではシンジが満足に初号機を動かせず、光の槍で頭部を貫通され活動停止するが、その直後に暴走し、反撃。追い詰めた第3使徒が初号機を巻き込み自爆するも、同機は無事に生還した。その後も初号機は、多くの戦果を上げながらテストタイプという本来の役目を果たし、実戦での活動データ収集に十分貢献した。ただし、「暴走」が高い勝率の要因であることもまた事実である。必ずしもシンジの実力とEVAの性能による勝利ばかりではなく、作戦司令部としても不確定要素を抱えながらの作戦指揮を余儀なくされたものと考えられる。

■ 専属操縦者・碇シンジ

適格者として3番目に見出された少年、サードチルドレン。NERV最高司令官碇ゲンドウの息子であり、主体性がなく内向的な少年。幼い頃、父の知人に預けられたまま成長したためか、父子間の確執は根深く、常に父に対して愛憎を抱いている。また、EVAへの適性は高いものの、当初は使徒との戦いを快く思っていなかったようである。

EVAに乗る意味を見出せず苦悩するシンジ。操縦者に成り立ての頃は、痛みと恐怖に涙を流すことすらあった。

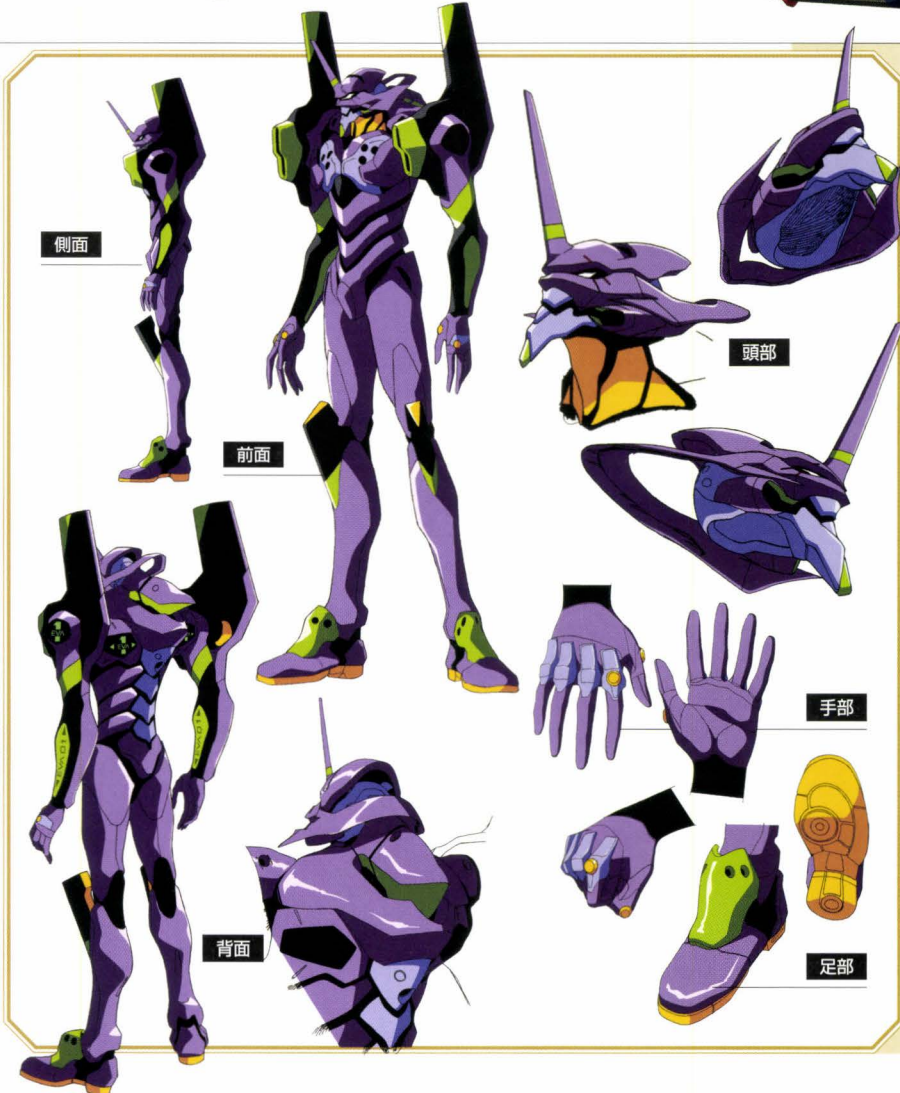
側面

前面

背面

頭部

手部

足部

NERV

綾波レイ

**感情を表に出さない"第1の適格者"。
EVAに搭乗し他の適格者とともに戦うことにより、
他人との繋がりを深めていく。**

EVA零号機の適格者――ファーストチルドレンとして人類補完委員会直属の諮問機関とされるマルドゥック機関に選出されながら、一切の個人情報が抹消された謎の少女が綾波レイである。彼女はEVAのプロトタイプ、零号機の開発及び実験段階から操縦訓練を受け、最初にEVAに足を踏み入れた適格者である。しかし、NERV本部第2実験場において行われた最初の起動試験は失敗し、重傷を負う。さらに、その傷が完治する前に第3使徒が襲来。碇シンジが使徒迎撃を拒んだため、代役として出撃を命じられる。レイは苦痛に呻きながらも、命令に従って出撃しようとする――。感情が希薄であり、必要以上の言葉を発することのないレイは、NERVから下される命令を拒否することもない。そんな彼女が唯一守ろうとするものが、EVAに乗ることにより築かれる他人との繋がりである。もとより強い繋がりを持つ碇ゲンドウだけでなく、他の適格者たちとの出会いによってさまざまな絆が生まれ、彼女の感情も開かれていくようになる。

感情が希薄で、その表情から彼女の考えを読み取ることは難しい。白い肌、青色の髪、赤い瞳といった外見も、その存在自体の特異性を想起させる要素のひとつでもある。

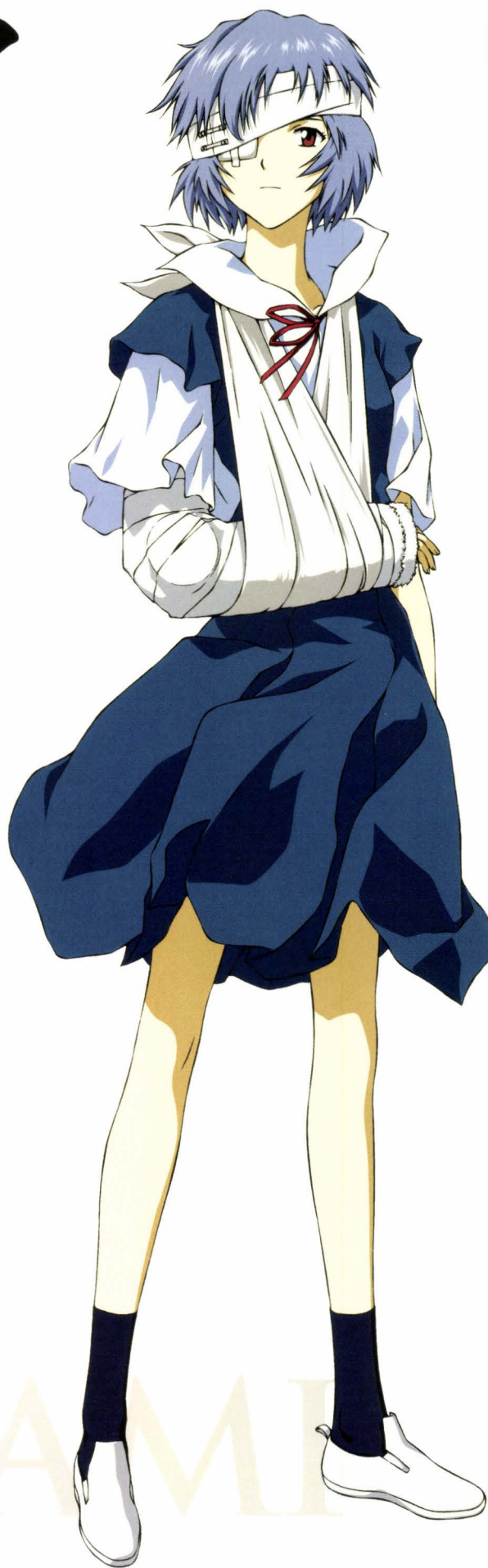
教室の窓際の席に座り、よくひとりで外を眺めているレイ。他人を意識的に避けているわけではないが、直接的な接触によって人との繋がりを作ろうとはしないようだ。

PERSONAL DATA

- 名前：綾波レイ
- 年齢：14歳
- 国籍：不明
- 生年月日：不明
- 血液型：不明
- 所属：NERV/EVA零号機専属操縦者

REI AYANAMI

Illustration by Youichi Fukano(M.I.C.)

人物 CHARACTER

人間関係

感情が希薄であるレイは、積極的に人との繋がりを作ろうとはしない人物である。根本的に自分には「何もない」と考えているためか、その言動は受動的なものが多く、時に冷ややかさすら感じさせることもある。そういった傾向は、彼女が通っている第3新東京市立第壱中学校での生活に如実に現れている。クラスメイトと会話をしているようすもまったく見受けられず、また、部屋に誰かが訪ねてくることもほとんどない。寡黙な性格で感情を表さず、必要以上の会話をしない彼女は、意識的に避けているわけではないものの、他人との接触を最小限にとどめている。碇ゲンドウにだけは心を開く様子を見せるが、NERVにおいてもその性質はほとんど変わらない。しかし、同じく適格者である碇シンジの出現により、彼女を取り巻く状況は徐々に変化を見せる。彼女自身は受動的な姿勢は変わらないままだが、NERVや学校生活において、他人との絆は確実に増えていく。それにしたがい、感情の扉も少しずつ開かれていったようだ。

かつてはゲンドウにのみ少女らしい表情を見せていたレイ。次第に他者にもそういった表情を見せるようになる。

■ 碇ゲンドウとの関係

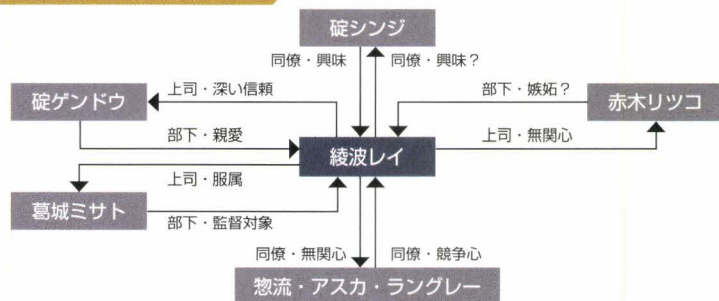
レイが唯一心を開く様子を見せる相手、NERV最高司令官の碇ゲンドウ。レイは、ゲンドウに対して絶対的な信頼を寄せている。一方のゲンドウも、レイに対して実子のシンジにも見せないような親密な態度で接している。

シンジがゲンドウへの不信感を口にしたことに怒り、彼の頬を叩くレイ。ここまで強い感情を発露させることは非常に稀だ。

■ 碇シンジとの関係

EVAの搭乗者であり、クラスメイトであり、ゲンドウの息子でもある碇シンジ。レイにとっての彼は同じ適格者というだけの存在だったが、ともに戦闘を繰り返すにつれ、徐々に心を開いていく様子を見せるようになる。

エントリープラグから救い出してくれたシンジに、笑顔を見せるレイ。ゲンドウ以外の人間に笑顔を向けることは珍しい。

▶ 人物相関図(〜第拾参話)

活動

レイの生活の中心となっているのは、他の適格者と同様に、NERVにおけるEVA関連の実験、EVA零号機に搭乗しての使徒殲滅作戦の遂行である。ただし、それに加えて碇ゲンドウ、冬月コウゾウ、赤木リツコら上層部のみが知る謎の活動についても、重要な役割を果たしているようである。NERVにおける活動については、唯一絶対的な信頼を寄せているゲンドウの存在があるため、たとえ重傷を負っていてもEVAに乗ることを拒まないなど、どのような危険な任務であっても忠実にこなそうとする様子を見せる。それはほとんど感情を示さずに「わたしには他に何もないもの」と言い切った彼女が、信頼するゲンドウの意思に忠実であること——EVAに搭乗し続けることが自らの存在理由であると感じていたためだろう。それは「ゲンドウとの絆」を重視したものとも考えられたが、初号機、弐号機との共同戦闘が多くなってからは、シンジとの絆を構築する役割も果たしたようだ。

■ NERVにおける活動

レイはNERVにおいて最初にEVAに搭乗した適格者だが、NERV本部第2実験場において行われた最初の起動試験の際、零号機は彼女の制御を離れて暴走。実験は失敗し、自身も重傷を負っている。そのため、実戦に復帰するのは対第5使徒戦以降となった。なお、彼女が実質的な戦力となったのは零号機(改)が実戦に投入された後だが、戦闘中は積極的に攻撃役にまわることは少なく、どちらかというとサポート役を担当することが多かった。

レイの操縦する零号機。第5使徒戦以降に全体的な改修が施され、外装が青色の零号機(改)となった。

表情

中学校制服

プラグスーツ

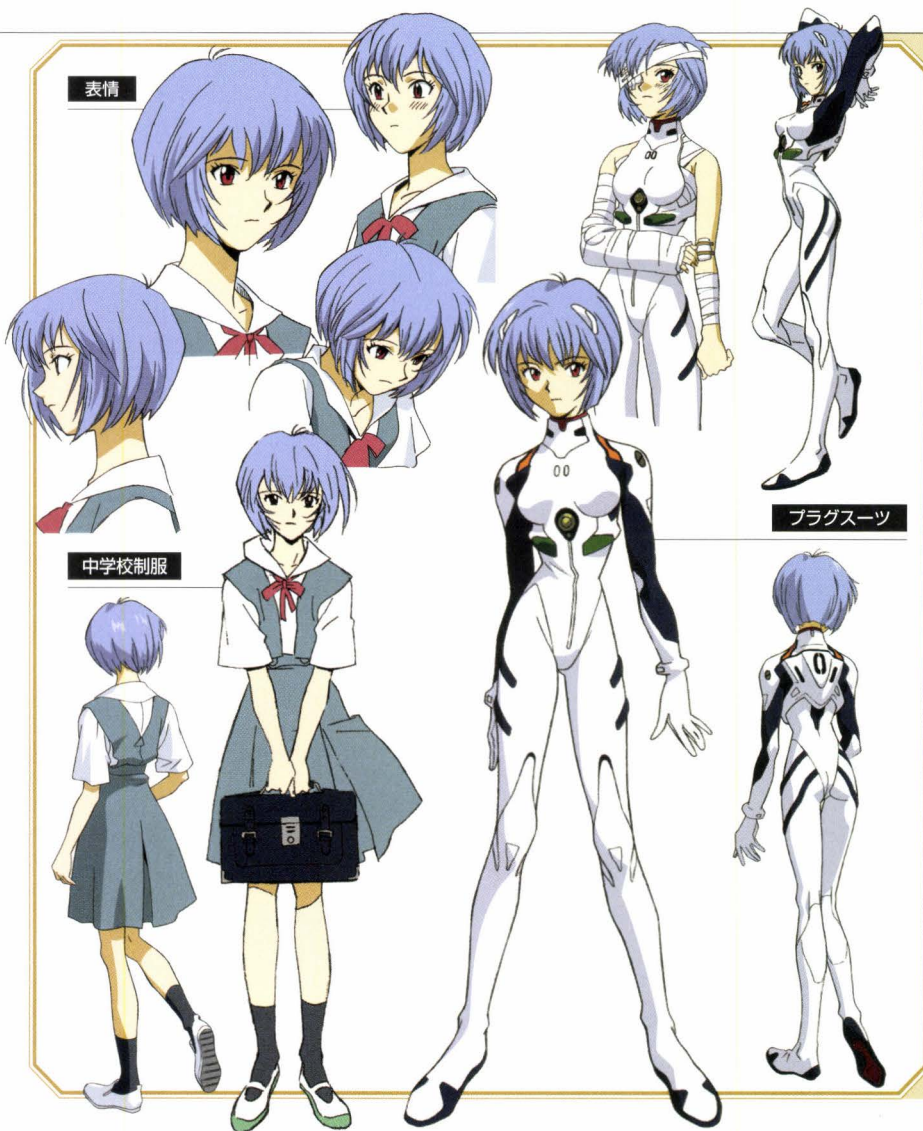
所属 NERV

汎用人型決戦兵器 人造人間エヴァンゲリオン零号機

Illustration by Hirofumi Ichikawa

南極で発見された光の巨人、アダムを人類の手で復活させるべく始動したE計画。"E"は"EVANGELION"の頭文字と推測され、表面上の目的は使徒迎撃用の兵器であるEVAの建造とされる。2000年前後に開始された同計画、2003年に碇ゲンドウが冬月コウゾウを箱根地下へ招いたときは、すでに零号機の頭部と脊髄部分が試作されていたが、完成には程遠い状態であった。そして、計画の発動から14年、天文学的な予算を費やして、ついに完成したのがEVA零号機である。同機体はプロトタイプゆえに不安定部分も多く、最初の起動実験に失敗し暴走。結果、特殊ベークライトで凍結されていたため、第3使徒来襲時には出撃できなかった。ちなみに山吹色の機体の零号機は、第5使徒戦において敵の加粒子砲を受けて装甲が溶解した。そのため、次に出撃した対第9使徒戦以降は、青いボディへと換装された零号機（改）となって使徒との戦いに臨むこととなった。

建造に成功した初の試作機

DATA

- 機　体：EVA-00 PROTO TYPE 零号機
- 搭乗者：1st Children 綾波レイ
- 主装備：なし

使徒との交戦記録（～第拾参話）

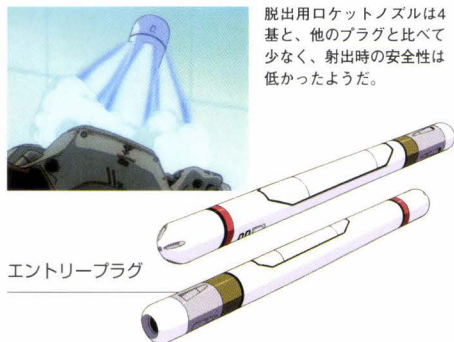
使徒	記録
第3使徒サキエル	⇒交戦せず
第4使徒シャムシエル	⇒交戦せず
第5使徒ラミエル	⇒防御担当
第6使徒ガギエル	⇒交戦せず
第7使徒イスラフェル	⇒交戦せず
第8使徒サンダルフォン	⇒交戦せず
第9使徒マトリエル	⇒バックアップ担当
第10使徒サハクィエル	⇒チームプレイにて殲滅
第11使徒イロウル	⇒交戦せず

EVA零号機

機体の特徴

プロトタイプのおもな目的は、実戦よりも実験や研究であった。試作機ゆえに未知数な部分が多い零号機は、初めての起動実験でいきなり暴走。操縦者も負傷するという大事故を起こしてしまう。しかし、零号機のもたらした実験データは初号機以降の機体へと確実に活かされていく。零号機は実験機ゆえにこれといった武装は装備されていない。だが、その基本構造、基本性能は後に完成を見た初号機や弐号機と大きな違いはなく、第3使徒殲滅後は即時に凍結を解除され、装備を整えての実戦投入が可能であった。

■ 操縦席

操縦席が本体から独立して存在し、エントリープラグ内に設けられているという点は、他のEVAと同様の構造となっている零号機。ただし、操縦席の細部とエントリープラグの部分的な形状は、他の機体とは異なっているようだ。

脱出用ロケットノズルは4基と、他のプラグと比べて少なく、射出時の安全性は低かったようだ。

エントリープラグ

■ 特殊装備

対第5使徒戦直前にNERVにより急造された、EVA専用耐熱光波防御兵器。SSTO（SINGLE STAGE TO ORBIT)、いわゆる単段式宇宙往還機の船底パーツを改造した同装備を手にした零号機は、見事に敵の加粒子砲を受け止めた。

対第5使徒戦にて初めて実戦に赴いた零号機。その任務は初号機の守備だったため、急造された盾のみを装備して戦地へと向かった。

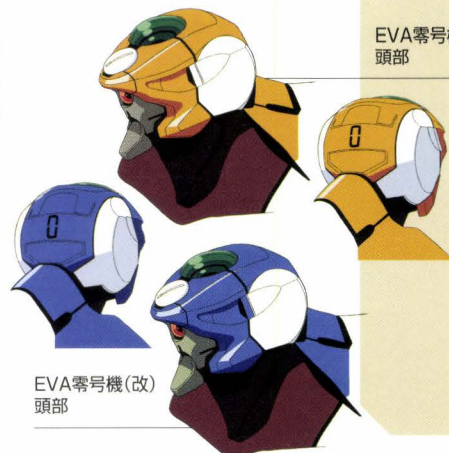
実戦では見事加粒子砲を受け止めたものの、限界時間を超えての使用に盾は融解。最終的には盾もろとも零号機の装甲も融解した。

EVA専用耐熱光波防御兵器（急造仕様）

■ 外装

全体的に、若干シンプルな外装を持つ零号機。後に改修された肩部外装も当初は形状が異なり、固定武装を持たなかった。また、頭頂部の電磁波アンテナが剥き出しになっているなど、実戦には不向きな仕様も幾つか見受けられる。

肩部装甲が弐号機と同型に改修された零号機。プログレッシブ・ナイフを内蔵するだけでなく、さまざまな装備が換装可能になった。

EVA零号機 頭部

EVA零号機（改） 頭部

使徒との戦闘

零号機は試作機ゆえに完成までには様々な失敗作が建造され、NERV本部地下にあるターミナルドグマには、頭部と脊髄のみが造られた機体、さらに頭部形状の異なる機体などが数多く放置されているという。その試行錯誤の末に完成した後は、様々な実験を経て、そのデータを初号機を始め、以降の機体へとフィードバックする役目を担っていた。当然、各実験に前例はなく、零号機は初の起動実験で暴走。零号機を固定していた拘束具を壁ごと破壊し、コントロールルームを破壊寸前に追い込み、操縦者も負傷するという事故へと繋がった。結果、特殊ベークライトで凍結されたため、15年振りの使徒来襲時には出撃できなかった。また、初陣となった対第5使徒戦では防御を担当したが、敵の加粒子砲により装甲が融解している。そのため、再就役にあたり青い装甲へと換装されて零号機（改）となり、対第9使徒戦をもって戦線に復帰。おもに初号機、弐号機と共同戦線を張り、使徒撃退に成功している。

■ 専属操縦者・綾波レイ

適格者として最初に見出された少女、ファーストチルドレン。過去の経歴は抹消されているため選出された過程などは不明である。なお、NERV最高司令官碇ゲンドウとは、単なる上司と部下とは言い難い強い信頼関係で結ばれている。無口で感情表現に乏しいレイだが、ゲンドウにだけは笑顔を見せるほど心を許しているようだ。

零号機操縦時は危険を顧みないレイ。EVAを操縦し続けることで、他人との絆を確かめているのかもしれない。

零号機前面

零号機背面

零号機（改）前面

零号機（改）背面

頭部

アンテナ部

惣流・アスカ・ラングレー

NERV

自らの能力に強い誇りを持つ"第2の適格者"。彼女の到来が、対使徒戦だけでなく、他の適格者にも多大な影響を与える。

初号機で一応の完成を見たEVAの制式機である弐号機。その適格者——セカンドチルドレンが惣流・アスカ・ラングレーである。弐号機の最終組立と起動実験が行われたドイツにて操縦訓練を重ねていた彼女は、弐号機とともにドイツより日本に移送される途上、太平洋上において第6使徒と交戦。国連海軍太平洋艦隊との連携作戦によりこれを撃破した。以後は日本に滞在し、他の適格者たちと同様にNERV本部に属して使徒迎撃の任務に当たることとなる。アスカはEVAの操縦者に選ばれたことを誇りに思うと同時に、幼い頃から多大な努力も払ってきた。また、彼女は14歳にして既に大学課程を修了している天才児でもある。他人に負けることを酷く嫌う一面や、我が強く時に傍若無人に映る性格、自らの感情に忠実であることなどは、そういった非凡な能力や実績に裏付けられている。あらゆる点で、同じ適格者であるシンジやレイとは対照的な彼女の到来は、周囲の人間関係に大きな影響を与えることとなる。

日本人とドイツ人のクォーターであるアスカ。赤みがかった茶色の髪に蒼い瞳と、外見的には欧米人に近い。その整った顔立ちは強い意志と自信を支える要素となっている。

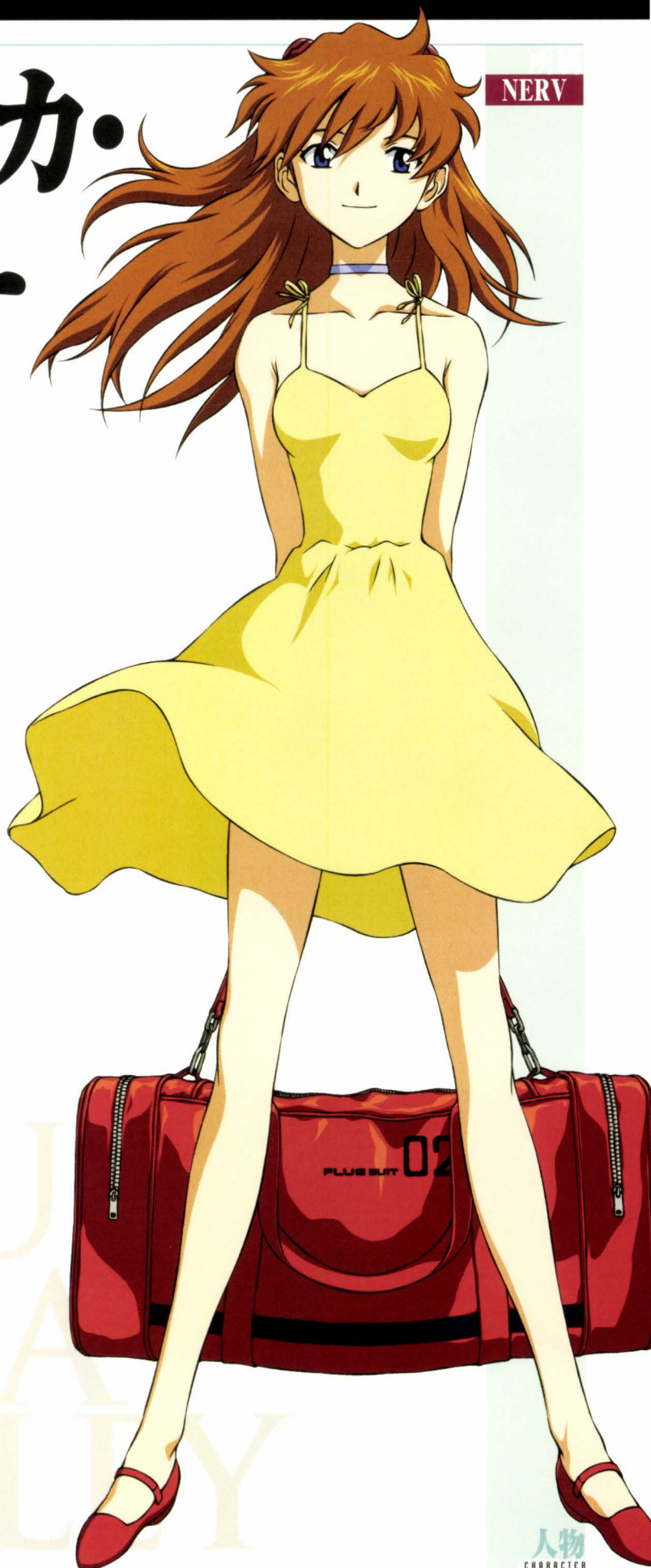
シンジに向かって弐号機を誇示するアスカ。弐号機は彼女にとって誇らしき戦友と言える存在であり、他の適格者があまり見せない、EVAへの強い愛着を示すことも多い。

PERSONAL DATA

- 名前：惣流・アスカ・ラングレー
- 年齢：14歳
- 国籍：アメリカ合衆国
- 生年月日：A.D.2001/12/04
- 血液型：A型
- 所属：NERV/EVA弐号機専属操縦者

SOHRYU ASUKA LANGLEY

Illustration by Youichi Fukano(M.I.C.)

惣流・アスカ・ラングレー

人間関係

勝気で積極的な性格の持ち主であるアスカは、誰に対しても物怖じすることがない。NERVにおいては上司にあたるミサトや加持とも、敬語を使う事なく近しい友人のように会話をする。それが同年代の少年少女ともなれば、なお物怖じしない傾向は顕著になる。同年代の少年たち——特に、対使徒戦において自分以上の結果を残しているシンジに対しては「あんた、バカァ？」というような横柄な言葉を口にすることも度々あり、その態度は性格と同様に攻撃的である。しかし、その態度が若干の軋轢を生むこともあるものの、一方で相手のテリトリーに比較的容易に踏み込むという効果を発揮する。それは、内向的な性格のシンジにすら時に激しく口論をさせてしまうほどだ。いつでも攻めの姿勢を崩さないアスカの在り方は、敵を作りやすいと同時に、味方をも作りやすいものだと言えるだろう。ただし、加持リョウジに対する態度には依存心らしきものが見受けられ、無意識に支えとなる存在を探している弱い一面が見え隠れしている。

初対面の相手にも強気に接するアスカ。その性質は、人間関係にも多大な影響を及ぼしているものと思われる。

■ 碇シンジとの関係

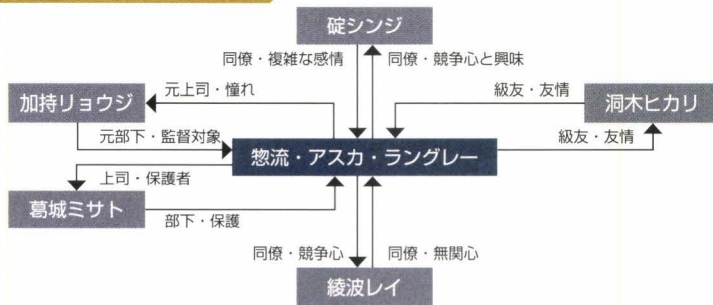
訓練もなしに初号機に搭乗し、実戦に赴いた碇シンジ。アスカはその実績に対して強い対抗心を燃やす。以後、同じ住居や学校での生活を送る中でシンジを認めつつも、プライドがそれを許さないという矛盾した感情を持ち続ける。

第7使徒迎撃作戦においては、シンジとともに特殊な訓練もしたアスカ。彼に対しては、以降も愛憎入り混じった気持ちを抱いていく。

■ 加持リョウジとの関係

NERVの特殊監察部に所属する加持リョウジ。気の強いアスカも、憧れの対象の前では、素直さすら感じさせる一面を見せる。ただし、加持から見たアスカはやはり中学生の子供であり、それなりの態度で接しているようだ。

加持に買い物に付き合ってもらい、満面の笑顔を浮かべるアスカ。ただし、加持にとっては仕事の一環なのかもしれない。

▶ 人物相関図（～第拾参話）

活動

アスカの生活の中心となっているのは、NERVにおけるEVA関連の実験、EVA弐号機に搭乗しての使徒殲滅作戦の遂行である。自らの能力を周囲の人間に知らしめること——それがアスカの、EVAに乗る理由である。そのため、NERVにおける活動においては、他の適格者には見られない積極性を持っている節が見受けられる。また、弐号機こそが初の実戦用たる本物のEVAだと言い切るアスカは、自分の機体に強い愛着を持ち、まれに機体に向かって話しかけることもある。弐号機は、彼女にとって誇らしき戦友であり、心の拠りどころとなっているようだ。弐号機を駆って危険な任務も躊躇せずにこなそうとする様子は、どのような危険な任務であっても忠実にこなそうとするレイとは違った意味で「EVAに乗ること」を重要視しているようにも見受けられる。なお、アスカは余暇や恋愛など一般人としての生活にも充実を求めており、内向的な性格の持ち主であるシンジや感情が希薄であるレイとは異なり、ひとりの14歳の少女としての生活も重視しているようだ。

■ NERVにおける活動

戦闘に対してどこか消極的なシンジのEVA初号機と、基本的にサポート役となる零号機のみが使徒に対峙していた中、アスカ及び弐号機がNERV本部所属となったことは、対使徒戦に大きな変化を与えた。非常に強い積極性を持つアスカは最前線でのオフェンス役に最も適しており、機能、装備ともに充分した弐号機にふさわしい人材であったと言える。作戦の立案を担うミサトとしても、アスカのような性質を持った存在は重宝していたものと思われる。

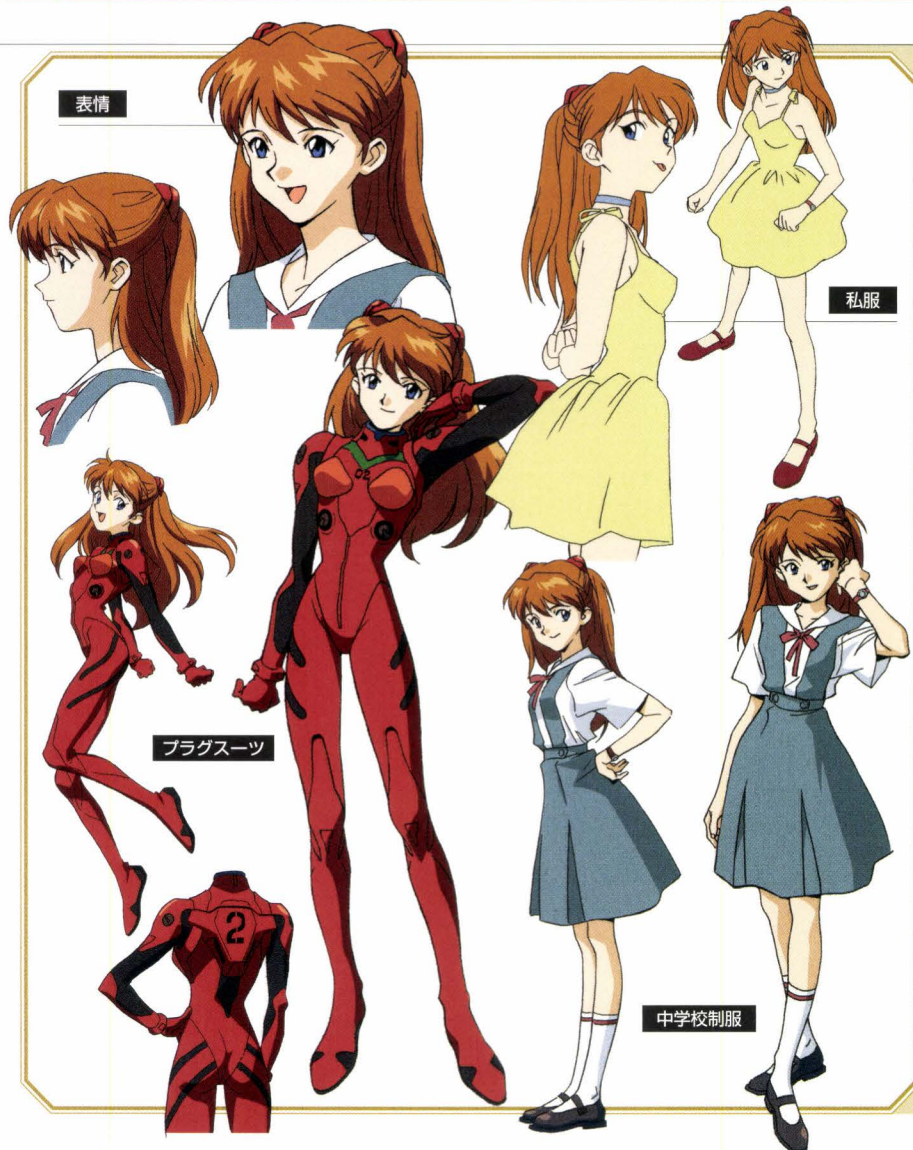
アスカが専属操縦者となる弐号機。設計と部品製造は日本で、組み立ておよび起動実験はドイツで行われた。

表情

私服

プラグスーツ

中学校制服

所属
NERV

E計画のもとに、14年の歳月と天文学的な予算を費やして建造されたEVAの制式モデルとなるEVA弐号機。機体の形式番号「EVA-02 PRODUCTION MODEL」からもわかる通り、量産化を前提として開発された機体で、設計と部品の製造を日本、組み立て及び起動実験をドイツのNERV第3支部で行っている。そのため弐号機は、プロトタイプ、テストタイプと異なり、胸部装甲や肩部装甲などが量産化を前提に簡素化されているほか、頭部に4つの補助光学カメラと電磁波センサーをもつなど、零号機及び初号機で培った様々なノウハウを活かし、実戦での運用を想定した設計と実装が施されている。機体の完成度は高く、暴走など制御不能に陥ることのない安定した性能を発揮。非凡な才能を持つ操縦者の能力もあいまって、十分な戦果を挙げている。なお、総合的に性能が向上している弐号機だが、稼動のための莫大な電力は如何ともし難かったようで、稼働時間の延長といった向上は見られなかった。

高い完成度を誇る制式機

DATA

- 機　体：EVA-02 PRODUCTION MODEL
  弐号機
- 搭乗者：2nd Children
  惣流・アスカ・ラングレー
- 主装備：プログレッシブ・ナイフ（改）
  ソニックグレイブ
  スマッシュ・ホーク 他

使徒との交戦記録（～第拾参話）

第3使徒サキエル	⇒交戦せず
第4使徒シャムシエル	⇒交戦せず
第5使徒ラミエル	⇒交戦せず
第6使徒ガギエル	⇒国連軍との連携で殲滅
第7使徒イスラフェル	⇒一旦敗北。再戦後に殲滅
第8使徒サンダルフォン	⇒捕獲ののち殲滅
第9使徒マトリエル	⇒防御担当
第10使徒サハクィエル	⇒チームプレイにて殲滅
第11使徒イロウル	⇒交戦せず

EVA-02 PRODUCTION MODEL

汎用人型決戦兵器
人造人間エヴァンゲリオン
弐号機

Illustration by Hirofumi Ichikawa

EVA弐号機

機体の特徴

実戦での運用と量産化を前提として建造されたEVA弐号機。零号機や初号機と異なり、装甲や兵装などの一部が共通化されているため汎用性が高く、さまざまな状況に対応することが可能となっている。ベースとなる素体は、零号機、初号機と同様に生体パーツらしきもので構成されているが、テストタイプの実戦データがフィードバックされていると考えられる。そのほか神経接続、精神汚染の防止性能といったソフト面でも、実戦データをもとにした効率化が図られていると考えるのが妥当であろう。

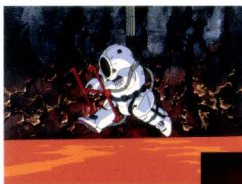
■ 外装

弐号機は実戦での本格運用を求められた機体であるため、零号機や初号機と比べて、肩部と胸部の装甲に実用的な改良が施されている。ただし、汎用性と量産化を前提としているため、機体の各所が簡素化されたものとも考えられる。

特徴的な頭部の弐号機。なお、表層部の眼は光学カメラであり、素体の目は装甲によって守られている。

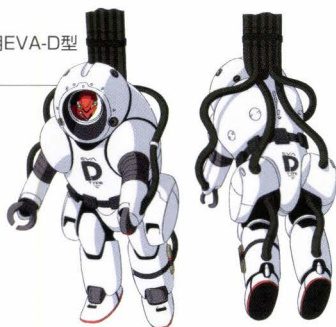
EVA弐号機
頭部

■ 特殊装備

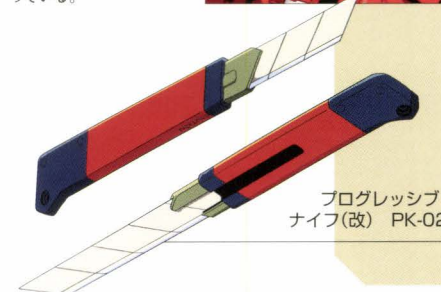
さまざまな局面での運用を想定した特殊装備が開発されたEVA。ただし、耐熱・耐圧・耐核防護服であるD型装備のような一部の特殊装備は、制式モデルである弐号機での運用を想定して開発されていたようだ。

マグマ内での活動を可能とする潜水服のような局地戦用D型装備。なお、操縦者にも耐熱仕様のD型プラグスーツが用意されていた。

局地戦用D型装備は脚部ベルトにてプログレッシブ・ナイフを携行可能。さらに、使徒捕獲用のキャッチャーも用意されていた。

局地戦用EVA-D型装備

■ 内蔵兵装

弐号機の内蔵兵器は、肩部外装パーツに格納されたプログレッシブ・ナイフ（改）である。同兵器は初号機が持つPK-01タイプとは異なり、刃の部分がカッターナイフ状となっている。そのためカッターナイフと同様に刃が折れても、瞬時に替刃と交換することが可能である。

一般的なカッターナイフとは刃が逆向きの構造を持つPK-02。PK-01タイプと同様に、刃は高振動粒子により圧縮形成されている。

左肩マルチウェポン・ベイが展開し、内部からPK-02を収納した鞘状のホルダーが前面にせり出す構造となっている。

プログレッシブ・ナイフ(改) PK-02

使徒との戦闘

完成度が高く、NERV本部が運用している機体の中では最も実戦向きの機体と言える弐号機。初号機のずば抜けた戦果が"暴走"に依るところが多い反面、弐号機の戦果は、機体の性能、さらにそれを駆る操縦者の非凡なセンスに依るところが大きい。ただし、それ故に操縦者であるアスカのシンクロ率の低下が戦闘に直接影響を及ぼしてしまうなどの弊害もあり、実際の戦闘力は彼女の体調や感情に左右されるところもあったようだ。アスカが及んだ使徒殲滅作戦のほとんどが他の機体との共同作戦であったことは、彼女にとって幸いだったと言えるだろう。ちなみに弐号機は、輸送中に第6使徒と遭遇しEVA初の水中戦を行っている。その際、使徒の口内に捕らわれるも、操縦者のアスカと同乗者のシンジの一念によってか高いシンクロ率を記録した。この現象が起きた理由は定かではないが、その際には弐号機頭部の装甲が展開し、素体の目が覗いていたという。

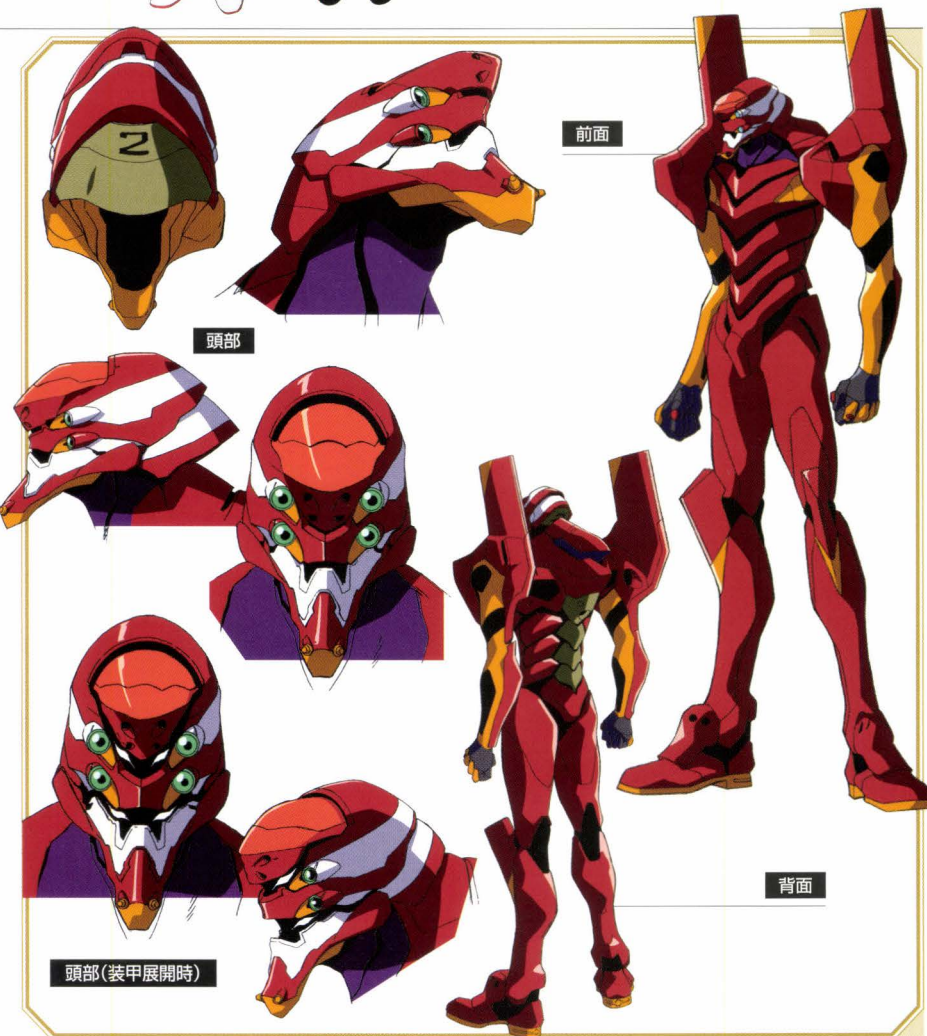
■ 専属操縦者・惣流・アスカ・ラングレー

適格者として2番目に見出された少女、セカンドチルドレン。来日前はドイツにあるNERV第3支部に所属し、弐号機の起動、操縦訓練を受けていた。EVAの操縦者であることに強い誇りを持っている少女で、プライドが高く勝ち気な性格であるため、消極的な碇シンジや感情の希薄な綾波レイに対して苛立ちをあらわにすることも多い。

シンジに過剰なまでの競争心を燃やすアスカ。No.1になることで、自身の存在意義を示したいのかもしれない。

頭部

前面

背面

頭部(装甲展開時)

葛城ミサト

NERV

「復讐」のために、あえて対使徒戦の最前線に身を置く若き作戦部長。EVAを指揮し、勇猛果敢に使徒に挑んでいく。

特務機関NERV本部にて、戦術作戦部作戦局第一課課長を務める女性が葛城ミサトである。彼女は、14歳の頃に父が隊長を務める葛城調査隊とともに南極に上陸したが、そこでセカンドインパクトに直面し、父を亡くした。そのショックにより一時失語症に陥るも、無事に治癒し、第二東京大学に入学。同大学卒業後はNERVの前身であり、母体ともなった秘密組織ゲヒルンに入所している。最終的にはゲヒルンの人員、施設その他のすべてがNERVに移行したために、当然ミサトもそれに沿い、NERV本部へ配属されることとなる。EVAによる使徒殲滅戦の作戦指揮を担当する彼女は、適格者たちの直接的な上司に当たる存在である。さらに彼女は、碇シンジを自宅に引き取り、さらには第7使徒迎撃作戦の訓練時以降は惣流・アスカ・ラングレーも自宅に迎え入れている。ミサトはNERVの作戦部長として適格者を監督するだけではなく、まだ中学生の少年少女である彼らをひとりの大人として見守る保護者的な役割を担っていたのである。

初対面であるシンジに、自分のことを名前で呼ぶように言うミサト。緊張しているであろう相手を気遣うなど、その細やかな配慮は、まだ少年少女である適格者の助けとなる。

作戦実行時は、甘さなど一切ない顔つきで迷いなく作戦指揮を執るミサト。普段見せている能天気な態度を一変させ、険しい表情を見せて操縦者たちに命令を下していく。

PERSONAL DATA

- 名前：葛城ミサト
- 年齢：29歳
- 国籍：日本
- 生年月日：A.D.1986/12/08
- 血液型：A型
- 所属：NERV/戦術作戦部作戦局第一課課長

MISATO KATSURAGI

Illustration by Youichi Fukano(M.I.C.)

葛城ミサト

人間関係

気さくで陽気、かつ楽天的な考え方の持ち主であるミサト。一見するといい加減な性格をしているようで、はるかに歳下のシンジに初対面から「歳の割に子供っぽい」と言われてしまうほどである。しかしその実、芯の強さと男勝りな一面を持ち合わせており、無鉄砲とも思える行動を取る場面も多々見受けられる。それは、NERVの作戦部長という、強さと潔さが必要なポジションを務めていくうちに形成された人格とも推察できる。また、ミサトは理論的な考えよりもどちらかというと感情や勘を頼りに行動するタイプである。正しい理論というものは時に冷酷なものだが、彼女はそういった正論よりも、人の心情に重きを置いているように見受けられる。冷静な理論派の多いNERVにおいて彼女のような人物は珍しく、指揮官としての能力もさることながら、その性質が周囲に与える影響は大きい。特に、まだ思春期の少年少女であるシンジら適格者にとっては、近しい大人として多大な影響を与える存在と言えるだろう。

「希望的観測は、人が生きていくための必需品よ」と言うミサト。その前向きさは周囲にもよい影響を与えた。

■ 碇シンジとの関係

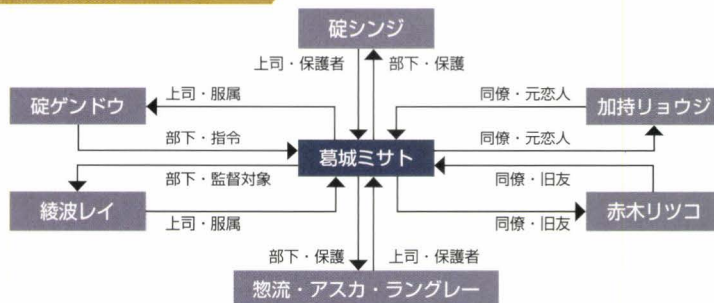
本来ならばひとりで暮らすはずだったシンジ。ミサトは彼を、自宅に引き取ることを決めた。シンジの他人を寄せ付けようとしない性格を見かねてのことと思われるが、そこには彼女なりの母性が働いたのかもしれない。

自宅では、シンジにだらしない姿を見せることも厭わないミサト。他人には見せない姿を晒すのは、彼を家族として認めている証と言える。

■ 加持リョウジとの関係

学生時代からの知りあいであり、元恋人でもある加持リョウジ。彼がNERV本部に在籍することになってからは、ミサトはその言動に振り回される。また、特殊な任務についている加持の持つ情報は、ミサトに大きな影響をもたらした。

過去の関係を暴露され、顔を真っ赤にして加持を怒鳴りつけるミサト。彼女はこの再会を「悪夢」と評しているが、その本心は不明である。

▶ 人物相関図（～第拾参話）

活動

ミサトは特務機関NERVにおいて、戦術作戦部作戦局第一課課長という要職を務め、ほぼすべての使徒戦において指揮を執ってきた。その手腕は優秀で、彼女の立案した作戦がなければ使徒殲滅が困難であった局面も多く見られる。作戦には成功確率が限りなく低いものもあり、適格者たちは困難な命令を下されることとなったが、個体ごとに特徴の異なる未知の敵との戦いは、もとより勝率をはじき出すことすら困難なものだった。立案された作戦及び実際の指揮は無鉄砲にも見えたが、結果的にミサトは敗北の許されない数々の使徒殲滅作戦を成功に導いた。なお、セカンドインパクト発生時、ミサトはその惨劇を目の当たりにし、家庭を顧みなかったはずの父に守られて生き延びた。その出来事は彼女の心に多大な影響を与え、使徒迎撃の任に着いたことについて「復讐をしたいだけなのかもしれない」といった言葉を口にしている。対使徒戦の指揮を執る立場に身を置く、という生き方を選んだミサトは勇猛果敢な人物と言えるが、その裏には意外な弱さも見え隠れしている。

■ NERVにおける活動

NERVによる対使徒戦の現場において作戦立案及び指揮を務めたミサトは、直属の部下である日向マコトに慕われており、適格者たちからも一定の信頼を得ていた。難しい立場に置かれながら、作戦を進める上で適当な人間関係を構築していたことも、作戦部長として評価されるべき点だろう。なおミサトは、対使徒戦のみならず、J.A.暴走事件においても、その暴走を単身で阻止する活躍を見せており、その行動力はNERVにおいても突出した存在と言えるだろう。

J.A.暴走時、その機体に乗り込もうと試みるミサト。危険な場面に身を置くことも厭わない豪胆さを見せた。

NERV制服

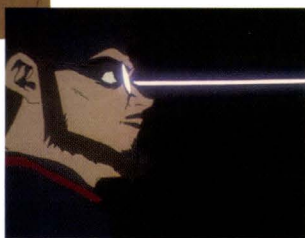
表情

碇ゲンドウ

NERV

**寡黙かつ冷徹なNERV最高司令官。
EVAによる対使徒戦略のみならず
人類補完計画をも推し進める。**

国連直属の特務機関NERV、その本部を統率する最高司令官が碇ゲンドウである。西暦2002年、人工進化研究所とゲヒルンの所長だった彼は、E計画に着手。次いで2004年にEVA初号機の接触実験をとり行うも、その最中に妻のユイを喪失。直後に行方不明となるものの1週間程度で復帰し、人類補完計画を始めとしたさまざまな計画に着手していくこととなる。さらにゲンドウは、ゲヒルンが特務機関NERVへ移行したことに伴い、同機関の最高司令官に就任した。なお、ゲンドウはNERVの最高司令官であると共に、人類補完計画立案者として計画を遂行する立場にあるが、その実情を知る者はほんの一握りでと考えられる。ちなみに、ゲンドウが本格的に人類補完計画の遂行に着手したのは、妻であるユイを失った後のことだが、彼が遂行する計画のシナリオは、ゼーレが用意したものと異なるとも言われている。彼の真の目的は、計画の実現により「愛した妻に再び出逢う」こととも推察できるが、その真相は不明である。

NERV最高司令官としての威厳に満ちたゲンドウ。他人にほとんど興味を示すことがない彼は、実の息子と3年ぶりに再会した際にも、その硬い表情を崩すことはなかった。

NERV最高司令官を務めると同時に、人類補完計画提唱者として計画を遂行するゲンドウ。その活動を諮問する特殊な機関、人類補完委員会と渡り合う機会も多かった。

PERSONAL DATA

- 名前：碇ゲンドウ
- 年齢：48歳
- 国籍：日本
- 生年月日：A.D.1967/04/29
- 血液型：A型
- 所属：NERV/最高司令官

GENDOH IKARI

Illustration by Youichi Fukano(M.I.C.)

人間関係

NERVの最高司令官として卓越した統率力を見せる一方、目的のためならば手段を選ばない性質であるゲンドウ。彼は使徒殲滅という命題のためであれば、実の息子である碇シンジであろうと、自分を慕う綾波レイであろうと迷わず利用する。絶対的な信頼を寄せるレイのような存在は別として、それ以外の多くの部下には、冷徹な人物と評されているようだ。また彼は、2015年に至るまでに秘密結社ゼーレ――その息のかかった国連の諮問機関である人類補完委員会と深いつながりを構築し、さまざまな計画の推進を任されている。その活動は、NERV本部においても古くからの協力者である冬月コウゾウ、赤木リツコらといった一部のものしか認識していないため、外部組織だけでなく、NERV内部にも不信感を抱く者がいるようだ。ちなみに2015年においては、各計画に対する見解の相違からか、ゼーレ及び人類補完委員会とは衝突を繰り返しているようで、ゲンドウが非常に難しい立場に身を置いていることは間違いない。

シンジと会話するゲンドウ。3年振りに共に妻の墓参りに訪れた際は、珍しく父親としての一面を窺わせた。

碇シンジとの関係

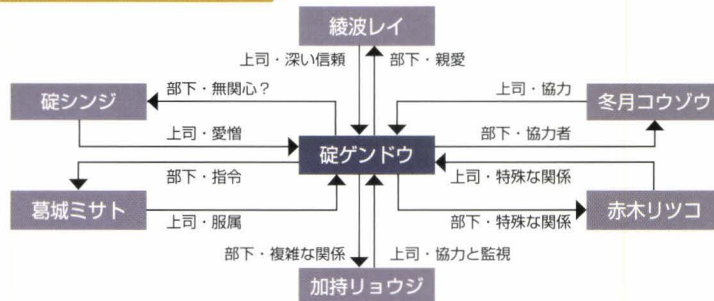
ゲンドウに冷たい態度を取られ続けながら、望みどおりにEVAに搭乗するシンジ。だが、ゲンドウは彼を突き放し続ける。不器用ゆえにシンジを傷つけることを恐れる「愛情表現の裏返し」とも考えられるが、その真意は定かではない。

もうEVAには乗らないと言うシンジに「失望した」と告げるゲンドウ。逆に、それまでは期待していたものとも受けとれる。

綾波レイとの関係

ゲンドウに絶対的な信頼を寄せているレイ。常に冷静沈着な態度を崩すことのないゲンドウも、レイに対しては柔和な態度を見せている。その態度は、実の息子たるシンジが嫉妬にも似た感情を抱いてしまうほど親密なものである。

零号機の起動実験失敗の際には珍しく大きく狼狽した表情を見せ、その身の危険を顧みることなく、自らの手でレイを救出した。

▶ 人物相関図（～第拾参話）

活動

未知の存在である使徒の調査、殲滅を担うNERVにおいて、最高司令官という役職を務め、そのすべての活動について最終的な決定権を持っていたゲンドウ。さらに対使徒戦の現場において最高の権限を持つ組織となったNERVは、人類補完委員会に監査されるだけでなく、一部の対外組織には疎んじられる立場にあったため、その対応に追われるなど多忙を極めていたようだ。また、E計画、アダム計画、人類補完計画といった計画の遂行についてもゲンドウが最高責任者を務めたが、それらの背後にはゼーレの影が見え隠れする。すなわち、表立った活動ができないゼーレの計画を実行に移していたのが、ゲンドウであったと言えるだろう。彼は常に冷徹な指揮官という役割を演じながら、人類補完計画発動の契機を狙っていた。目的のために必要な事柄については何ひとつ厭うことがなく、冷静沈着にことを進めるその姿が職務に忠実であるが故に、彼には常に「非情な人物」というイメージが付きまとうこととなった。

NERVにおける活動

ゲンドウの目的のためならば手段を選ばない性質と、瞬時に下される冷徹な判断は時に周囲を戸惑わせることもある。また、数々の機密計画の指揮も執るという多忙さ故に、NERV本部に不在のことも多い。ただし、執務を疎かにすることは決してなく、のみならず、第9使徒襲来の際は作業現場に身を置いて手動によるEVA起動準備の指揮を執る姿を見せた。そういったゲンドウの姿勢は、人類最後の砦たるNERVの統率者にふさわしいものと言えるだろう。

力仕事に従事することも厭わないゲンドウ。窮地において、部下たちを牽引する行動力も持ち合わせている。

表情

NERV制服

NERV

冬月コウゾウ

**碇ゲンドウを補佐するNERV副司令官。
年長者らしい穏やかさと厳しさを持ち、
特殊な組織であるNERVの活動を支える。**

NERVにおいて常に最高司令官、碇ゲンドウの側に立ち、その補佐役を担う副司令官が冬月コウゾウである。過去に京都大学にて形而上生物学の研究を専門とし、また教鞭も執っていた彼は、1999年頃、教え子の碇ユイの紹介により、ゲンドウ（当時は六分儀姓）と出会う。その後、セカンドインパクトを経て、2002年、国連のセカンドインパクト調査団に参加した際にゲンドウと再会。この頃、ゲンドウに対して強い不信感を抱いていたものの、その後人工進化研究所に彼を訪問した後は、一転して協力関係を結ぶこととなった。以来、冬月はゲンドウの腹心として活動してきたが、時に非情に過ぎると思われる判断をするゲンドウに助言を与え、彼の真意を部下たちに伝える仲介者としての役割も果たす彼は、NERVにとっても欠かせない存在となる。NERVという場所をひとつの組織として考えた場合、冬月という人間は、ゲンドウとは違う角度で大局を見据えることのできる非常に貴重な存在と言えるだろう。

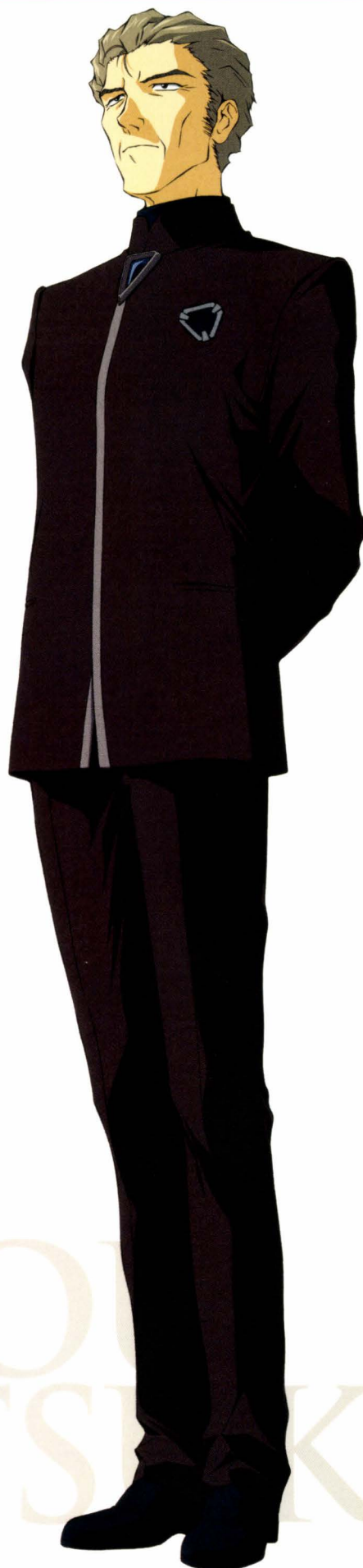
NERV本部において、常にゲンドウの傍に立つ冬月。ゲンドウと会話する際は、部下に対する時よりも複雑な表情を見せるが、そこからはふたりの付き合いの深さが窺える。

発令所の司令席では、声をひそめてゲンドウと会話する場面も多々見られる。ゲンドウが常に冬月を隣に置くのは、他人に聞かれてはならない会話が多いせいもあるだろう。

KOUZOU FUYUTSUKI

PERSONAL DATA
- 名前：冬月コウゾウ
- 年齢：不明
- 国籍：日本
- 生年月日：A.D.?/04/09
- 血液型：AB型
- 所属：NERV/副司令官

Illustration by Youichi Fukano(M.I.C.)

人物 CHARACTER

冬月コウゾウ

人間関係

NERV副司令官という特殊な立場にあり、非日常性の高い場所にいながらも、情に厚い人間性と常識的な思考を持つ人物である冬月。使徒との戦闘時、パイロットの生命を慮るような言動が見られることや、国連軍に出撃を要請しなくてはならない事態に陥った際に恥を嫌うような発言をしていたことからも、その事実が見て取れる。こういった彼の性質はNERV内、特に上層部の中では稀有なものである。また、その人となりが温厚でゲンドウほど威圧的でないためか、部下たちにもそれなりに慕われている様子である。非常に「人間らしい」存在であると言える冬月ではあるが、その一方でゲンドウやゼーレといった人類補完計画を担う人々とも強い繋がりを持っており、彼のみしか知り得ない葛藤も抱えているようだ。なお、仕事以外で同僚たち、あるいは部下たちとの付き合いは見受けられないが、これは他人との私的な交流を軽んじているというよりも研究者的な性質によるところが大きいと推測される。

任務の合間に詰め将棋を楽しむ冬月。ひとりで時間を潰すことを苦としない性格であるようだ。

■ 碇ゲンドウとの関係

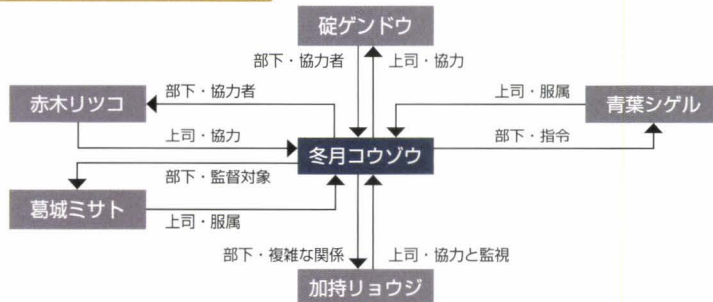
ゲンドウと冬月は、15年ほど昔から知己である。10歳ほどの年齢差はあるものの常に対等な関係を保っており、ゲンドウにとっての冬月はたったひとりの「よき理解者」であり、冬月もまたそれを強く自覚しているようだ。

3年ぶりに息子と対面するゲンドウを見送る際、微妙な表情を見せた冬月。年長者として、何か思うところがあったのかもしれない。

■ NERVスタッフとの関係

NERV司令部において最年長である冬月。直属と思われる部下は青葉シゲルのみだが、その他のスタッフにとっても冷徹で威圧感の強いゲンドウよりは、常識人であり温厚な冬月のほうが上司として接しやすい人間であるようだ。

偶然電車内で出会った際、緊張の面持ちで冬月に挨拶をする青葉。ゲンドウとは異なり、部下には純粋な意味での敬意を払われているようだ。

▶ 人物相関図(～第拾参話)

活動

おもにNERV司令部で活動する冬月。彼はこの特異な組織における最年長の人物である。ゲンドウという上司と、部下にあたるスタッフたちの間で緩衝剤的な役割を果たしている冬月だが、その位置をあまり苦としていない様子である。組織内での階級はゲンドウより下になるが、年長者としてゲンドウと対等に接することも冬月のみが成し得ることと言えるだろう。ちなみに冬月は、ゲンドウと同様にかねてからゼーレとの繋がりを持ち、EVAに関するさまざまな計画や、人類補完計画を中心とする一連の事案についての真実を知る人物でもある。その思惑は不明だが、NERV本部において使徒殲滅のための活動に従事する一方で、ゲンドウを中心とした一部の人間が実行役を務める人類補完計画においても、非常に重要な役割を果たしているものと考えられる。その態度ではっきりと見せることはないものの、ゲンドウは冬月にかなりの信頼を寄せ「よき理解者」として側に置き、冬月もまたその意思を汲んで行動しているようだ。

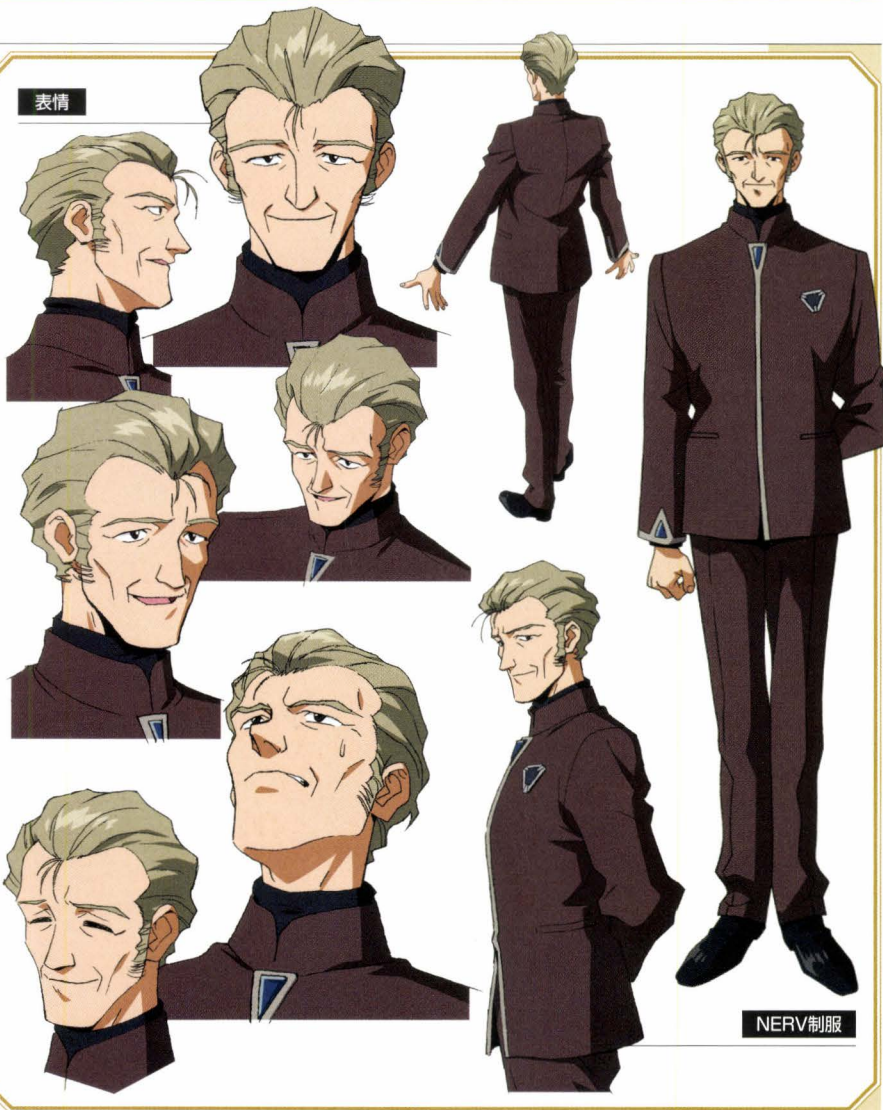
■ NERVにおける活動

冬月のおもな仕事は勿論、ゲンドウのサポートをすることである。ゲンドウが司令席にいる際は常に側に立って助言を口にする姿が見られるが、何かと席を外すゲンドウに代わり、作戦指揮を執ることもある。また「碇め、昔から雑務はみんな私に押しつけおって」とこぼしていることから、上層部が請け負うべき雑事を一手に引き受けているとも推察できる。サポート的業務、最高司令官の代行、庶務一般をこなす冬月は、NERVに必要不可欠な人物と言えるだろう。

最高司令官の不在時は、最高責任者となる冬月。普段の穏やかさとは一転して、厳しい表情を浮かべることもある。

表情

NERV制服

所属 NERV

赤木リツコ

NERVの技術的な側面を一手に引き受ける科学者。
秀でた才能を持つがゆえに、
彼女はNERVの暗部をも知る人物となる。

E計画責任者、MAGIの運営と管理責任者を兼任するNERV本部技術開発部技術局一課所属の科学者が赤木リツコである。第2東京大学を卒業した後にゲヒルンに所属することとなったリツコは、そこでE計画セクションに配属され、EVA開発作業の中心人物となっていく。さらにNERVに籍を移してからは、故人となった母が基礎理論を構築したスーパーコンピュータMAGIの運営、管理を担当することとなる。彼女の性質は簡潔かつ論理的で、科学者らしいデータに基づいた思考の持ち主と言える。ただ、自分自身に高い矜持を持ち、他人のみならず自分にも非常に厳しい。自分の失敗は自分で拭おうとし、近しい人間に頼ることがない。これは、自らの能力に絶対的な自信を持つ彼女の「プライド」ゆえの行動であると共に、他人を信用することができないという感情の裏返しともとれる。なお、その任務の性質上、碇ゲンドウとは秘密裏に接触をしている様子があり、人類補完計画に関係する一部の極秘事項にも通じているようだ。

感情を表に出さない性格と思われがちなリツコだが、実際は表情豊かで、笑顔を見せることも多い。また、潜水作業も厭わないなど、活動的な一面も持っている。

凛とした表情で、EVA零号機の再起動実験に臨むリツコ。伊吹マヤをはじめとするオペレーターに簡潔かつ的確な指示を与えるその表情からは、一瞬の迷いも読み取れない。

PERSONAL DATA

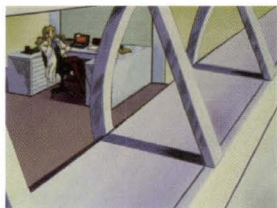
- 名前：赤木リツコ
- 年齢：30歳
- 国籍：日本
- 生年月日：A.D.1985/11/21
- 血液型：B型
- 所属：NERV/技術開発部技術局一課

RITSUKO AKAGI

Illustration by Youichi Fukano(M.I.C.)

赤木リツコ

人間関係

科学者らしい論理的な思考の持ち主であるリツコ。冷静に状況を把握したうえで必要と判断したならば、過激な手段を執ることも厭わない。また、無駄だと判断されるものは完全に省いていく。その場の感情よりも現実に沿って行動する彼女は、職務においては時に非情とも思える判断を下すうえに多少神経質なところも持ち合わせている。しかし、同時にその能力は高く評価されており、NERV本部においてはゲンドウとは違った意味で畏怖されているようだ。直属の部下であるマヤなどは、その能力を信奉し敬愛しきっているほどである。また、プライベートではそれなりにとっつきやすい姿も見せ、頭が固いだけではないという一面ものぞかせている。ただ、大学生の頃からの旧友で非常に近しい間柄である葛城ミサトや加持リョウジに対しても、リツコは積極的に自分のことを語ろうとしない。自分自身に興味が無いためとも受け取れるが、ここにも他人を信用することができないという性格が見え隠れしている。

「ヤマアラシのジレンマ」について説明するリツコ。人間関係についても論理的に解釈する性質のようだ。

■ 碇ゲンドウとの関係

NERV最高司令官であり、人類補完計画の実行者でもあるゲンドウ。NERV内の技術的な側面を一手に引き受けているリツコは、科学者として、またひとりの「女」としてその能力のすべてをゲンドウに捧げる協力者である。

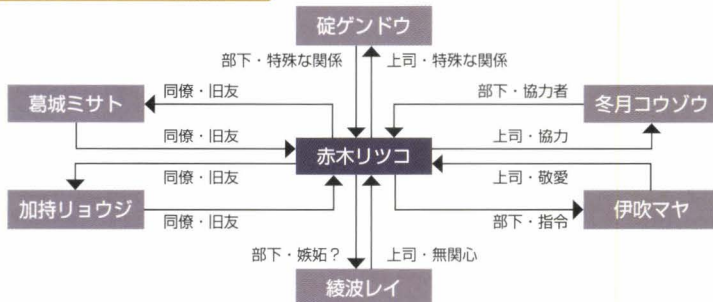
ゲンドウに特別扱いされているレイを見て、嫉妬とも取れる表情を浮かべるリツコ。科学者としての顔の裏には「女」としての顔があるのかもしれない。

■ 葛城ミサトとの関係

同僚であり、学生時代からの旧友でもあるミサト。互いにEVAに深く関わる身として、自らにはない相手の性質に助けられることも多々あり、あまり他人に気を許すことのないリツコにとっては貴重な存在であるようだ。

リツコにとって、プライベートでの付き合いも由とする友人は数少ない。加持も含めた3人の関係は、彼女にとって特別なもののようだ。

▶ 人物相関図(〜第拾参話)

碇ゲンドウ
部下・特殊な関係
上司・特殊な関係
葛城ミサト
同僚・旧友
同僚・旧友
冬月コウゾウ
部下・協力者
上司・協力
赤木リツコ
加持リョウジ
同僚・旧友
同僚・旧友
伊吹マヤ
上司・敬愛
部下・指令
部下・嫉妬?
上司・無関心
綾波レイ

活動

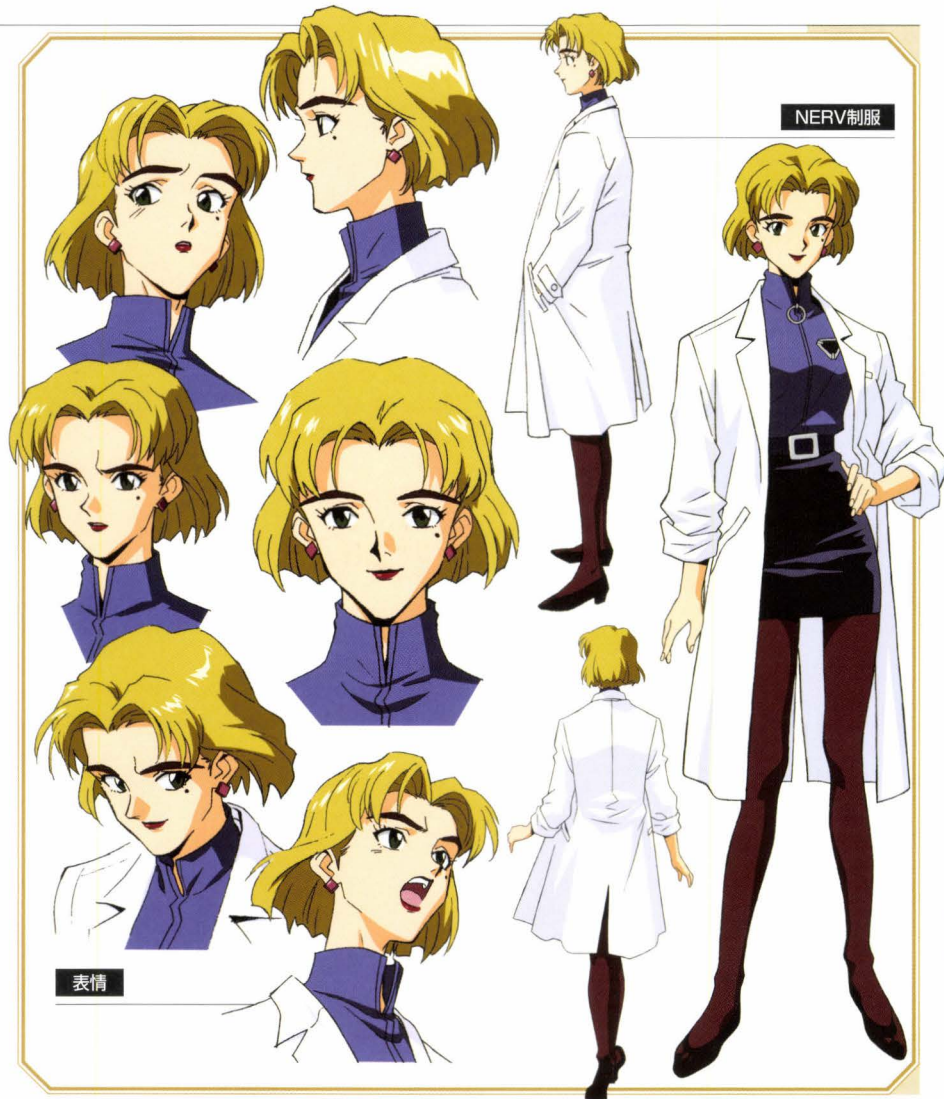
EVA関連の実験の際は必ず中心となって指揮を執っているリツコ。実験の際には何らかの問題が発生することも多いが、その度に彼女の的確な判断も手伝い、何とか事なきを得ている。また彼女は、NERV本部の全システムを制御するスーパーコンピュータであり、EVAのサポートコンピュータでもあるMAGIの運用、管理の責任者でもある。MAGIは第三新東京市の市政にまで利用されており、NERVだけではなく一都市の命運を左右するそのシステムの運用、管理を一任されていることは、リツコにとって科学者としての誇りになっているようだ。ちなみに、一般職員が知ることのないNERVの数々の秘密を知っているリツコは、ゲンドウの数少ない協力者でもある。ゲンドウが秘密裏に推進する人類補完計画に力を貸すことを己の役割としている彼女は、機密保持のために他のスタッフを結果的に騙すことになったり、倫理観に反するダミーシステムの開発を行うなど、NERVにおける暗部を担う存在にもなっている。

■ NERVにおける活動

科学者として研究を進めるだけでなく、対使徒戦においても重要な存在であるリツコ。第11使徒がNERV本部内に侵入した際は、その能力をいかんなく発揮した。MAGIへとハッキングを仕掛け、NERV本部の自律自爆を実行しようとした同使徒に対し、自滅促進プログラムを送り込むことにより自壊させることに成功したのである。これは、EVAを使用することなく使徒を殲滅した唯一の事例であり、類稀な能力を持つリツコが勝ち取った勝利と言えるだろう。

裏コードなどをもとに、自らの手でMAGIを守り抜こうとするリツコ。彼女が表立って戦った数少ない事例である。

NERV制服

表情

加持リョウジ

NERV

**NERV、日本国政府、ゼーレの三者間で
諜報活動を続けた間諜。彼は死の間際まで、
人類存亡に関わる真実を追い続けた。**

特務機関NERVの特殊監察部に所属する加持リョウジ。同時に彼は、日本国政府内務省調査部、さらにゼーレの間諜として活動している「三重スパイ」である。NERVドイツ支部に勤務していた加持は、アスカと弐号機の来日の際に護衛として同行しドイツより帰国。出向の辞令を受け、そのままNERV本部に勤務することとなった。あらゆる側面から諜報活動を続けていた加持だが、その個人的な目的は、NERVやゼーレの秘密裏の活動を知ることだったと考えられている。ただし、その真相は明らかになっておらず、結果的にその活動は葛城ミサトに引き継がれることとなった。ちなみに、来日という状況の変化は彼にとって都合の良い出来事と考えられるが、これらがゼーレらにより意図的に作られた状況だったかは定かではない。周囲には危険が増していったが、それを厭うことすらなかった加持。本人の口からあえて危険な場所に身を置いていた理由が語られることはなく、彼は死の瞬間まで真実を追い求めた。

周囲には飄々として掴み所のない人物、という印象を与える加持。無精髭と無造作に括った長髪という外見上の特徴も、そういった印象を与える要因と言えよう。

内務省のスパイに忠告を受けた際、何ごとも自分の目で確かめないと気が済まないタチだと答えた加持。組織に属していても、行動を制限されることは好まないようだ。

PERSONAL DATA
- 名前：加持リョウジ
- 年齢：30歳
- 国籍：日本
- 生年月日：A.D.1985/06/17
- 血液型：A型
- 所属：NERV/特殊監察部　他

RYOJI KAJI

Illustration by Youichi Fukano(M.I.C.)

加持リョウジ

人間関係

間諜という特殊な立場にありながら、一見、軽薄そうな印象を与える加持。外見的な印象に加え、女性に対して臆面なく甘い言葉を囁くことがそのおもな要因である。かつて恋人であったミサトだけに留まらず、古いつきあいのある赤木リツコや、ほぼ初対面だったと考えられる伊吹マヤにまでちょっかいを出していたようだ。また彼は、他人をからかうこともしばしばで、ミサトなどはその言動に翻弄されることも多かったようである。しかしその一方で、惣流・アスカ・ラングレーには保護者として紳士的に接し、碇シンジに対してはよき理解者として真剣に忠告を与えることも多く、適格者にとっては「身近にいる大人の男性」という貴重な存在であった。ただ、他人に様々な側面から関わることを厭わなかった加持だが、その一方で、自身について追及された際はのらりくらりとかわし、その本心を見せることはほとんどなかった。その飄然とした性質は、自らの本心を見せないために培われたものとも考えられる。

シンジに再びEVAに乗る決意をさせた加持。大人の男性として、道標を与える存在であったと言えるだろう。

葛城ミサトとの関係

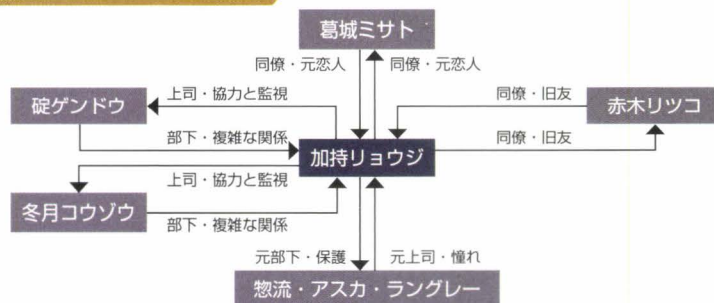
NERVの同僚であるミサト。かつて恋愛関係にあったが、加持が来日してからしばらくの間、ミサトは彼を避けるような素振りを見せていた。しかし、ミサトが加持と別れた理由を語った後、ふたりは再び恋人と呼べる関係になる。

ミサトの傍らで真剣な表情を浮かべる加持。彼女に後を託すことで、更なる危険に身をおこうという強い決意が見て取れる。

碇ゲンドウとの関係

NERVにおける加持はゲンドウの特命で動くことが多く、来日した真の目的も、復元されたアダムのサンプルをゲンドウに届けることだった。ゲンドウは彼が三重スパイであることに気づきつつ、彼を最大限に利用していたようだ。

アダムのサンプルを運ぶという、危険かつ重大な任務を遂行した加持。ゲンドウも、彼の能力を非常に高く評価していたようだ。

人物相関図(〜第拾参話)

活動

NERVを含む3つの組織を股に掛け、さまざまな情報収集に奔走していた加持。ドイツ支部から本部に転属したあとは、施設内部の探索といったNERV以外の組織への報告を主眼とした(あるいは個人的な)活動も行なっていたようだ。その立場を利用してあらゆる情報を収集していた彼の目的は、セカンドインパクト、あるいは人類補完計画の真実を知ることであったとする見方が有力である。ただし加持は、それを知って何かに利用するといった二次的な目的は持っていなかったようである。「自分の中の真実に近づきたいだけだ」と迷うことなく口にしていたことも、その証左である。彼の求めていた真実を知るためには、様々な情報を得なければならず、そのために彼は最も情報の集まってきやすいポジションを探していたとも考えられる。それが結果として、セカンドインパクトに何らかの形で関わっているであろう組織を行き来し、三重スパイをするという行為だったと言えるだろう。

NERVにおける活動

NERVにおいては、間諜以外の仕事も受け持った加持。情報公開法に基づいて請求された資料の操作(改竄)、対第7使徒戦の作戦案提示など、専門外と見られる活動もこなし、結果を残している。これらの事実から彼がオールマイティな能力を持つことは明白であり、ゆえにゲンドウは彼を重用したのである。しかし、3つの組織間をバランスよく動くべきだった彼は、後にゼーレに拉致された冬月を救出する。この行動が、NERVのみに与する行為と見られたようだ。

組織を股に掛ける活動を続けた結果、何者かにより銃撃された加持。死の直前の表情に後悔の色は見られなかった。

表情

私服

青葉シゲル

NERV

中央作戦司令室付けのスタッフ。情報分析のスペシャリストとして忠実に職務をまっとうする。

NERV本部において、中央作戦司令室付けという肩書きを持ち、オペレーターを務めるスタッフが青葉シゲルである。端的に言えばリアリストといえる性質の持ち主であるシゲル。自らについて語ることはほとんどなく、プライベートでも同僚たちと付き合いを持つ様子は見られない。私的な面で判明していることといえば、ギターが趣味のひとつということ程度である。ただ、仕事面については、やや軽そうに見える外見に反して、非常に真面目に取り組んでいる。不測の事態をアナウンスする際などには激する姿も見受けられるが、そのオペレーティング自体は正確であり、冷静に情報分析を行っているものと見受けられる。地味な裏方ではあるが、忠実に職務をまっとうする彼の存在は、中央作戦司令室において必要不可欠だったと言えるだろう。

第10使徒殲滅作戦を展開する際、退避するよう勧告した葛城ミサトに対し「これも仕事ですから」と返したシゲル。彼の業務に対する姿勢は非常に真摯なものだった。

PERSONAL DATA
- 名前：青葉シゲル
- 年齢：不明
- 国籍：日本
- 生年月日：A.D.?/5/5
- 血液型：A型
- 所属：NERV/中央作戦司令室付

SHIGERU AOBA

Illustration by Youichi Fukano(M.I.C.)

人物 CHARACTER

人間関係

中央作戦司令室付けという肩書きを持つシゲルだが、同じオペレーター業務を務める日向マコト、伊吹マヤとは異なり、所属上の上司ははっきりしない。その位置づけや中央作戦司令室でのやり取りから、冬月コウゾウが直属の上司であるとも考えられるが定かではない。私的には強い繋がりのある人物を持たないシゲルだが、同僚であるマコトとマヤとはおおむね良好な関係にあり、中央作戦司令室におけるオペレーター業務では息のあったところを見せてもいる。NERVにおけるシゲルは、適度な人間関係を築いてはいるものの、あくまでビジネスライクに職務をまっとうしているようだ。

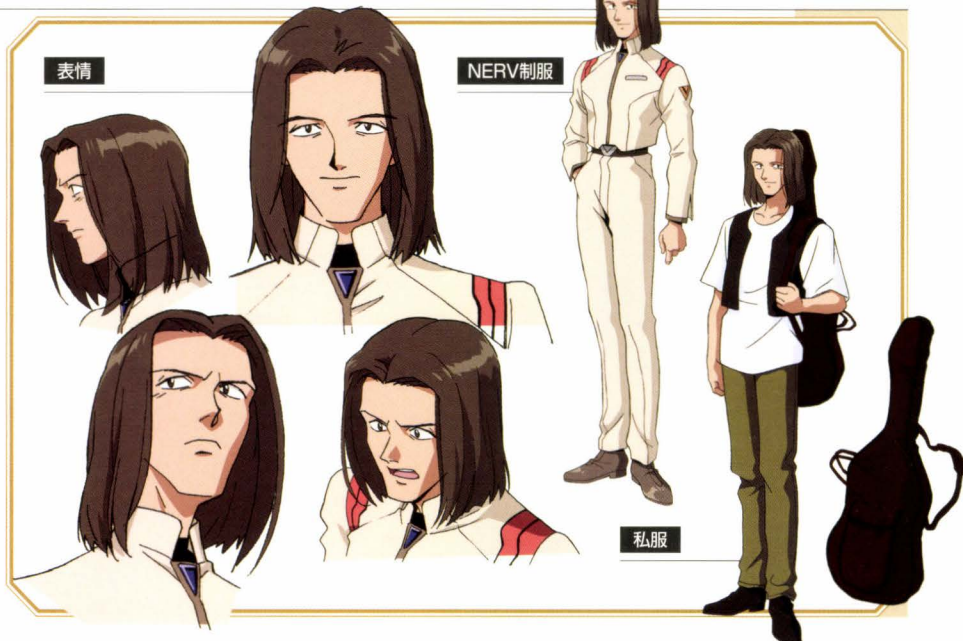
第87タンパク壁の異変について冬月の確認を取るシゲル。冬月がオペレーターと直接やり取りすることは珍しい。

表情

NERV制服

私服

日向マコト

所属 NERV

作戦局第一課に所属するスタッフ。敬愛する上司、葛城ミサトの補佐役として対使徒戦に臨む。

NERV本部戦術作戦部作戦局第一課に所属し、作戦立案、情報分析、通信など様々な任務に従事しているスタッフが日向マコトである。勤務中は厳しい表情を見せることも多いが、若干14歳である適格者のことを気遣う態度を見せることもある柔和な性格の持ち主である。職務においては、クールな青葉シゲル、少々夢見がちな伊吹マヤ、さらには上司のミサトに挟まれ、気苦労が多いポジションにいた。それでも特に問題なく職務を務めあげる彼は、作戦遂行、人間関係の双方において、緊迫した空気が流れることが多い司令室の潤滑油的役割をも果たしていたと考えられる。その一方で、選挙カーの乗っ取りや、待機中とはいえ司令室内のオペレーター席で漫画雑誌を読みながら笑うといった、なかなかの胆力も持ち合わせている行動派であった。

険しい表情を浮かべながら何かを訴えている様子のマコト。普段は穏やかな気質であるが、上司に対しても物怖じせずに発言する点は、マコトの長所と言えるだろう。

MAKOTO HYUGA

PERSONAL DATA
- 名前：日向マコト
- 年齢：不明
- 国籍：日本
- 生年月日：A.D.?/2/13
- 血液型：B型
- 所属：NERV/中央作戦司令部作戦局第一課

Illustration by Youichi Fukano(M.I.C.)

人物 CHARACTER

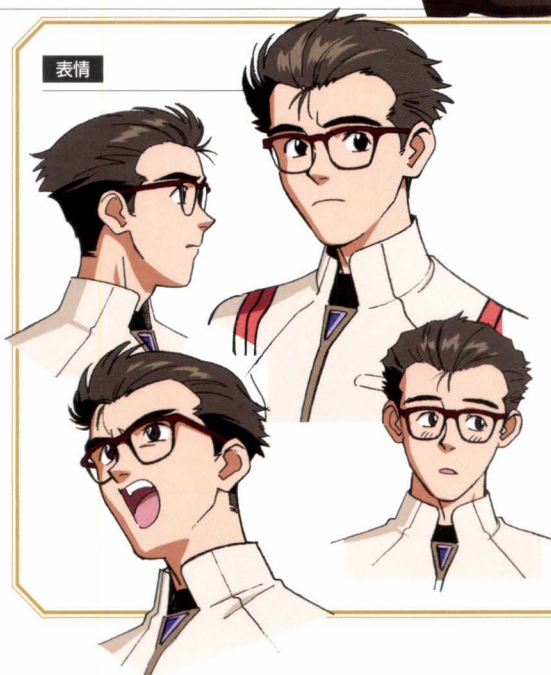
人間関係

作戦局第一課所属のマコトは、作戦部長ミサトの直属の部下にあたる。15年ぶりの使徒襲来以後、NERVは常時戦闘態勢とも言えるような緊迫した状況下に置かれた。本来ならばミサトの補佐をする立場のマコトも、戦況報告やオペレーション業務にあたる時間が大幅に増えていた。ただ、当然ながら同僚のシゲルやマヤよりも、ミサトとやり取りすることの方が多く、オペレーターとしてはもちろん情報収集能力にも秀でた彼はミサトの信頼も厚かった。彼女の依頼によりマコトは多少の危険な行為にもたびたび足を踏み入れたが、その原動力は尊敬を越えた想いだったようだ。

ミサトの右腕として側に控えるマコト。ミサトの信頼も厚く、彼女の個人的な依頼にもたびたび応えていた。

表情

NERV制服

私服

伊吹マヤ

NERV

技術局一課に所属するスタッフ。敬愛する上司、赤木リツコの指示を忠実に実行する。

NERV技術開発部技術局一課に所属し、おもにオペレーティング業務に従事しているスタッフが伊吹マヤである。彼女は大学を卒業すると同時にNERVに入所し、その後赤木リツコ直属の部下として、対使徒戦略の骨子となるE計画に携わることとなった。彼女のおもな職務はリツコの補佐だが、使徒襲撃の際には、NERV本部中央作戦司令室のオペレーター席に就いて、青葉シゲル、日向マコトとともにオペレーティング業務に従事。EVA操縦者のシンクロ率等をモニターし、情報の収集、分析を担当することとなる。非常に仕事熱心な女性で、デスクを離れるときもノートパソコンを手にしている場合が多い。ちなみにあまり表に出ることはないが、リツコにより直接教授された技術を持つ、優秀なプログラマーとしての一面も持っていたようだ。

オペレーティング、プログラミングともに、リツコの眼鏡にかなう能力を持っているマヤ。どことなくあどけなさを感じさせる女性だが、業務中は凛とした表情を見せる。

PERSONAL DATA

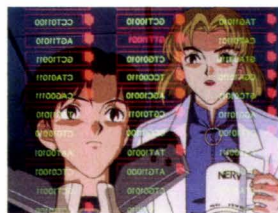
- 名前：伊吹マヤ
- 年齢：24歳
- 国籍：日本
- 生年月日：A.D.1991/7/11
- 血液型：A型
- 所属：NERV/技術開発部技術局一課

MAYA IBUKI

Illustration by Youichi Fukano(M.I.C.)

人物
CHARACTER

人間関係

技術局一課所属のマヤは、リツコの直属の部下にあたる。中央作戦司令室のオペレーター業務以外では、リツコと行動を共にすることが多いようだ。仕事に対して謹直で的確に上司を補佐する能力を持つ一方で、リツコに潔癖症と評されるなど、感情的な面ではまだ大人になりきれていない部分も見受けられる。ただし、リツコの右腕として充分な働きをしており、互いの信頼は厚いものがある。マヤはリツコに強い尊敬や羨望といった感情——愛情に近い想いを抱いている。一方のリツコも、まだ少女のような純粋さを持つマヤに救われている部分があったのかもしれない。

リツコが詳細な指示を出し、マヤが忠実に実行する。息の合った連係は、深い信頼関係の証と言えるだろう。

表情

NERV制服

私服

鈴原トウジ

所属
民間

2年A組の生徒である熱血漢。シンジとの友情を築いた彼は、後に4人目の適格者となる。

第3新東京市立第壱中学校2年A組の生徒である鈴原トウジ。彼は硬派を自称する熱血漢である。碇シンジが転入して間もなく、トウジはEVAと使徒との戦闘で妹が負傷したことに憤りを感じ、初号機のパイロットであるシンジを殴りつけた。しかし、後にその認識が誤っていたと認め、逆に自分を殴らせた。そんな一連の出来事も、彼の熱く潔い性格を表している。その一方で、入院している妹を何度も見舞っていることや、友人への態度などから情に厚い一面も見て取れる。ちなみにトウジは、後に適格者として選出され、EVAに乗ることを決意する。彼はその交換条件として、妹をNERV本部付属の医学部に転院させることを要求した。他の適格者と比べEVAに乗る理由は簡潔なものだが、それも彼の一本気な性質に起因していたと言えるだろう。

初号機のパイロットであることを明かしたシンジを、静かに睨みつけるトウジ。妹が対第3使徒戦の被害に遭っていたため、シンジに対する怒りを隠せなかったのだろう。

TOJI SUZUHARA

PERSONAL DATA
- 名前：鈴原トウジ
- 年齢：14歳
- 国籍：日本
- 生年月日：A.D.2001/12/16
- 血液型：B型
- 所属：第3新東京市立第壱中学校（のちにNERV）

Illustration by Youichi Fukano(M.I.C.)

人物
CHARACTER

人間関係

2年A組の生徒であるトウジは、学校では大抵シンジと、以前からの友人である相田ケンスケとつるんでいる。「3バカトリオ」とも呼ばれているこの3人は、親友と言って差し支えない関係にある。内向的なシンジ、どこか達観したケンスケ、そして熱血漢なトウジと、まったく違ったタイプの人間が集まって絶妙なバランスが取れていたようだ。EVAに関係する人間たちの中で、トウジのように人間らしく、また少年らしい存在は少ない。しかし、だからこそ彼の存在が際立ち、特殊な環境に生きる適格者、特にシンジに良い影響を与えていたことは間違いないだろう。

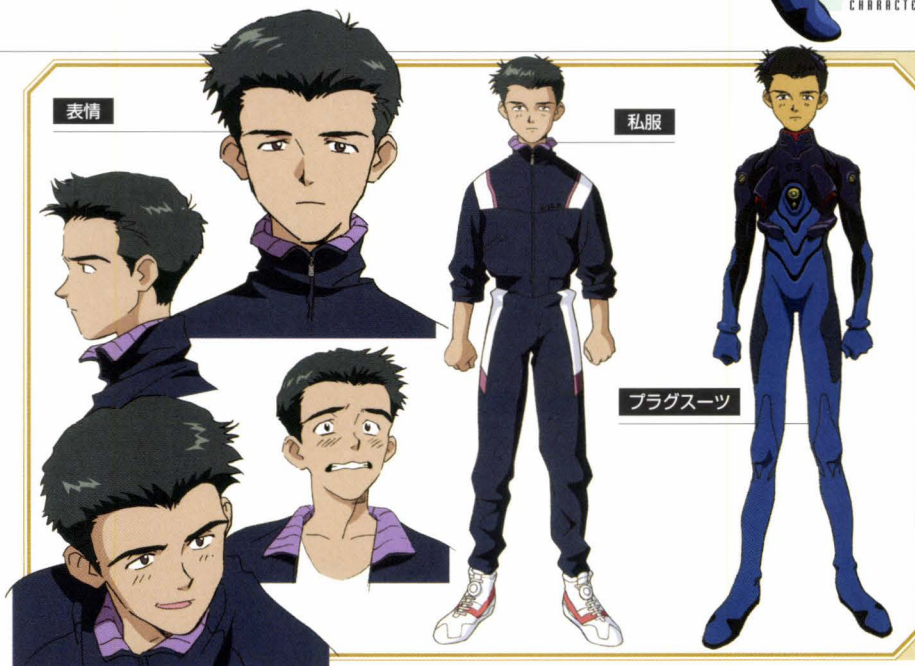
アスカに「3バカトリオ」と命名されたトウジたち。シンジとの軋轢が解消されて以来、14歳の少年らしい友情で結ばれていた。

表情

私服

プラグスーツ

相田ケンスケ

民間

2年A組の生徒である早成した人格を持つ少年。適格者の苦しみを知ってなお、憧れを抱いていた。

第3新東京市立第壱中学校2年A組の生徒である相田ケンスケ。彼は、中学2年生という年頃の少年としては珍しいほどの、熱烈なミリタリーマニアである。さらにカメラをよく携帯しているところからは、映像、画像撮影も大きな趣味のひとつであることが窺える。そんな嗜好を持つケンスケは、EVAに乗ることに対する強い憧れを抱いていた。普段はどこか達観した雰囲気の彼だが、EVAに関しては趣味への傾倒に留まらない興味を見せ、友人となったシンジの適格者としての苦しみを知ってもなお、EVAに乗ることに憧れていたようである。結局、ケンスケに搭乗のチャンスすら与えられることはなかったが、彼も適格者候補が集められていたとされる2年A組の一員ではあった。つまり、彼がEVAの操縦者となる可能性も皆無ではなかったのである。

鈴原トウジがシンジを呼び出して殴り倒した後、その行動についてフォローを入れるケンスケ。人間関係などを潤滑に運ぶべく、細かい気遣いができる性質の持ち主だった。

Illustration by Youichi Fukano(M.I.C.)

PERSONAL DATA
- 名前：相田ケンスケ
- 年齢：14歳
- 国籍：日本
- 生年月日：A.D.2001/9/12
- 血液型：A型
- 所属：第3新東京市立第壱中学校

人物 CHARACTER

人間関係

2年A組の生徒であるケンスケは、シンジやトウジと親友関係にある少年である。ただ、ケンスケは他の2人とは一線を画した多面性を持っている。自らの趣味に対しては少年らしく夢中になる様子を見せるが、友人らと何気ない会話をしている際などは、時に中学生の少年とは思えないほどに達観した考えを覗かせることがある。特に、彼の存在なしでは、シンジとトウジが和解することも簡単ではなかっただろう。まったく性格の違う彼らだが、達観した様子で周囲に気を配るケンスケがいたからこそ、それぞれ心地よい関係を築くことができたのではないかと思われる。

普段のミサトの様子を聞き「それって家族じゃないか」というケンスケ。シンジに何かを気付かせる機会も多かった。

表情

中学校制服

私服

洞木ヒカリ

所属
民間

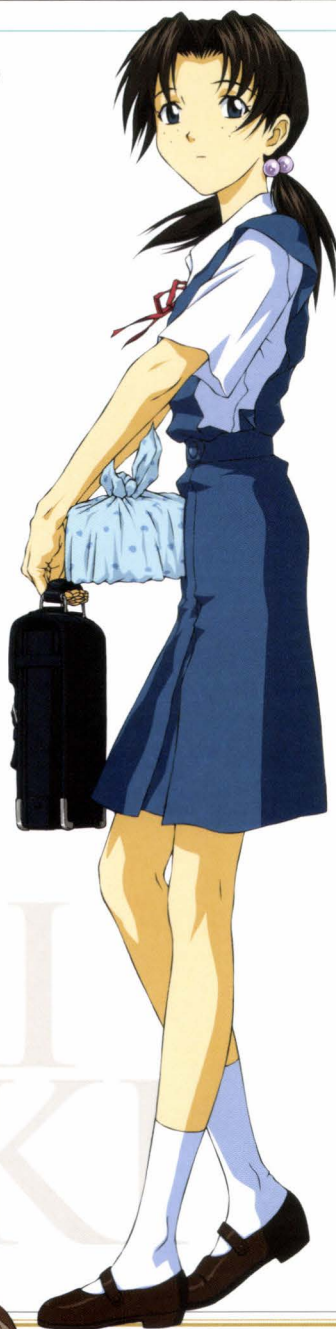
2年A組のクラス委員長を務める生真面目な少女。密かに鈴原トウジに想いを寄せるが……。

第3新東京市立第壱中学校2年A組のクラス委員長である洞木ヒカリ。性格的には生真面目で、思ったことをはっきりと言える一面を持つため、委員長の任には非常に適した人材である。少々怒りっぽく見える部分も、責任感の強さに由来するものと考えられる。授業中は真剣な面持ちで学業に励み、休み時間にはクラスの友人と他愛ない会話を楽しみ、時には恋愛について密かに心を悩ませることもある。そんなヒカリの日常は、いかにも「普通の中学生の女の子」らしいものだ。2015年においては、第3新東京市で暮らす多くの少年少女が、否応なく使徒襲来という危険と隣り合わせの場に身を置いたが、大多数は何気ない日常の中で生活していた。ヒカリもまた、日常的な生活を営むことを許された幸いな存在だったといえるだろう。

教師ですら放置する騒がしい教室内で、クラスメイトに強く注意を促したヒカリ。ややヒステリックな面もあるが、委員長としての責任感を強く感じさせる行動である。

HIKARI HORAKI

PERSONAL DATA
- 名前：洞木ヒカリ
- 年齢：14歳
- 国籍：日本
- 生年月日：A.D.2002/2/18
- 血液型：不明
- 所属：第3新東京市立第壱中学校

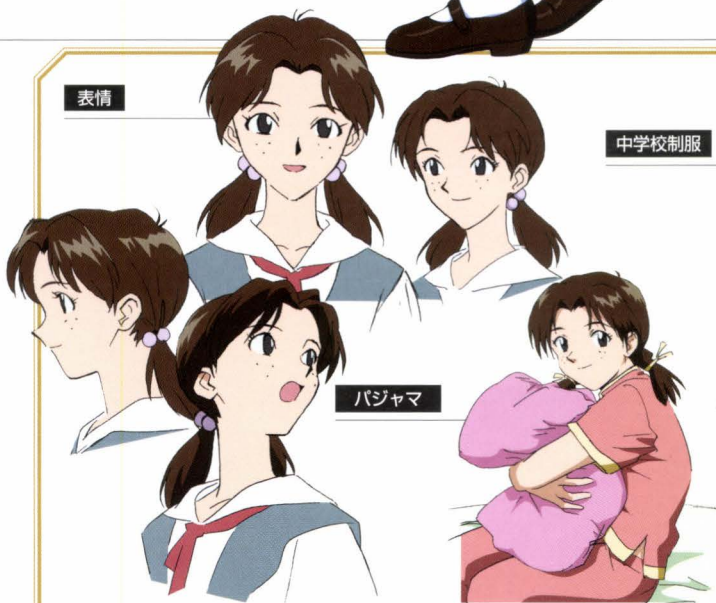
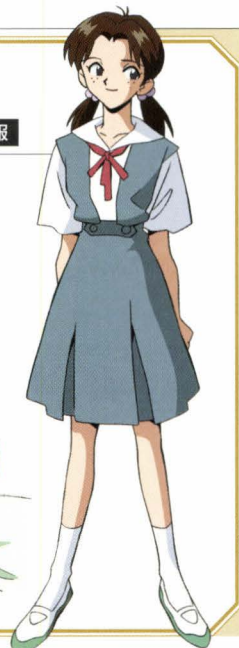
Illustration by Youichi Fukano(M.I.C.)

人物
CHARACTER

人間関係

2年A組のクラス委員長であるヒカリは、その生真面目な性格ゆえに男子からは「面倒な存在」と思われることがある。しかし、彼女は意志を曲げることなく責務をまっとうしており、女子生徒との関係は良好なようである。クラス内では特にアスカと仲がよく、恋愛相談を持ちかけたこともあるほどだ。ちなみにヒカリは、密かにトウジに想いを寄せていた。普段はふざけてばかりいるように見えるトウジだが、その実、妹想いであったり、友人想いであったりと、隠れた優しさを持つ少年である。長い間彼を見続けてきたヒカリは、それを見抜いていたのだろう。

トウジにお弁当を作るため、料理雑誌に目を通すヒカリ。少しでも想いを伝えようとした、精一杯の行動だった。

表情
中学校制服
パジャマ

所属
ゼーレ

キール・ローレンツ

**人類補完委員会の議長にしてゼーレの最有力者。
補完計画の果てに、人類の新たな姿を見出す。**

国連の諮問機関であり、NERVが推し進める「人類補完計画」のスケジュール進捗を指導、監査する「人類補完委員会」議長を務める謎の男。独・英・米・露・仏の代表からなる委員会においては癖の強い人物が多いが、そこでのキールの発言力は非常に強く、長足りえる人物として認められていたようだ。さらに彼は、国連にも多大な影響力を持つ国際的秘密組織ゼーレの主要メンバーでもある。彼自身の個人情報ついては、その名前と、ドイツ国籍を持つこと、その体のほとんどが機械化されているということ以外は明らかになっていない。機械化により生き長らえ、人類補完の瞬間を待っていたと予想されるキール。その執念は並々ならぬものであり、彼は同計画の発案者である碇ゲンドウと袂を分かつかたちで計画の成就に邁進した。

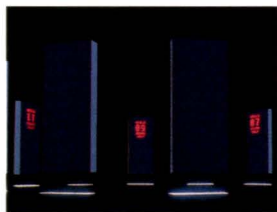
KIEL LORENZ

厳格な雰囲気を身にまとい、議長として人類補完委員会の意思をまとめていたキール。独断の目立つゲンドウに対しては、厳しい態度で苦言を呈すことが多かった。

Illustration by Youichi Fukano(M.I.C.)

人物
CHARACTER

人間関係

人類補完委員会議長であるキール。ただし、彼の本来の立場はゼーレ最高幹部である。何人存在するか定かではないが、彼は最高幹部の中でも首席、あるいはそれに準ずる存在だったと思われる。どちらの立場においても、その発言力は絶大なものであった。なお、キールは少なくともセカンドインパクト前後から、ゼーレに在籍していたことが判明している。その当時から、ゲンドウとは知己であったようだが、二者間に馴れ合いはなく、逆に独断が目立つゲンドウを危険視していたようだ。キールは人類補完計画発動の直前、実力行使というかたちでその意志を明確にした。

モノリスの映像を通じ、音声のみで行われるゼーレ最高幹部会議。キールを表わすモノリスはNo.01となっている。

表情

制服

所属
民間

ペンペン

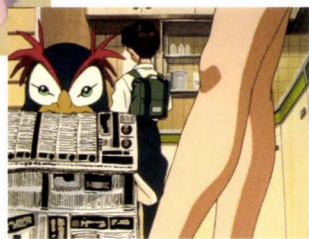
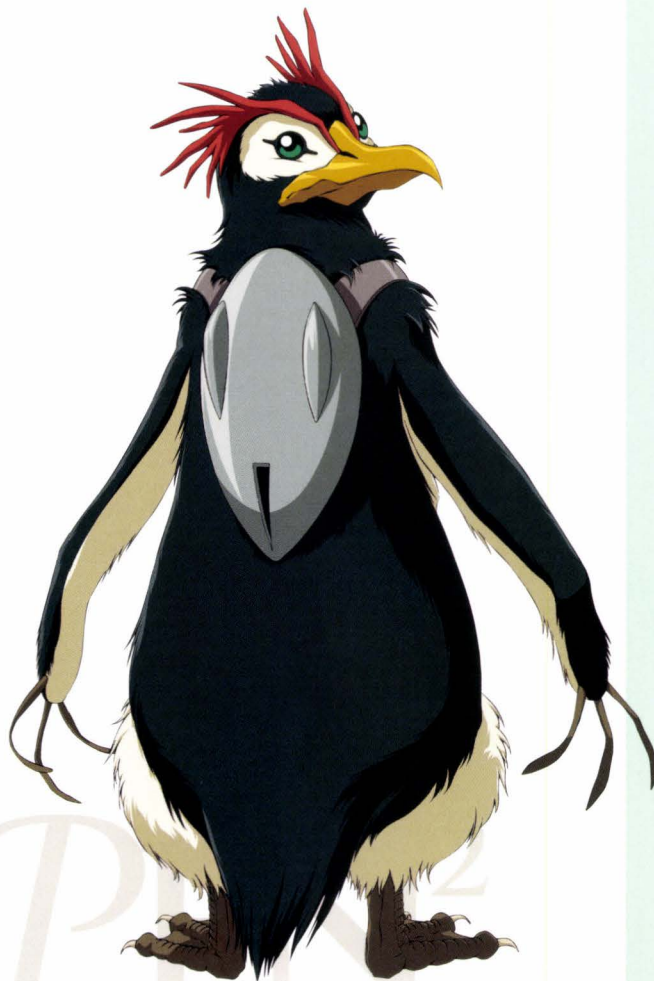
葛城家で暮らす、高い知能を持つ温泉ペンギン。その愛くるしい姿は、ミサトらに癒しを与えた。

葛城家の住人であるペンペン。故あってミサトに引き取られた新種の温泉ペンギンで、非常に知能が高く、他の愛玩動物と比べて遥かに世話がしやすかったものと思われる。温泉ペンギンは正統な進化を遂げたペンギン類ではなく、人工的に生み出された亜種と考えられており、寝床として気温の低い場所を好む、風呂や温泉を好む、そして人語をある程度は理解する高い知能を有しているといった特徴を持っている。基本的には、あくまで本能の赴くままに生きる愛玩動物だったペンペンだが、同居人らの言葉を理解していた節も見受けられた。時には同居人の心情を思いやるような表情を見せるなど、人間味すら感じられる行動をとることもあった。使徒との戦いの渦中に身を置く同居人たちにとって、貴重な存在であったことは間違いない。

温泉ペンギンというだけあって、葛城家においては頻繁に入浴しているペンペン。なお、胸につけたネームプレートの「BX293A」というナンバーは個体識別番号と思われる。

新聞を抱え、テレビ欄に目を通しているペンペン。非常に知能が高く、文字の判別が可能であるようだ。ただし、テレビ欄以外の記事も読んでいるかは定かではない。

Illustration by Youichi Fukano(M.I.C.)

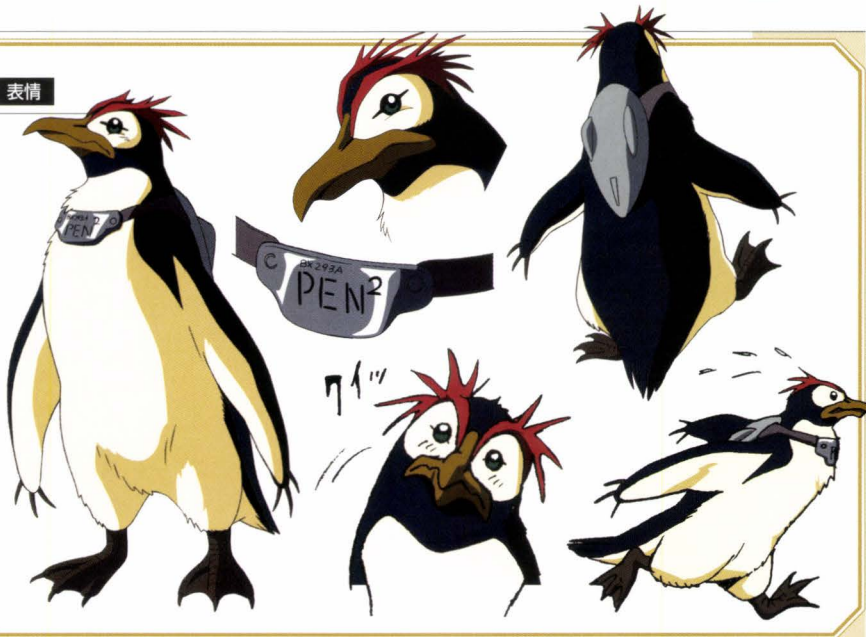
PEN²

人物
CHARACTER

人間関係

葛城家の住人であるペンペン。飼育には専用の冷蔵庫（寝床）が必要になるなど面倒な面もあったが、知能が非常に高く、葛城家で自由気ままに暮らしていた。その愛くるしい容姿は、後に同居人となったシンジとアスカにとっても癒しの存在となったようだ。ちなみにペンペンは、実験動物として処分される間際、ミサトに引き取られたとも言われている。ペンペンはそれに深い絆を感じているのか、ミサトの心の機微を感じ取ることに長けていた。なおペンペンは、後に疎開する洞木家に預けられたが、これはミサトにとって家族との別れに等しいものだったようだ。

「しばらくお別れね」というミサトと、返事をするように鳴くペンペン。ふたりのあいだには意思の疎通が見て取れた。

表情

BX293A
PEN²
クイッ

その他の人々

使徒襲来という危機に直面した人類。使徒の脅威は、軍人、民間人を問わず、それぞれの活動に多大な影響を与えた。

国連軍関係者

国連軍とNERVは、どちらも国連の一組織である。ただし、NERVは使徒殲滅をおもな任務とする特務機関であり、その力を知らしめた第3使徒襲来以降、対使徒戦のイニシアチブは彼らが握ることとなった。結果的にそのサポートにまわることを余儀なくされた国連軍の中には、国連第2方面軍高官や太平洋艦隊を率いたオーバー・ザ・レインボウ艦長と副艦長のように、自分たちがそれまでの世界平和を守ってきたと自負するものも多かった。そのため、組織間の関係は必ずしも良好とはいえず、国連軍関係者の言葉や態度の端々に懐疑的、あるいは侮蔑的な感情が見え隠れしていた。

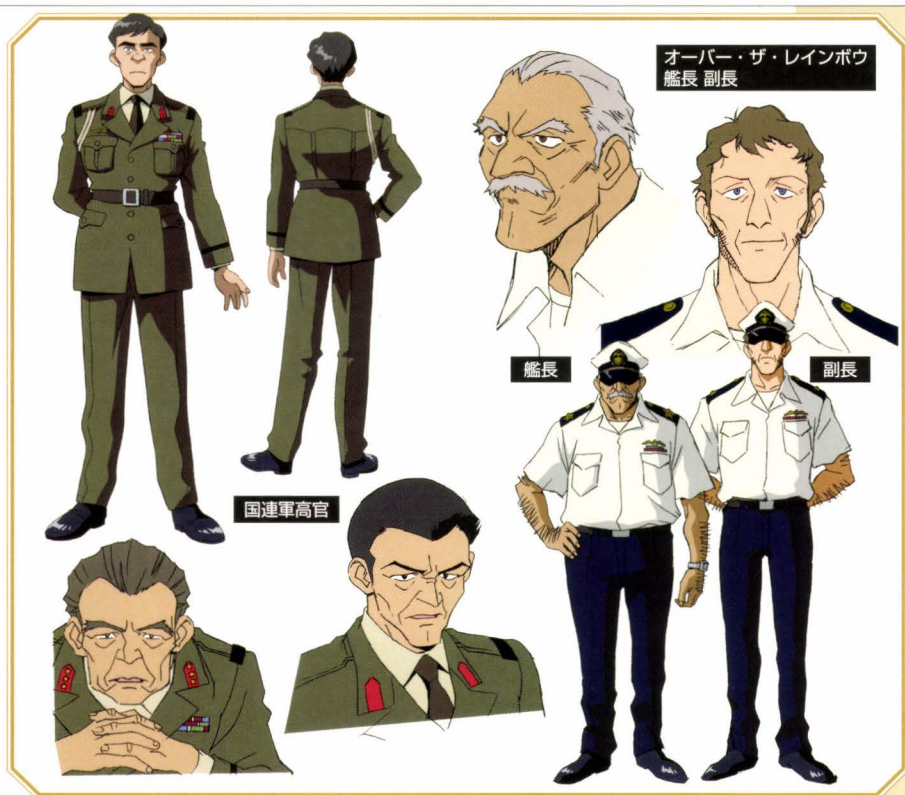
いかにも軍人といった出で立ちの、国連第2方面軍高官。新設されたNERVを快く思っていなかったようだ。

NERVに懐疑的な態度だった艦長たち。しかし、第6使徒の襲撃を受けた際は、速やかに協力体制をとった。

国連軍高官

オーバー・ザ・レインボウ 艦長 副長

艦長

副長

民間人

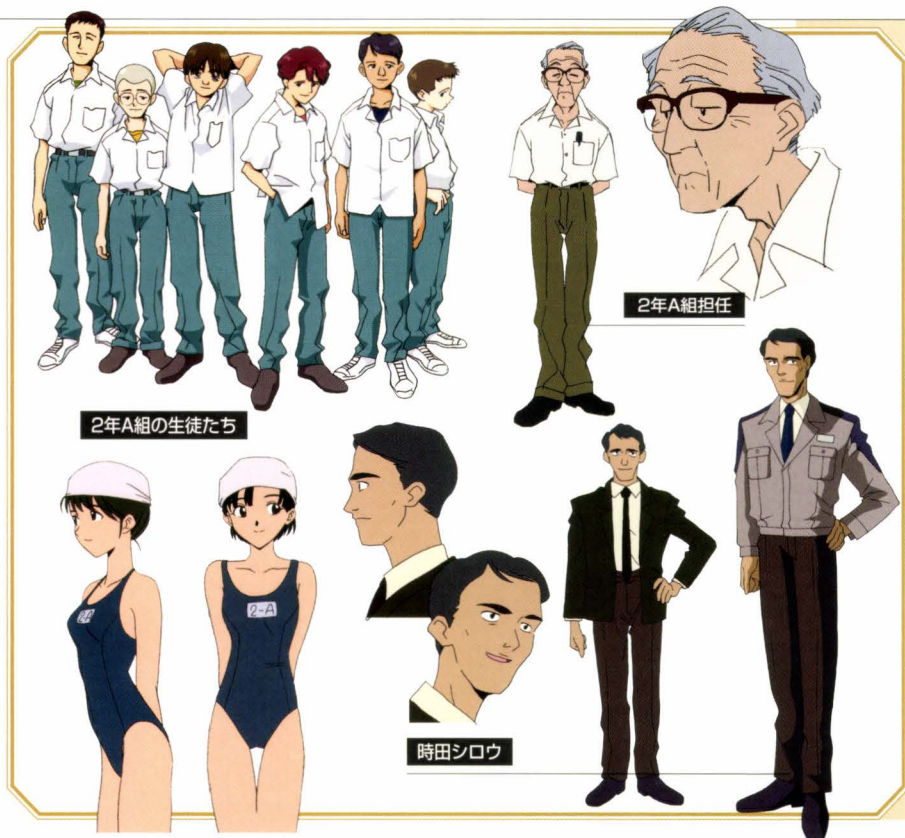
使徒の襲来が民間人に与える影響は多大であったが、それにより被害を受けたものと、何らかの利益を得たものの明暗ははっきりと分かれている。新東京市立第壱中学校の2年A組は殺伐とした世界に生きる適格者たちの癒しの場となったが、そのクラスメイトたちは第3使徒の襲撃以降、疎開を余儀なくされるものが増えていった。逆に使徒襲来により、使徒に対抗しうる人型自走兵器の建造という役割を得た、日本重化学工業共同体のような民間組織も存在。時田シロウが代表を務める同組織は、実質的に日本国政府の後押しを受けていたとも言われている。

使徒襲来という危機を体験した2年A組の生徒たち。数日後には14歳の少年少女らしい無邪気さを見せていた。

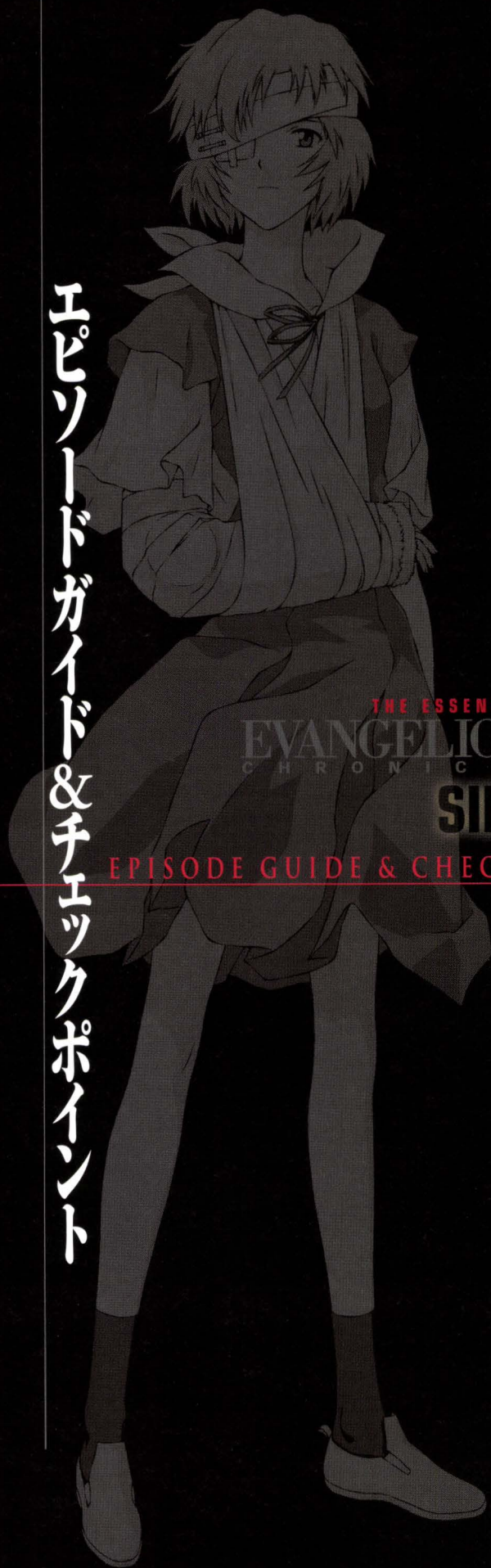
J.A.の性能に絶対の自信を持つ時田。才女として名高い赤木リツコをやり込めるほどの逸材だった。

2年A組担任

2年A組の生徒たち

時田シロウ

エピソードガイド&チェックポイント

THE ESSENTIAL
EVANGELION CHRONICLE
SIDE A

EPISODE GUIDE & CHECK POINT

新世紀年表

年代	出来事
約40億年前	ファースト（ジャイアント）インパクト発生により月が誕生
不明	秘密結社ゼーレ誕生
1999年	冬月コウゾウ、碇ユイ、六分儀ゲンドウと出会う
不明	葛城調査隊、南極大陸にて調査開始
2000年8/15	葛城調査隊、フィールドの自我境界信号実験
2000年9/12	葛城調査隊から、碇ゲンドウら一部が日本に帰国
2000年9/13	葛城調査隊、遺伝子提供者とアダムの接触実験
	セカンドインパクト発生。20億人以上が死亡。日本から四季が消える
2000年9/15	インドーパキスタン国境で起きた難民同士の衝突が契機となり、世界各地で軍事衝突が発生
2000年9/20	東京に新型爆弾が投下。50万人が死亡
2001年2/14	バレンタイン休戦臨時条約が締結
2001年	碇シンジ誕生
	日本臨時政府、長野県松本市に遷都決定。第2新東京市の建設に着工
2002年	第一次国連南極調査団、南極へ派遣
	国連、セカンドインパクトを大質量隕石によるものと公式発表
2003年	冬月コウゾウ、人工進化研究所で碇ゲンドウを告発
	南沙諸島において中国とベトナムが武力衝突。これを契機に戦略自衛隊が発足
2004年	碇ユイ、実験中に消失
	碇ゲンドウ、人類補完計画を立案
2005年	第二次遷都計画、国会で承認。富士箱根において第3新東京市の建設に着工
	赤木リツコ、第2東京大学にて葛城ミサトと知り合う
	赤木リツコ、葛城ミサトから加持リョウジを紹介される
	惣流・キョウコ・ツェペリン、接触実験により重度の精神障害を負う
	惣流・キョウコ・ツェペリン、自殺
2008年	赤木リツコ、ゲヒルンに入所。E計画に配属
2010年	碇ゲンドウ、綾波レイの保護者となる
	スーパーコンピュータMAGIシステム完成
	赤木ナオコ、転落事故により死亡
	調査機関ゲヒルン解体。同日、特務機関NERV誕生

“セカンドインパクト”の発生とその後の世界

西暦2000年9月13日、セカンドインパクトと呼ばれる大爆発が南極で発生。その結果、南極の氷が融解、併せて津波が発生し、海面が数十mにわたり上昇した。これにより当時の世界人口の半数が死亡。世界各地で紛争や飢饉が相次ぐ。その後2001年2月14日にバレンタイン休戦臨時条約が結ばれ、世界は復興に向かうのだが……。

地球の自転軸が傾いた結果、四季が消えて常夏の国となった日本。当時、水没した沿岸部では大型船や小舟で暮らす人々も見られた。

2015年

9/21

- 人類補完計画、発動
- 第17使徒タブリス、リリスと接触。初号機により殲滅
- フィフスチルドレン渚カヲル、本部着任
- 惣流・アスカ・ラングレー失踪。1週間後、保安諜報部により保護
- 第16使徒アルミサエル、襲来。零号機の自爆にて殲滅
- 第15使徒アラエル、襲来。零号機がロンギヌスの槍を用いて殲滅
- 碇シンジ、サルベージに失敗するも生還
- 第14使徒ゼルエル、襲来。暴走した初号機が殲滅、捕食してS^2機関を摂取。碇シンジ、初号機に取り込まれる
- 第13使徒バルディエル、EVA3号機に寄生。起動実験にて活動開始。ダミーシステムの初号機により殲滅
- EVA3号機、米国NERV第1支部から日本へ空輸
- 鈴原トウジ、フォースチルドレンに選出
- 米国NERV第2支部、実験中のEVA4号機と共に消失
- 第12使徒レリエル、襲来。初号機、虚数空間に捕らわれるも自力脱出にて使徒を殲滅
- 人類補完委員会特別召集会議が行われる
- 第11使徒イロウル、本部に侵入。自滅促進プログラムにより殲滅
- 第10使徒サハクィエル、襲来。EVA3体により殲滅
- ロンギヌスの槍、南極から回収
- 第9使徒マトリエル、襲来。EVA3体により殲滅
- 第3新東京市、人為的な停電に見舞われる
- 成体前の使徒、浅間山火口にて発見。捕獲作戦は失敗、第8使徒サンダルフォンとして殲滅
- 第7使徒イスラフェル、襲来。二点同時過重攻撃作戦により殲滅
- 加持リョウジ、NERV本部に出向辞令
- 惣流・アスカ・ラングレー、第壱中学校へ転入
- EVA弐号機を輸送中の太平洋艦隊、第6使徒ガギエルと遭遇。弐号機との共同戦線により殲滅
- J.A.完成披露記念会が開催。公試運転にて制御不能になるも炉心融解寸前に停止
- 第5使徒ラミエル、襲来。ヤシマ作戦により殲滅
- 碇シンジ、家出。3日後、保安諜報部により保護
- 第4使徒シャムシエル、襲来。初号機によって殲滅
- 第3使徒サキエル、襲来。暴走したEVA初号機によって殲滅
- EVA零号機起動実験。零号機制御不能となり凍結。綾波レイ、重傷を負う

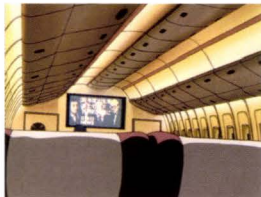
人類の敵"使徒"の襲来と"特務機関NERV"

セカンドインパクトから15年、"使徒"と呼ばれる超常の存在が襲来する。世界的な影響力を持つ秘密結社ゼーレは、それを"裏死海文書"と呼ばれるもので予見。来るべき日に備え、対使徒組織である"特務機関NERV"を発足させていた。そこで開発された対使徒兵器"エヴァンゲリオン"をもって、人類は使徒の襲来に抗するのであった。

人類とは相容れない敵、使徒を迎撃するための要塞都市"第3新東京市"と、汎用人型決戦兵器・人造人間エヴァンゲリオン。

セカンドインパクト後の世界情勢

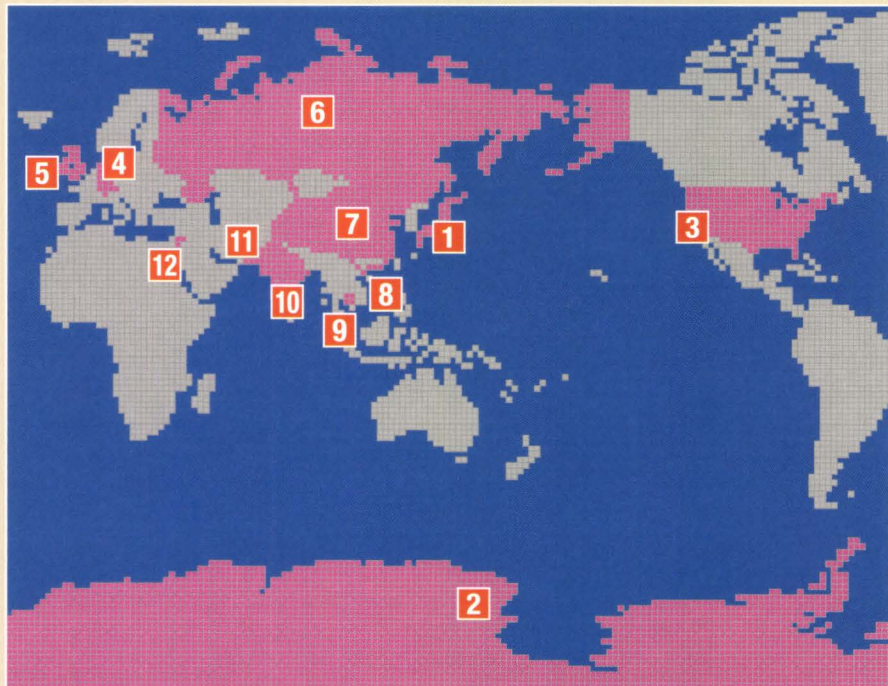
世界の情勢
Situation of World

セカンドインパクト後の情勢不安は世界的な飢饉や紛争を招いた。しかしながら、バレンタイン休戦臨時条約により事態は収束に向かう。国連は世界規模の復興と再建を担う組織として再編成され、事実上の世界政府として機能。南沙諸島の紛争などはあれども、世界は安定の道を歩み出す。

セカンドインパクト後は世界的に出生率が年々低下しているというニュースが流れている2015年。これが災厄の結果かどうか因果関係は不明である。

セカンドインパクトとは？

南極に落下した大質量隕石によって引き起こされた大災害。発生直後の津波と溶けだした氷による海面上昇で20億の人々が死亡した。また、その後の混乱期に軍事衝突や民族紛争が発生している。

セカンドインパクト後の南極。海は赤く、塩の柱が立ち並ぶ。そこは微生物に至るまで生物が存在しない、死の世界となってしまった。

世界の主要国と紛争地域

1 日本　2 南極　3 アメリカ　4 ドイツ
5 イギリス　6 ロシア　7 中国　8 南沙諸島
9 カンボジア　10 インド　11 パキスタン　12 ヨルダン

セカンドインパクト後は南極大陸が消滅。アジア～パキスタンなどの中東圏では紛争が勃発し不安定な情勢が続いた。再編後の国連には米、独、英、露が主要国の地位に収まっている。なお、2015年にも南沙諸島を巡ってのテロ活動が続いているようだ。

日本の情勢
Situation of Japan

海面上昇の影響で沿岸部は水没し、関東の地形は様変わりした。復興において政府は独自の戦力である戦略自衛隊を発足。その裏で、使徒の襲来が予測されていたためNERV本部と共に第3新東京市が建設され、世界的に重要なエリアとなる。

旧東京市 三鷹区

東京都心は新型爆弾によって壊滅。首都機能は長野県松本市の第2新東京市に移転した。その結果、2015年の三鷹は市から区になっている。

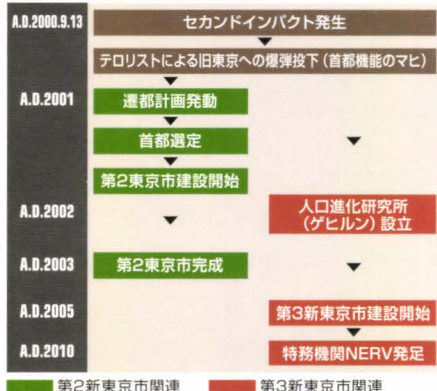
●第2、第3新東京市建設の流れ

年	第2新東京市関連	第3新東京市関連
A.D.2000.9.13	セカンドインパクト発生	
	テロリストによる旧東京への爆弾投下（首都機能のマヒ）	
A.D.2001	遷都計画発動	
	首都選定	
	第2東京市建設開始	
A.D.2002		人口進化研究所（ゲヒルン）設立
A.D.2003	第2東京市完成	
A.D.2005		第3新東京市建設開始
A.D.2010		特務機関NERV発足

■第2新東京市関連　■第3新東京市関連

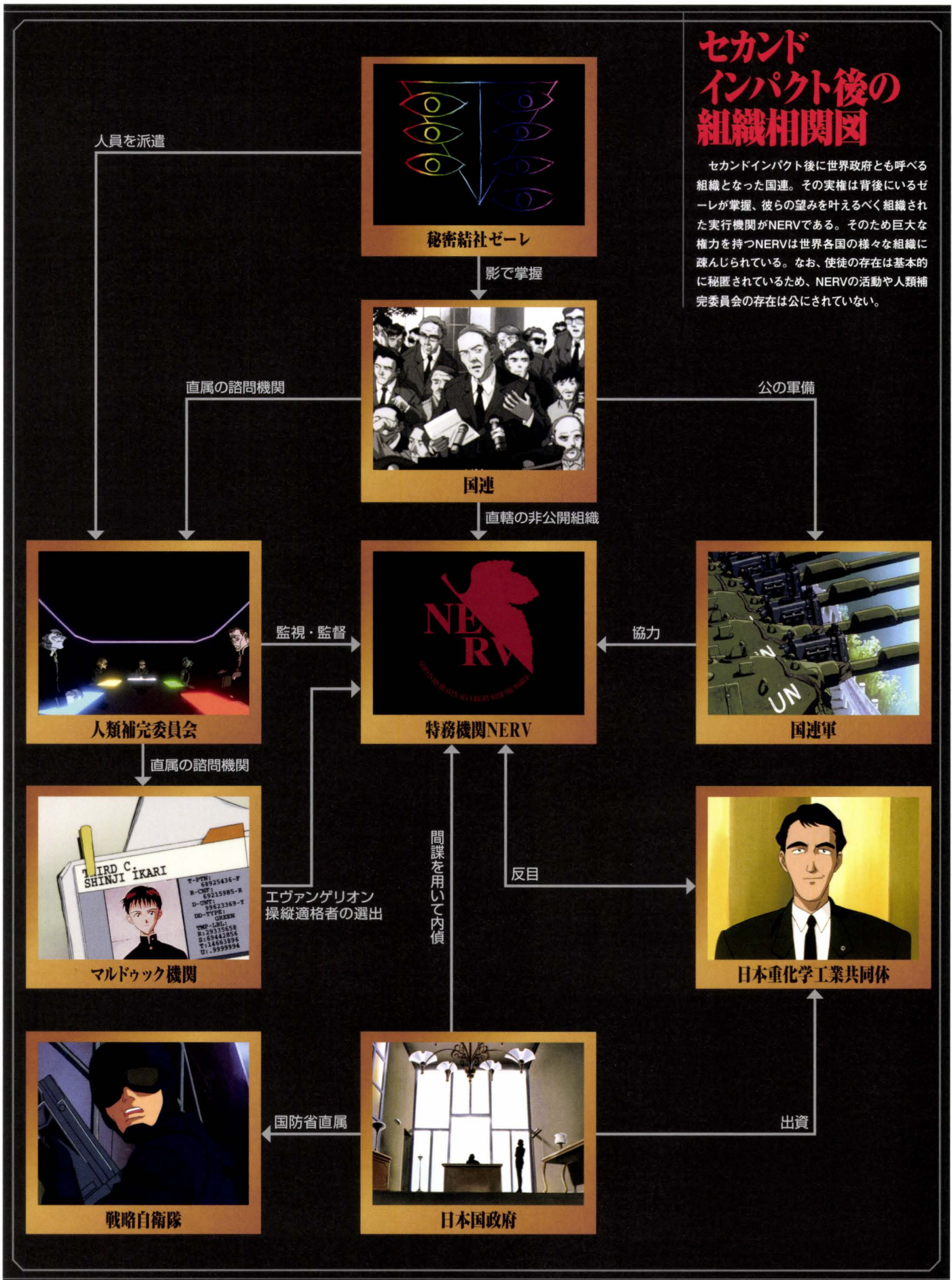
A.D.2015年における関東エリア

□主要都市　●主要施設

NERV実験場（松代）
小松基地
浅間山地震観測研究所
第2新東京市（首相官邸）（国連本部）
戦略自衛隊つくば技術研究本部
入間基地
百里基地
新厚木基地
旧東京
第3新東京市（NERV本部）
愛知県豊橋市
第3新東京国際空港
新横須賀基地

第3新東京市とは？

人類の敵である謎の存在“使徒”を迎え撃つための武装要塞都市。人類の対使徒兵器エヴァンゲリオンを効率良く運用するために用意された、大規模なバックアップ施設ともいえる。

セカンドインパクト後の組織相関図

セカンドインパクト後に世界政府とも呼べる組織となった国連。その実権は背後にいるゼーレが掌握、彼らの望みを叶えるべく組織された実行機関がNERVである。そのため巨大な権力を持つNERVは世界各国の様々な組織に疎んじられている。なお、使徒の存在は基本的に秘匿されているため、NERVの活動や人類補完委員会の存在は公にされていない。

秘密結社ゼーレ
人員を派遣
影で掌握
国連
直属の諮問機関
公の軍備
直轄の非公開組織
人類補完委員会
監視・監督
特務機関NERV
協力
国連軍
直属の諮問機関
マルドゥック機関
THIRD C.
SHINJI IKARI
エヴァンゲリオン操縦適格者の選出
間諜を用いて内偵
反目
日本重化学工業共同体
戦略自衛隊
国防省直属
日本国政府
出資

第壱話 使徒、襲来

SCENE/CHECK POINT

西暦2015年。巨大な怪物体が紺碧の海を割って日本本土へと上陸した。待ちかまえていた国連軍は、その怪物体──使徒へ総攻撃を仕掛けるも、まったくダメージを与えることができない。その戦況を冷静に見据える男、碇ゲンドウ。切り札とも言うべきn^2地雷でも目標を撃破できなかった国連軍は、やむなくゲンドウが指揮する特務機関NERVに作戦指揮権を委譲した。その頃、NERV司令官である父に招聘され近くの街まで来た中学生の少年、碇シンジは、使徒と国連軍の戦闘に巻き込まれるも、迎えに来たNERVの士官、葛城ミサトに救われNERV本部へと向かう。本部へ到着したシンジは、ミサトに案内され赤木リツコ博士と対面。そして3年振りに再会した父から、使徒撃退のために人型兵器エヴァンゲリオン初号機に乗るよう命令される。拒絶するシンジだったが、自分が乗らなければ綾波レイと呼ばれた重傷の少女が代わりに乗ると知り、彼はEVAに搭乗する決意を固める。シンジを乗せ出撃する初号機。かくて、史上初のEVA対使徒の戦いが始まろうとしていた。

STAFF LIST

第壱話（初回放映日：95.10.4）

脚　本：庵野秀明
絵コンテ：摩砂雪、庵野秀明
演　出：鶴巻和哉
作画監督：鈴木俊二

第壱話
使
徒、襲来

NEON
GENESIS
EVANGELION
EPISODE:1
ANGEL ATTACK

COLUMN

物語の序章となるエピソードだが、細かい部分では伏線ともなるセリフや用語が、既にさりげなく随所に散りばめられている。例えばシンジに対してミサトの「苦手なのね、お父さんが。私と同じね」というセリフや、無人の初号機の右手が自律的に動きシンジを守るシーンでの「彼を守った？」というミサトの驚嘆などは見逃せない。あるいはマルドゥックの報告書、シンクロ率や暴走など、キーワードとなる単語もなんの説明もなく会話の中に登場。想像がかきたてられる。

SCENE 1 2

海中より接近する物体、使徒。迎え撃つ国連の戦闘部隊だが、使徒はその攻撃をものともしない。

SCENE 3

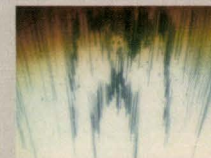
NERVに呼ばれた碇シンジは、非常事態宣言が発令された街中にいた。そこで一瞬少女の影を見る。

ああ、間違いない。使徒だ

SCENE 4

使徒と国連軍の戦闘に巻き込まれたシンジを救ったのは、彼を迎えに来たNERVの葛城ミサトだった。

SCENE 5

国連軍は、使徒侵攻を阻止するため、n^2地雷を使用。強烈な爆発に呑み込まれる使徒。だが──。

SCENE 6 7

使徒はn^2兵器を用いてすら倒せなかった。これを見た国連軍高官は、渋々作戦指揮権をNERVへと委譲。

そのための、NERVです

SCENE 8

NERV本部へと到着したシンジは、ミサトの適当な案内のせいで、本部内で迷子になってしまう。

EPISODE 1 ANGEL ATTACK

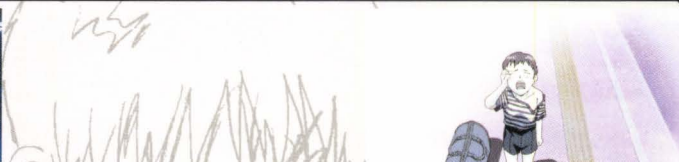
SCENE 9

数時間かけて自己修復を完了した使徒は再び活動開始。だがゲンドウも副官の冬月も至って冷静だ。

SCENE 10

赤木リツコ博士を紹介されたシンジ。リツコは、彼を人型兵器エヴァンゲリオンと対面させる。

SCENE 11

使徒が本部へと接近。ゲンドウは実子シンジに、初号機で使徒を撃退せよと冷徹に命じるのだった。

父さんは僕がいらないんじゃなかったの!

SCENE 12

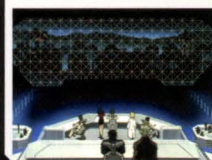
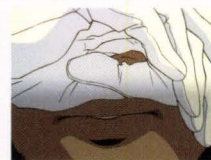
使徒はついに本部に気づき、ジオフロントへも被害が及ぶ。そしてシンジはEVAに乗る決意を固める。

逃げちゃだめだ。逃げちゃだめだ。
逃げちゃだめだ。逃げちゃだめだ。
逃げちゃだめだ……

SCENE 13

これまで一度も起動したことのない初号機だったが、シンジは見事にシンクロ。出撃体勢が整う。

SCENE 14

地上へと射出された初号機。その眼前に使徒が迫る。初号機VS使徒の対決が、今始まろうとしていた。

01 第3使徒サキエル戦（国連軍戦）

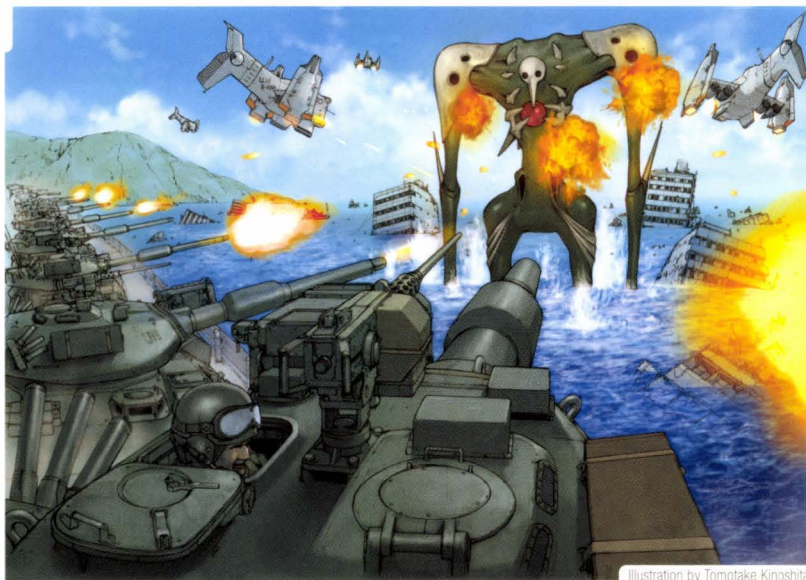
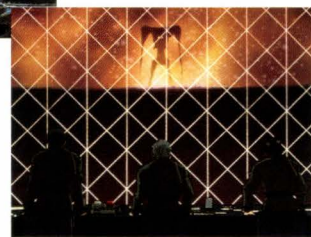
作戦 TACTICS

15年振りに出現した、謎の戦闘兵器——使徒。これに対するは、国連軍の威信と総力を賭けた迎撃作戦である。

Illustration by Tomotake Kinoshita

上陸を果した使徒に対し、国連軍はVTOL戦闘機を中心とした航空戦力で応戦。猛攻撃をかけるも戦果は思わしくなく、足止めすることさえできなかった。

最終手段として、国連軍はn^2地雷の使用を決断。目標を地雷の埋設地点へと誘導し、爆破を行う。だが殲滅は叶わず、若干の損害を与え、その活動を一時的に抑止するに留まる。

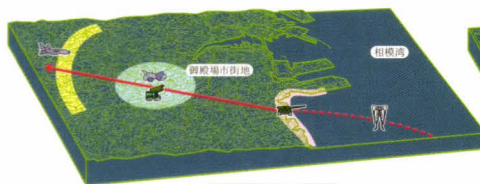
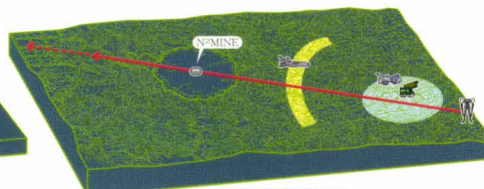
15年振りに出現した第3の使徒をまず迎え撃ったのは国連軍であった。上陸地点では多数の戦車部隊が目標を一斉砲撃、上陸後は航空機を主体とした総力戦が展開された。だが使徒の戦闘能力は国連軍の予想を大幅に上回り、投入した戦力はほぼ壊滅。ついにn^2地雷を用いるに至るが殲滅は適わず、作戦指揮権はNERVへと委譲された。

サキエル迎撃

n^2地雷の使用

Illustration by Twinbell (Tokiko Yuzawa)

02 第3使徒サキエル

使徒 ANGEL

15年振りに現れたという3番目の使徒。国連軍を退け、第3新東京市へと向かう。人型をしており、えらのような部位で呼吸らしき行為を行う。また、掌部から伸びる光の槍を持ち、再生後は顔らしき部位より怪光線を放つようになった。

n^2地雷によりダメージを受けたサキエルは、破損した顔らしき部位がふたつに増殖。単なる修復以上の能力を示唆するものでもある。

SACHIEL

DATA
- 呼称：第3使徒
- 天使名：サキエル
- 象徴：水
- 能力：光の槍、怪光線、自爆

Illustration by Hirofumi Ichikawa

上半身

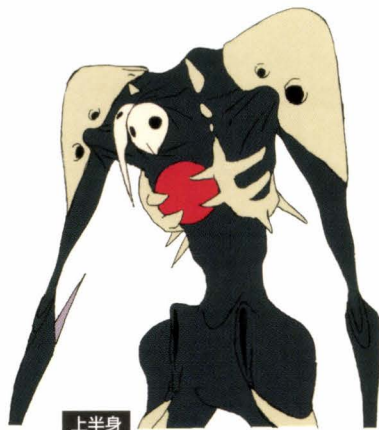
前面

背面

03 n^2兵器：地雷

兵器 WEAPON

n^2兵器は、人類が保有する中でも最大級の破壊力を持つ兵器である。投入した戦力を撃破された国連軍が、サキエル殲滅のために使用した切り札。だがA.T.フィールドを有する使徒には、決定的なダメージを与えることはできなかった。

核兵器並の破壊力を持つが、爆発後に放射能などは残らないようだ。この衝撃波に、ミサトとシンジは巻き込まれることになる。

04_ 国連軍

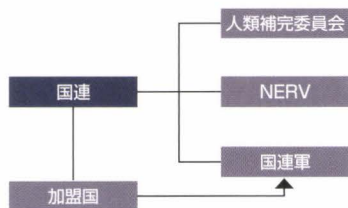
組織 ORGANIZATION

エピソードガイド&チェックポイント

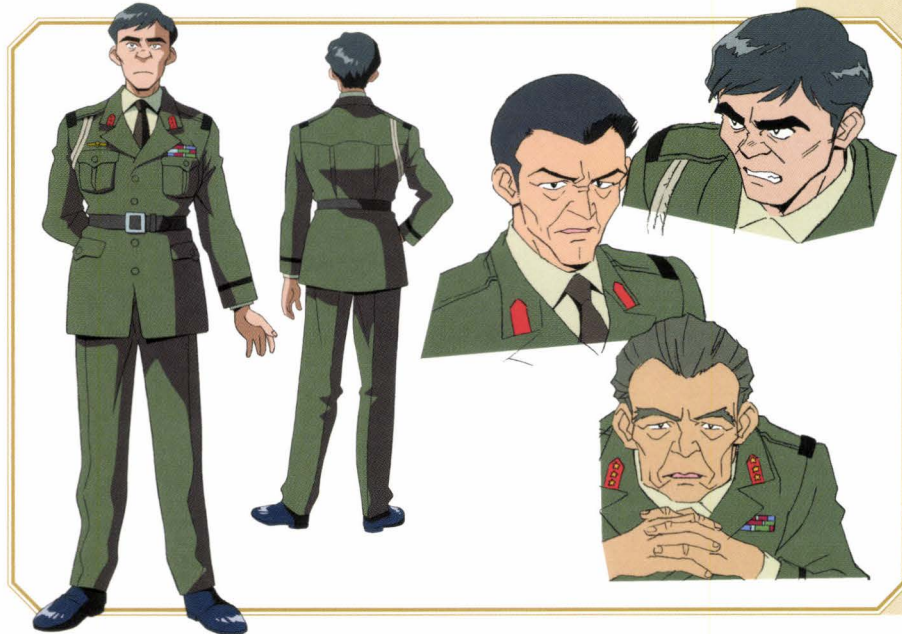
襲来した第3使徒に対する最初の迎撃作戦を展開したのが国連直轄の軍隊=国連軍である。セカンドインパクト後の国連の再編に伴い、自衛隊を含め各国の軍隊は国連軍へ委託・編入されている。そのため、本来的には同じ国連の組織であるNERVとは協調すべき関係なのだが、現実には国連軍はNERVを疎ましく思っているようだ。

国連軍とNERVとは命令系統の異なる組織である。旧態的なプライドからか、NERVの存在を快く思っていない。

▶ 国連組織図

- 国連
  - 人類補完委員会
  - NERV
  - 国連軍
- 加盟国 → 国連軍

国連軍高官

サキエル迎撃作戦の指揮を執っていた国連軍の指揮官たち。本作戦では、NERV本部内へ出向し、発令所に設置された指令台より命令を下していた。碇司令が彼らに敬語を使っていたことから、3名とも軍事的な階級は上と思われる。

使徒の撃退に自信満々だった高官たちだが、通常兵器は役に立たず、切り札のn²地雷すら決定打にならなかったことに驚愕する。

投入兵器

国連軍が展開したサキエル迎撃作戦には、所有する陸空両戦力が惜しみなく投入された。陸戦部隊と空戦部隊の連携そのものは至ってスムーズであり、上陸した使徒に対し、間断なく重層的に砲火を浴びせるも、歯が立たなかった。

■ 重戦闘機

空戦部隊の主力となっていたVTOL戦闘機。主武装は翼下パイロンに取り付けられたロケットランチャー。地上を侵攻する使徒に対しオールレンジで攻撃を仕掛けていた。

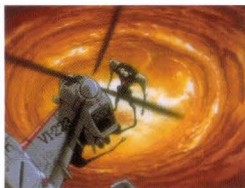
ロケットランチャーを一斉発射する重戦闘機。VTOLならではの機動力を活かして使徒を包囲、火力の集中攻撃を加える。

■ 大型機

機体底部に大型ミサイルをセットした爆撃機。VTOL戦闘機の攻撃にも怯まないサキエルに対し、大火力のミサイルで遠距離から攻撃するために投入された。

サキエルに向けて発射された大型ミサイルであったが、直撃したものの片手で受けとめられ、その衝撃により圧壊してしまう。

■ 偵察用無人ヘリコプター

n²地雷によって、目標の活動を一時的に抑えることに成功した際、状況偵察に送り込まれたツインローターのジャイロ機。他にも医療用などの機体バリエーションがある。

n²地雷による、使徒のダメージ確認のために発進した偵察用無人ヘリコプター。だが接近した途端、使徒に撃破された。

■ 戦車

サキエル上陸地点となった海岸線にずらりと配置されていた戦車部隊。いわば第一次防衛線として先制砲撃を敢行したものの、足止めすらできず目標の上陸を許してしまう。

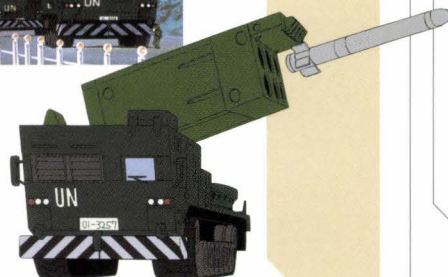
サキエルの上陸を、今や遅しと待ちかまえる戦車部隊。だが、その先制攻撃も使徒のA.T.フィールドには通用しなかったのである。

■ ロケットランチャー車両

6連装型の自走発射機MLRS。「Multiple Launch Rocket System」(多目的ロケット発射システム)。サキエル迎撃のために配備されたが、戦車部隊と共に壊滅している。

サキエルの上陸を阻止するため、海岸線に配置された。戦車部隊の砲撃に火力支援を行ったが、使徒の歩みは止められなかった。

05_ NERV

組織 ORGANIZATION

使徒殲滅を目的として秘密裏に組織されていた特務機関。世界各地に支部があり、その本部は日本の旧芦ノ湖付近地下のジオフロント内にある。最高司令官は碇ゲンドウ。NERVは国連直属の非公開組織であり、超法規的に保護されている。その数々の特権のためか、同じ国連の組織である国連軍や日本国政府など他の組織との関係は悪い。

イチジクの葉と「GOD'S IN HIS HEAVEN. ALL'S RIGHT WITH THE WORLD.」という英文でデザインされたエンブレム。

碇ゲンドウ

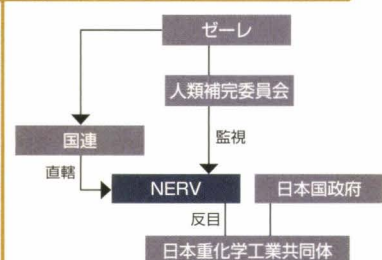
いつも憮然とした表情のNERVの最高司令官。NERVの対使徒戦略に絶対的な自信を持っており、為す術なく敗退した国連軍からサキエル殲滅作戦を当然の如く引き継ぐ。

どこか独善的な雰囲気の漂うゲンドウは、口数も少なく、まさに冷徹そのものだ。

冬月コウゾウ

NERVの副司令。常にゲンドウの脇に立ち彼をサポートする。ゲンドウに比べて温厚な人物であるが、出現した使徒やその戦闘力に対する分析は極めて冷静であった。

使徒の圧倒的な戦闘力を前にしても、一切動じることはなかった。

▶ 対外組織との関係

▶ NERV作業スタッフ

ケイジ内にて、エヴァンゲリオンの各種メンテナンスや発進準備作業を行う作業スタッフ。初陣に於いても冷静に作業を進め、初号機の発進準備を整えた。

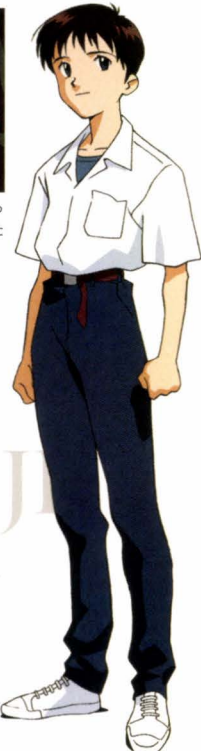
エヴァンゲリオンという超兵器を取り扱うため、現場の作業人員にはエキスパートが集う。

06_ 碇シンジ

人物 CHARACTER

14歳の内気な少年。使徒が出現したその日、父であるゲンドウに呼ばれ第3新東京市へとやってくるが、途中、使徒と国連軍の戦闘に巻き込まれる。自分がその使徒と戦うとは思ってもいなかった。

父親から呼ばれて、NERVへとやって来たシンジだが、単に「呼ばれたから」以上の理由はなかった。

SHINJI IKARI

07_ 葛城ミサト

人物 CHARACTER

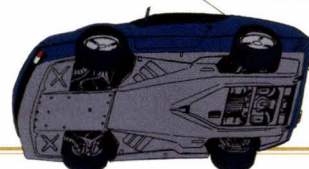
NERV本部の作戦部課長。階級は一尉。EVA運用においては直接彼女が作戦指示を出すことになっている。そのためなのか、EVAパイロット候補のシンジを、ミサト自身が迎えに出ている。

シンジに送られていた、待ち合わせのためのミサトの写真。初対面であるにも関わらず、キスマーク入りと、ちゃめっ気たっぷり。

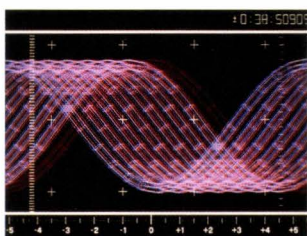
MISATO KATSURAGI

▶ ミサトの愛車

ミサトが個人で使用しているアルピーヌ ルノーA310（改）。本来は左ハンドルのガソリン車だが、日本仕様の右ハンドル、さらに電気駆動車にカスタマイズされている。

使徒との戦闘に巻き込まれ、自慢のマシンは傷だらけ。

08 エヴァンゲリオン 兵器 EVANGELION

使徒殲滅を目的として、14年の歳月と天文学的な資金を投じて建造された汎用人型決戦兵器。使徒同様にA.T.フィールドを展開することができるため、使徒と互角に戦うことができる現在人類が保有する唯一の兵器である。適格者と呼ばれる子供だけが操縦可能。その存在自体、初出撃までは最重要機密扱いとされてきたため、部外秘とされるNERVのパンフレット「ようこそNERV江」にさえも記載されていなかった。

EVAの神経接続モニタ。A[10]神経接続により機体各部の感覚が、パイロットにフィードバックされる。

EVAと搭乗者のシンクログラフ。EVAを起動するにはパイロットとの精神的なシンクロが不可欠。

▶ 各部構造

頭部
エントリープラグ挿入口
アンビリカルケーブル接続部
■手足

Illustration by Akio Unuma

エントリープラグ

インテリアと呼ばれるEVAの操縦席を収めた筒状の構造体。これをEVAの脊髄部分の接続口へ専用機材を使い挿入し、パイロットはEVAに搭乗する。緊急時にはオートエジェクション機能により、プラグごと外部へ射出することも可能。

ケイジ内に設置された専用の挿入機材を用いて、ねじ込むようにEVAへと挿入されるエントリープラグ。通常回収もこれで行われる。

DATA
1 神経接続用探査針
2 メインハッチ
3 非常用ハッチ
4 脱出用ロケット

L.C.L.

挿入されたエントリープラグ内に満たされる液体。酸素供給機能を有しており、搭乗中のパイロットは、L.C.L.により肺から直接酸素を取り入れる仕組みとなっている。

エントリープラグ内を満たしてゆくL.C.L.。この錆のような黄色味のかかった液体は生臭く、まるで血のような匂いがするという。

A[10]神経接続中のプラグ内。エントリープラグ内に充填されたL.C.L.は、電荷されることでスクリーン形成を行い視界を確保する。

シンクロ率

EVAを起動するために必要な搭乗者とEVAの神経回路の同調率。この数値が一定以上でないと、EVAを起動することができない。操縦者はEVAと感覚を共有するため、EVAの受けた痛みを幻痛としてフィードバックしてしまう。

神経回路の同調イメージ

09 EVA初号機 兵器 EVANGELION

エヴァンゲリオンのテストタイプ。その起動確率は、0.000000001％と限りなく低い数値で、「09（オーナイン）システム」と揶揄されていた。だが、実際に搭乗したシンジと驚くほど高いシンクロ率を示し、初起動で初実戦を行う。

無人でありながら、初号機は突如起動し、使徒の攻撃で天井より落下してきた鉄骨材からシンジを守るがごとき不可解な動きを見せた。

10 ジオフロント 技術 TECHNOLOGY

NERV本部施設が置かれている巨大な球状空間。日本の芦ノ湖付近の地底に位置しており、その80％以上は今も埋もれている。NERV本部の設置場所はいわばその僅かな上部空間と言うことになるが、それでも幅6kmという広大なものだ。

ジオフロントに建設された本部施設。地上とはリニアレールでつながっており、集光ビルにより地上の光をも取り入れることが可能である。

▶ ジオフロント構造図

第3新東京市
地表
ジオフロント
6km
中心核
13.75km
0.9km
2km
NERV本部ビル

第弐話 見知らぬ、天井

SCENE/CHECK POINT

出撃はしたものの、訓練をしていないシンジがまともに戦えるはずもなく、初号機は使徒に一方的に攻撃され沈黙――目を覚ますと、シンジはNERV本部内の病院のベッドにいた。その頃、ゲンドウは謎の男たち――人類補完委員会のメンバーと会議中であった。ゲンドウのやり方を皮肉る委員会の面々は、人類補完計画なるプロジェクトを推進するよう要請する。一方ミサトやリツコは、昨夜の戦闘の現場検証を行っていた。そこへシンジの意識回復の連絡が。シンジが父親と同居しないと知ったミサトは、彼を自分のマンションに引き取ることにする。いつも以上にはしゃいでシンジを歓迎するミサトであったが、内向的なシンジは今ひとつ乗りきれない。そして与えられた部屋で、何をするでもなく漫然と音楽を聴く彼の脳裏に、昨夜の戦いが甦る――沈黙した初号機は直後に再起動し暴走。一気に形勢を逆転させ使徒を瞬時に殲滅した。その残虐な戦闘、不気味な初号機の瞳にシンジは戦慄する。そんな彼にミサトは、「がんばってね」と励ましの言葉をかけるのだった。

STAFF LIST

第弐話（初回放映日：95.10.11）

脚　本：榎戸洋司、庵野秀明
絵コンテ：摩砂雪、庵野秀明
演　出：鶴巻和哉
作画監督：本田　雄

第弐話 見知らぬ、天井

NEON GENESIS EVANGELION
EPISODE:2
THE BEAST

COLUMN

早くも人類補完委員会と「人類補完計画」という単語が登場。委員会での会話から、EVAが"予想された"使徒の再襲来に対して建造されたことや、零号機が既に壊れているらしいことが伺える。また、覚醒したシンジに記憶の混乱有りとの連絡を受けたミサトが「精神汚染!?」と一瞬真顔で心配する場面があるが、このセリフの意味が判るのはシリーズ後半になってからである。また暴走した初号機が腕部を自己修復するという、第拾九話を思わせるシーンもある。

SCENE 1 2

出撃した初号機だが、為す術なく使徒の攻撃にさらされ、初号機は沈黙。シンジは意識を失う。

SCENE 3

気がつくと、シンジの目には見知らぬ天井が映っていた。そこはNERVの病院の一室であった。

SCENE 4

ミサトたちは、昨夜の戦闘現場の処理と調査を行っていた。そこにシンジが意識を回復との連絡が。

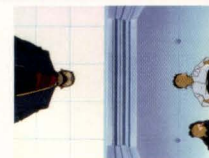
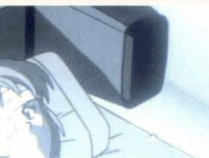
SCENE 5

同じ頃、ゲンドウは人類補完委員会の会議に出席。委員会は人類補完計画の進行を気にかける。

極秘
人類補完計画
第17次中間報告

わかっている。人間には時間がないのだ。

SCENE 6 7 8

病院でシンジはレイを見かける。さらにゲンドウとも出会うが、シンジは父から目をそらす。

EPISODE 2 THE BEAST

SCENE 9

シンジが父親と暮らさないことに納得できないミサトは、彼を自分のマンションに同居させる。

SCENE 10

ミサトは第3新東京市が一望出来る高台へシンジを案内。美しいその眺めこそ、彼が守った街だ。

これが、使徒迎撃要塞都市第3新東京市。
私たちの街よ。
そして、あなたが守った街……。

SCENE 11

酒と乱雑、それがミサトの部屋だった。唖然とするシンジに、ミサトは務めて陽気に彼を歓迎する。

SCENE 12

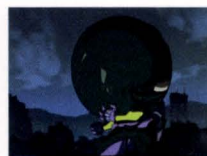
本部ではゲンドウとリツコが凍結中の零号機を視察。そこでふたりは、EVA操縦者について話す。

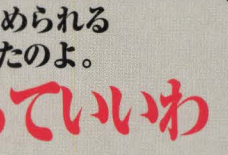
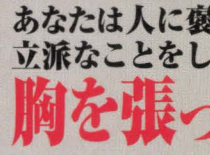
SCENE 13

シンジはまたも見知らぬ天井をぼんやり眺めていた。そして、昨夜の戦いが脳裏に浮かびはじめる。

SCENE 14 15 16

使徒の攻撃で沈黙した初号機は再起動し、暴走。その緊急事態にも、なぜかゲンドウはほくそ笑む。

……暴走?

SCENE 17 18

残虐な戦いを思い出したシンジは恐怖に震える。ミサトの励ましの言葉も、今の彼の心には届かない。

あなたは人に褒められる
立派なことをしたのよ。
胸を張っていいわ

01 第3使徒サキエル戦（第一次直上会議） 作戦 TACTICS

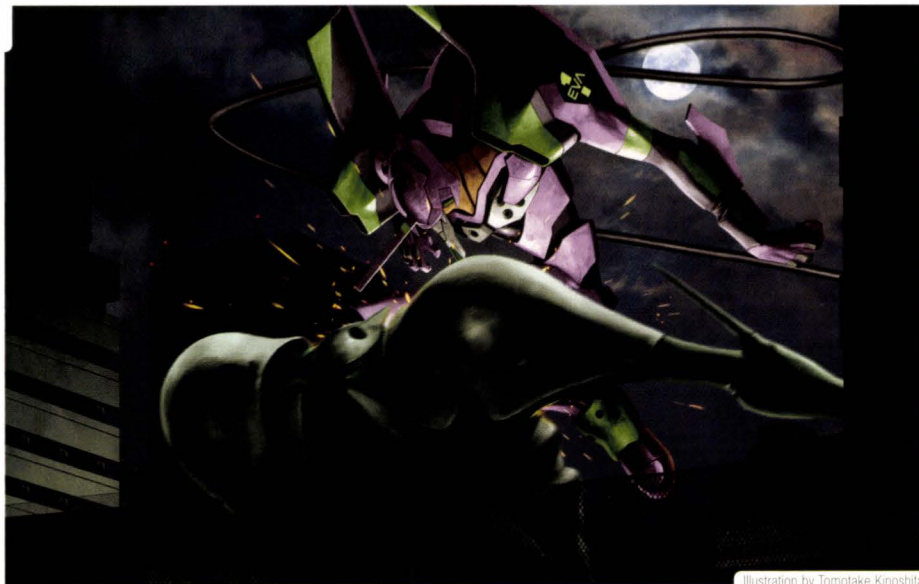



Illustration by Tomotake Kinoshita

人類史上初となった、エヴァンゲリオンの実働作戦

第3使徒が再度侵攻を開始したのは夜であった。NERVは当日到着したサードチルドレンによる初号機出撃準備を進行。サードチルドレンは訓練無しで初号機の起動に成功し出撃するも、使徒に圧倒され一旦は沈黙。だが突如再起動を果たすと暴走。コントロール不能に陥ったまま高い戦闘能力で使徒を瞬時に粉砕。作戦は一応の成功を見た。

出撃した初号機であったが、未経験のパイロットに戦闘は不可能であり、一方的に使徒の攻撃を受け続けることになってしまった。

突如再起動した初号機は暴走し、異様なまでの高い戦闘能力を発揮。劣勢を一気に挽回し使徒の弱点であるコアに攻撃を集中した。

対サキエル戦戦闘概要図

発進した初号機は歩行に成功。しかし直後に転倒し使徒の攻撃を受け続け、沈黙。その後再起動すると暴走。損傷した左腕を自己修復し、使徒へ接近。組伏すとコアへ集中攻撃。使徒は自爆を図るも、初号機は健在であった。

1初号機、歩行　2初号機、転倒

3使徒、初号機を捕獲　4初号機、光の槍により後退

5初号機、再起動　6初号機、反撃開始

7A.T.フィールド中和　8初号機、追加攻撃　9使徒転倒

10初号機、追撃　11使徒、反撃　12使徒、自爆

02 第3使徒サキエル（自己修復後） 使徒 ANGEL

国連軍のn²地雷により損傷した第3使徒であったが、数時間をかけて自己修復し再生を果した。破損した顔らしき部位には新たな顔が現れ、さらに経験から学習し、偵察機を即座に破壊している。

無抵抗の初号機を軽々と持ち上げ、その腕をへし折るサキエル。上腕部が異様に膨れあがっており、筋力の増幅を伺わせる。

修復後全身　側面　側面上半身　胸部の顔

03 防護服 技術 TECHNOLOGY

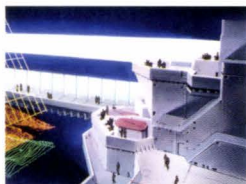
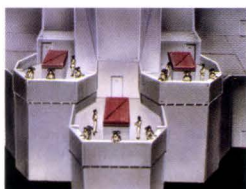
NERV職員がなんらかの汚染の危険のある区域にて作業を行う際に着用する気密型防護服。戦闘終了後、未知の存在である使徒との戦闘検証の際にも、ミサトらが着用して作業を行っていた。

機密性が高い分着用時の通気性は当然無視されており、常夏となっている現在の日本での防護服を着用しての作業は、かなり厳しい。

正面　背面

04_ NERV：中央作戦司令室

施設 INSTALLATION

発令所とも呼ばれるNERV本部の中枢部。本部地下のセントラルドグマと呼ばれる施設内に位置し、中央部には、NERVの文字通り頭脳であるスーパーコンピュータMAGIが格納されている。

戦艦の艦橋を思わせるNERVの発令所。地上数階建てのビルと同等の高さを持つ、複雑で巨大な構造体である。

3 MAGI

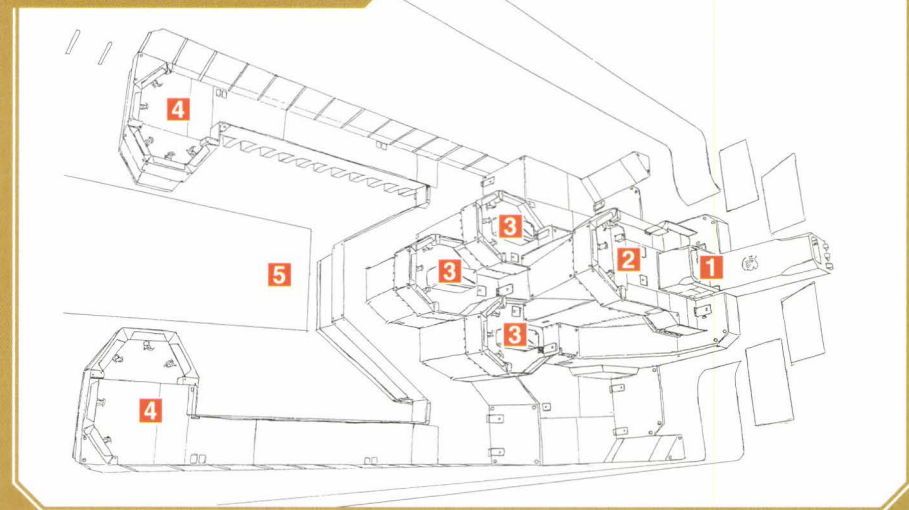
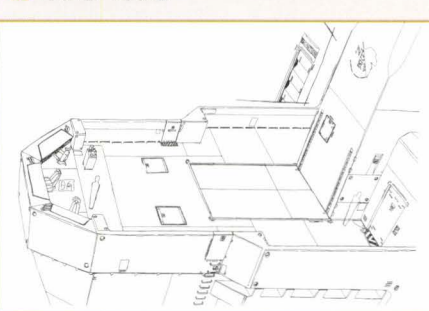
NERVが誇るスーパーコンピュータMAGIシステム。3機の独立したコンピュータの複合体で、各種分析から本部施設の管理まで司る。

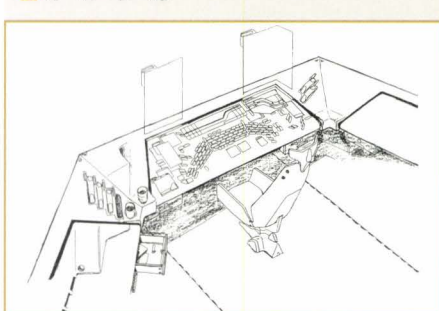
4 副発令所

発令所前方部のテラス状の左右フロアに設けられている。発令所のサポートなどを行っており、多数のオペレーターが常駐する。

5 前方投影スクリーン

床面より投影された3次元型の地形図と、正面のメインビュアから成る多目的スクリーン。戦況確認のみならず通信にも使われる。

▶ 中央作戦司令室 第一発令所全景

1 司令塔／司令席

碇司令と冬月副司令は、通常はここで指揮を執る。なお、司令席フロアはリフト式で下部へ移動できるようにもなっている。

2 オペレーター席

司令塔直下に位置するのが主オペレーター席である。また、作戦遂行時はこのフロアより葛城ミサトがEVAへ作戦指示を出す。

NERVのオペレーター

司令室付きの主オペレーターを務めるのは、伊吹マヤ、日向マコト、青葉シゲルの3名である。彼らはEVAの作戦遂行時におけるバックアップを主な任務としている。

◀伊吹マヤ

正面向かって左側の席に座る女性オペレーター。EVAの機体テレメトリーのモニタリングを担当。

▶日向マコト

中央の席に座る男性オペレーター。主に、葛城ミサトの補佐的な役割を担っている。

◀青葉シゲル

正面向かって右側の席に座る男性オペレーター。使徒の識別を含む情報解析と通信が主な任務。

▶ オペレーター男女

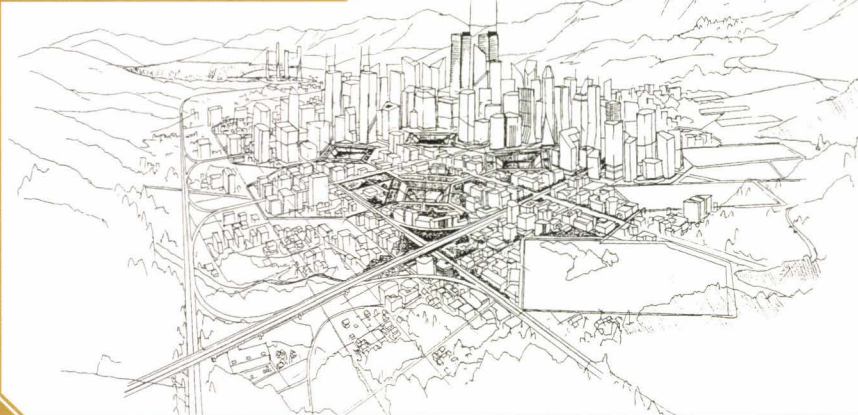
副発令所フロアやMAGIフロアなどで働いているオペレーターたち。発令所を円滑に機能させる上で、彼らの存在は欠かせない。

05_第3新東京市：周辺図

施設 INSTALLATION

NERV本部の置かれているジオフロント直上に建設された都市。その名称からも判る通り、日本政府の遷都計画に基づき建設が進められた街ではあるが、実際には対使徒戦略上の拠点となる「要塞都市」として位置づけられている。

第3新東京市市街地の超近代的なビル群は周囲の自然との間に独特のコントラストを生じている。

第3新東京市周辺は山間部など自然が色濃く残っているが、内部には様々な施設が設けてある場所も多い。

▶ 第3新東京市全景

▶ 第3新東京市主要施設

1 第3新東京市市街地

NERV本部直上に位置し、戦闘時にはビル群は地下へ収容される。またEVA関連設備の擬装ビルも多数存在する。

2 旧市街

旧箱根・芦ノ湖周辺にあった民間の居住区域。現在も昔ながらの街並みが残されている場所である。

3 第3新東京市立第壱中学校

第3新東京市北側に位置する市立中学校。碇シンジや綾波レイら、EVAパイロットもこの学校に在席している。

4 丘の上公園展望台

第3新東京市を一望できる東側の丘の上に造られた公園。葛城ミサトは、よくここを訪れているようである。

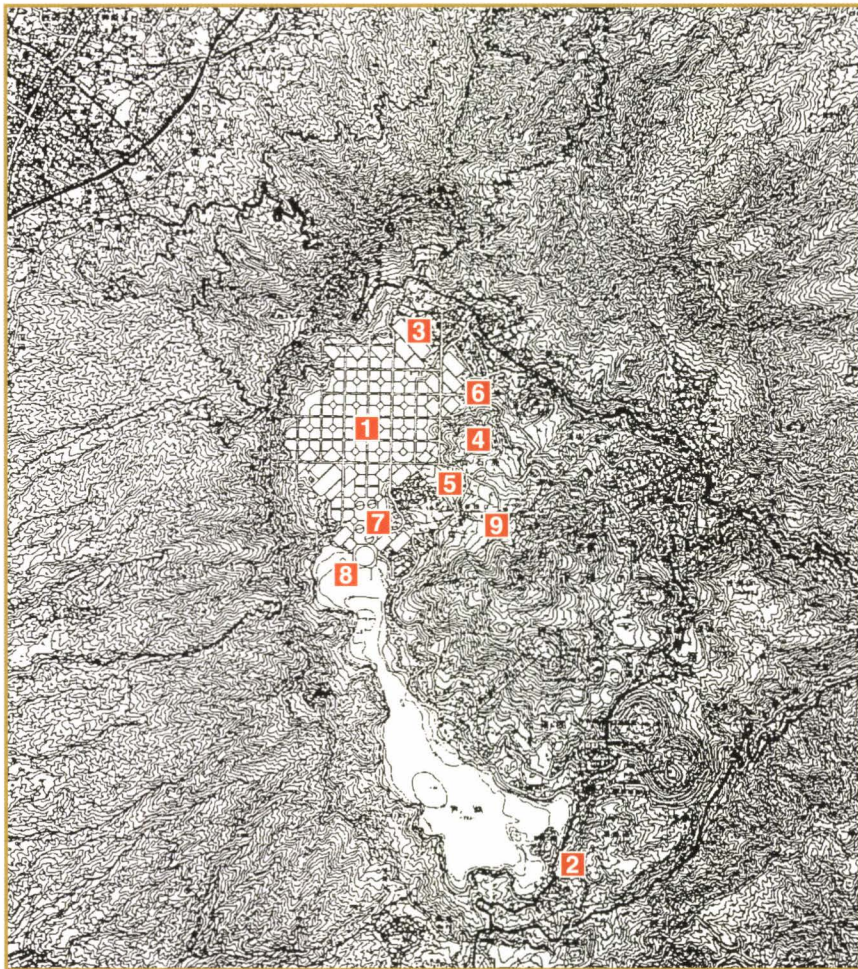
5 コンフォート17（ミサトの部屋）

葛城ミサトが入居しているマンション。ここも市街地より東側の高台にある。地下には広大な駐車場がある。

6 団地（レイの部屋）

市街地より北東側に存在する団地群。取り壊しのはじまった場所で、綾波レイの住む部屋もここにある。

7 集光ビル

市街地南側に設けられたビル。居住用ではなく、ジオフロント部への採光と太陽発電による電力供給用の施設である。

8 半水上都市

集光ビル付近に建設されているビル群。芦ノ湖内に突き出たブロックに存在しており、係留場などがある。

9 ロープウェイ

本部防衛網の擬装兵力のひとつ。ゴンドラ内から機銃を連射する。平時は本来のロープウェイとして稼働。

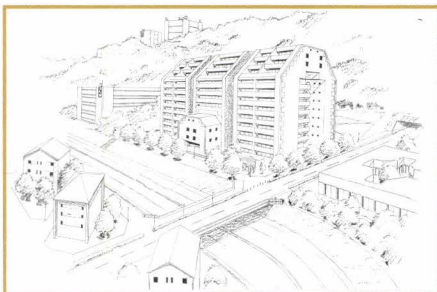
06_ ミサトの住むマンション 施設 INSTALLATION

第3新東京市の外縁部となる高台に建設されたマンション。ミサト以外、住人はいないようだ。ミサトの部屋はテラス付きの11階部分にある。一人住まいとしては必要以上に大きな間取りで、実際、碇シンジを引き取っても充分な部屋数があった。

▶ミサトの部屋の見取り図

1 玄関
2 ダイニングキッチン
3 リビングルーム
4 ミサトの部屋
5 シンジの部屋/アスカの部屋（アスカ転居後）
6 脱衣場/風呂場
7 納戸/シンジの部屋（アスカ転居後）

■ コンフォート17

ミサトの暮らすマンションで、同居人は温泉ペンギンのペンペン。碇シンジも現在はここで暮らしている（後には惣流・アスカ・ラングレーも同居）。

◀ミサトの部屋

▶シンジの部屋

▶ペンペン

ミサトの部屋に住む新種の温泉ペンギン。彼女曰わく「同居人」で、事実、多少の知能を持ち、自分で進んで入浴したり扉を開け閉めしたりもできる。

ダイニングキッチンには、ペンペンの個室として、専用の大型冷蔵庫が設置されている。

07_ 人類補完委員会 組織 ORGANIZATION

国連内部に設置された小委員会だが、現在の国連の実権を事実上掌握している組織でもある。碇ゲンドウもメンバーとして会議に参加している。またNERVの予算承認などもこの委員会が行う。

極秘
人類補完計画
第17次中間報告

人類補完委員会にとって最重要な計画。2015年には第17次報告がされている。なお、NERVは使徒殲滅以外にこの計画の遂行も担う。

議長 キール・ローレンツ

人類補完委員会のリーダー格らしきドイツ人の老人。遮光器型のバイザーを常に身につけている。議長という肩書きだが、国連での地位を示しているのかは定かでない。

その他のメンバー

人類補完委員会は、キール議長を含め5人のメンバーで構成されている。その構成員はいずれも国連の常任理事国の人間となっているのが特徴だが、詳細は不明。

◀アメリカ代表

▶フランス代表

◀イギリス代表

▶ロシア代表

08_ A.T.フィールド 技術 TECHNOLOGY

「Absolute Terror Field」の略。直訳は「絶対恐怖領域」。あらゆる物理的な干渉を遮蔽する特殊フィールドであり、使徒はこれを常時発生させているため通常兵器では本体にダメージを与えることができない。A.T.フィールドを破るためには、同じくA.T.フィールドを使って中和する必要があり、現在人類の兵器でこれを発生させることが可能なのはEVAのみである。通常は不可視だが、強力になると発光して可視化する。

初号機の攻撃に対しA.T.フィールドを展開する第3使徒。強力なA.T.フィールドは肉眼でも知覚可能である。

+00724701 00214631
00304753 +00084672

初号機のA.T.フィールドによって、第3使徒のA.T.フィールドが中和されていること示す計測グラフ。

第参話 鳴らない、電話

SCENE/CHECK POINT

1 シンジ、パレットライフルの射撃訓練を行う ▸▸ 09 P.061

▼

2 シンジ、第壱中学校に登校 ▸▸ 03 P.059

▼

3 ミサト、シンジについてリツコと電話

▼

4 相田ケンスケ、転校生について ▸▸ 05 P.060 鈴原トウジと話す ▸▸ 06 P.060

▼

5 シンジ、EVAのパイロットだとクラスに知れ渡る ▸▸ 04 P.060

▼

6 シンジ、トウジに殴られる

▼

7 第4使徒襲来 ▸▸ 02 P.058

▼

8 第3新東京市、戦闘形態へ移行 ▸▸ 07 P.060

▼

9 ケンスケとトウジ、シェルターから抜け出す

▼

10 初号機、使徒と交戦 ▸▸ 01 P.058

▼

11 初号機、アンビリカル・ケーブル断線 ▸▸ 08 P.061

▼

12 初号機、山間部へ投げ飛ばされる

▼

13 トウジとケンスケ、戦闘に巻き込まれる

▼

14 トウジとケンスケ、初号機に収容

▼

15 シンジ、プログレッシブ・ナイフで使徒に突撃 ▸▸ 10 P.061

▼

16 使徒、活動停止

▼

17 トウジ、シンジへの電話をためらう

▼

第四話へ

シンジが第3新東京市の中学へ編入して2週間。彼は未だ友人もできず、通学とEVAの訓練を流されるままにこなしているだけだった。そんなとき、長期欠席していた鈴原トウジが登校してくる。彼は先の使徒戦で重傷を負った妹の看病のため休んでおり、そのためEVAとそのパイロットを恨んでいた。ひょんなことでシンジがEVAパイロットであるとクラス中に知れ渡ったことから、トウジはシンジを校舎裏に呼び出すと、有無を言わさず殴りつける。その直後、またも使徒が襲来。EVAで出撃するシンジだが、機械的な対処が裏目に出て窮地に追い込まれる。さらに、戦いを見物しようとシェルターから抜け出した相田ケンスケとトウジが戦闘に巻き込まれてしまう。外部電源を断たれ活動限界が迫る中、ミサトの独断でトウジたちを初号機に収容したシンジは、撤退命令を無視し突如プログ・ナイフで使徒に応戦。辛うじて殲滅に成功する。それから3日後。トウジはケンスケに促され、欠席を続けるシンジに電話しようとするが、結局シンジの携帯が鳴ることはなかった。

STAFF LIST

第参話（初回放映日：95.10.18）

脚　　本：薩川昭夫、庵野秀明
絵コンテ：鶴巻和哉、石堂宏之
演　　出：石堂宏之
作画監督：細井信宏

鳴らない、電話 第参話

NEON GENESIS EVANGELION
EPISODE:3
A transfer

COLUMN

シンジが通う学校の数学教師によって、作品の世界観が語られる。即ち、セカンドインパクトによる地球規模の災害と、それがもたらした環境変化や経済問題・民族紛争などだ。だが、ここではセカンドインパクトの具体的なビジュアルを見せることなく、本来の授業とかけ離れて、淡々と昔話を独り言のように語る教師という画面作り（さらに言えば、生徒はその話を聞いていない）になっており、意図的に、聞き流してしまいそうな形で情報を組み入れてある。

SCENE 1

EVAの訓練はシンジの日常となったが、彼は言われた通りに機械的にこなしているだけだった。

SCENE 2

シンジが第3新東京市立第壱中学校に転校して2週間、未だ友達と呼べる存在はいなかった。

SCENE 3

ミサトからシンジのことを聞いたリツコは、彼が他人とふれあうのが恐いのではないかと助言する。

ヤマアラシのジレンマって話、知ってる？

SCENE 4

シンジのクラスメイトのケンスケは、登校してきたトウジに、転校生＝シンジのことを話す。

SCENE 5

EVAのパイロットであると知れた途端、シンジはクラスの注目を浴び、驚きつつも受け応えする。

SCENE 6

トウジは、妹が戦いに巻き込まれたことからEVAを憎んでおり、パイロットのシンジを殴りつけた。

すまんな、転校生。ワシはおまえを殴らないかん。殴っとかなきゃ気がすまへんのや

僕だって、乗りたくて乗ってるわけじゃないのに……

SCENE 7

その頃、新たな使徒が第3新東京市を目指して飛来。シンジには本部からの緊急招集がかけられる。

EPISODE 3 A transfer

SCENE 8

第3新東京市は戦闘形態へ移行。ビル群はジオフロントへ収容、民間人はシェルターへ避難した。

SCENE 9

兵器マニアのケンスケは、トウジに協力してもらい、EVAと使徒の戦闘を見るため地上へ出る。

SCENE 10

地上では初号機と使徒が戦いを開始。だが、訓練の甲斐もなく、形勢は初号機が不利だった。

SCENE 11

使徒の攻撃により初号機は外部電源を遮断されてしまう。EVAに残された時間はあと僅かに。

SCENE 12

使徒の攻撃は続く。動揺したシンジは応戦できず、初号機は近くの山へと投げ飛ばされてしまう。

SCENE 13 14

初号機の落下場所にはトウジとケンスケがいた。ミサトはふたりを初号機に収容することを決断。

SCENE 15

ミサトからの撤退の命令を無視し、突如感情を爆発させたシンジは、使徒をプログ・ナイフで貫く。

うぁあああああああああああああ!

SCENE 16

使徒は活動を停止。その中でトウジとケンスケは見た。シンジのギリギリいっぱいの戦いを——。

SCENE 17

戦いから3日。ケンスケに促されたトウジはシンジに電話しようとするが、結局ためらってしまう。

01 第4使徒シャムシエル戦（第二次直上会戦）

作戦 TACTICS

Illustration by Takuya Io

内蔵電源のみを用いた、EVAパイロットの独断戦闘

第4使徒に対し迎撃に出た初号機だったが、アンビリカル・ケーブルを切断され丘陵地帯へ投げ飛ばされてしまう。落下地点には民間人の少年が2名おり防戦一方となる。葛城一尉は緊急的判断で民間人を初号機内に収容。その後体勢の立て直しを図ろうとするが、パイロットは独断で使徒へ突撃。目標は沈黙し辛うじて作戦は完遂された。

飛来した第4使徒。第3新東京市周辺に設けられた通常兵器の対空火器で迎撃するも、まったく効果は得られず。

■ 対シャムシエル戦 戦闘経過図

Illustration by twinbell (Tokiko Yuzawa)

丘陵地帯
第3新東京市
1 使徒の接近を確認
2 使徒への攻撃を実施
3 EVA初号機、出撃
4 使徒の攻撃により、アンビリカル・ケーブルが切断される
5 戦域、郊外へと拡大
6 エントリープラグへの民間人の収容
7 使徒の活動を停止させる

活動限界時間の迫る初号機だったが、パイロットは感情にまかせて突撃。プログ・ナイフにて目標のコアを貫いた。

02 第4使徒シャムシエル

使徒 ANGEL

SHAMSHEL

DATA
- 呼称：第4使徒
- 天使名：シャムシエル
- 象徴：昼
- 能力：光の触手、形態移行

Illustration by Hirofumi Ichikawa

第4使徒は、第3使徒戦から3週間後に出現。低空から飛来し第3新東京市内へと侵攻する。飛行中は体躯を水平に保ち、戦闘時は直立し頭部を前方へと傾ける。武器は両肩部分より伸びる光の触手で、鋭い貫通力や切断力を有する。

シャムシエルの武器は光の触手。EVAのボディを簡単に貫くほどの威力がある。また、対象に巻き付け持ち上げることも可能。

飛行形態正面

飛行形態側面

戦闘形態正面

戦闘形態背面

胸部

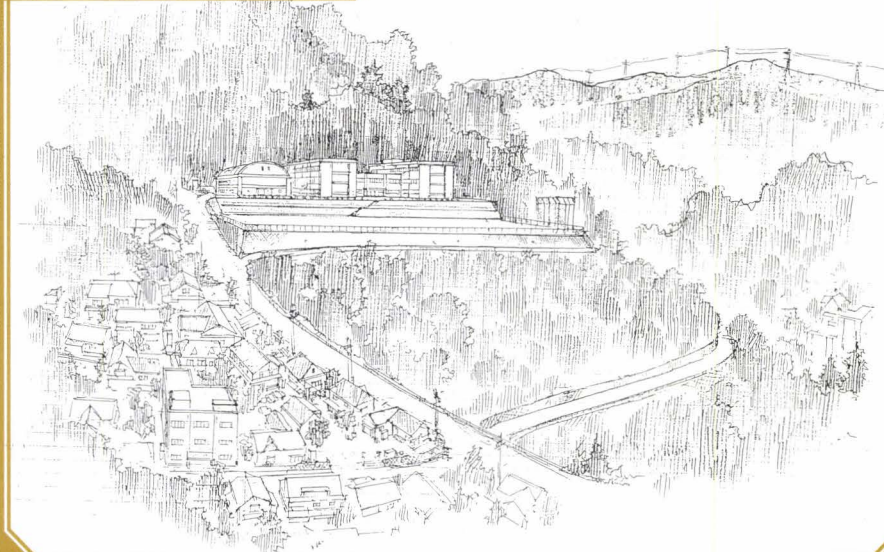
03_ 第3新東京市立第壱中学校

施設 INSTALLATION

第3新東京市校外北東部の山の中腹にある中学校。「第壱」以外の中学は存在せず、第3新東京市にある唯一の中学校である。校舎はいたって普通の建物で、都心部やNERV本部のような最新鋭の施設はない。なお、EVAのパイロットは決まってこの中学の2年A組に在席している。

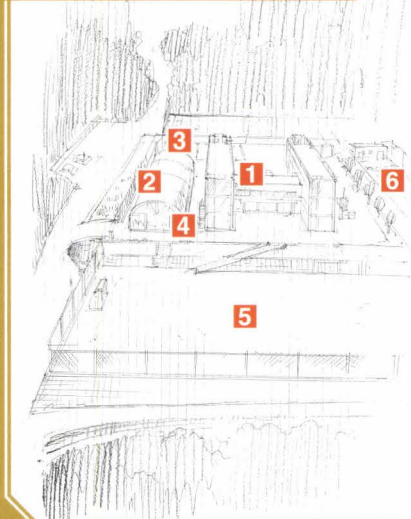
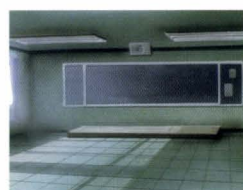
第壱中学校は、第3新東京市が展望できるほど、市街地中心部から離れたところにある。だが生徒の親の多くはNERV関係者であるようだ。

第壱中学校の校舎や教室など、その設備は旧態然とした古めかしいものだが、授業に於いては最新型のラップトップPCが利用されている。

▶ 第壱中学校全景

老教師

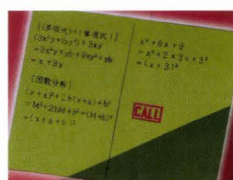
第壱中学校で数学の教鞭を執る老教師。しかしいつも途中で、セカンドインパクトの悲劇とそこからの人類の復興の歴史へと話がそれてしまうようだ。

独り言のように昔話を語る老教師。雑談をする生徒たちにも注意ひとつしない。

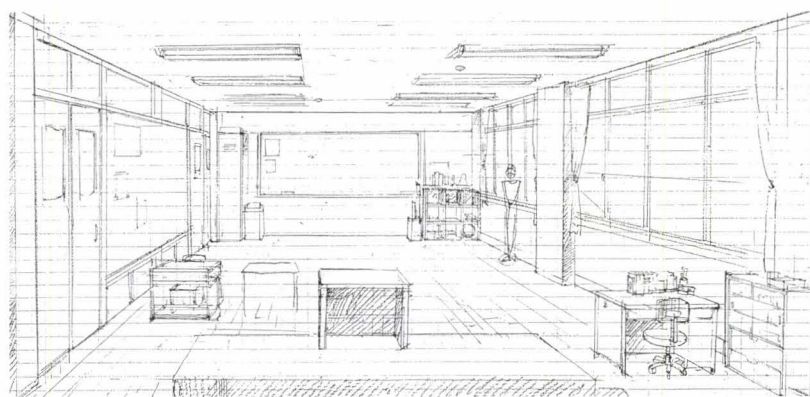
▶ 第壱中学校施設

1 校舎
2 体育館
3 渡り廊下
4 駐車場
5 校庭
6 プール

生徒の人数が少ないためか、校内には使われていない教室がある。黒板など昔と変わらない学校のそれである。

常夏となった日本では、プールの授業も頻繁に行われており、それは第壱中学校でも例外ではない。

▶ ラップトップPC

第壱中学校では授業に紙製のノート等は使わず、ラップトップPCで授業が行われる。板書や宿題など、すべてパソコンで管理される。

ラップトップPCは教科書やノートとして利用されているが、メールのやりとりも可能。

相田ケンスケは、学校支給のPCではなく、自分の私物である黒いPCを持ち込んでいる。

▶ 第壱中学校教室内

04_ 碇シンジのクラスメイトたち
人物 CHARACTER

碇シンジは第壱中学校2年A組へと編入された。このクラスには同じくEVA零号機パイロットである綾波レイも在席（また後に弐号機パイロット、惣流・アスカ・ラングレーも転入）しており、これは明らかにEVA運用上の都合から、パイロットをひとつのクラスにまとめていると考えられよう。

2年A組のプレート。クラスの担任は数学担当の老教師。このクラスの生徒は、実のところEVAのパイロット候補が集められていた。

当初は孤立していたシンジであったが、EVAパイロットであると知れた途端、クラス中の注目の的となってしまう。

クラスメイトとふざけるシンジ。次第にクラスに馴染んでゆく彼には、何人かの「親友」と呼べる存在ができるようになってゆく。

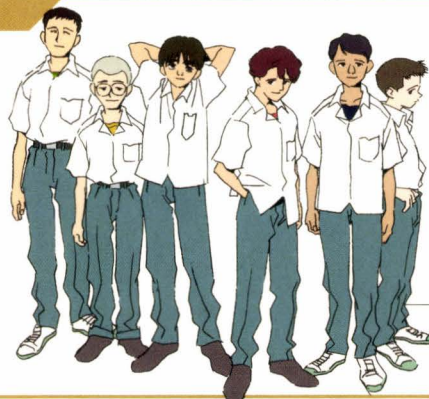
▶ クラスメイト

女子

男子

洞木ヒカリ

2年A組のクラス委員長を務める少女。潔癖で生真面目なところがある。その性格は確かにクラス委員に向いており、授業中に騒ぎ出す生徒たちを唯一、注意していた。

授業中に大声で騒ぎまくるクラスメイトたちに「静かに！」と一喝するヒカリ。

05_ 相田ケンスケ
人物 CHARACTER

シンジの同級生。ミリタリーマニアでEVAに強い興味を持つ。そのため、避難シェルターを抜けだし戦闘をカメラに収めようと行動を起こす。

ケンスケは初号機の戦闘を見るために、トウジの協力を得て避難シェルターをこっそりと抜け出した。その戦闘を目の当たりにして興奮する。

06_ 鈴原トウジ
人物 CHARACTER

常にジャージを着ているシンジの同級生。ケンスケとは親友同士である。妹が第3使徒戦で負傷したため、EVAに良い感情を持っていない。

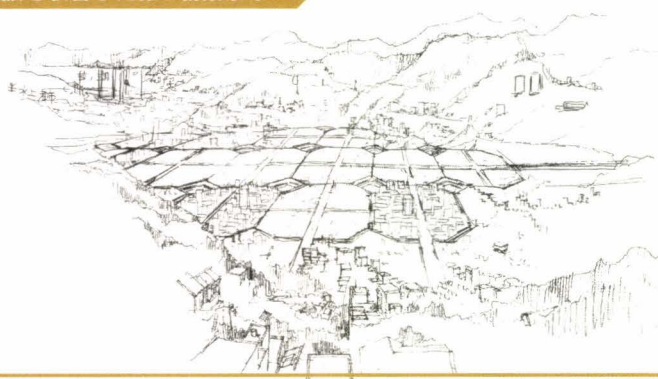
EVAとそのパイロットを憎むトウジ。彼はシンジがEVAのパイロットと知り、校舎裏に呼びつけると、有無を言わさず殴りつける。

07_ 第3新東京市：戦闘形態
施設 INSTALLATION

使徒の襲来に際し、第3新東京市は中心部の重要施設を地下へと収容し、戦闘形態へと移行する。これにより使徒戦に於ける被害を最小限に食い止めることができる。

ジオフロント内に収容された高層ビル。ジオフロント側からはつり下がっているように見えるため天井ビルと呼ばれる。

民間人は市街地及び周辺に多数設けられた避難シェルターへと退避する。小中学校はクラスごとに非難場所が分かれている。

▶ 重要施設を収容した第3新東京市

08_ アンビリカル・ケーブル
技術 TECHNOLOGY

EVAを稼働させるためには大量の電力が必要である。そのため、EVAはアンビリカル・ケーブルと呼ばれる電源ケーブルを通して外部から電力の供給を受けて稼働する。第3新東京市市街地には、予備のケーブルソケットを収納した電源ビルが多数存在し、EVAの活動をサポートしている。

ビルから電源ソケットを引き出す弐号機。電源ビルを多数設けることで、ケーブルによる活動範囲の制約を軽減している。

ソケット部分

ケーブル装着時のEVA

▶ EVAの活動限界

EVAは万一外部からの電力供給を絶たれた場合、内蔵電源に切り替わる。だが、その場合1分から5分ほどしか活動を維持できない。

内部電源に切り替わった場合、活動限界を示すカウントダウン表示がモニターに現われる。

09_ パレットライフル
兵器 WEAPON

EVAの主要兵装のひとつで、別名パレットガンとも呼ばれる。フルオートの自動小銃で命中精度も高く、貫通力の高い劣化ウラン弾を銃床内部の電磁レールで高速射出することで敵を撃破する。

シャムシエルに対しフルオート射撃をするが、結果、爆煙で敵が見えなくなり危機を招いてしまう。

ビル内に収納された予備のパレットライフル。擬装ビルには、このような兵装ロッカーもある。

弾倉はグリップの後ろに配置されたブルパップ方式。そのため銃身を長く設計でき、高い命中精度を持つのが特徴である。

10_ プログレッシブ・ナイフ (PK-01)
兵器 WEAPON

EVAの格闘戦用装備である高周波ナイフ。刃先が高周波振動することで対象物を分子レベルで切断する。別名プログ・ナイフ。A.T.フィールドを中和しての近接戦闘で威力を発揮する。

初号機の標準装備。なお、再就役した零号機も同型のPK-01を装備しており、弐号機は改良型のPK-02を装備している。

プログレッシブ・ナイフの刃先は短いが、逆に小回りがきく。PK-01はアタックナイフ型。

プログレッシブ・ナイフは肩部パイロン内部に収納されており、必要に応じてポップアップする。

第四話 雨、逃げ出した後

SCENE/CHECK POINT

1 ミサト、シンジの家出を知る
2 トウジとケンスケ、シンジを迎えに来る
3 シンジ、第3新東京市第7環状線で終日を過ごす 01 P.064
4 シンジ、映画館で一夜を明かす
5 シンジ、大涌谷の近辺を徘徊 02 P.065
6 ミサト、リツコにシンジの家出を話す
7 ミサト、第4使徒戦直後を回想
8 ケンスケ、サバイバル訓練中にシンジと出会う
9 シンジ、ケンスケのテントで一夜を過ごす
10 シンジ、保安諜報部に連行される 03 P.065
11 ミサト、拘束されたシンジに面会
12 シンジ、NERVの登録抹消
13 シンジ、新箱根湯本駅に移送される 01 P.064
14 トウジとケンスケ、シンジを見送りに来る
15 シンジとトウジ、わだかまりが消える
16 シンジ 第3新東京市を去ることを思い止まる
17 ミサト、新箱根湯本駅に駆けつける
18 シンジとミサト、和解する
第伍話へ

前回の使徒戦から5日。ミサトの部屋から去ったシンジは、第3新東京市を宛てもなく歩いていた。ミサトは、いつの間にかシンジが家出したことをリツコに告げると、もう戻ってこないかも知れないと呟く。街を離れ自然が残る郊外へとやって来たシンジは、偶然にもひとりで戦争ごっこに興じるケンスケと出会い、一緒にテントで食事をする。だがケンスケのテントにNERVの人間が現れ、シンジを連行していく。独房に入れられたシンジに、ミサトが面会に訪れる。うわべだけの受け答えに終始するシンジに怒りをぶちまけるミサト。結局シンジは、第3新東京市から去ることを決める。駅にはトウジとケンスケが見送りに来ており、トウジはシンジに心から謝るのだった。その言葉にシンジは自分がただ逃げだそうとしていたことに気がつく。そして第3新東京市を去るための列車は発車するが、その直後、ミサトが駅に駆けつける。彼女も過ちに気づきシンジを迎えに来たのだ。だが、シンジは列車には乗らなかった。そしてミサトは言った。「おかえりなさい」と。

STAFF LIST

第四話（初回放映日：95.10.25）

脚　本：薩川昭夫
絵コンテ：甚目喜一
演　出：加賀ツヨシ
作画監督：重田　智

雨、逃げ出した後
第四話

NEON GENESIS EVANGELION
EPISODE:4
Hedgehog's Dilemma

COLUMN

これまであまり判然としていなかった第3新東京市の位置関係や、市街地周辺部の状況が、シンジの家出でのシーンやNERVの登録を抹消され街から去るシーンなどから、より具体的にうかがい知ることが出来る。特に環状線の駅名として「厚木」「強羅」などと、現実にある名称がアナウンスされる点が大きい。また、第弐話と同じくミサトとシンジの「おかえりなさい」「ただいま」のあいさつが新たな感情を込めて交わされ、ふたりの絆が描かれている。

SCENE 1
部屋から姿を見せないシンジに、ミサトは彼の部屋を覗いてみる。そこはもぬけの殻であった。

SCENE 2
欠席が続くシンジを気にしてトウジとケンスケが尋ねて来る。同居人のミサトを見て驚くふたり。

家出か……
無理もないわね

SCENE 3
家出したシンジは、市街地の環状線に無為に乗り続け、とうとう終電の時刻になってしまう。

SCENE 4
行く宛てもなく繁華街をぶらつき、街の片隅で一夜を過ごすシンジ。虚ろで淋しい一日が終わる。

SCENE 5
翌日。市街地を離れ周辺の山野へとやって来たシンジ。その気持ちは相変わらず塞いだまま。

SCENE 6
レイを検査するリツコに向かい、家出したシンジはきっと戻ってこないだろうと、ミサトは告げる。

EPISODE 4 Hedgehog's Dilemma

どうせ僕しか乗れないんでしょ……
乗りますよ

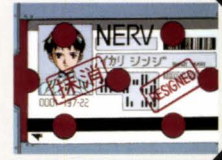
SCENE 7
第4使徒戦後、シンジの態度が腹に据えかねたミサトは叱責するが、彼は受け流していた。

SCENE 8
野原の中、戦争ごっこに興じていたケンスケは、徘徊を続けているシンジを見かけ声をかける。

SCENE 9
ケンスケから食事をご馳走になったシンジ。ケンスケも、ある意味で孤独な少年だったのだ。

SCENE 10
ケンスケのテントに泊まったシンジはNERV本部へ翌朝連行。ケンスケは見送ることしかできなかった。

SCENE 11
独房に監禁されたシンジにミサトが面会に現れた。彼女は容赦なく厳しい言葉を浴びせかける。

SCENE 12
シンジがNERVから去ることが、ゲンドウに伝えられた。だが彼は事務的にその報告を聞く。

SCENE 13 14
シンジを見送りに、トウジとケンスケが駅まで来る。そしてトウジは自分を殴って欲しいと言う。

SCENE 15
別れが近づく。トウジとケンスケの態度に、シンジは素直に自分の気持ちを言葉にしてはき出す。

ワシら何も言われへん。EVAの中で苦しんでる碇の姿、見てるからなあ

SCENE 16 17 18
駅に駆けつけたミサト。駅のホームには、ここに残ることを自分で決めたシンジが立っていた。

ただいま

おかえりなさい

01 第3新東京市：交通機関

施設 INSTALLATION

第3新東京市内の公共交通機関として、リニア式環状モノレール線などが運行されている。要塞都市といえども市内には民間の施設も多数存在しており、こうした交通機関を利用する市民は多い。

朝の通学通勤時間帯での第7環状線の車内。ラッシュと言うほどの混雑ではないが、それなりの乗車率となっている。

リニア式小田急ロマンスカー

2009年にデビューした小田急7700系。11両編成で展望席が設けてある。第3新東京市だと新箱根湯本駅が最寄り駅で、政府専用車としても運用。

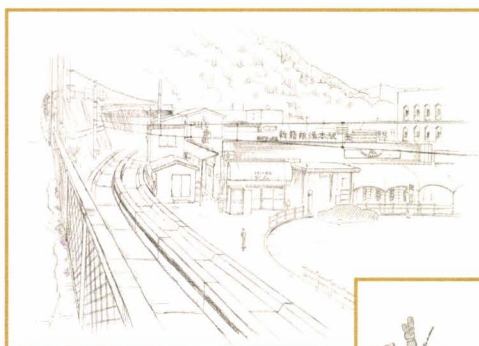
▶ その他の交通機関

第3新東京市郊外と市街地を結ぶ路線バスが運行されているほか、ジオフロント部と地上を結ぶリニアレールなども存在している。

郊外と市街地を結ぶ路線バス。非常にローカルな雰囲気が漂うが、実際に周辺部は田舎である。

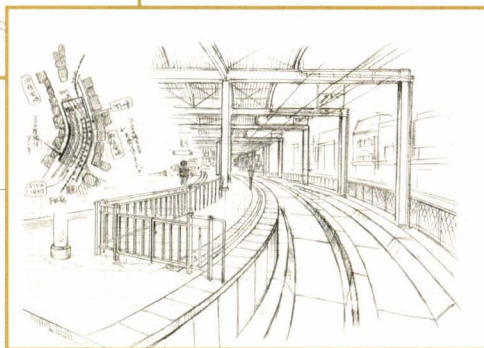
NERV職員が通勤や連絡等に使用している、地上部とジオフロント部を結ぶリニアレール。

▶ 第3新東京市第7環状線

▶ 第3新東京市新箱根湯本駅

◀ 新箱根湯本駅外観

第3新東京市の最寄り駅だが、郊外に位置しているため周辺は閑散としている。

▶ 新箱根湯本駅構内

駅のホームは、政府専用車両も利用するため、専用乗降口が設けられている。

COLUMN シンジの携帯オーディオ

シンジがいつも肌身離さず持っているヘッドホンステレオ。テープメディアのSDAT（Super Digital Audio Tapeの略）である。

26曲目が終わっても再び繰り返し聞くというヘビーローテーションを継続するシンジ。

本体表

バッテリー

リモコンユニット

本体裏

液晶表示

PGM NO.　A-TIME　RECORDED TIME　START ID　REPEAT 1 SCAN　BB 12

イヤーレシーバー

02_ 第3新東京市：郊外

施設 INSTALLATION

近代科学の粋を凝らして建設された第3新東京市であるが、その周辺部となる郊外は未だ自然が残る、非常にローカルな地域となっている。また、郊外地域へ足を運ぶ人間も少ない。

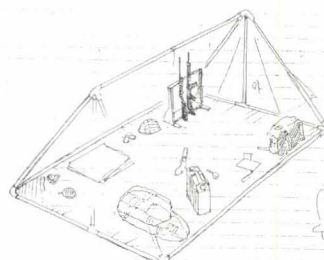
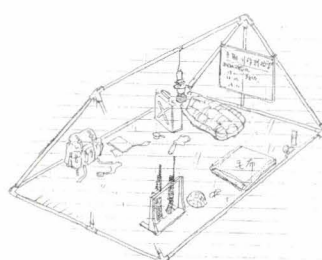
旧箱根町付近に建設された第3新東京市の周辺には、観光地として知られた場所が随所にある。大涌谷もそうした場所のひとつ。

仙石原に広がるススキの原で、戦争ごっこに興じるケンスケ。周辺には自然のままの場所がかなり残っているようだ。

◀アーミールックのケンスケ

ミリタリーマニアのケンスケは、一人で郊外へ来てテントを張っては、戦争ごっこに興じていた。そこで偶然シンジの姿を目撃する。

▶ケンスケがキャンプしていた仙石原

▼ケンスケのテント

03_ NERV保安諜報部

人物 CHARACTER

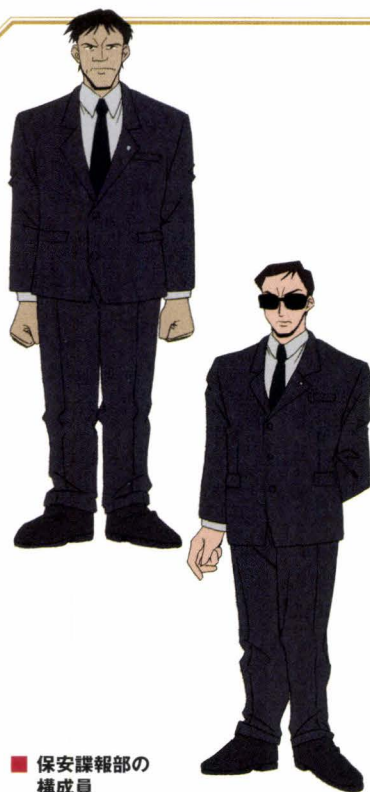
EVAパイロットは最高機密に関する職務に就いているため、常に保安諜報部の監視下にあり、その行動は完全にマークされている。

家出をしたシンジを本部へ連行するために現われた保安諜報部のメンバー。ダークスーツが威嚇的でもある。

第3新東京市から離れることになったシンジを、専用列車に乗せるのも保安諜報部の仕事であった。

▶NERVの公用車

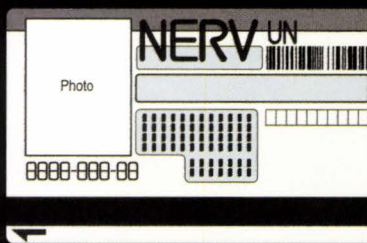
保安諜報部が使用するNERVの公用車はキャディラック・コンコース。公用車と判るよう、NERVと国連を意味するUNの文字が書かれている。

公用車には屋根やトランク、リア側のサイドにNERVやUNの文字が大きく書かれている。

■ 保安諜報部の構成員

COLUMN マルドゥック機関とサードチルドレン

マルドゥック機関は、EVAの適格者となる子供を選出するための人類補完委員会直属の諮問機関である。シンジを「サードチルドレン」と呼ぶのは「3人目の適格者」という意味。なお、NERV本部勤務者はセキュリティカードを持ち、これで本部に出入りする。EVAパイロットを止めた際シンジのカードは登録抹消された。

4人目の適格者は発見されていないというゲンドウ。その補充は簡単にはできないようだ。

■ セキュリティカード

第伍話 レイ、心のむこうに

SCENE/CHECK POINT

1 零号機、 ▸▸ 02 P.068
第2実験場での ▸▸ 04 P.069
起動実験に失敗 ▸▸ 01 P.068
▼
2 零号機の
復旧作業が進む
▼
3 シンジ、
使徒のサンプル回収作業 ▸▸ 05 P.069
を見学
▼
4 シンジ、
学校で
レイを意識する ▸▸ 03 P.068
▼
5 シンジ、
談笑するレイとゲンドウ
に驚く
▼
6 リツコ、
ミサトの部屋を訪ねる
▼
7 シンジ、
リツコから
レイのカードを託される
▼
8 シンジ、
レイの部屋を訪れる ▸▸ 06 P.069
▼
9 シンジ、
レイを追って
NERV本部へ
▼
10 シンジ、
ゲンドウのことで
レイに平手打ちされる
▼
11 零号機、
再起動実験に成功 ▸▸ 01 P.068
▼
12 未確認飛行物体、
第3新東京市に接近
▼
13 初号機、
出撃直後
使徒に攻撃を受ける
▼
第六話へ

遡ること22日前。NERV本部では零号機の起動実験が行われていた。だが実験は失敗して零号機は制御不能に陥りレイは重傷を負ってしまう。そして、現在。零号機の再起動実験の準備と併行して、回収した第4使徒の分析作業が続けられていた。しかし未知な部分が多く、解析ははかどらない。その作業の視察に訪れたゲンドウをちらりと見たシンジは、父の右手に酷いやけどの痕があることを知る。それはレイの起動実験事故の際、彼女をエントリープラグ内から救い出そうとして負ったものだとリツコは言う。学校でも会話をしたことのないレイが、思いがけず父親と親しい関係だと知り、シンジは驚く。そんな折り、彼はリツコに頼まれてIDカードを渡すためレイのアパートを訪れる。殺伐とした部屋の中、思わぬ不可抗力でシンジはレイを押し倒してしまう。気まずいシンジだが、レイは至って冷静だった。その後、零号機の起動実験が再開。実験は成功するも、そのとき第5の使徒が接近中との報が。緊急発進した初号機に対し、使徒のビームが胸部を直撃する——。

STAFF LIST

第伍話（初回放映日：95.11.1）

脚　本：薩川昭夫、庵野秀明
絵コンテ：甚目喜一
演　出：杉山慶一
作画監督：鈴木俊二

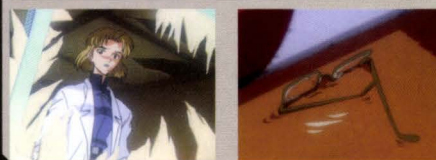
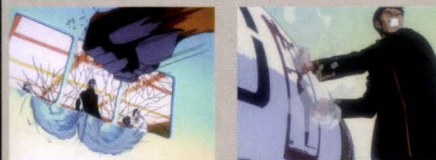
レイ、心のむこうに 第伍話
NEON GENESIS EVANGELION EPISODE:5 Rei I

COLUMN

第壱話でレイが重傷を負っていた理由や、シンジが初号機とスムーズにシンクロできたことの凄さの絵解きともなっている零号機起動実験のエピソード。それだけでなく、レイを必死に救出するゲンドウの姿を見つめるリツコの表情や、起動失敗の原因を察するリツコの姿が意味深長。その意味は第弐拾参話で明らかになる。また壊れたゲンドウのメガネを大切にするレイやゲンドウの右掌のアップなど、同じく第弐拾参話にリンクする描写が随所に散りばめられてもいる。

SCENE 1

零号機の起動実験は失敗。零号機は制御不能となり、ゲンドウは身を挺してレイを救い出した。

22日前

零号機、制御不能！

SCENE 2

起動実験の失敗はレイの感情が不安定だったためと推察され、実験再開に向け復旧が続けられる。

EPISODE 5 Rei I

SCENE 3

第4使徒の回収作業の見学に来たシンジは、そこでゲンドウを見かけ、掌のやけど痕を見つける。

SCENE 4

孤独な同級生、綾波レイ。同じEVAパイロットだが、シンジは会話したことがなく、気にかかる。

どうしてアイツ、いつもひとりなんだろうって思ってさ

SCENE 5

レイがゲンドウと親しく談笑している姿を目撃するシンジ。その柔和な表情に驚嘆を隠せない。

SCENE 6 7

その夜。ミサトの家に遊びに来たリツコに、IDカードをレイに渡して欲しいとシンジは頼まれる。

いい子よ、とても。
あなたのお父さんに似て、
とても不器用だけど

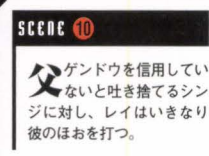
SCENE 8

生活感のないレイの部屋。そこでシンジは、図らずも裸のレイを押し倒してしまうことに。

SCENE 9

気まずいシンジだったが、意に介さずといった態度でNERV本部へと向かうレイ。彼女に続くシンジ。

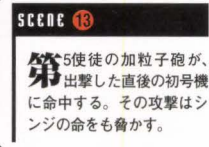
SCENE 10

父ゲンドウを信用していないと吐き捨てるシンジに対し、レイはいきなり彼のほおを打つ。

信じられないの、お父さんの仕事が

SCENE 11

再起動実験は成功。レイは、大切にしている壊れたゲンドウのメガネをプラグ内に持ち込んでいた。

SCENE 12

零号機の起動成功後、未確認飛行物体接近の報告がもたらされる。それは第5使徒であった。

SCENE 13

第5使徒の加粒子砲が、出撃した直後の初号機に命中する。その攻撃はシンジの命をも脅かす。

01 零号機起動実験

作戦 TACTICS

Illustration by Takuya Io

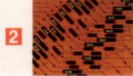
起動実験中に、突如として制御不能となった零号機

来るべき使徒襲来を前に、NERVではEVA零号機による起動実験が行われていた。安定かつスムーズな起動はEVA運用の第一歩だが、実際にはひとつの壁となっていた。第2実験場での起動実験も、搭乗者の精神的な不安定さが原因となり、神経パルスが逆流、結果的に零号機は制御不能となり実験は中止。零号機自体も損傷に至っている。

第3使徒襲来前に行われた零号機起動実験。だが神経接続に失敗した零号機は完全に制御不能となり、実験施設の破壊を開始する。

零号機の起動実験は、結局第5使徒出現直前に再開。この時は、以前失敗した絶対境界線突破をクリアし、起動実験は難なく成功した。

■ 起動実験の経過

1	起動実験開始――神経接続開始	主電源を接続し、機体のシステムを稼働状態にする第1次接続は問題なくクリア。神経接続を開始する。初期コンタクトは異常なく行われ、腕部、脚部等への動力伝達を開始。
2	神経パルス逆流――零号機制御不能	接続状態は良好で、赤木リツコ博士は第3次接続の開始を指示。しかし絶対境界線突破直前に神経パルスが逆流。神経接続が次々と断線、零号機は制御不能の状態へと陥る。
3	碇司令、実験中止を指示	赤木博士は停止信号による起動中止を試みるも信号は届かず。拘束具を破壊し動き始めた零号機を見て碇司令は実験中止を宣言。非常手段である電源切断で零号機を止めるよう指示。
4	零号機、制御不能――施設の破壊を開始	外部電源を切断され、内部電源に切り替わった零号機だったが完全に制御不能となり、自動制御装置も作動せず。第2実験場のモニター室に向かって、強力な殴打を連発し続ける。
5	エントリープラグ強制排出	エントリープラグのオートイジェクション機能が起動。こちらは正常作動しプラグは排出。だが狭い実験場内の壁面に激突し落下。一方暴れ続けた零号機は電源切れで活動を停止。

02 EVA零号機

兵器 EVANGELION

エヴァンゲリオンのプロトタイプ。実戦も可能であるが、主にEVA運用に係わる実験に用いられており、肩の兵装パイロンも装備されていない。また外部装甲の規格も初号機や弐号機と異なる。

テスト用ケイジに固定された零号機。実験用ということもあってか頭頂のセンサーはむき出し。機体のカラーリングは山吹色である。

起動実験中に制御不能となり、暴れ回る零号機。その後は約22日のあいだ凍結され、第4使徒戦後に再起動実験が行われた。

零号機のエントリープラグ

全身

03 綾波レイ

人物 CHARACTER

零号機の専属パイロット。シンジと同級生だが、第5使徒襲来まではほとんど会話したことがなかった。普段は感情を表に出さない寡黙な少女だが、意外にもゲンドウの前では明るい表情を見せる。

零号機起動実験でエントリープラグ排出によりレイは重傷を負い、第3使徒襲来時もまだその傷はまったく癒えていなかった。

REI AYANAMI

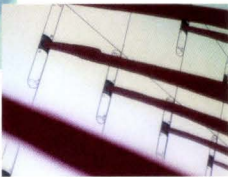
レイの下着姿

04_ NERV：第2実験場

施設 INSTALLATION

NERV本部施設内に設けられた屋内実験場。EVA一体分が収まる程度の空間しかなく、起動実験等、静的な実験を前提としている施設である。EVAへの電源供給のための外部電源ソケットが用意されており、長時間の実験が可能となっている。

EVAを肩部・腕部で固定するための拘束具が壁面に設けられており、実験はこれに固定された状態で行われる。

EVAの暴走に備えて、特殊ベークライト噴射装置が内装されている。緊急時にはこれによりEVAを拘束する。

▶ 第2実験場モニター室

05_ 第3新東京市：第4使徒サンプル回収現場

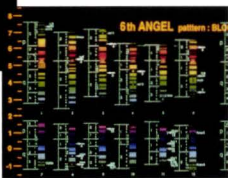
施設 INSTALLATION

コアー点を破壊したためか、第4使徒は活動停止後にも完全に原形をとどめていた。そこでNERVは体躯をサンプルとして回収するため、戦闘現場に仮設研究施設を設営して解析を行っている。

601

回収された使徒のサンプルは、その場で解析も行われたが、コンピュータは解析不能を示すコード「601」を解答。

6th ANGEL pattern：BLO

サンプルから判明した使徒の固有波形パターンは、驚くべきことに人間の遺伝子と99.89%同一だと判明した。

◀第4使徒との戦闘現場

▼サンプル回収現場の仮施設

06_ 第3新東京市：マンモス団地

施設 INSTALLATION

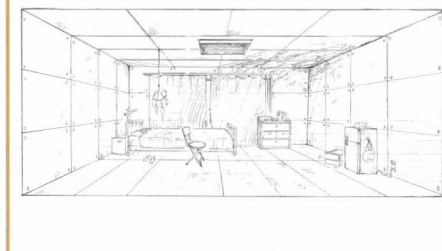
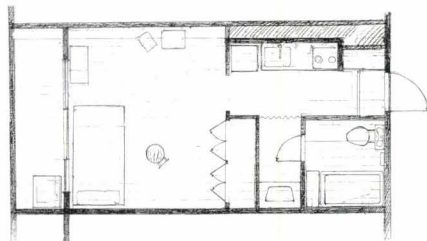
第3新東京市の市街地外縁部に林立する旧型の団地。元々は第3新東京市建設時の作業に伴う暫定的な居宅として建設されたもので、現在はほぼ無人であり、解体作業が進行中となっている。

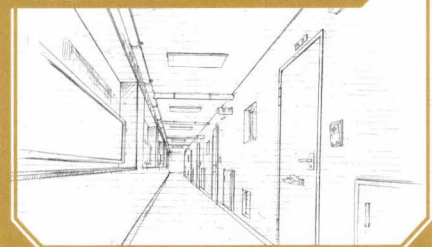
建設作業員用の宿舎程度の意味合いで設計されたためか、あくまで暫定のものとして建造された団地。

▶ 団地の渡り廊下

▶ レイの部屋

▶間取り

いわゆるワンルームマンションの間取りであり、キッチンやバスルームも最低限のものしかない。

◀内装

年頃の少女の部屋としては、ありえないほど殺伐としており、壁はコンクリートが剥き出しである。

第六話 決戦、第3新東京市

SCENE/CHECK POINT

使徒の攻撃で初号機は中破。シンジは昏睡状態のまま集中治療室へ。一方使徒は掘削シールドでジオフロントへ直接侵攻を開始した。到達まで後9時間。ミサトは敵の射程範囲外からの超長距離狙撃作戦＝ヤシマ作戦を立案。それは戦自から徴用したポジトロンスナイパーライフルを、日本中の電力で使用するという前代未聞の作戦である。意識を回復したシンジはEVAに乗るのを嫌がり甘えを口にするが、言葉少なくレイは突き放す。作戦直前、再び初号機に乗る決意をしたシンジは、レイがEVAに乗る理由は「人との絆」だと知る。そして決戦の時が来る。初号機の初弾は使徒の逆射撃にあい失敗。間髪を入れず第2射を撃つ使徒だが、零号機が急造の盾でこれを防ぐ。ようやく次弾の射撃体勢が整い、シンジはトリガーを引いた。使徒を撃破するも零号機は大破してしまう。慌ててシンジは、零号機に駆け寄りエントリープラグの非常ハッチをこじ開ける。無事なレイの姿に涙を流すシンジ。レイは困惑するが、彼の姿にゲンドウの面影を重ね、微笑み返すのであった。

STAFF LIST

第六話（初回放映日：95.11.8）

脚　本：薩川昭夫、庵野秀明
絵コンテ：摩砂雪
演　出：石堂宏之
作画監督：細井信宏

決戦、第3新東京市 第六話

NEON GENESIS EVANGELION EPISODE:6 Rei II

COLUMN

第伍話と第六話は、英文サブタイトル通りレイのエピソードである。このヤシマ作戦によってレイはシンジのことを徐々に意識していく。その結果、レイのエピソード3回目である第弐拾参話や劇場版第26話でシンジのために行動を起こす。また、第5使徒はそれまでの常識的な"敵メカ"のイメージを覆す正多面体という非生物的な形状で、使徒の不可解さが一層増している。そのデザインはしかし企画書段階から提示されおり、当初からの狙いであったことが伺える。

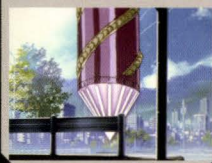
SCENE 1

第5使徒の放つ加粒子砲は、ビルを貫いた上で初号機の胸部をも直撃。胸部装甲は完全に融解した。

SCENE 2 3

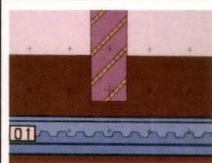
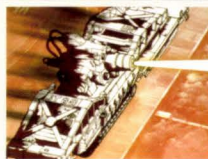
初号機は緊急回収され、パイロットのシンジは意識不明の容態のまま、直ちに病院へ搬送された。

SCENE 4

市街地に滞空した使徒は、底部より巨大なシールドを伸ばし、ジオフロントへと侵攻を始める。

SCENE 5

調査の結果、使徒に対しての近接戦闘は不可能であると判明。だがミサトは、ある妙案を思いつく。

ネルフ本部作戦課 第2分析室

その前に、チョッチ、やってみたいことがあるのよ

SCENE 6

ミサトの策は、使徒の射程範囲外からの超長距離狙撃だった。ゲンドウはこの提案を了承する。

SCENE 7

狙撃作戦のため、まず戦自が試作した大出力の自走陽電子砲を、NERV権限で徴用するミサト。

EPISODE 6 Rei II

SCENE 8

使徒殲滅に必要な電力は日本中で賄うことに。ヤシマ作戦と命名され急ピッチで準備が進む。

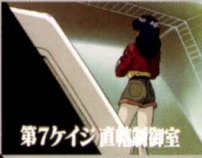
ネルフ本部 技術局第3課

EVA専用耐熱光波防御兵器（急造仕様）

以後、本作戦をヤシマ作戦と呼称します

SCENE 9

ヤシマ作戦決行へのカウントダウンが進む中、初号機パイロット、シンジは意識を取り戻す。

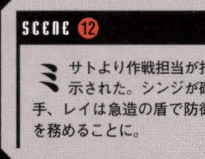
第7ケイジ 直轄制御室

SCENE 10

作戦を伝えるレイにEVAには乗りたくないと漏らすシンジ。レイは自分が初号機で出ると返す。

SCENE 11

夕陽の中EVAが作戦現場へと発進。親友が操るその勇姿に、ケンスケやトウジは声援を送った。

SCENE 12

ミサトより作戦担当が指示された。シンジが砲手、レイは急造の盾で防御を務めることに。

SCENE 13

月明かりの中で待機するシンジとレイ。シンジは、なぜレイがEVAに乗るのかを問うのだった。

……絆だから

SCENE 14 15 16 17

作戦がはじまり、一度は失敗するも、零号機のフォローもあって初号機は使徒の狙撃に成功する。

SCENE 18

使徒の攻撃で零号機は大破。レイの無事を安堵するシンジに、彼女はゲンドウの面影を見た。

笑えばいいと思うよ

01 ヤシマ作戦

NERVが総力を挙げた、超長距離狙撃作戦

第5使徒は強力かつ射程の長い加粒子砲を最大の武器にしていた。葛城一尉は、敵の射程範囲外からの超長距離狙撃作戦を立案。碇司令の承認の元、戦自のポジトロンスナイパーライフルを徴用。これを用いてA.T.フィールドを貫くための多量の電力を日本全土の発電所から集めるという、破天荒な発想のもと作戦は決行されたのである。

Illustration by Tomotake Kinoshita

ヤシマ作戦の遂行場所には、第5使徒の加粒子砲の射程範囲外からの狙撃地点として最適と思われる二子山が選ばれた。

Illustration by Akio Unuma

使徒との会敵と能力の推定

飛来した使徒は、第3新東京市上空に滞空。NERV側はその能力確認を行った結果、加粒子砲の射程範囲は、芦ノ湖対岸を優に越えるほど長くまた威力も強力と判明した。

第5使徒の加粒子砲は接近する敵を察知した途端、発射される。その命中精度も極めて高い。

攻撃を受けると、強力なA.T.フィールドを瞬時に展開し、的確にこれを回避する。

■ ヤシマ作戦に至るまでの経緯

1 使徒の確認と、第一種警戒態勢への移行

零号機の再起動実験中に、使徒出現の報告を受けたNERV本部は、第一種警戒態勢へと移行。初号機の発進体制は380秒で整い、使徒が第3新東京市に到達する前に出撃。完全な迎撃体勢を取れるはずであった。

起動に成功した零号機は待機。サードチルドレンが初号機で第5使徒迎撃のために出撃した。

2 EVA初号機、撤退

リフトビルから地上へと送り出された初号機であったが、リフトオフ直前に、使徒が加粒子砲を発射。使徒との間にあった高層ビルをビームは貫通し、初号機の胸部に命中。

使徒の加粒子砲の威力は凄まじく、初号機の胸部装甲を融解。パイロットも意識不明となる。

3 使徒、シールドを展開

第3新東京市ゼロエリアに滞空した第5使徒は、底部より巨大な掘削シールドを垂直に伸長し、NERV本部のあるジオフロントへと直接侵攻を開始。シールドがジオフロントに到達するのは約10時間後と算出された。

ボディ底部より伸びた使徒のシールドドリル。22ある特殊装甲を充分に貫通する威力を持つ。

4 NERV、使徒の能力測定を実施

葛城一尉は使徒の能力測定と分析を遂行。その結果、目標はいわば難攻不落の要塞であり、EVAが得意とする近接戦闘に持ち込むことは不可能と判断。そこで、目標の射程域外からの狙撃作戦を立案する。

オペレーターの日向マコトの報告を聞きつつ使徒の能力分析映像を興味深く見る、葛城一尉。

能力測定に投入された兵器

■ 1/1バルーン・ダミー

初号機とまったくの同一サイズで作られた風船。それらしく火器を携帯しているが、これは初期にEVA用に開発されたもので、威力不足とされ、製造中止となったもの。

能力測定の一環として投入された、初号機の現寸大バルーン・ダミー。使徒の加粒子砲の射程範囲と命中精度を特定するために用いられた。

■ 独12式自走臼砲

使徒の能力測定に用いられた自走式の大口径のレーザー砲。本来は無限軌道による自走式だが、NERVではディーゼル機関車で牽引し、列車砲として運用されている。

目標に向かってレーザー攻撃を行うことで、使徒の防御力と外敵に対する自動反撃の能力が確認された。だが、結果的に自走臼砲は破壊されてしまう。

ヤシマ作戦の始動

本狙撃作戦は、葛城一尉によりヤシマ作戦と命名。使用するポジトロンスナイパーライフルの組み立て後に現地への搬入、電力供給のための準備が整い、作戦が決行された。

Illustration by Akio Unuma

■ ヤシマ作戦の経緯

1 ヤシマ作戦発動——二子山に前線指揮所を設置

変電設備のある二子山を作戦現場とし、前線指揮所を設営。夜半には本部にて組み立てを完了したポジトロンスナイパーライフルがEVAの手で搬入され、送電装置との結線作業、冷却装置の試運転が行われる。

組み上げられたポジトロンスナイパーライフルは、EVAによって山頂にセッティングされた。

2 ヤシマ作戦、開始

予定通り作戦は午前0時をもって開始された。日本中の発電所から二子山のライフルに向けて送電を開始。日本全土から灯が消えてゆく。エネルギーが充填され初号機は射撃体勢に入る。

ポジトロンスナイパーライフルで使徒を狙撃するためには、日本の全電力が必要であった。

3 第一射目、発射

目標をロック。その直前、使徒の内部に高エネルギー反応が発生。初号機の射撃と同時に、使徒も加粒子砲を発射。二本のビームが空中で交錯。干渉し合い弾道が変化し、互いにミスショットとなった。

ポジトロンスナイパーライフルと使徒の加粒子砲、どちらも一撃で相手を倒す威力を持つ。

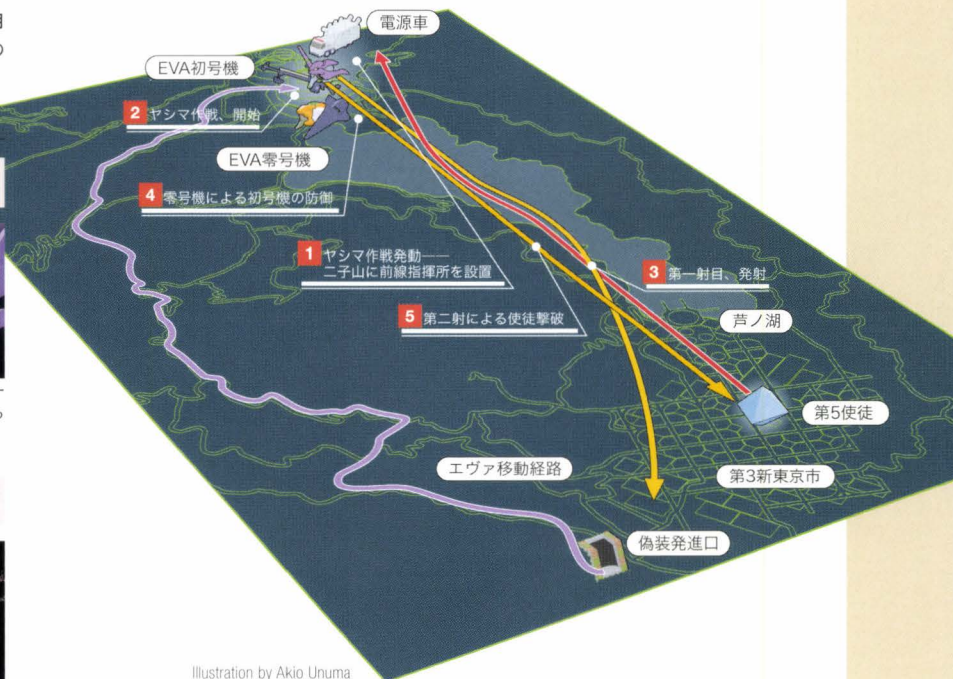
4 零号機による初号機の防御

初号機は第二射の準備にかかるが、再充填には数十秒必要であった。その間、使徒は第二射を発射。即座に零号機が盾を使い初号機を防御。しかしビーム照射時間は予想以上に長く、零号機の機体が融解を始める。

強烈な使徒の加粒子砲を、手筈通り零号機が電磁コーティングされた盾をもって防御。

5 第二射による使徒撃破

零号機の機体が危機的状況となった直後に、第二射の準備が整い、初号機はターゲットを再ロック。ポジトロンスナイパーライフルは二回目の射撃にも耐え、見事に使徒のコアを直撃。使徒は市街地へと墜落した。

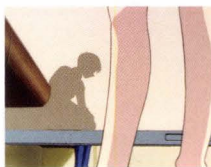
コアを陽電子砲に直撃され、第5使徒は煙を吐き出しながら、地上へと落下していった。

ヤシマ作戦に投入された支援機器

■ 14式大型移動指揮車

ヤシマ作戦の本部として利用されたNERVの移動指揮車。作戦指揮に必要な機材がコンパクトに収められており、射撃タイミングや送電管制等を行った。

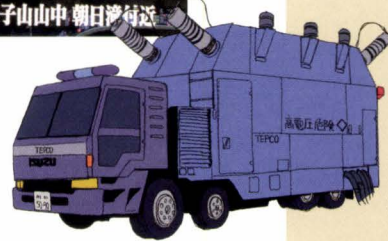
二子山の作戦現場へ直接乗り付け、葛城ミサトや赤木リツコの他、日向マコトや伊吹マヤといった主オペレーターも同乗し、作戦に当たった。

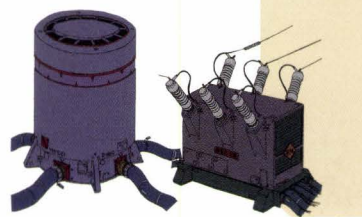
■ トレーラー

EVAパイロットの待機用車両として持ち込まれた。サードチルドレン、ファーストチルドレンとも、プラグスーツへの着替えはこの車両にて行っていた。

プラグスーツへと着替えを行う2名のEVAパイロット。ブラインドで仕切られプライバシーは保護されている。

■ 電源車

EVAを第3新東京市外で運用するためには必要不可欠な車両で、二子山にてEVAの稼働に必要な電力を供給。またポジトロンスナイパーライフルの電源としても使われた。

ヤシマ作戦では、EVA運用とライフル稼働のために、二子山山頂付近から麓まで、延々と縦列するほどの大量の電源車が投入された。

■ 冷却器及び変圧器&開閉装置

ポジトロンスナイパーライフルへの送電及び電力充填のために使われた変圧器及び開閉装置。また、冷却器は高圧電力による発熱対策として使用された。

02 第5使徒ラミエル
使徒 ANGEL

正八面体という特異な形状を持った使徒。武器は非常に長い射程と凄まじい破壊力を持った加粒子砲で、一定範囲内に接近した敵を自動的に攻撃する。また底部より直径17.5mの掘削シールドを伸長し、ジオフロント内へ侵攻する。

RAMIEL

DATA
■ 呼称：第5使徒
■ 天使名：ラミエル
■ 象徴：雷
■ 能力：加粒子砲、掘削シールド

Illustration by Hirofumi Ichikawa

第5使徒は、明らかにポジトロンスナイパーライフルの発射を察知し、加粒子砲を発射した。ある程度の知恵もあると推察される。

下方

正面

掘削シールド

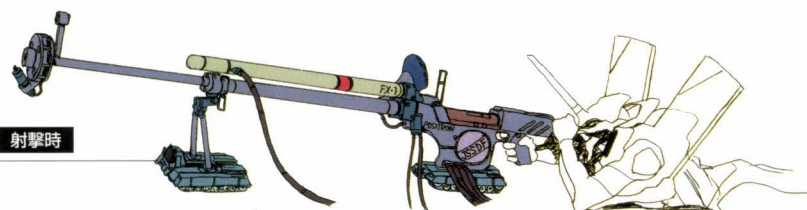
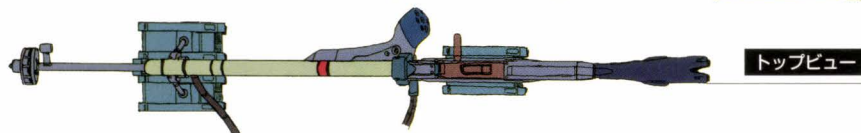
03 戦略自衛隊つくば技術研究本部
組織 ORGANIZATION

戦略自衛隊がつくばに設置している科学技術関連の研究施設。ここで試作した高出力の自走陽電子砲を、第5使徒戦に用いるとしてNERVが徴用した。この一件からみて、戦自の技術力はNERVに肉薄するものがあると考えられる。

突然の徴用命令に、戸惑いを隠せない技術研究本部の担当士官。対使徒戦に於いてはNERVの都合が優先されるようだ。

04 ポジトロンスナイパーライフル
兵器 WEAPON

戦自が試作した自走陽電子砲を、NERVの技術局3課がEVA用火器に緊急改修した、狙撃用ライフル。元来が野戦用に設計されていないのでデリケートな扱いが要求される。また、電力システム上の問題から連射はできない。

ポジトロンスナイパーライフルのカートリッジ。実包ではなく、いわゆるヒューズであり一度発射するごとに再装填する。

射撃時

トップビュー

05 EVA専用耐熱光波防御兵器
兵器 WEAPON

第5使徒の加粒子砲を回避するために急造された防御盾。電磁コーティングされている単段式宇宙往還機SSTOの底部を利用し、そこにEVAの身長に合わせた覗き窓を突貫で空けたものである。

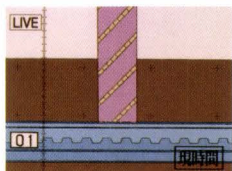
使徒のビーム攻撃を17秒間防御可能とされたが、敵の連続照射時間は予想以上に長く、零号機は機体融解の危機に陥る。

表

裏

06_ NERV：本部作戦課 第2分析室

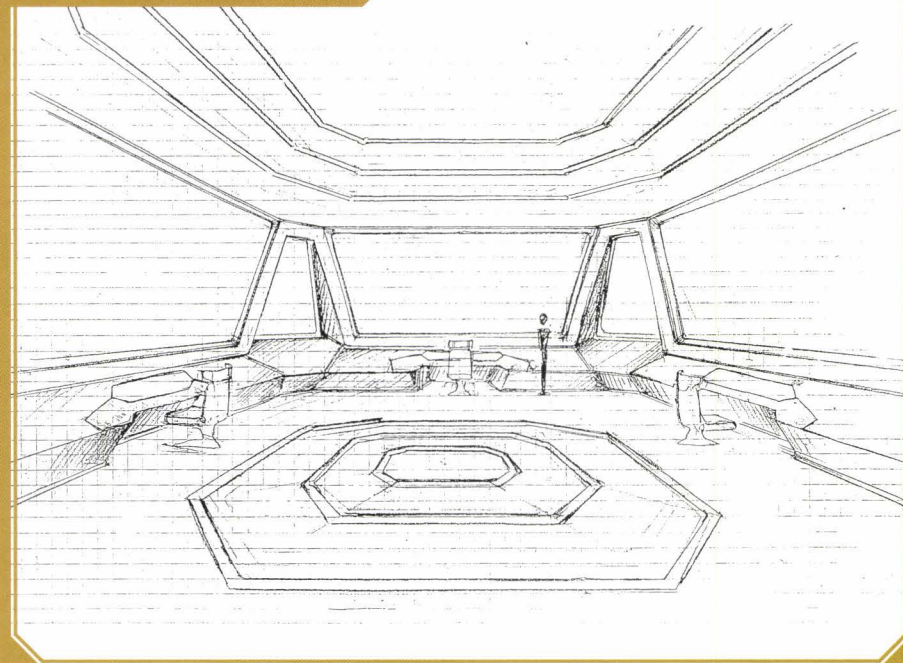
施設 INSTALLATION

NERV本部作戦課専用の分析室。室内の周囲は大型モニターとなっており、作戦課所属の数名のオペレーターにより各種の分析を行う。ここから、作戦指示を出すことも可能。

第2分析室にて解析された、第5使徒のシールド侵攻概略図。実況図や時間軸に沿った予測図を作図することが可能。

▶ 分析室

▶ その他の部署

陽電子砲をEVA用のポジトロンスナイパーライフルに改修したのは技術局第3課。また急造された防御兵器の耐久力を同2課が試算している。

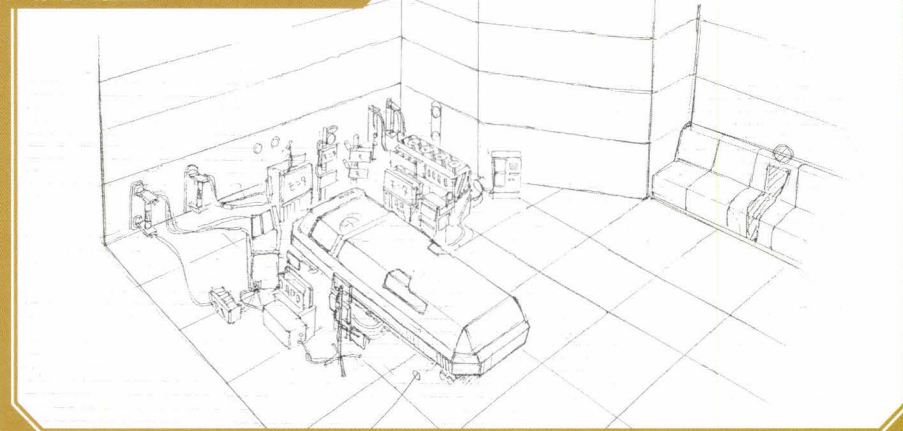
急ピッチでポジトロンスナイパーライフルの組み立て作業を進める、技術局第3課の面々。

07_ NERV：本部中央病院

施設 INSTALLATION

NERV本部内に併設されている病院。第5使徒の攻撃により意識不明の重体となったシンジが搬送され、ICUにて緊急処置を受けた。意識回復後、外科病棟に移されたところにレイが訪れた。

中央病院内の外科病棟。意識を回復したシンジはこの病棟へ移された。大部屋を個室として使用していたようである。

中央病院のICUにて治療を受けるシンジ。緊急性と生命の危険性があったため、治療カプセルが用いられた。

▶ 緊急処置室

▶ 病院の食事とワゴン

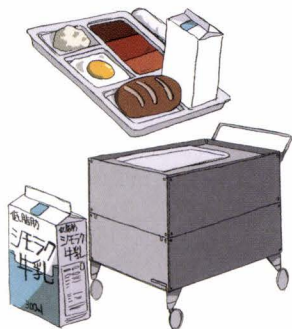
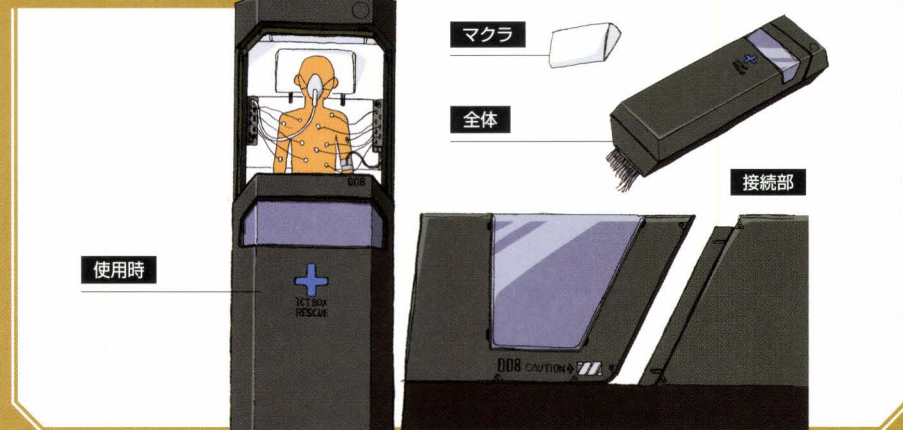
外科病棟へ移されたシンジに出された病院食。牛乳にパン、目玉焼きやペースト状フードなど洋風のメニューとなっている。

▶ ICUの治療カプセル

マクラ

全体

接続部

使用時

第七話 人の造りしもの

SCENE/CHECK POINT

1 ゲンドウ、情報工作の報告を受ける
2 ミサト、シンジの変化を喜ぶ
3 ミサト、シンジの進路相談のため第壱中学校へ
4 シンジ、EVAの実験に参加
5 ゲンドウ、SSTO内で情報提供者と接触
6 シンジ、セカンドインパクトの真相を聞く ▶▶ 05 P.079
7 ミサト、旧東京に出向 ▶▶ 04 P.079
8 ミサトとリツコ J.A.完成披露記念会に出席 ▶▶ 02 P.079
9 J.A.、起動テスト開始
10 J.A.、制御不能となる
11 時田シロウ、緊急停止パスワードの許可を請う ▶▶ 03 P.079
12 ミサト、J.A.停止作戦を展開 ▶▶ 01 P.079
13 ミサト、J.A.に乗り込む
14 J.A.、リアクター臨界直前に停止
15 リツコ、J.A.の件をゲンドウに報告
16 シンジ、ミサトとの関係を見直す

第八話へ

学校やミサトとの共同生活に馴染みはじめたシンジ。ミサトのだらしない生活態度に皮肉を言うほどにはうち解けており、良い兆候だとミサトは感じていた。ある日ミサトとリツコは、民間企業が対使徒用兵器として開発したJ.A.の披露記念会に招かれ旧東京へ向かう。しかし、用意された席はアンチNERVの出席者で固められており、リツコはJ.A.開発者の時田シロウに笑い者にされる。その後J.A.は公開試運転の最中に暴走、炉心融解の危機を招く。この事態を収集するため、ミサトは独断で初号機を出動させる。J.A.内部に乗り込み、手動によって停止作業を行うミサトだが、プログラムは何者かに改ざんされており、停止パスワードを受け付けない。だが、J.A.はリアクター臨界寸前に機能を停止する。作戦の成功を喜び、ミサトを見直すシンジ。しかし、J.A.は爆発直前で停止するよう予めプログラムされていた。翌朝。見直したはずのミサトが相変わらずだらしないことに失望するシンジだが、ケンスケから、砕けた姿を見せるのは、ふたりが家族だからだと言われる。

STAFF LIST

第七話（初回放映日：95.11.15）

脚　本：榎戸洋司、庵野秀明
絵コンテ：杉山慶一、庵野秀明
演　出：杉山慶一
作画監督：鈴木俊二

人の造りしもの 第七話

NEON GENESIS EVANGELION EPISODE:7 A HUMAN WORK

COLUMN

セカンドインパクトの一応の真実やEVAとNERVの目的についてが、リツコの口からシンジへ語られる。実は、第2使徒がミッシングリンクということもさりげなく示されてもいるのだ。そのシーンでは、リツコがセカンドインパクトについて話している最中、ミサトはずっと視線を外し続けているわけだが、その理由は第拾弐話で明らかになる。この他、マヤやリツコの会話から、前回大破した零号機が改修作業中であることが伺える。

SCENE 1

何者かと通話中のゲンドウ。NERVの執務に絡んで、各方面へ色々と裏工作を行っているらしい。

では、シナリオ通りに

SCENE 2

シンジは友達もでき、ミサトに皮肉さえも言うようになった。そんな変化を彼女は嬉しく思う。

SCENE 3

見た目だけは美人、それでいてフレンドリーなミサト。トウジやケンスケはすっかり彼女の虜に。

SCENE 4

L.C.L.に不思議な安心を感じるシンジ。ふと、自分はEVAやNERVについて何も知らないと感じる。

血の匂いがするエントリープラグ……なのに、どうして落ち着くんだろう

SCENE 5

SSTO内で、東洋系の人物から第2次EVA建造計画が軌道に乗りつつあると聞かされるゲンドウ。

第七話

EPISODE 7 A HUMAN WORK

SCENE 6

セカンドインパクトの真実を語るリツコ。セカンドインパクトを防ぐためNERVがあると語る。

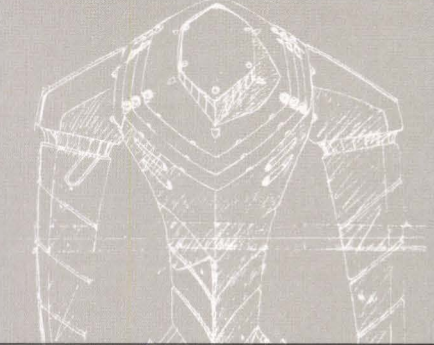
SCENE 7

珍しく、凛々しい正装姿のミサト。彼女はJ.A.披露記念会に出席するためリツコと旧東京へ。

SCENE 8

J.A.開発主任の時田によって会場の笑い者にされるリツコ。時田の態度にミサトも怒りを見せる。

SCENE 9 10

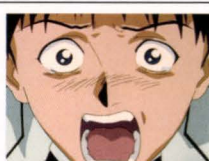
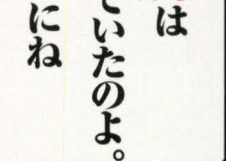
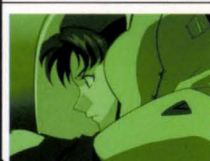
J.A.の公開試運転が開始されるが、制御不能になってしまう。さらには炉心融解の危機が迫る。

SCENE 11

J.A.停止パスワードの使用許可を取り付けようとする時田。一方ミサトは、自分が止めることを決意する。

SCENE 12 13

初号機の協力でJ.A.内に乗り込んだミサト。だが教わったパスワードでは停止できなかった。

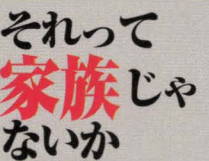
SCENE 14

万事休す！ ──その時J.A.は停止し、暴走は何者かが仕組んだ謀略だったとミサトは気付く。

奇跡は用意されていたのよ。誰かにね

SCENE 15

リツコはJ.A.暴走の件を「予定通り」とゲンドウに報告。事件は仕組まれたものであった。

SCENE 16

ミサトの生活態度に幻滅のシンジだが、その関係こそ家族だと友達に言われ、心は温かくなる。

それって家族じゃないか

01_J.A.停止作戦

作戦 TACTICS

Illustration by Takuya Io

人型自走兵器J.A.、公試運転での暴走事件

対使徒戦用兵器として開発されたJ.A.は、公試運転中に突如制御不能となり、内蔵リアクターが暴走。これに対し、現場に居合わせた葛城一尉は初号機を出動させ、J.A.を押さえ込んで内部へ乗り込み、直接制御を試みる。結果としてJ.A.は停止したが、それは暴走後に自動停止するよう、何者かにプログラムされていたためだった。

J.A.の制御プログラムは、試運転開始直前に暴走を起こし、リアクターの臨界点寸前で自動停止するよう何者かに書き換えられていた。

葛城一尉の要請を受け出動した初号機は、内部で彼女がスムーズに作業を行えるようJ.A.を押さえ込み、動きを止めている。

J.A.停止作戦に投入された支援兵器及び使用機器

■ EVA専用長距離輸送機

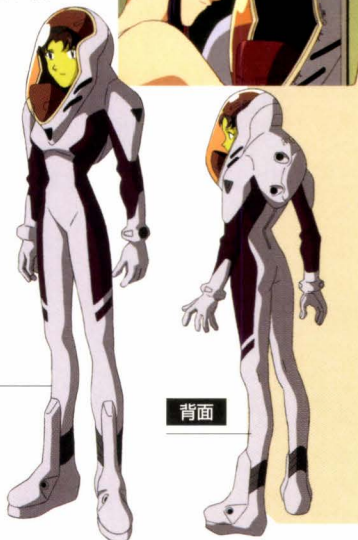
EVAの空輸に使用される長距離輸送機。機体下部にEVAを一機搭載し作戦現場まで移送する。J.A.停止作戦では緊急を要するため、現場上空で初号機を空中分離させた。

NERVの飛行場より緊急発進する長距離大型輸送機。ブースターを利用して離陸するため短い滑走路でも離床可能である。

■ 放射能防護服

葛城一尉がJ.A.内部に乗り込む際に着用した防護服。J.A.の動力は原子力エンジンであったため、危険物質の充満する制御室へ入ることを考慮しての着用である。

気密服のため下着姿で着用する放射能防護服。場所が試験場のため、あらゆる事故を想定し、特殊な防護服も常備されている。

正面

背面

■ J.A.の暴走と停止作戦の経緯

1 碇司令、情報操作の報告を受ける

日本政府からの使徒及びEVAに対する情報公開の要請に関し、碇司令は監査部の人間からダミーを含めた当たり障りない情報を渡した旨、報告を受けていた。

NERVが日本政府に提出した使徒に関する報告書。肝心なところは黒く塗りつぶされている。

2 J.A.完成披露記念会の実施

日本重化学工業共同体が開発したJ.A.の完成披露祝賀会が開かれ、NERVから葛城一尉と赤木博士が出席。だが会場でNERVは呈の良いバッシングを受ける。

NERV代表の葛城一尉と赤木博士に用意された席は、まるで裁判の被告席のような配置だった。

3 公試運転開始、J.A.制御不能に

屈辱的な披露記念会のあと、J.A.公試運転が屋外で開始された。だが突如J.A.は原因不明の暴走状態となり、搭載リアクター爆発は時間の問題となる。

制御不能となったJ.A.は見境無く直進し、J.A.の制御室に接近。その屋根を踏み抜いてゆく。

4 J.A.停止作戦、開始

葛城一尉は緊急判断で、初号機の出動を要請。J.A.開発担当の時田から停止用パスワードを聞き出すと、初号機の手からJ.A.内部に乗り移る作戦を決行。

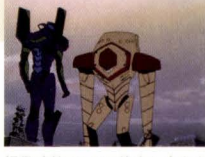
輸送機から空中分離した初号機は、葛城一尉を手に乗せてJ.A.の追撃を開始する。

5 葛城一尉、J.A.へ乗り込む

J.A.内部へと乗り込むことに成功した葛城一尉は、制御コンソールへと辿り着きパスワードを入力。だがプログラム改竄によりパスワードは機能しなかった。

リアクターが臨界点に達する前に、葛城一尉はJ.A.への乗り込みに成功した。しかし――。

6 J.A.停止

葛城一尉は無理を承知で、リアクター制御棒を人力で押し込もうとするも、焼け石に水。ついに爆発かと思われた瞬間、J.A.は不可解にも作動を停止した。

爆発寸前でJ.A.は停止し事なきを得た。だがこれはすべて事前にプログラムされていたのだ。

7 赤木博士、碇司令に報告

NERV本部に戻った赤木博士は、碇司令にJ.A.暴走事件を口頭で報告。だが、その言葉は「葛城一尉の行動を除きすべて予定通り」という意外なものであった。

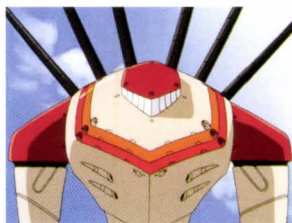
碇司令にJ.A.暴走事件の報告をする赤木博士。この事件は碇司令の仕組んだことだったのか？

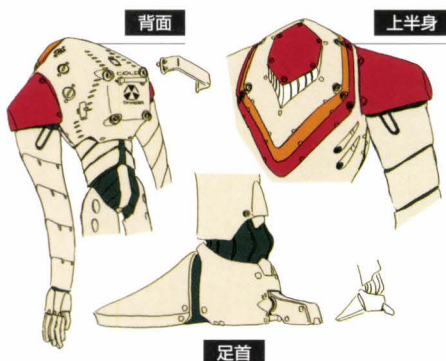
02_ J.A.(巨大人型自走兵器ジェットアローン) 兵器 MECHANIC

日本重化学工業共同体が造り上げた、対使徒戦用の大型人型兵器。小型原子炉を動力源として内蔵し、制御室より遠隔操縦される人型ロボットである。EVAとほぼ同等の戦闘力を持ち、柔軟かつ安全に運用可能というのが謳い文句である。

JET ALONE

DATA
■ 呼称：J.A.
■ 動力：核分裂炉
■ 武装：なし

Illustration by Hirofumi Ichikawa

原子炉を戦場へ持ち込むリスクに関しては、まったく考慮されていないJ.A.。そのため炉心融解の危険がついて回る。

背面
上半身
足首

03_ 時田シロウ 人物 CHARACTER

J.A.の開発責任者。NERVやEVAの極秘情報も入手しており、政府との強いコネクションを伺わせる。だがJ.A.の緊急停止承認の権限を持たないなど、実際は中間管理職的な立場であった。

NERVに対し強い敵愾心を抱く時田は、質疑応答の場で得々と赤木博士をやりこめる。

SHIRO TOKI

日本重化学工業共同体

日本の重化学工業関連の民間企業によって構成されている事業共同体。第2次遷都計画など、いわゆるNERV関連の利権にあぶれた企業によって構成されているという。なお、J.A.プロジェクトは通産省と防衛庁主導の計画であった。

04_ 旧東京 施設 INSTALLATION

セカンドインパクト以前の日本の首都であった東京は、多くの場所が水没したまま封地となっている。沿岸部地域のみ埋め立てられ「旧東京再開発臨海部」として再建されており、J.A.の公試運転はこの場所の国立第3試験場で行われた。

第28放置區域(旧東京都心)

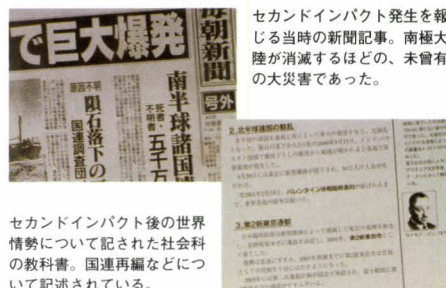
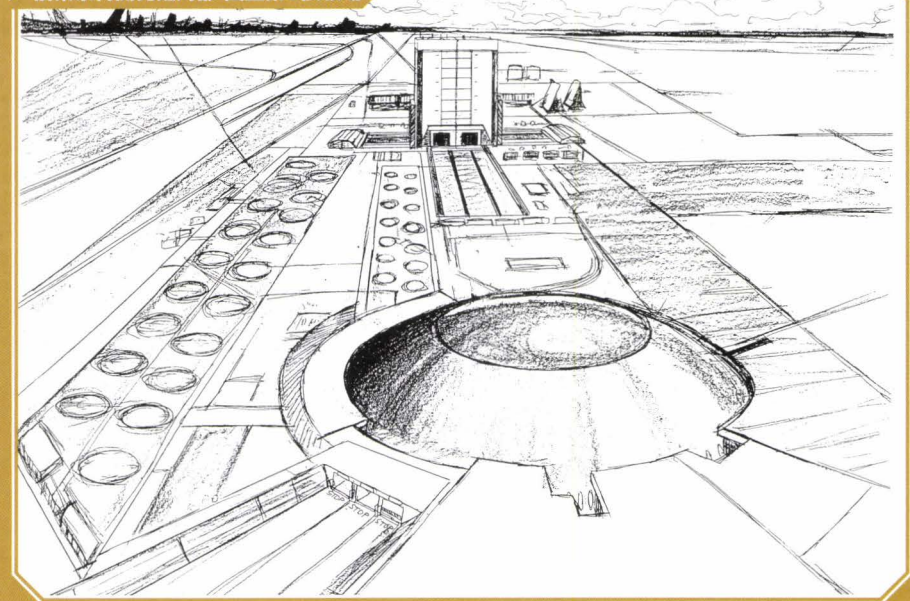
旧東京の多くの地域は再開発もされず、水没した高層ビルが放置されたまま、廃墟の都という有り様となっている。

▶ 旧東京再開発臨海部 国立第3試験場

05_ セカンドインパクト① 技術 TECHNOLOGY

西暦2000年9月13日に南極で発生した大爆発。一般には大質量隕石の衝突とされているが、真実は、最初の使徒と呼ばれる存在との接触で発生した原因不明の爆発であると、リツコは語る。

で巨大爆発
朝新聞
南半球諸国
隕石落下の
号外

セカンドインパクト発生を報じる当時の新聞記事。南極大陸が消滅するほどの、未曾有の大災害であった。

セカンドインパクト後の世界情勢について記された社会科の教科書。国連再編などについて記述されている。

COLUMN SSTO

成層圏を飛行する超高空旅客機。ゲンドウが国連の会議に出席する際に乗った。この機種の底部がヤシマ作戦時に盾として流用されている。

成層圏を飛行するSSTO。眼下には、セカンドインパクトの影響で赤く変色した南極海が見える。

第八話 アスカ、来日

SCENE/CHECK POINT

1 ゲンドウ、何者かと連絡
▼
2 ミサト、シンジらを連れて太平洋艦隊へ出向 ▸▸ 03 P.083
▼
3 シンジら、アスカと対面 ▸▸ 04 P.083
▼
4 ミサトら、太平洋艦隊司令と面会
▼
5 加持、▸▸ 05 P.083
ブリッジに現れる
▼
6 加持、ミサトとの関係を匂わす
▼
7 アスカ、シンジに弐号機を披露 ▸▸ 06 P.083
▼
8 使徒、▸▸ 02 P.082
太平洋艦隊を襲撃 ▸▸ 01 P.082
▼
9 アスカ、シンジを伴い弐号機を起動
▼
10 弐号機、艦を足場に旗艦へ移動し、外部電源を装着
▼
11 弐号機、水中で使徒と交戦
▼
12 ミサトの作戦で、使徒殲滅
▼
13 太平洋艦隊、新横須賀港に入港
▼
14 加持、ゲンドウにアダムを渡す ▸▸ 07 P.083
▼
15 アスカ、第壱中学校に転入
▼
第九話へ

ミサトは、シンジ、トウジ、ケンスケを伴って弐号機を日本に搬送する太平洋艦隊に合流する。そこでシンジは、弐号機の専属パイロット、惣流・アスカ・ラングレーと出会う。一方ミサトは、アスカの随伴であるかつての恋人、加持リョウジと再会し頭を抱えていた。アスカは、初の実戦で高いシンクロ率を出したシンジに対抗意識を持つ。その意識の現れか自分の弐号機を見せつけるためにシンジを連れ出すが、そこへ使徒が襲来。格の違いを見せつけるチャンスと、アスカは弐号機にシンジを伴い無断で発進する。しかし弐号機は海中に引きずり込まれたうえ、使徒に呑み込まれピンチに。この状況をミサトは逆手に取り、トローリングの要領で使徒を引きつけ、自沈した戦艦を使徒体内へ特攻させ、コアへのゼロ距離射撃と自爆により使徒殲滅に成功する。ようやく新横須賀港へ入港した太平洋艦隊を後目に、いち早く脱出してNERV本部へ到着していた加持。彼はアダムとされる存在をゲンドウへ渡す。そして翌日。シンジのクラスにあのアスカが転校してきたのだった。

STAFF LIST

第八話（初回放映日：95.11.22）

脚　本：榎戸洋司、庵野秀明
絵コンテ：樋口真嗣
演　出：鶴巻和哉
作画監督：本田　雄

第八話 アスカ、来日

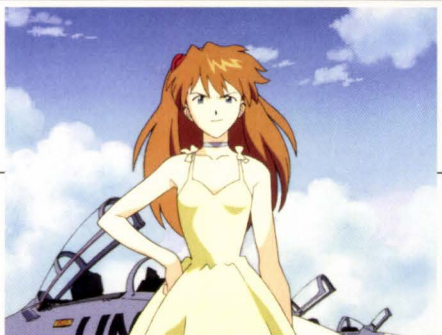
NEON GENESIS EVANGELION
EPISODE:8
ASUKA STRIKES!

COLUMN

前回の冒頭でのゲンドウの電話の相手が、今回より登場する加持リョウジである。この第八話で彼は、表向き弐号機移送のNERV側のオブザーバー的な立場だが、その実、硬化ベークライトで固められたアダムをゲンドウへ極秘裏に届ける役割を担っていた。使徒が艦隊を襲撃した理由は、ラストに加持が言う通り、このアダムを狙ってのことかもしれない。そしてこのアダムが、今後シリーズを通しての重要なキーとなっていく。

SCENE 1
執務室でゲンドウは、何者かと連絡を取っていた。何か重要な物資が洋上を移送中であるらしい。

SCENE 2
シンジらを連れて太平洋艦隊へ出向いたミサト。弐号機用の緊急外部電源を運んできたのだ。

SCENE 3
甲板上で、シンジらは惣流・アスカ・ラングレーと出会う。その見下した物言いにトウジ激怒。

SCENE 4
ミサトは非常用電源の使用許可を求めるが、艦隊司令らは、NERVを快く思ってはいなかった。

SCENE 5 6
艦隊には、アスカの随伴として加持リョウジが同行していた。加持にからかわれミサトはうめく。

冗談じゃない、悪夢よこれ……

第八話

EPISODE 8 ASUKA STRIKES!

SCENE 7

アスカは、加持がシンジを褒めることが面白くない。対抗意識の表われかシンジに弐号機を披露。

SCENE 8

太平洋艦隊に使徒が襲来。自分の実力を示すチャンス到来とばかりに、アスカはほくそ笑む。

チャーンス!

SCENE 9

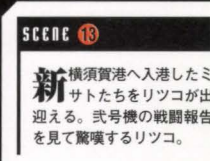
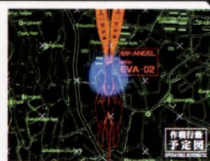
アスカはシンジを弐号機に乗せ無断で出撃。これに乗じてミサトは強引に指揮権を奪い取る。

アスカ、行くわよ

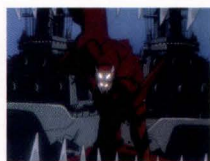
SCENE 10 11

旗艦に移り外部電源を装着した弐号機は、使徒に水中戦を挑む。一方加持は艦隊からひとり離脱する。

SCENE 12

海中に引きずり込まれ窮地の弐号機。ミサトは妙案を思いつき、艦隊の協力で使徒を撃破した。

SCENE 13

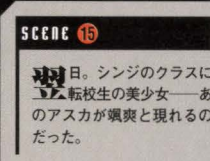
新横須賀港へ入港したミサトたちをリツコが出迎える。弐号機の戦闘報告を見て驚嘆するリツコ。

新横須賀(旧小田原)

SCENE 14

艦隊を離脱した加持はゲンドウと会っていた。加持はアダムを密かに運ぶ役目を負っていた。

そうだ。最初の人間、アダムだよ

SCENE 15

翌日。シンジのクラスに転校生の美少女――あのアスカが颯爽と現れるのだった。

01 旧伊東沖遭遇戦

作戦 TACTICS

Illustration by Takuya Io

■ 第6使徒との戦闘概略図

Illustration by Akio Unuma

エヴァンゲリオン弐号機の初出撃と、使徒との洋上戦

第6使徒は弐号機を搬送中の国連軍太平洋艦隊を襲撃。弐号機パイロットは独断で起動、交戦する。NERV本部より非常用電源ソケットが搬入されていたため活動時間に支障はなかった弐号機だが、水中装備ではないため海中に引き込まれ窮地に陥る。しかし、艦隊に同行していた葛城一尉の発案で艦隊の兵力を併用し、使徒撃退に成功した。

海中を縦横に動き回る第6使徒の襲撃を受け、国連軍最大を誇っていた太平洋艦隊は、その艦船の大半を失ってしまった。

弐号機には、セカンドチルドレンのみならずサードチルドレンも同乗しており、瞬間的なシンクロ率はマックス値の記録を更新した。

1 奇襲——使徒出現

順調に航行を続けていた太平洋艦隊だったが、旧伊東沖において、第6使徒の襲撃を受けた。

2 国連軍による状況対処

太平洋艦隊は、水中から体当たり攻撃を仕掛けてくる第6使徒に対し、魚雷やミサイルにて反撃を試みるも、A.T.フィールドに阻まれダメージを与えられず。

ASROCや短魚雷などで迎撃するが、使徒のスピードを捉えきれず、命中しても効果はない。

3 エヴァンゲリオン弐号機起動

セカンドチルドレンは独断で弐号機を起動。だが艦隊に同行していた葛城一尉も、EVAによる応戦を艦隊司令に具申していたため、この独断行動を支持した。

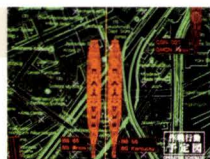
起動した弐号機は艦船を飛び石のように利用して、旗艦オーバー・ザ・レインボウへと移動。

4 水中での戦闘

使徒を捉えた弐号機だったが、その巨体を支えきれず海中へと引き込まれる。通常のB型装備では水中での活動がままならず、口内に呑み込まれてしまう。

第6使徒の口内に呑まれ、くわえられた弐号機は、そのまま海中を引きずり回されてしまう。

5 作戦立案

トローリングの要領でアンビリカル・ケーブルを巻き上げて使徒を引き寄せ、同時に自沈させた戦艦2隻を口内へ突入。ゼロ距離砲撃後自爆という作戦を立案。

葛城一尉の発案による、艦隊の残存兵力を利用した使徒撃滅プランが実行されることとなった。

6 使徒殲滅

弐号機による第6使徒の開口も成功し、沈降した戦艦が作戦通りに口内にて一斉砲撃。コアを直撃され、使徒は大爆発を起こし消滅。弐号機も無事に帰還した。

02 第6使徒ガギエル

使徒 ANGEL

GAGHIEL

DATA
- 呼称：第6使徒
- 天使名：ガギエル
- 象徴：魚
- 能力：体当たり、かみつき

Illustration by Hirofumi Ichikawa

魚の天使の名を冠する使徒。そのサイズは、大型空母に匹敵するほどの巨体であるが、海中での機動力は凄まじいものがある。そのスピードと巨体を活かし、A.T.フィールドをまとう体当たりで艦船を攻撃した。また、コアは口の中に存在する。

太平洋艦隊の旗艦で待ち受けた弐号機に海中から飛び上がり、ボディプレスをかけるガギエル。戦艦が隠れてしまうほどの巨体である。

正面

03_ 国連軍：太平洋艦隊 組織 ORGANIZATION

国連軍で最大規模を誇る艦隊が太平洋艦隊である。大艦隊ではあるが、その構成艦はセカンドインパクト以前の老朽艦ばかり。旗艦は原子力空母オーバー・ザ・レインボウ。弐号機と専属パイロットを日本へ輸送する途中に使徒と遭遇した。

旗艦オーバー・ザ・レインボウのクルー。再編後の国連軍はいわゆる多国籍軍状態であるが、太平洋艦隊もその例に漏れない。

オーバー・ザ・レインボウ艦長、副長

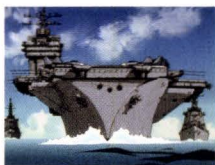
艦隊司令を務めるオーバー・ザ・レインボウの艦長とその副長。艦長はプライドが高く、艦隊が小間使いのような扱いをNERVから受けることを遺憾に思っている。

艦長

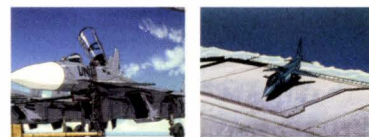
副長

太平洋艦隊の構成艦

■ オーバー・ザ・レインボウ

ニミッツ級原子力空母8番艦「ユナイテッド・ステイツ」を改めた、国連軍太平洋艦隊の旗艦。この艦のリアクターと非常用ソケットを直結することで弐号機は電力を得ていた。

NERVから出向してきた葛城一尉らは、艦隊司令のいるオーバー・ザ・レインボウに乗船。使徒襲来後も沈むことはなかった。

▶ 艦載機

国際色豊かな国連軍を反映してか、米国製の空母オーバー・ザ・レインボウの艦載機の多くはロシア製の戦闘機である。

Su-27（左）とYak-38改（右）。ともにロシア製。

■ EVA輸送用改造タンカー

弐号機を搬送するために改造された大型タンカー。内部はプール状になっており、弐号機はうつぶせの状態で、ケイジ内同様にEVAを保存するための溶液に漬かったまま運ばれている。

ブリッジ上に着艦しているヘリコプターはMi-2。なお、弐号機の起動直後、使徒の攻撃で轟沈。

■ 戦艦

太平洋艦隊ではアイオア級の戦艦が確認されている。葛城一尉は残存していた2隻の戦艦を用いて、第6使徒を殲滅する作戦を立案。自沈して第6使徒の口内に突っ込み自爆した。

使徒の攻撃から生き残った2隻、アイオア級の戦艦、5番艦「イリノイ」と6番艦「ケンタッキー」。

■ その他艦船

少なくとも「空母5、戦艦4」と相田ケンスケが確認している。空母は旧ソ連のアドミラル・クズネツォフ級があり、ほかには巡洋艦やフリゲート、日本の護衛艦などが配備されている。

戦艦イリノイとケンタッキーのクルーは、艦隊のフリゲートに収容された。

04_ 惣流・アスカ・ラングレー 人物 CHARACTER

弐号機専属パイロットのセカンドチルドレン。シンジに自分の活躍を見せつけるため、弐号機へ同乗させて戦闘を行うほどの自信家。

NERV本部に着任したアスカは、シンジと同じ第壱中学2年A組の一員となった。

05_ 加持リョウジ 人物 CHARACTER

ドイツのNERV第2支部からアスカの随伴として同行してきた男性で、ミサトの元カレ。一見、軽薄なように見えるが、とらえどころのない人物。

碇司令と内密に連絡を取る加持。NERVの機密任務も秘密裏に遂行していた。

06_ EVA弐号機 兵器 EVANGELION

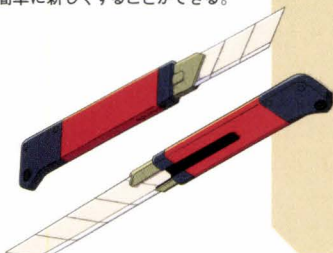
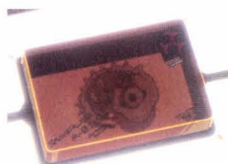
太平洋艦隊が搬送してきたEVAのプロダクションモデルで、アスカが搭乗する。彼女にとっての誇りであるらしく、シンジに自慢げに披露する。

アスカの力量もあるが、先行量産モデルだけあって軽快な動きを可能としている実戦型EVA。

頭部拘束具開閉時

プログレッシブ・ナイフ改(PK-02)

弐号機が使用するカッターナイフ型のプログレッシブ・ナイフ。初号機のそれよりも改良されており、万一刃こぼれしても、刃先を簡単に新しくすることができる。

07_ アダム① 使徒 ANGEL

アダムと呼ばれた胎児状の姿をした物体。ゲンドウが加持に持ち出させた最高機密物資であり、耐核仕様のトランクに収められて運ばれた。

硬化ベークライトで固められたアダム。加持によれば「生きている」ということだ。人類補完計画の要となるらしい。

COLUMN 輸送ヘリと非常用ソケット

ミサトがNERV本部より太平洋艦隊へ合流するために乗ってきた大型の輸送ヘリMil-55d。カーゴルームには、EVA用の非常用電源ソケットを積んでいた。なおこの機体はNERV所有ではなく、国連空軍所有のヘリである。

オーバー・ザ・レインボウに着艦した輸送ヘリ。スカイクレーン（CH-54A）に似た構造を持つ。

万が一に備えて、弐号機を洋上で起動できるように持ち込まれた、EVAの非常用電源ソケット。

第九話 瞬間、心、重ねて

SCENE/CHECK POINT

転入してきたアスカは、その容姿で学校中の男子から人気を集めていた。一方、加持は本部出向の辞令が下ったことをミサトと旧友のリツコに伝える。そんなとき新たな使徒が出現。ミサトは、使徒の上陸地点で迎撃を行うが、分離という特殊能力を持つ使徒にシンジとアスカは無様に敗北。国連軍のn^2爆雷により、辛うじて足止めに成功する。この使徒を倒すため、EVA2機の完璧なユニゾンが必要となる。使徒が活動再開するまでの1週間、連携をマスターするシンジとアスカの特訓が始まった。だが、ふたりの相性は最悪。シンジのせいにするアスカだったが、レイがシンジとこともなげにユニゾンするのを見てアスカのプライドに火がつく。以降猛然とやる気を出し、ついに再戦の日を迎える。出撃と同時に華麗に地を蹴り宙を舞い、使徒を確実に追い込むEVA。そして必殺のダブルキックが使徒のコアを捉える。使徒は殲滅したが、爆発跡には無様に絡み合った初号機と弐号機を前に、フィニッシュ失敗の原因を懲りずになすり合うシンジとアスカの姿があった……。

STAFF LIST

第九話（初回放映日：95.11.29）

脚　本：薩川昭夫、庵野秀明
絵コンテ：樋口真嗣
演　出：水島精二
作画監督：長谷川眞也

第九話 瞬間、心、重ねて

NEON GENESIS EVANGELION EPISODE:9
Both of You, Dance Like You Want to Win!

COLUMN

勝ち気なアスカの隠された一面を早くも伺うことのできるエピソード。レイがシンジといきなり阿吽の呼吸で音楽ゲームをこなすのを見て驚いたアスカが、その後漏らす「私はEVAに乗るしかないもの」というセリフや、寝言で「ママ」と漏らし涙を一筋流すシーンは、第弐拾話へ繋がるものだ。また、この回ではアスカのことを、シンジは「惣流」ヒカリは「アスカさん」と、転入したてのアスカにまだ距離を感じる呼び方をしている。

SCENE 1

アスカは注目の的に。それを利用し、トウジとケンスケは彼女の隠し撮り生写真で小遣い稼ぎ。

SCENE 2

相変わらずな態度の加持。なんとも腹立たしいミサトだったが、彼は本部出向になったという。

SCENE 3 4

修復中の第3新東京市での戦闘を避け、発見された使徒を駿河湾にて迎撃するシンジとアスカのEVA。

ぬわぁんてインチキっ!!

SCENE 5 6

使徒は2体に分離し、初号機と弐号機を撃破。結局、国連軍のn^2爆雷で使徒は足止めされる。

EPISODE 9 Both of You, Dance Like You Want to Win!

SCENE 7

ミサトがリツコからもらった使徒撃退のためのアイデア。それは加持が立案したものであった。

SCENE 8

シンジが学校から帰ると、なぜかアスカの姿が。今日からアスカもミサトの家で暮らすという。

SCENE 9

アスカとシンジの同居生活は使徒撃退作戦の特訓のため。ミサトは1週間でマスターしろと厳命する。

SCENE 10 11

トウジやヒカリが訪れ、特訓は芳しくないことが判明。ミサトはレイをダシにアスカを発奮させる。

SCENE 12

ふたりは見違えるように特訓に集中。歯みがきから食事まで完璧にユニゾンし、再戦の日が迫る。

傷つけられたプライドは、10倍にして返してやるのよ！

SCENE 13

再戦前夜。ふたりきりになったシンジとアスカ。寝ぼけたアスカにシンジはドギマギするのだった。

SCENE 14

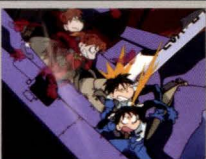
本部で仕事中だったミサトは加持に唇を奪われていた。ミサトは加持への感情に思いを巡らせる。

SCENE 15 16 17

第7使徒との再戦の火蓋が切って落とされた。2機のEVAは見事なユニゾン攻撃で使徒を殲滅。

わかってるよ。62秒でケリをつける

SCENE 18

衆目に曝されているとは知らず、フィニッシュの失敗をシンジとアスカは罵りあい続けるのだった。

ブザマね

01 第7使徒イスラフェル戦

作戦 TACTICS

Illustration by Takuya Io

2体に分離する使徒に対抗する、二点同時過重攻撃作戦

NERVは沿岸部にて第7使徒を殲滅するため迎撃に出るも、戦闘中に使徒は2体に分離。初号機と弐号機の連携の悪さもあり、撃退に失敗。国連軍のn²爆雷により使徒は一旦活動を停止。その間にNERVは新たな対抗策を考案し、再戦に臨む。

第5使徒を撤去中の第3新東京市の戦闘能力は実質皆無であり、第7使徒は市街地外で殲滅する必要があった。

1度は敗北した初号機と弐号機であったが、完璧なユニゾンによる二点同時過重攻撃をマスターし、第7使徒に再戦を挑む。

第7使徒の出現と迎撃作戦の失敗

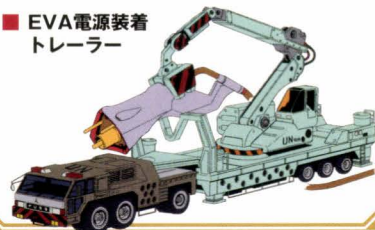
第7使徒の上陸地点、駿河湾にて行われた迎撃作戦。EVAを空輸の上、支援車両を動員しての万全の体勢で作戦は遂行されたが、その結果は惨敗と言う他はなかった。

移動指揮車内から作戦指示を出す葛城一尉。第3新東京市外での戦闘に、万難を排して望んだが最悪の結果に。

弐号機に両断された使徒であったが、そのまま2体に分離という予想外の展開に、初号機と弐号機は動揺してしまう。

▶ EVAの遠征支援態勢

EVAを第3新東京市外にて運用するためには、多数の電源車や電源装着トレーラーなどを投入し、EVAのサポート体勢を構築する必要がある。

■ EVA電源装着トレーラー

▶ N参号作戦とn²爆雷

第7使徒に敗北したNERVは作戦遂行を断念し、国連第2方面軍に指揮権を譲渡。同軍のN参号作戦＝n²爆雷投下による使徒攻撃により目標の構成物質の28%を焼却。一応の戦果を挙げた。

駿河湾の目標に対しn²爆雷を使用した結果、地図の書き換えを要するほど周辺の地形は変貌した。

分離する使徒に対する新たな迎撃作戦：二点同時過重攻撃作戦

分離する使徒の撃退に考案された、2機のEVAによる連携攻撃ののち、合体する瞬間のコアを同時に粉砕する作戦である。内蔵電源のみでの戦闘のため、作戦は62秒で完遂する必要がある。

■ 二点同時過重攻撃作戦のプロセス

1 使徒の再侵攻とEVAの出撃
2 使徒の強制分離
3 分離した使徒の撹乱
4 分離した使徒の誘導
5 第3新東京市の支援
6 使徒の合体
7 二点同時過重攻撃

▶ 第3新東京市の戦闘支援

二点同時過重攻撃作戦遂行に際しては、よりEVAの戦闘と連携した援護攻撃が行われた。また、ポジトロンライフルも初めて使用されている。

■ ポジトロンライフル

▶ 二点同時過重攻撃作戦概念図

6 格闘戦で2体の使徒を同時攻撃。使徒は再び合体。

4 反撃をアクロバティックに回避しつつ、使徒を誘導。

3 着地と同時に各種携帯火器を使用し使徒を牽制・撹乱。

7 高空より使徒のコアへの2機同時高速キックにて殲滅。

1 再侵攻した使徒に、EVA2機は外部電源をパージし発進。

5 第3新東京市の兵装による援護射撃にて、EVAを支援。

2 ジャンプ後、牽制しつつ使徒を強制的に分離させる。

Illustration by Akio Unuma

02_ 第7使徒イスラフェル

使徒 ANGEL

分離・合体能力を持つ人型の使徒。他者に両断されても2個体に完全分離でき、その場合コアも各個体がそれぞれ有する形となる。第3新東京市の防御シールドをも容易く切り裂く刃状の腕と、顔らしき部位から放つ怪光線が武器。

ISRAFEL

DATA
- 呼称：第7使徒
- 天使名：イスラフェル
- 象徴：音楽
- 能力：分離・合体、怪光線、鉤爪

Illustration by Hirofumi Ichikawa

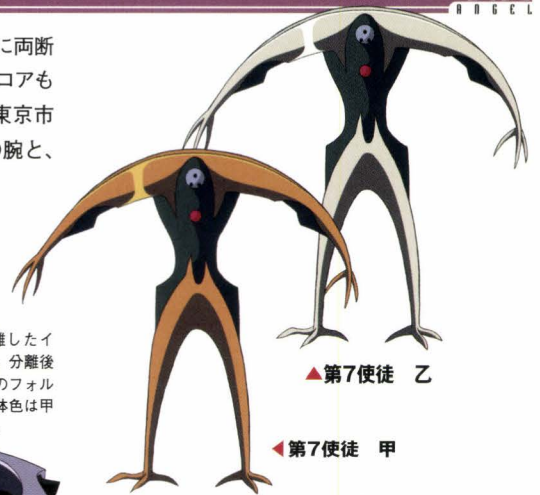
残時間28:22秒

2個体に分離したイスラフェル。分離後はより細身のフォルムとなり、体色は甲乙で異なる。

▲第7使徒　乙

◀第7使徒　甲

前面

背面

COLUMN 使徒と判断するブラッドパターン

使徒の識別は特定の波長＝ブラッドパターンの測定によって行われる。使徒のそれは青であるため「Type：BLUE」は使徒を意味する。

使徒は出現時、未確認物体として報告され、ブラッドタイプの判定により初めて使徒と断定される。

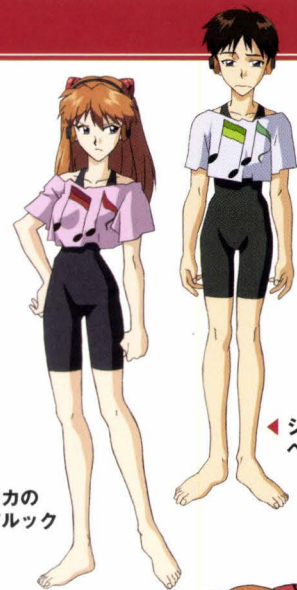
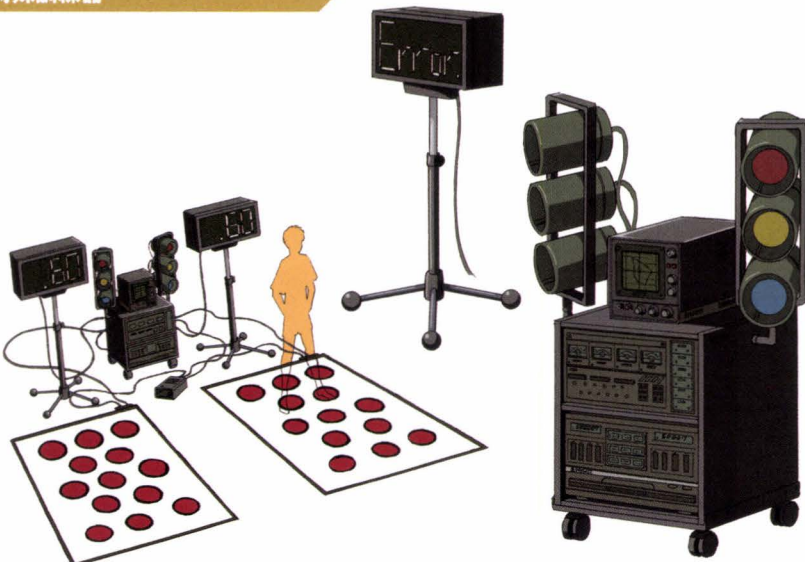
03_ ユニゾン訓練に用いた特殊機器

兵器 MECHANIC

シンジとアスカの完璧なユニゾンを実現するために用いられた特殊な訓練装置。ツイスターゲームを思わせる機材で、マット上の光った場所を、両者が同時にリズミカルかつ正確に押さえるとポイントとなり、間違えるとエラーとなるようだ。

訓練用の特殊機器ではあるが、これを用いたトレーニングは、厳しい訓練のイメージはなく完全にゲーム感覚となっている。

▶ 特殊訓練器

Error

▶アスカのペアルック

◀シンジのペアルック

▶コードレスヘッドホン

CORDLESS

第拾話 マグマダイバー

SCENE/CHECK POINT

1 アスカ、加持とショッピング
2 シンジとアスカ、戦闘待機を命じられる
3 シンジら、NERVのプールで待機
4 浅間山火口に謎の影が見つかる
5 ミサト、浅間山地震観測研究所で …… ▸▸ 03 P.091 使徒を確認 …… ▸▸ 02 P.091
6 ミサト、A-17を要請 …… ▸▸ 01 P.090
7 人類補完委員会、A-17を許可
8 アスカ、使徒捕獲の任に …… ▸▸ 01 P.090 選ばれる
9 初号機と弐号機、浅間山に出発
10 加持、諜報員と接触
11 弐号機、浅間山火口にダイブ
12 弐号機、使徒を捕獲
13 使徒、急速に羽化
14 弐号機、使徒と交戦
15 初号機、弐号機を救助
16 シンジら、温泉で疲れを癒す

第拾壱話へ

修学旅行の準備のため、加持を連れ出しショッピングを楽しむアスカ。ところがEVAパイロットは揃って待機任務と聞かされアスカは憤慨する。そこで、NERV本部のプールサイドで待機するアスカたち。同じ頃、浅間山火口内部で羽化前の使徒が確認され、ミサトはA-17を要請する。NERV側から討って出る初の作戦を人類補完委員会も承認し、使徒捕獲のためにアスカとシンジが現地へと派遣されることとなった。捕獲任務はアスカが担当し、耐熱耐圧装備のD型装備を纏った弐号機で火口内部へと潜行してゆく。限界深度を大きく超えたところでようやく使徒を捕獲。作戦は成功したかに見えたその時、使徒が羽化。作戦は即座に殲滅に変更される。しかし弐号機は武器を失い、マグマ内を自由に活動できる使徒に対し、圧倒的に不利であった。だが、アスカの機転で熱膨張を応用し、使徒を殲滅する。その際にダメージの大きかった弐号機は火口に取り残されそうになるも、間一髪、初号機が救う。作戦終了後、シンジやアスカ、ミサトは近くの温泉で疲れを癒すのだった。

STAFF LIST

第拾話（初回放映日：95.12.6）

脚　本：薩川昭夫、庵野秀明
絵コンテ：加賀ツヨシ、庵野秀明
演　出：加賀ツヨシ、石堂宏之
作画監督：重田　智

マグマダイバー 第拾話

NEON GENESIS EVANGELION EPISODE:10 MAGMADIVER

COLUMN

細かい部分での伏線的な場面が多いエピソード。人類補完委員会とゲンドウとの会話。「15年前を忘れたのか」「生きた使徒のサンプルの重要性」といったセリフや、使徒捕獲作戦時のリツコとミサトがセカンドインパクト発生に言及することから、その原因が第七話でリツコが言うほど「原因不明」ではないらしいことが伺える。また、加持が他の組織に内通していることや、ミサトの胸の傷、アスカの過去になにかあることが示される。

SCENE 1

修学旅行の水着を加持と買いに行くアスカ。加持の世代はセカンドインパクトで修学旅行はなかった。

SCENE 2

戦闘待機で修学旅行は中止とミサトに命令され、アスカは憮然。成績のことで自主補習が言い渡される。

SCENE 3

本部のプールで待機する3人。遊泳するレイやアスカを尻目に、シンジは熱膨張の問題に取り組む。

熱膨張？
ヨーチなことやってんのね

EPISODE 10 MAGMADIVER

SCENE 4

浅間山火口内に奇妙な影が発見された。それが使徒である可能性は50%であるとMAGIは解答していた。

SCENE 5

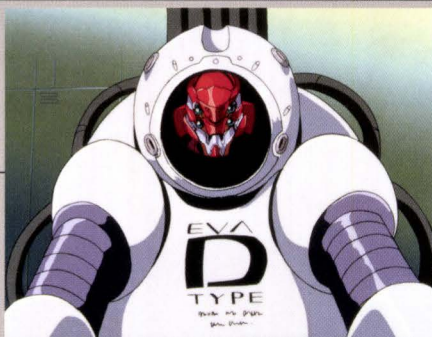
ミサトと日向が現地へ赴き、観測所の協力の下調査を開始。謎の影は羽化する前の使徒と確認する。

SCENE 6 7

ミサトは直ちに影に関する情報を極秘とし、A-17を要請。人類補完委員会もリスクを承知で認めた。

失敗か。そのときは人類そのものが消えてしまうよ

SCENE 8

使徒捕獲作戦にはアスカが選ばれたが、D型装備に幻滅。しかし、レイへの敵愾心から任務を受ける。

SCENE 9

レイは本部待機。通常装備の初号機とD型装備の弐号機が現地へ向かい、使徒捕獲作戦にかかる。

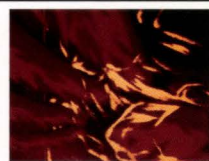
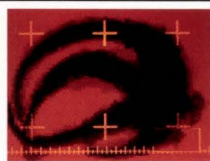
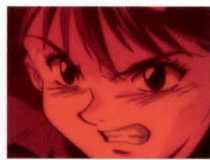
SCENE 10

一方、加持は箱根のロープウェイで見知らぬ女性と接触。女はNERVとは別組織の諜報部員らしい。

SCENE 11 12

マグマの滾る火口内部へと潜行した弐号機は、苦労しつつも使徒の捕獲に成功。作戦は終了と思われた。

SCENE 13 14 15

突如使徒は羽化を開始。殲滅命令が下る。マグマ内という不利な状況下で、弐号機は使徒を撃退する。

そうね。セカンドインパクト……二度とゴメンだわ

バカ……無理しちゃって

SCENE 16

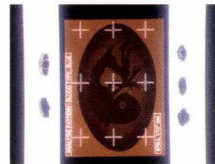
作戦後に温泉で汗を流すシンジたち。アスカはミサトの体の傷をみて、自分の心の傷を思う。

01 使徒捕獲作戦

作戦 TACTICS

Illustration by Takuya Io

灼熱のマグマの中で試みられた、使徒の捕獲

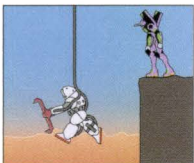
羽化前の状態の使徒が浅間山火口内で確認され、NERVは初めて使徒捕獲を目的とした作戦を立案。そのため弐号機がD型装備にて火口内へ潜行し、一旦は捕獲に成功するも使徒が覚醒。そのまま弐号機には、これを殲滅する命令が下された。

浅間山にて発見された、羽化前の蛹のような状態にある使徒。どこか人間の胎児の姿を思い起こさせる。

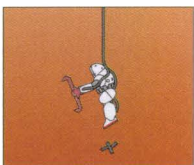
突如覚醒し、マグマ内で羽化した第8使徒は、高温高圧下にも係わらず、自由に泳ぎ弐号機に襲いかかる。

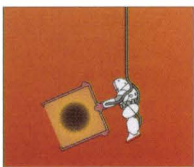
使徒の捕獲及び戦闘の経緯

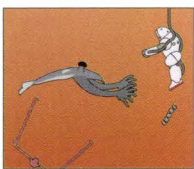
■ 前半：火口内潜行と使徒の捕獲

1 弐号機、火口内に潜行

レーザーにて火口内の進路を確保したあと、D型装備を装着した弐号機は大型クレーンに吊されて火口へと移動。そのまま下降し火口内へと潜行を開始する。

2 視界ゼロの状況下で捜索

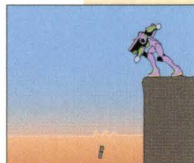
火口内はマグマにより視界が悪く、パイロットはCTモニタに切り替えるが、それでも充分な透明度は得られない。また、潜行を続ける途中でプログ·ナイフを喪失。

3 使徒の発見と捕獲

EVAの限界深度を上回り、装備にも亀裂が発生。しかし葛城一尉は潜行継続を命令。弐号機もこれに従い、ついに使徒を発見。所持したキャッチャーにて無事に捕獲完了。

4 使徒、羽化を開始

引き上げ中に使徒は急速な羽化を開始。葛城一尉は、キャッチャーの破棄と使徒の殲滅を直ちに弐号機に指令。破棄とほぼ同時に、使徒は変態を完了した。

■ 後半：高温高圧下での戦闘

5 初号機、プログ·ナイフを投下

火口部にてバックアップとして待機していた初号機は、武器を失った弐号機のためにプログ·ナイフを緊急投下。しかしマグマに阻まれ到達には多少の時間を要す。

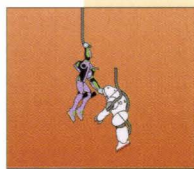
6 弐号機、使徒と接敵

その間にも、弐号機は使徒と交戦を開始。苦戦を強いられる中、プログ・ナイフを掴み反撃に出るも、充分な効果は得られず。使徒はさらに口を開き弐号機に肉薄。

7 熱膨張を利用して殲滅

弐号機は左腕の冷却用パイプを切断。使徒の口内へと押し込み圧力最大で冷却剤を流し込み、プログ・ナイフを突き立てる。熱膨張を応用したとっさの戦法であった。

8 初号機、弐号機を救出

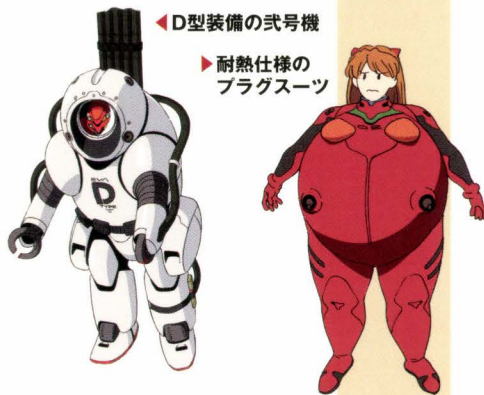
使徒は殲滅したが、その直前に弐号機をスリングしていたパイプが使徒により破損、切断。弐号機の沈降が始まった瞬間、緊急降下した初号機が弐号機を確保した。

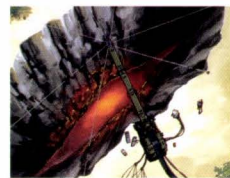
Illustration by Akio Unuma

投入されたEVA支援機器

■ 局地戦用EVA-D型装備

火口内へ潜行する弐号機が装備した耐熱耐圧耐核防護服。ボディから伸びる5本の冷却液循環パイプはライフラインケーブルを兼ねている。腿部は熱交換ジェネレーター。

◀D型装備の弐号機

▶耐熱仕様のプラグスーツ

■ 14式大型架橋自走車

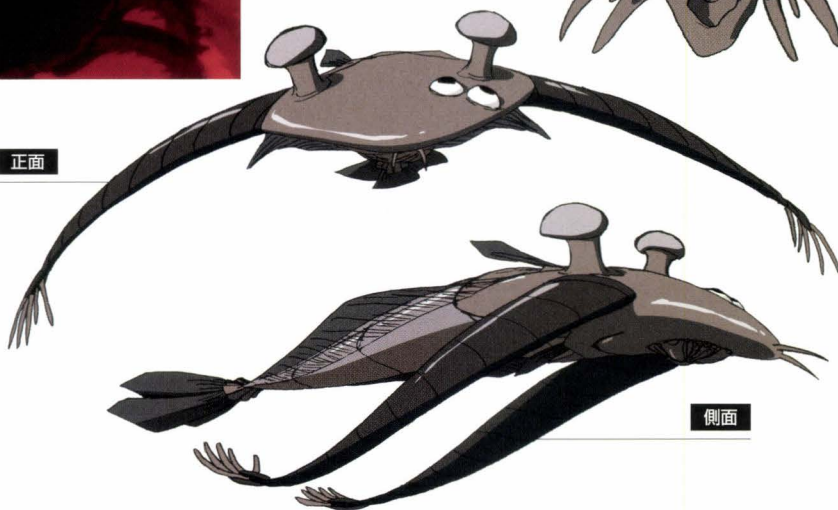
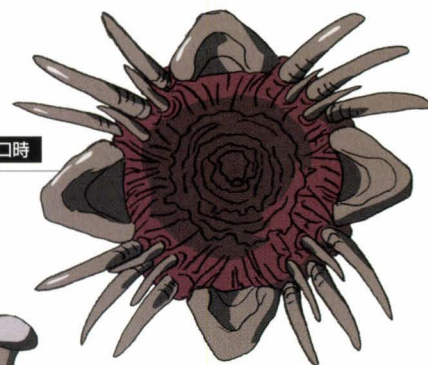
弐号機を火口内へ送り込んだ大型作業車両。弐号機をスリングするためのウィンチクレーンとして使用された。なお、潜行前にレーザーを打ち込み進路確保も行っている。

上空から見た14式大型架橋自走車。周囲の人影は人間ではなくEVA。この対比から、本車両の巨大さが判断できる。

COLUMN A-17の発令

NERVの原則は「襲来する使徒の殲滅」である。使徒との接触はハイリスクとされ、その可能性が高い「使徒の生きたままの捕獲」は、A-17という特別命令に基づき遂行されるようだ。

02_ 第8使徒サンダルフォン

使徒 ANGEL

浅間山火口内で発見された、蛹のような使徒が羽化した姿。巨大な魚を思わせるボディと古代生物のような腕部を有する。マグマ内という高温高圧下においても自在に活動し、口まで開くという、生物の常識を逸脱した特徴を見せる。

手の指のような触手は、対象を握ることが可能。その握力は強力で、D型装備の脚部を握り潰そうとした。

開口時

正面

側面

SANDALPHON

DATA
- 呼称：第8使徒
- 天使名：サンダルフォン
- 象徴：胎児
- 能力：急速羽化、かみつき

Illustration by Hirofumi Ichikawa

03_ 浅間山地震観測研究所

施設 INSTALLATION

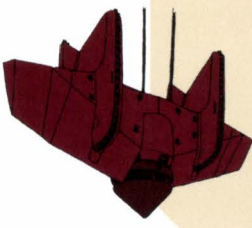
活火山である浅間山に設置された地震観測所。ここでの観測により使徒らしき物体の存在が発見され、出向した葛城一尉によって、その物体が羽化する前の使徒であると断定された。

第1地震波分析室

使徒の存在確認後は閉鎖されNERVの管轄下に置かれた。研究所には地震波分析室が複数あり、規模の大きな施設である。

無人観測機

浅間山地震観測研究所が所有する、溶岩流内無人観測機。NERVの要請により使徒の確認のために限界震度を大きく上回る深度1.4km付近まで潜行するも、圧壊してしまう。

▶ 観測所内

COLUMN 第壱中学校の修学旅行

シンジたちの通う第壱中学校は2年生の時に修学旅行に行くことになっている。その行き先は、公立校ながら沖縄となっており、これについては生徒からの人気も高いようである。

行動目的地

予定表
(2日目)

3泊の予定で、アスカのチェックから、彼女がスクーバをどれだけ楽しみにしていたのか知れる。

クウキ

スクーバ用に
アスカが買った水着

第拾壱話 静止した闇の中で

SCENE/CHECK POINT

1 NERVスタッフ、本部へ出勤

▼

2 零号機による第二次稼働延長試験が行われる ▸▸ 05 P.095

▼

3 ミサトと加持、エレベーターに乗り合わせる

▼

4 第3新東京市、電力供給が突如停止

▼

5 シンジら、本部へ向かう

▼

6 NERVスタッフ、電力復旧の遅さを訝しむ

▼

7 国連軍、使徒の接近を察知 ▸▸ 04 P.095

▼

8 シンジら、非常ルートで本部を目指す

▼

9 国連軍、使徒の接近を第3新東京市に伝える

▼

10 日向、選挙車両を徴収 ▸▸ 02 P.094

▼

11 ゲンドウら、停電は人為的と判断

▼

12 シンジら、使徒襲来を知る

▼

13 日向、発令所に使徒襲来を報せる

▼

14 ゲンドウ、手動によりEVA発進準備を行う ▸▸ 01 P.094

▼

15 シンジら、ケイジに到着

▼

16 EVA3機、使徒と交戦 ▸▸ 03 P.095

▼

17 本部、電力復旧

▼

第拾弐話へ

人為的な停電が第3新東京市を突然に襲う。そのときリツコやマヤは第二次稼働時間延長試験中、ミサトと加持はエレベーターに乗り合わせていた。シンジは勇気を出してゲンドウに電話をしていたところだが、会話の途中で切れてしまう。そのことを話しつつアスカやレイとともに本部へ行くが、停電で本部内へは入れず、非常ルートで発令所へと向かうことに。同じ頃、第9使徒が日本に上陸。国連軍はこれを察知するが、停電中のNERVに察知するすべはなかった。動きのないNERVに業を煮やした国連軍は、航空機を飛ばし第3新東京市に使徒接近の警告を発した。これを偶然地上にいた日向が知り、通りかかった選挙車両を緊急徴用し本部へ突入。使徒接近の報は発令所へと届き、ゲンドウは人力でのEVA発進準備に取りかかる。一方シンジたちも、使徒が出現したことを知りケイジを目指す。どうにかEVAの起動準備が進められているケイジへ到着するシンジたち。3機のEVAは地上の使徒に対し連係にて撃破。危機は去り、第3新東京市も灯を取り戻した。

STAFF LIST

第拾壱話（初回放映日：95.12.13）

脚　本：榎戸洋司、庵野秀明
絵コンテ：摩砂雪
演　出：渡辺哲哉
作画監督：河口俊夫

静止した闇の中で 第拾壱話

NEON GENESIS EVANGELION EPISODE:11 The Day Tokyo-3 Stood Still

COLUMN

第3新東京市の行政運営方法が、冬月の口から語られている。第弐話でミサトが「要塞都市」と言った通り、第3新東京市はNERV本部ありきの都市であるが、形式上はNERV本部（ジオフロント部）と第3新東京市（地上部）の行政は分離している。市議会議員選挙はこの地上部の行政に絡んだものだが、実際はMAGIが行政を司っており、冬月によれば市議会はいわばお飾りレベルらしい。一般人が市政へのMAGIの介在を知っているのかは不明。

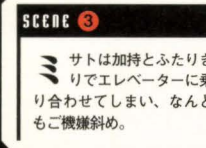
SCENE 1

今日もいつもと同じ朝の風景。リツコやマヤ、シゲルは出勤途上で評議会に行く冬月と出会う。

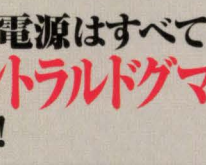
SCENE 2

リツコは零号機で第二次稼働延長試験を行っていた。結果は誤差の範囲だが不安定な部分も。

SCENE 3

ミサトは加持とふたりきりでエレベーターに乗り合わせてしまい、なんともご機嫌斜め。

SCENE 4

電力供給が止まり、突如NERV本部全体が闇に包まれた。誰もがすぐに復旧すると思ったが……。

生き残っている電源はすべて、MAGIとセントラルドグマの維持に回せ！

SCENE 5 6

シンジらは本部へ向かうが、入ることができない。そのころ冬月たちは停電が事故ではないと気づく。

SCENE 7

第9使徒が上陸したことを国連軍は察知するが、NERV本部への連絡がつかず苛つくばかり。

EPISODE 11 The Day Tokyo-3 Stood Still

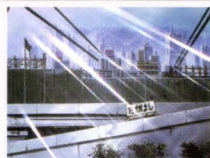
SCENE 8

緊急マニュアルを読んだレイは発令所へ向かうことを提案。アスカが自称リーダーとなり行動する。

SCENE 9

国連軍は航空機で使徒接近の警告を第3新東京市に流す。それを日向は目撃していた。

SCENE 10

本部内は空調も停止。一方、日向は危機を伝えるために選挙車両を徴用し、NERV本部へ向かう。

いいから突っ込め！なんせ非常時だからな

SCENE 11

通信回線も遮断された停電が、NERVを疎ましく思う組織の破壊工作であることは明白であった。

所詮、人間の敵は人間だよ

SCENE 12

非常ルートをさまよっていたシンジたちは、なぜか地上へ逆戻り。だがそこには使徒の姿が！

SCENE 13

日向は使徒接近中の報告を発令所にもたらし、ゲンドウは手動でのEVA発進の準備にかかる。

SCENE 14

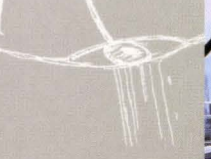
ケイジでは、ゲンドウの指揮でEVAの発進準備が進められていた。シンジたちも再びケイジを目指す。

SCENE 15

シンジらがケイジへ到着。そこで彼は懸命に準備を進める父の姿を見る。そして出撃するEVA。

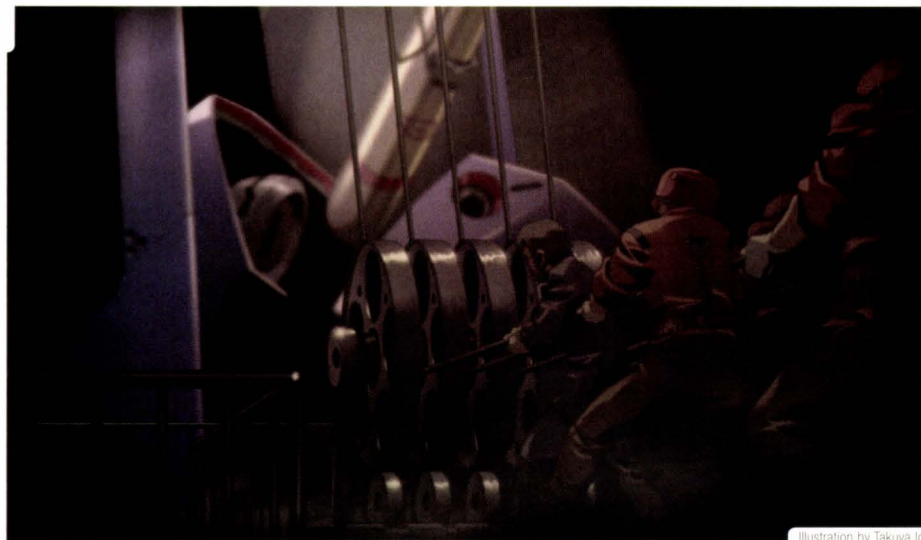
SCENE 16

使徒の溶解液で接近を阻まれたEVAだが、巧みな連係プレーで見事に使徒を殲滅することに成功。

碇司令は、あなたたちが来ることを信じて、準備してたのよ

SCENE 17

使徒は倒され停電も復旧。エレベーター内のミサトと加持は、おり悪くあられもない姿で発見された。

01 EVA人力起動

作戦 TACTICS

機能の麻痺した本部内にて、EVAを起動させたマンパワー

テロ行為により電力供給を絶たれたNERV本部は、さらに第9使徒の接近という二重の非常事態に直面した。これに際し、碇司令はEVA格納庫へと赴き、陣頭指揮を執り人力にて3機のEVAの起動を成し遂げた。これは碇司令の発案でもあった。

碇司令は単に指揮を執るだけでなく、自らも作業員とともに人力によるEVA起動作業に参加した。

エントリープラグの挿入等に於いては、スタッフが双眼鏡により逐次状況を確認し、指示を出した。

Illustration by Takuya Io

■ 手動によるEVAの起動プロセス

1 停止信号プラグの排出

EVA各機のケイジ上部に手動式チェーンブロックを架設。格納時に装入される停止信号プラグを人力にて排出。

2 エントリープラグ、挿入準備

続いて、エントリープラグを人海戦術にて挿入位置へと移動させ、固定準備が完了する。

3 非常電源による起動

パイロットが到着。セルモーターにてプラグ装入装置を動かし、EVAはディーゼル発電機の予備電源にて起動。

4 第一ロックボルトの解除

油圧パイプを作業員が斧で切断して、圧力を下げることで、2番から32番までの油圧ロックを解除。

5 EVA、拘束具を強制除去

ロック解除によりケイジの拘束具がフリーとなり、EVA各機は碇司令の指示によりこれを独力で強制排除し出撃。

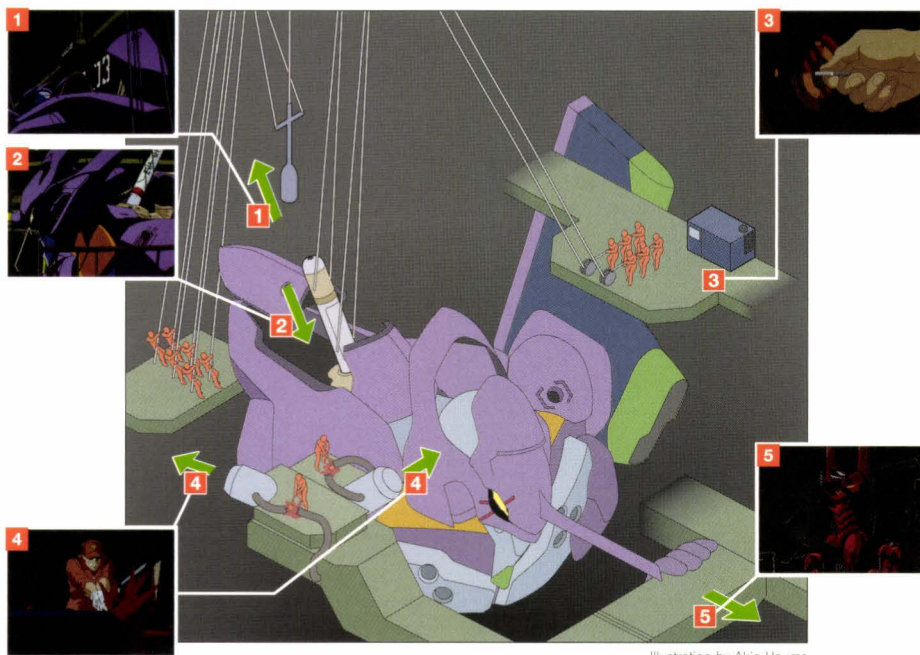



Illustration by Akio Unuma

02 使徒襲来を告げた選挙車両

兵器 MECHANIC

本部が停電を起した日は、第3新東京市市議会選挙期間中であった。地上で使徒接近の事実を知った日向マコトは、通りかかった選挙車両を徴用し、NERV本部へ使徒襲来の報をもたらした。

選挙車両のドライバーは緊急事態に興奮。フルアクセルで車を走らせ、本部内へ突入する。

暴走まがいの荒っぽい運転に、ウグイス嬢はただただ震えるばかりであった。

高橋覗氏の選挙カー

COLUMN NERVの非常用マニュアル

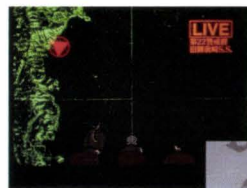
NERV勤務者に配布されている使い切りの緊急時用手引き書。各種の対処法が記されており、発令所への非常ルートなども書かれている。

マニュアルはプラカード内に納められており、常時携帯が義務づけられているようだ。

03_第9使徒マトリエル戦 作戦 TACTICS

Illustration by Takuya Io

機能を失い無防備となった NERV本部直上での攻防

第3新東京市が、停電で機能を失う事態に合わせたかのように出現した第9使徒。本部発令所へ侵攻が伝えられたとき、既に目標は市街地へ侵入していた。人力により3機のEVAは出撃を果たすが、目標は本部直上へ到達、溶解液にて地下へ攻撃を開始する。それに阻まれたEVAだが、セカンドチルドレン発案の連携作戦で殲滅を果たす。

第9使徒は旧熱海付近より上陸。国連軍府中総括総隊総司令部が察知していたが、機能を失ったNERV本部へは連絡がつかなかった。

使徒の本体下面より放出される強力な溶解液。これにより装甲隔壁を貫いて、ジオフロント内のNERV本部へと侵攻しようとしていた。

■ EVA3機によるチームプレイ

1 弐号機▸▸▸ディフェンス EVA-02
弐号機が上部にて敵のA.T.フィールドを中和しつつ、溶解液から他の2機を防御。溶解液を直接受ける危険なポジションである。

2 零号機▸▸▸バックアップ EVA-00
落下してしまったパレットライフルを、零号機が縦坑底部まで降りオフェンスへと渡す。迅速かつ的確な行動が要求された。

3 初号機▸▸▸オフェンス EVA-01
バックアップより手渡されたライフルにより、目標に向かっての銃撃を担当。内蔵電源のみの僅かな時間で確実に目標を撃破する必要があった。

04_第9使徒マトリエル 使徒 ANGEL

節足動物を思わせる細長い脚部を持つ使徒。その脚は楕円形の体躯から伸びており、小山のようなサイズを誇る。本体の底部に位置する目のような紋様から放出される強力な溶解液が武器。これでジオフロントの本部を直接狙ってきた。

本体底部の目のような紋様から、にじみ出るように溶解液を出し、まるで涙のようにも見えなくはない。

上面

下面

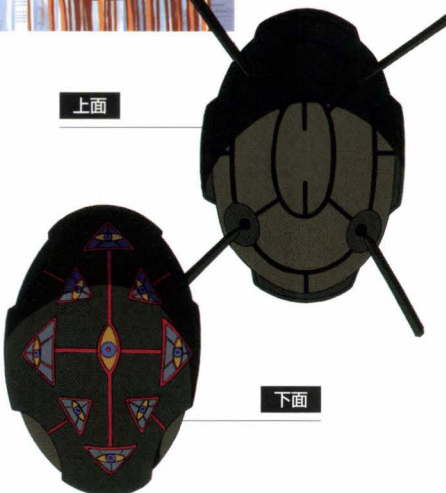
MATRIEL

DATA
■ 呼称：第9使徒
■ 天使名：マトリエル
■ 象徴：雨
■ 能力：溶解液

Illustration by Hirofumi Ichikawa

05_零号機（改） 兵器 MECHANIC

ヤシマ作戦での大破により修復作業を受けていたEVA零号機が再就役。実戦向けの仕様に改修されており、カラーリングの全面変更に加えて、肩部パイロンも標準装備となっている。

肩には非常制動用のロケットを持ち、落下スピードを和らげる。

COLUMN EVAの支援装備

停電のため外部電源を使用できないEVAは、非常用バッテリーを肩部に装着して出撃。なお、零号機のパレットガンはハードケースに入れてある。

ハードケース

EVA専用非常用電池

第拾弐話 奇跡の価値は

SCENE/CHECK POINT

1 ミサト、15年前を回想

▼

2 トウジとケンスケ、ミサト家で雨宿り

▼

3 本部にて **ハーモニクス試験**が実施 ▸▸ 03 P.098

▼

4 ミサトの昇進祝いパーティーが開かれる

▼

5 ゲンドウと冬月、**南極**にて ▸▸ 02 P.098 **ロンギヌスの槍を回収** ▸▸ 01 P.098

▼

6 衛星軌道上で**使徒**が発見される ▸▸ 05 P.099

▼

7 ミサト、D-17を発令

▼

8 ミサト、シンジらに作戦を伝える

▼

9 EVA、発進準備が進む

▼

10 シンジ、ミサトがNERVに入った理由を思い起こす

▼

11 使徒、降下開始

▼

12 EVA3機、**作戦**開始 ▸▸ 04 P.099

▼

13 初号機、使徒を受け止める

▼

14 使徒、殲滅に成功

▼

15 シンジ、ゲンドウに賞賛される

▼

16 ミサト、シンジらにラーメンを奢る

▼

第拾参話へ

西暦2000年。南極でセカンドインパクトが発生。ミサトは、その場にいた唯一の生還者であった。一方現在、ケンスケは出勤するミサトの襟章が三佐に変わったことに気づく。その夜のハーモニクス試験でリツコに誉められるシンジだが、嬉しさはない。家ではケンスケたち主催のミサト昇進祝いパーティーが行われたが、ミサトもまた、褒められて嬉しそうには見えない。一方、ゲンドウと冬月は南極である物体を回収していた。そんなとき、インド洋上空に使徒が出現。自身を質量爆弾として、NERV本部を目指して落下してくる。ミサトは緊急宣言D-17を発令。民間人の撤退した第3新東京市内にて、EVAで使徒を直接受け止めるという賭けに近い作戦を立案する。作戦を前に、ミサトはNERVに入った理由をシンジに語る。彼女もまた父が苦手だったことを知ったシンジ。そしてシンジたちEVAチームは、奇跡のような作戦を完遂する。作戦後、ゲンドウから通信で誉められたシンジ。それが嬉しかったと、ミサトたちとラーメンを食べながら、シンジは語る。

STAFF LIST

第拾弐話（初回放映日：95.12.20）

脚　本：薩川昭夫、庵野秀明
絵コンテ：摩砂雪
演　出：石堂宏之
作画監督：重田　智

奇跡の価値は
第拾弐話

NEON GENESIS EVANGELION
EPISODE:12
She said, "Don't make others suffer for your personal hatred."

COLUMN

これまで何度か作中で言及されてきたセカンドインパクト当日の様子が、初めてビジュアルで提示されると同時に、ミサトの過去が明かされる。ただ、セカンドインパクトの様子はミサト目線であるため、具体的なことはまだ判然とはしない。なお、セカンドインパクト後の南極が再度登場、異様に変質していることが分かる。また、ゲンドウと冬月が回収していた物体はこの話では言及されず、実際は第拾四話にてその名が明かされる。

SCENE 1

ミサトは、幼い頃セカンドインパクトの現場にいた。今も胸に残る傷痕は、その時刻まれたもの。

SCENE 2

雨宿りのトウジとケンスケに、アスカが突っかかる。ケンスケはミサトの三佐の襟章に気がつく。

SCENE 3

ハーモニクス試験の結果を誉められたシンジだが、アスカがなぜ嫌味を言うのか判らない。

そうして、人の**顔色**ばかり気にしているからよ

EPISODE 12 She said, "Don't make others suffer for your personal hatred."

SCENE 4

賑やかにミサトの昇進祝が開かれた。だがシンジは、相変わらずみんなと騒ぐのが苦手であった。

SCENE 5

ゲンドウと冬月は南極洋上にいた。ふたりはある物体を回収するために出向いたのである。

SCENE 6 7

衛星軌道上に使徒が出現。本部消滅の危機にミサトはD-17を発令。使徒を無理にでも倒そうとする。

SCENE 8

作戦の概要を伝えるミサト。それは落下する使徒を直接EVAの手で受けとめる、無謀な賭けだった。

自分のためでしょ、あなたの使徒への復讐は

SCENE 9

作戦前、シンジはEVAに乗る理由をアスカに問うと、自分の存在を知らしめるためだと答える。

SCENE 10

ミサトはNERVへ入った理由をシンジに打ち明けていた。話を聞き自分と似た境遇と感じるシンジ。

SCENE 11 12

使徒がついに本部目がけて落下をはじめた。3機のEVAが落下予測地点へ向かって疾走する!

そう、逃げちゃだめだ

SCENE 13 14

初号機が使徒の受けとめに成功。続く零号機がA.T.フィールドをこじ開け、弐号機が止めを刺す。

SCENE 15

作戦終了後、シンジは意外にもゲンドウから賞賛され、初めて誉められることを嬉しく感じた。

SCENE 16

作戦成功のお祝いに舌鼓を打ち、シンジは父に誉められるためにEVAに乗っているんだと理解する。

あんた、そんなことで乗ってんの?
……ホントにバカね

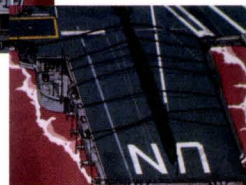
01 ロンギヌスの槍回収 作戦 TACTICS

Illustration by Takuya Io

異形の世界と化した南極で、密かに行われた回収作業

碇司令と冬月副司令。NERVの要となるふたりが揃って本部から離れるほどの最重要事項——それが南極にて行われた「ロンギヌスの槍」と呼ばれる物体のサルベージであった。だがこの作業及び移送を直接担当したのは、NERV本部ではなく国連軍であり、ロンギヌスの槍の回収は人類補完委員会が主導したものとも考えられる。

随行する重巡洋艦の艦橋上部に設けられた展望室。ここから碇司令と冬月副司令は、変わり果てた南極の様子を見つめていた。

ロンギヌスの槍を搬送する国連軍の原子力空母。その上部甲板とさほど変わらないほど巨大な物体を、如何にして回収したかは不明。

▶ ロンギヌスの槍

ゲンドウらが南極にて回収した巨大な物体。本来は死海で発見されており、葛城調査隊が必要としたことで、セカンドインパクト以前の2000年8月、南極に陸揚げされていたものである。

02 南極 施設 INSTALLATION

セカンドインパクト発生の地。セカンドインパクトの爆発によって大陸は消失し、その周辺海域は地球とは思えぬ環境に変貌している。赤紫色の海には生き物が、微生物に至るまで一切存在せず、大気組成も異なるのか空も青空ではない。

赤紫の死の海と不気味にそそり立つ塩柱群。この景観を碇司令は「浄化された世界」と評したという。

▶ 大陸図と予想爆心地

▶ セカンドインパクト後の南極

03 ハーモニクス試験 技術 TECHNOLOGY

適格者のEVAとのシンクロ率は訓練により伸ばすことができる。そのデータ測定と訓練を兼ねて、定期的なハーモニクス試験が、専用のテストプラグを用いて実施されている。

ハーモニクス試験中のディスプレイ。この試験では、プラグ内の様々な状況をシミュレートできる。

COLUMN 14歳当時の葛城ミサト

セカンドインパクト当日、14歳だった葛城ミサトはその現場である南極大陸にいた。そして唯一の生存者となったのである。

ミサトは父親の手で救命カプセルに入れられ脱出した。

Illustration by Youichi Fukano(M.I.C.)

04_ 第10使徒サハクィエル戦
作戦 TACTICS

Illustration by Tomotake Kinoshita

成功確率、0.00001%という“無謀な賭け”

衛星軌道上から自身を質量爆弾として地表を爆撃する第10使徒は、数度の爆撃で軌道位置を修正後、その巨体を第3新東京市へ落下させてきた。これを回避する作戦として葛城三佐が立案したのは、使徒を3機のEVAで直接受けとめるという無謀なもので、成功確率は0.00001%とされた。だがEVAチームは作戦を完遂。奇跡を起した。

第3新東京市に高速で落下してきた第10使徒に対し、初号機はA.T.フィールドを全開にして見事キャッチに成功した。

▶ D-17の発令

NERV権限により出される特別宣言D-17。それは半径50km以内の全市民の退去命令である。第10使徒迎撃の失敗に備え葛城三佐が発令した。

■ EVA配置、及び各機守備範囲

Illustration bytwinbell(Tokiko Yuzawa)

1 使徒、降下開始

使徒が第3新東京市上空へ到達し、急速落下を開始。事前の落下予測範囲から3方面にて待機していたEVA各機は、目標を最終的には目測で確認しつつ、落下地点へ疾走。

2 初号機、使徒を捕捉

最初に初号機が落下点に到着。A.T.フィールドを全開にして、高速で落下する使徒の巨体を両腕にて捕捉。初号機の腕部はその過重に耐えきれず中破するも、保持に成功。

3 零号機と弐号機、合流

続けて零号機が到着し、A.T.フィールドを発生させ使徒のA.T.フィールドを中和しボディ中心部にあるコアを露呈。弐号機がこれに続き、プログ・ナイフでコアを破壊。

4 使徒、殲滅

A.T.フィールドと落下エネルギーを喪失した使徒は、コアも破壊されその場で爆発。市街地外縁部には小規模なクレーターができたが、被害は最低限にとどめられた。

05_ 第10使徒サハクィエル
使徒 ANGEL

DATA
■ 呼称：第10使徒
■ 天使名：サハクィエル
■ 象徴：空
■ 能力：加重攻撃、質量爆撃、ジャミング

Illustration by Hirofumi Ichikawa

インド洋上空に出現した巨大な使徒。シンメトリックなボディとシュールアートのような紋様を持つ。自身の体躯の一部または全てを質量爆弾として地表面へ落下させて目標を攻撃する。またA.T.フィールドを使って接近する物体を圧壊する。

自身のボディを爆弾とする第10使徒。A.T.フィールドと落下エネルギーの相乗効果で、その威力は絶大。

全体

投入された兵器

■ n^2航空爆雷

国連軍が第10使徒に対して使用したn^2兵器。これまでは使徒に対し僅かながらダメージを与えることができたn^2兵器だが、今回はまったく効果がなかった。

n^2航空爆雷にもビクともしない第10使徒。爆発光の数からすると、相当数の爆雷が投下されたと思われる。

■ サーチ衛星

NERVが第10使徒のデータ解析のために投入した偵察衛星。2機で対をなし対象物を挟み込む形で探査を行う。だが、第10使徒のA.T.フィールドの力により圧壊してしまう。

第10使徒へと接近するサーチ衛星。データ解析を始めた途端に、使徒によりあえなく撃破された。

第拾参話 使徒、侵入

SCENE/CHECK POINT

1 MAGIシステム、定期検診が実施 ▸▸ 04 P.103
▼
2 シンジら、オートパイロット実験に参加 ▸▸ 03 P.102
▼
3 第87タンパク壁に汚染が見つかる ▸▸ 05 P.103
▼
4 タンパク壁の侵食部、増殖開始
▼
5 レイの模擬体、侵食される
▼
6 タンパク壁の汚染源、使徒と判明 ▸▸ 02 P.102
▼
7 冬月、シグマユニットの隔離を指示 ▸▸ 05 P.103
▼
8 ゲンドウ EVAの地上射出を指示
▼
9 発令所、使徒の弱点を発見
▼
10 使徒、弱点を克服
▼
11 使徒、本部コンピュータにハッキング
▼
12 メルキオール、本部施設の自律自爆を提訴 ▸▸ 04 P.103
▼
13 使徒、バルタザールに侵入 ▸▸ 04 P.103
▼
14 リツコ、使徒殲滅案を提示 ▸▸ 01 P.102
▼
15 リツコ、カスパーで対使徒プログラム準備 ▸▸ 04 P.103
▼
16 使徒殲滅
▼
17 シンジら、途方にくれる
▼
18 リツコ、母についてミサトに語る
▼
第拾四話へ

MAGIの定期健診が終了し、EVAの模擬体を使ったオートパイロット実験が始まった。その頃、搬入された資材に付着していたシミが驚異的なスピードで侵食拡大。模擬体を乗っ取る。リツコはシンジたちの乗るプラグをジオフロントへ射出。侵食を除去しようとするが、A.T.フィールドを発生させ対抗——侵食は微小サイズの使徒だったのだ。環境適応力に秀でる使徒は、猛烈な勢いで進化増殖を続け、MAGIをその制圧下に置き始める。メルキオールとバルタザールが相次いでハックされ、本部自爆が提訴された。ミサトはMAGIの爆破を要求するがリツコはそれを拒否。残ったカスパーから自滅プログラムを送り込み使徒を殲滅させることを提案。ゲンドウはリツコの案を承認し作業が開始される。リツコは作業中に、MAGIは自分の母の人格が移植されているとミサトに話す。だが、感傷でMAGIを救うのではないとも語る。その間にもカスパーは刻々と侵食されてゆく。残り1秒、リツコはプログラムを完成させ実行。使徒は瞬時に一掃され、本部自爆の危機は去った。

STAFF LIST

第拾参話（初回放映日：95.12.27）

脚　本：磯光雄、薩川昭夫、庵野秀明
絵コンテ：岡村天斎
演　出：岡村天斎
作画監督：黄瀬和哉

使徒、侵入
第拾参話

NEON GENESIS EVANGELION
EPISODE:13
LILLIPUTIAN HITCHER

COLUMN

MAGIについての様々な設定が明らかになるエピソード。また、使徒の侵入を許したゲンドウが、初号機を最優先で保護しようとする場面は、ビデオ版弐拾参話や劇場版を見るとその行動に合点が行く。また人格移植OSがEVAの操縦システムに使われているという意味深長な設定も明かされる。なお、今回はカスパーの“女としての人格”がNERVを自爆から救うが、劇場版ではそれがリツコを死に追いやることに。

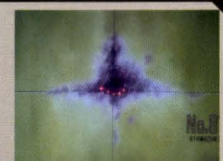
SCENE 1

スーパーコンピュータMAGIの定期健診が実施。特に異常はなく、システムは通常稼働へ。

SCENE 2

EVA関連の新テスト——オートパイロット実験が開始。シンジたちは滅菌され裸で実験に臨む。

SCENE 3 4

第87タンパク壁に黒いシミが発見される。このシミはタンパク壁を侵食し急速に拡大してゆく。

EPISODE 13 LILLIPUTIAN HITCHER

SCENE 5 6

模擬体を侵食するシミを排除しようとするも、シミはA.T.フィールドを発生させ防御する。

分析パターン、青。間違いなく……、使徒よ

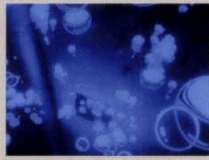
SCENE 7

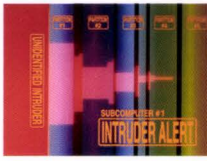
使徒の侵入を食い止めるため、冬月はシグマユニットの隔離を命じるが、侵食の勢いは止まらない。

SCENE 8

ゲンドウは外部への通達を止め、使徒から隔離すべく初号機優先でEVAの地上射出を命じる。

SCENE 9 10

この使徒が苦手とするオゾンで撃退を図るが、逆にオゾンで増殖するように順応してしまう。

SCENE 11 12 13

増殖し続ける使徒は電子回路を形成しMAGIにハッキング。使徒に冒されたMAGIは本部自爆を提訴。

このコードは……やばい! MAGIに侵入するつもりです!

SCENE 14

リツコは、残ったカスパーから進化を誘発するプログラムを送り、使徒を自滅に追い込む作戦を提案。

使徒が進化し続けるのなら、勝算はあります

SCENE 15 16

カスパー内でリツコは対使徒プログラムの作業を開始。そして、タッチの差でリツコが勝利する。

SCENE 17

その頃、プラグごとジオフロント地底湖に排出されたシンジたちは、裸のままで弱り果てていた。

SCENE 18

MAGIはリツコの母の人格が移植されており、カスパーは"女としての人格"だと、リツコは語った。

01 第11使徒イロウル戦 作戦 TACTICS

Illustration by Naochika Morishita

細菌サイズの使徒による、NERV本部中枢への侵攻

第11使徒は当初、タンパク壁の単なる汚れと考えられた。だが急速に汚染域を拡大、レーザー攻撃に対しA.T.フィールドを展開したことから使徒と判明。その侵食は食い止められず、MAGIのハッキングを許してしまう。なお、碇司令はこの事態を外部へは通達せず、その後の人類補完委員会の席上でも侵入の事実はないと報告している。

MAGIへ侵入した第11使徒は、MAGIの3基のコンピュータのうち、メルキオールとバルタザールを短時間の内に制圧してしまった。

MAGIに侵入した使徒を撃退するため、赤木博士は残ったカスパー内部で、対使徒プログラムを作成する作業に取りかかる。

1 使徒の生態の特定と対策

第87タンパク壁から急速に汚染域を拡大してゆく使徒に対し、物理的隔離を試みるが対処療法に過ぎなかった。使徒の生態を分析した結果、極めて順応性が高いことが判明。

2 使徒、ハッキングを開始

進化により電子回路を構築した使徒は、NERVのメインデータバンクへ侵入を開始。その演算能力は飛び抜けており、セキュリティは瞬時に解除されていく。

3 MAGI、使徒にハッキングされる

使徒はMAGIへと侵入しメルキオールを制圧。この段階でMAGI＝使徒は本部の自爆を提訴。赤木博士の指示により、バルタザールへの侵攻速度を遅らせることには成功した。

4 使徒殲滅の手法の提示

赤木博士は、MAGI内部にいる使徒はコンピュータソフトと同一と考え、健在なカスパーから自滅促進プログラムを送り込んで進化を促進――すなわち自滅させることを提案。

5 作戦の開始

赤木博士のプランはリスキーであったが、碇司令はこれを承認。早速カスパー内部にて赤木博士自らが作業を開始。その間にバルタザールも制圧され、自爆が決議される。

6 1秒前の勝利

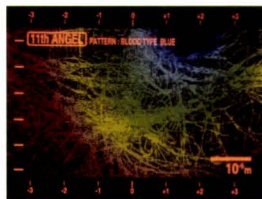
さらに使徒はカスパーへも侵攻。制圧領域が広がって行くが、赤木博士は動揺することなく作業を続け、使徒による完全制圧1秒前にプログラムを送信。使徒は撃退された。

02 第11使徒イロウル 使徒 ANGEL

IROUL

DATA
- 呼称：第11使徒
- 天使名：イロウル
- 象徴：恐怖
- 能力：自己進化、電子回路の形成

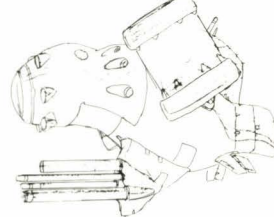
Illustration by Hirofumi Ichikawa

搬入資材に紛れて本部に侵入したマイクロマシンサイズの使徒。零号機のA.T.フィールドに反応して活発に活動を開始する。他の使徒と異なり、一種の群体として活動。強力な環境適応能力を持ち、最終的には電子回路まで構築するに至る。

マイクロスコープにより捉えられた第11使徒。絶えず環境へ適応（進化）し続けている。10^{-6}mというスケール表示が、その微小さを示す。

イロウルが侵食した模擬体

投入された兵器

■ ポリソーム

プリブノーボックス内に装備されている小型の作業用無人潜水艇。レーザーを装備しており、侵食してきた第11使徒を排除しようとするが、A.T.フィールドに阻まれる。

03 オートパイロット実験 技術 TECHNOLOGY

パイロットが、プラグスーツの補助無しで直接肉体からハーモニクスを行う実験。そのためパイロットは裸でプラグに入る。

オートパイロット実験には、模擬体にシミュレーションプラグを装入して行われた。

通常の神経接続とは異なるのか、各EVAパイロットは、微妙な違和感を口にする。

04_ MAGIシステム 技術 TECHNOLOGY

世界初の人格移植型OSを搭載した第7世代有機コンピュータ。ハード的には同一スペックの3機のコンピュータ、メルキオール、バルタザール、カスパーからなり、3者協議の多数決にて結論を出す。

MAGIシステムの構成

BALTHASAR-2
MAGI
CASPER-3
MELCHIOR-1

1 メルキオール

開発者である赤木ナオコ博士の「科学者」としての人格を移植した機体。合理的な解答を出す傾向にあるようだ。

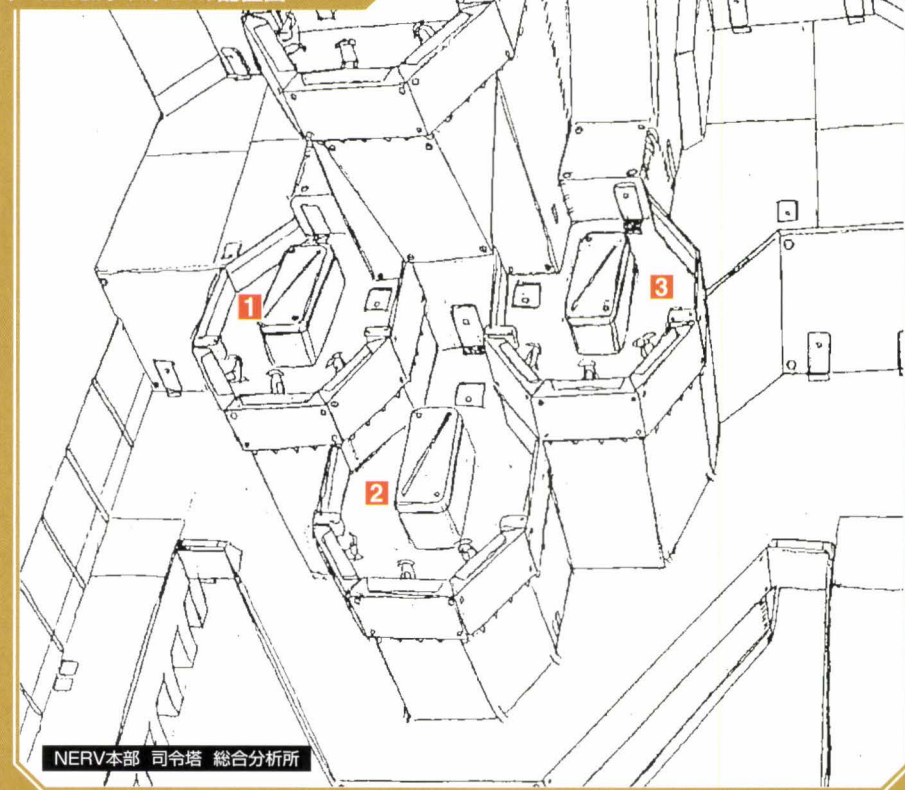
2 バルタザール

赤木ナオコ博士の「母」としての人格を移植してある。問題解決に際しては、危険を避けようとする傾向が強い。

3 カスパー

赤木ナオコ博士の「女」としての人格パターンが移植されている。人間に近い直感的な解答を重視する。

MAGIシステムの配置図

1
2
3
NERV本部 司令塔 総合分析所

05_ NERV：特殊な実験施設 施設 INSTALLATION

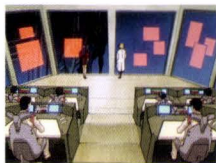
セントラルドグマ内には、模擬体の設置されたプリブノーボックスなど、EVA関連の特殊実験施設がある。実戦向きの運用等に関するものよりも、基礎的研究に係る実験が行われていると思われる。

シグマユニット

セントラルドグマ内に設けられた施設。第87タンパク壁より侵食を開始した第11使徒により汚染され、隔離された。

プリブノーボックス

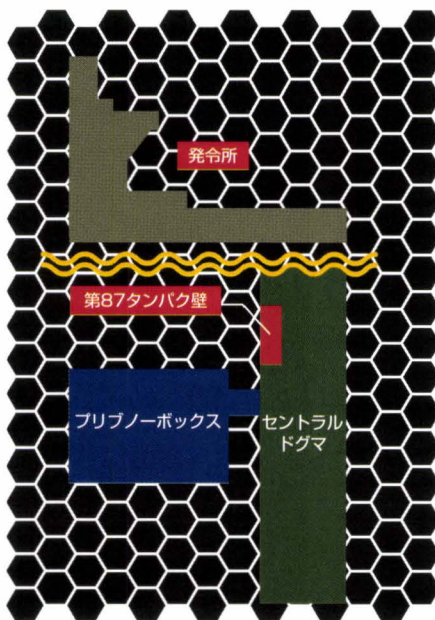
NERV本部B棟地下の実験施設。模擬体が設置された巨大水槽が実験場となっている。第11使徒に侵食され破棄。

プリブノーボックスではオートパイロット実験が行われていた。

タンパク壁

特殊な実験施設や浄水パイプなどによく用いられている有機物質の隔壁。第87タンパク壁はプリブノーボックスの上に位置していた。

第11使徒がNERV本部へ侵入したのが、シグマユニットAフロアの第87タンパク壁であった。

プリブノーボックスと周辺施設

発令所
第87タンパク壁
プリブノーボックス
セントラルドグマ

セントラルドグマの巨大な垂直溝を中心に、プリブノーボックスなど様々な実験施設が設置されている。

COLUMN

NERVが用いるコンピュータ端末

NERV本部の設備には、多くの場合コンピュータコンソールがセットされているが、屋外や個室では共通仕様のノートパソコンが使われている。またコンパクトな作業ボードも存在する。

MAGI内部など、狭いところでの作業でのI/0デバイスとしては、作業用ボードが重宝される。

◀ノートパソコン

▲作業用ボード

The following story

第拾参話以降の展開

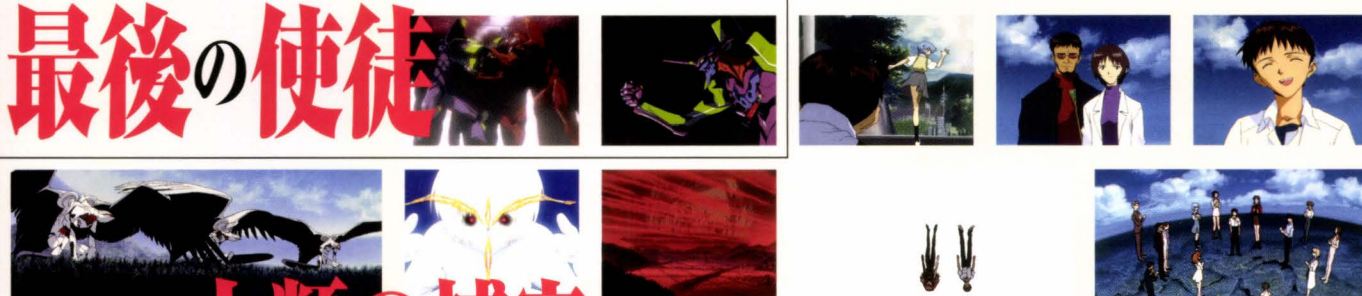
男と女

4人目の
適格者

覚醒する初号機

壊れゆく
アスカの精神

最後の使徒

そして、人類の補完がはじまる——

グッズコレクション

THE ESSENTIAL
EVANGELION
CHRONICLE
SIDE A

GOODS COLLECTION

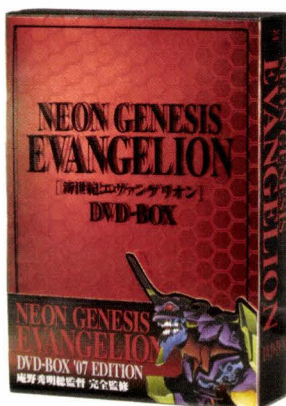
GOODS COLLECTION #01 DVD

コンポーネント・デジタル・ニューリマスター版としてリリースされているDVD。
映像面、音響面ともにハイクオリティ化された"エヴァ"を楽しめる。

DVD #01

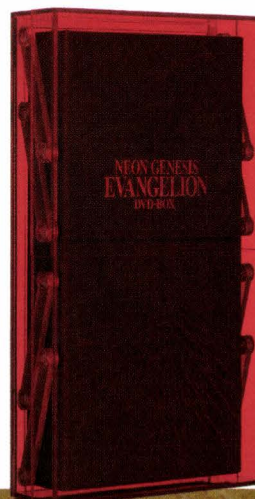
NEON GENESIS EVANGELION DVD-BOX '07 EDITION

発売日：2007年8月1日
価格：29,400円
発売元：キングレコード
KIBA-91401〜91410

<仕様>
11枚組
<収録内容>
TVシリーズ全26話＋ビデオフォーマット版4話、「EVANGELION：DEATH（TRUE）²」、劇場版第25話「Air」、劇場版第26話「まごころを、君に」
<映像特典>DISC：BONUS DISC（ノンクレジットOP・ED、先行ビデオ、劇場版先行ビデオ、劇場版実写映像 他）

DVD #02

NEON GENESIS EVANGELION DVD-BOX

発売日：2003年6月25日
価格：¥41,790（税込）
発売元：キングレコード
KIBA-91001〜91010

<仕様>
11枚組、EVA友の会封入
<収録内容>
TVシリーズ全26話＋ビデオフォーマット版4話、「EVANGELION：DEATH（TRUE）²」、劇場版第25話「Air」、劇場版第26話「まごころを、君に」
<映像特典>DISC：BONUS DISC（ノンクレジットOP・ED、先行ビデオ、劇場版先行ビデオ、劇場版実写映像 他）

DVD

DVD #03

NEON GENESIS EVANGELION Vol.01

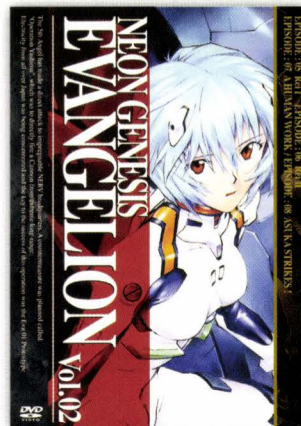
発売日：2003年7月24日
価格：¥3,990 (税込)
発売元：キングレコード
KIBA-1001

<収録話・タイトル>第壱話「使徒、襲来」/第弐話「見知らぬ、天井」/第参話「鳴らない、電話」/第四話「雨、逃げ出した後」/各話30秒予告

DVD #04

NEON GENESIS EVANGELION Vol.02

発売日：2003年7月24日
価格：¥3,990 (税込)
発売元：キングレコード
KIBA-1002

<収録話・タイトル>第伍話「レイ、心のむこうに」/第六話「決戦、第3新東京市」/第七話「人の造りしもの」/第八話「アスカ、来日」/各話30秒予告

DVD #05

NEON GENESIS EVANGELION Vol.03

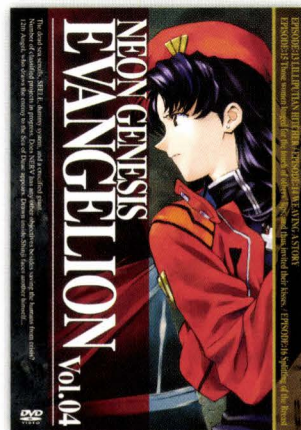
発売日：2003年8月27日
価格：¥3,990 (税込)
発売元：キングレコード
KIBA-1003

<収録話・タイトル>第九話「瞬間、心、重ねて」/第拾話「マグマダイバー」/第拾壱話「静止した闇の中で」/第拾弐話「奇跡の価値は」/各話30秒予告

DVD #06

NEON GENESIS EVANGELION Vol.04

発売日：2003年8月27日
価格：¥3,990 (税込)
発売元：キングレコード
KIBA-1004

<収録話・タイトル>第拾参話「使徒、侵入」/第拾四話「ゼーレ、魂の座」/第拾伍話「嘘と沈黙」/第拾六話「死に至る病、そして」/各話30秒予告

DVD #07

NEON GENESIS EVANGELION Vol.05

発売日：2003年9月26日
価格：¥3,990 (税込)
発売元：キングレコード
KIBA-1005

<収録話・タイトル>第拾七話「四人目の適格者」/第拾八話「命の選択を」/第拾九話「男の戦い」/第弐拾話「心のかたち 人のかたち」/各話30秒予告

DVD #08

NEON GENESIS EVANGELION Vol.06

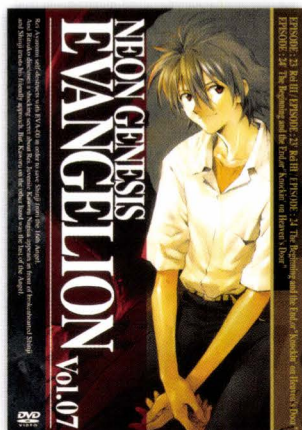
発売日：2003年9月26日
価格：¥3,990 (税込)
発売元：キングレコード
KIBA-1006

<収録話・タイトル>第弐拾壱話「ネルフ、誕生」(OAフォーマット版)/第弐拾壱話「ネルフ、誕生」(ビデオフォーマット版)/第弐拾弐話「せめて人間らしく」(OAフォーマット版)/第弐拾壱話「せめて人間らしく」(ビデオフォーマット版)

DVD #09

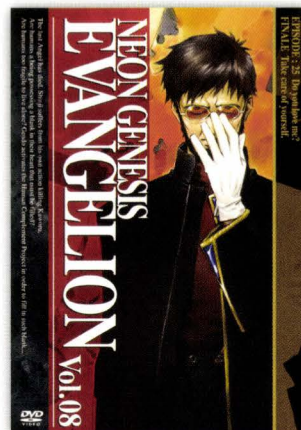
NEON GENESIS EVANGELION Vol.07

発売日：2003年10月22日
価格：¥3,990 (税込)
発売元：キングレコード
KIBA-1007

<収録話・タイトル>第弐拾参話「涙」(OAフォーマット版)/第弐拾参話「涙」(ビデオフォーマット版)/第弐拾四話「最後のシ者」(OAフォーマット版)/第弐拾四話「最後のシ者」(ビデオフォーマット版)

DVD #10

NEON GENESIS EVANGELION Vol.08

発売日：2003年10月22日
価格：¥3,675 (税込)
発売元：キングレコード
KIBA-1008

<収録話・タイトル>第弐拾伍話「終わる世界」/最終話「世界の中心でアイを叫んだけもの」/各話30秒予告

DVD #11

NEON GENESIS EVANGELION 劇場版DVD

発売日：2003年11月27日
価格：¥5,775 (税込)
発売元：キングレコード
KIBA-1009/10

<収録話・タイトル>「EVANGELION：DEATH (TRUE)²」、休息時タイムカウント、特報 予告トレイラー、TVスポット/劇場版第25話「Air」、劇場版第26話「まごころを、君に」、予告トレイラー、TVスポット

DVD #12

THE FEATURE FILM NEON GENESIS EVANGELION DTS COLLECTOR'S EDITION

発売日：2004年11月3日
価格：¥8,190 (税込)
発売元：キングレコード
KIBA-1209/10

<収録話・タイトル>「EVANGELION：DETH (TRUE)²」、劇場版第25話「Air」、劇場版第26話「まごころを、君に」

DVD #13

NEON GENESIS EVANGELION DVD 01 TEST-TYPE

発売日：2003年3月26日
価格：¥1,575 (税込)
発売元：キングレコード
KIBA-1000

<収録話・タイトル>第壱話「使徒、襲来」

EXTRA COLUMN

LD・初期DVDシリーズ

エヴァの映像メディアは、当初はLDやVHSビデオがリリースされていた。また、DVDも過去にはジュエルケース版をリリース。パナソニックの協力の元、当時の最高技術でデジタル化されたソフトとして話題となった。

初期DVDシリーズ

現在リリース中のトールサイズのジャケット（リマスター版）とは異なる初期バージョン。1997年7月～1999年9月にかけて、リリースされた。

セカンドインパクトBOX

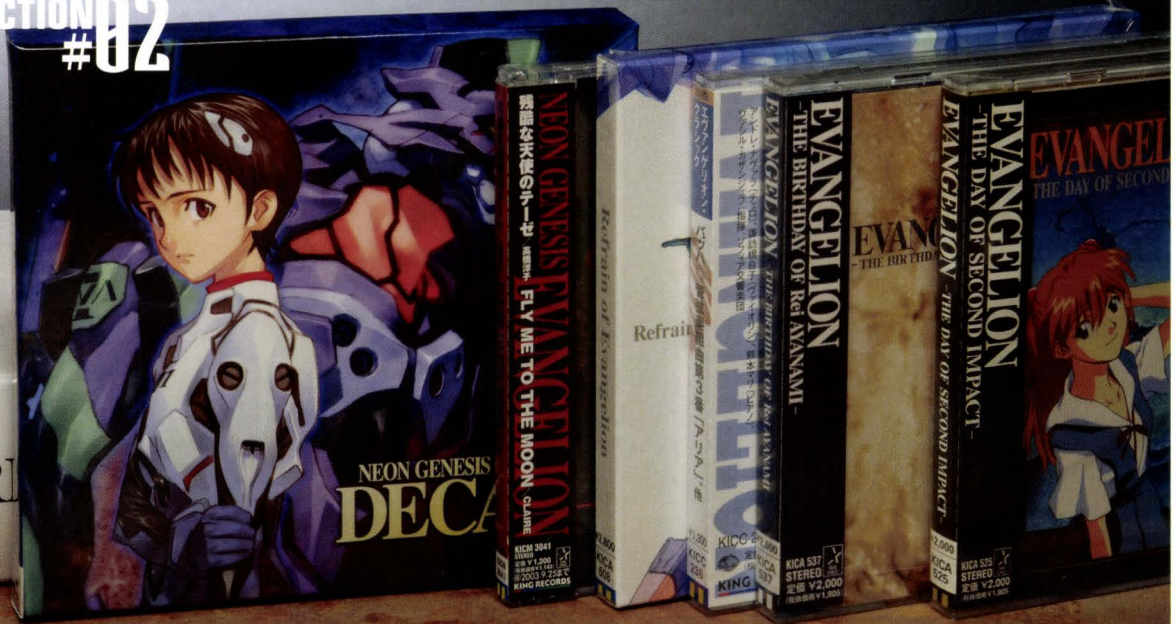
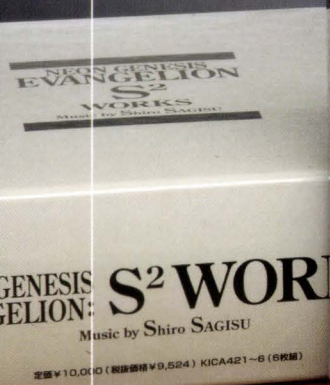
初期DVDのBOXセット。パッケージは貞本義行氏の描き下ろしで、上巻、中巻、下巻でリリースされた。下巻には「鋼鉄のガールフレンド」DVD-ROMが封入されている。

LDシリーズ

国内最高売り上げとなる累計150万枚以上のセールスを誇るLD版。TV放映中の1996年2月からリリース開始された。

劇場版LD-BOX

劇場版のLDはBOXセットにてリリース。LD以外にも絵コンテ集やプラモデルなどが封入された豪華アイテムとなった。

GOODS COLLECTION #02 CD

音楽面においても、エヴァは独自の世界観を作り出した。OP、EDはもちろん、鷺巣詩郎氏によるBGMなど、作品を構築する楽曲の数々がCD化されている。

CD[ALBUM] #01
NEON GENESIS EVANGELION

発売日：1995年12月16日
発売元：キングレコード
定価：3,059円（税込）
KICA-286

<収録内容>
01. 残酷な天使のテーゼ (Director's Edit Version)
02. FLY ME TO THE MOON
03. ANGEL ATTACK
04. Rei I
05. Hedgehog's Dilemma
06. BAREFOOT IN THE PARK
07. RITSUKO
08. MISATO
09. ASUKA STRIKES!
10. NERV
11. TOKYO-3
12. I.SHINJI
13. EVA-01
14. A STEP FORWARD INTO TERROR
15. EVA-02
他全23曲

CD[ALBUM] #02
NEON GENESIS EVANGELION II

発売日：1996年2月16日
発売元：キングレコード
定価：3,059円（税込）
KICA-290

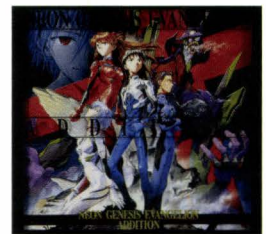
<収録内容>
01. 予感
02. 残酷な天使のテーゼ (TV. Size Version)
03. BORDERLINE CASE
04. A Crystalline Night Sky
05. ANGEL ATTACK II
06. ANGEL ATTACK III
07. Both of you, Dance Like You Want to Win!
08. Waking up in the morning
09. BACKGROUND MUSIC
10. A Moment When Tension Breaks
11. The Day Tokyo-3 Stood Still
12. Spending Time in Preparation
13. She said, "Don't make others suffer for your personal hatred."
14. MAGMADIVER
15. PLEASURE PRINCIPLE
他全25曲

CD[ALBUM] #03
NEON GENESIS EVANGELION III

発売日：1996年5月22日
発売元：キングレコード
定価：3,059円（税込）
KICA-300

<収録内容>
01. 幸せは罪の匂い
02. 無限抱擁
03. NORMAL BLOOD
04. HARBINGER OF TRAGEDY
05. CHILDHOOD MEMORIES, SHUT AWAY
06. Those women longed for the touch of others' lips, and thus invited their kisses.
07. BACKGROUND MUSIC II
08. BACKGROUND MUSIC III
09. IN THE DEPTHS OF HUMAN HEARTS
10. HOSTILITY RESTRAINED
11. THREE OF ME, ONE OF SOMEONE ELSE
12. CRIME OF INNOCENCE
13. THE SORROW OF LOSING THE OBJECT OF ONE' S DEPENDENCE
14. Do you love me?
他全34曲

CD[ALBUM] #04
NEON GENESIS EVANGELION ADDITION

発売日：1997年12月21日
発売元：キングレコード
定価：1,733円（税込）
KICA-334

<収録内容>
01. 残酷な天使のテーゼ (Director's Edit Version II)
02. ドラマ『終局の続き』(仮題)
03. FLY ME TO THE MOON -MISATO 4 BEAT TV. Size VERSION-
04. FLY ME TO THE MOON (ASUKA Bossa Techno TV. Size Version)
05. CHORUS : Hallelujah (MESSIAH)
06. CHORUS : Worthy is the Lamb … Amen (MESSIAH)
07. 4th Mov : Presto (SYMPHONY No.9 IN D MINOR Op.125 "CHORAL")
08. てんとう虫のサンバ
09. FLY ME TO THE MOON (Main Version II)
10. 劇場版予告 (葛城ミサト)
11. 劇場版予告 (綾波レイ)
12. 劇場版予告 (惣流・アスカ・ラングレー)

CD

CD[ALBUM] #05

EVANGELION:DEATH

発売日：1997年6月11日
定価：3,059円（税込）
発売元：キングレコード
KICA-360

<収録内容>
01. チェロ ― 第四弦 調弦
02. Suiten f*r Violoncello solo Nr.1 G-dur, BWV.1007 1. Vorspier
03. DVOR*K : Original Complete Version
04. ヴァイオリン ― 第二弦 調弦
05. Partita III f*r Violino solo E-dur, BWV.1006 3. Gavotte in Rondo
06. ヴィオラ ― 第三弦 調弦
07. 優しさの代理
08. 吾への、涙
09. 未了への、調律
10. Kanon D-dur (Quartet)
11. THE SORROW OF LOSING THE OBJECT OF ONE' S DEPENDENCE II
12. 虚妄への、依存
13. 脆弱な、自我境界
他全16曲

CD[ALBUM] #06

THE END OF EVANGELION EVANGELION

発売日：1997年9月26日
定価：3,059円（税込）
発売元：キングレコード
KICA-370

<収録内容>
01. 他人の干渉
02. 真夏の終演
03. 退行への緊急待避
04. 偽りの、再生
05. 身代わりの侵入
06. II Air [ORCHESTRAL SUITE No.3 in D Major, BWV.1068]
07. 空しき流れ
08. THANATOS -IF I CAN' T BE YOURS-
09. 始まりへの逃避
10. 不安との蜜月
11. Komm, susser Tod/甘き死よ、来たれ (Director' s Edit. Version)
12. Jesus bleibet meine Freude [Herz und Mund und Tat und Leben BWV.147]/主よ、人の望みの喜びよ
13. 閉塞の拡大
14. 夢のスキマ

CD[ALBUM] #07

~refrain~ The songs were inspired by "EVANGELION"

発売日：1997年11月6日
定価：3,059円（税込）
発売元：キングレコード
KICA-378

<収録内容>
01. Prologue de Refrain
02. 残酷な天使のテーゼ（Ambivalence Mix）
03. 希望の空へ
04. 予感（Sounds of Reverie Mix）
05. 幸せは罪の匂い（Alter Ego Mix）
06. FLY ME TO THE MOON (Touched by the Muse Mix)
07. Forbidden Gene
08. LOVE ANTIQUE
09. 心よ原始に戻れ（Sublimation Mix）
10. 無限抱擁（Return to Dew Mix）
11. 眩惑の海から
12. 魂のルフラン（Tabris Mix）
13. Epilogue de These
14. FLY ME TO THE MOON (On the Street)

CD[ALBUM] #08

EVANGELION-VOX

発売日：1997年12月3日
定価：3,059円（税込）
発売元：キングレコード
KICA-382

<収録内容>
01. EVANTRODUCTION
02. THE IMAGE OF ME-vocalise
03. FROM MY DREAMS
04. EVANGELISM
05. CAN' T GET YOU OUTTA MY HEAD
06. X-plicit
07. PRELUDE TO BATTLE
08. BATTLING
09. interlude-THANATOS
10. THANATOS-IF I CAN' T BE YOURS (JAZZY SIDE STICK MIX)
11. I' LL BE ALWAYS ON YOUR MIND
12.ARMAGEDDON
13. Komm, susser Tod（TUMBLING DOWN MIX）
14. ANGEL ATTACK
15. UTOPIA
他全20曲

CD[ALBUM] #09

エヴァンゲリオン交響楽

発売日：1997年12月22日
定価：3,059円（税込）
発売元：キングレコード
KICA-390

<収録内容>
01. 合唱*交響曲第9番ニ短調/ 東京アカデミッシェカペレ
02. TOKYO-3
03. EVA-01
04. MC-1/ 緒方恵美 宮村優子 長沢美樹
05. NERV/ 新日本フィルハーモニー交響楽団
06. DECISIVE BATTLE/ 新日本フィルハーモニー交響楽団
07. EVA-00/ 新日本フィルハーモニー交響楽団
08. STEP FOR WARD INTO TERROR,A/ 新日本フィルハーモニー交響楽団
09. Rei @017/ 新日本フィルハーモニー交響楽団
10. RITSUKO/ 新日本フィルハーモニー交響楽団
11. Rei @017/ 新日本フィルハーモニー交響楽団
12. MC-2/ 山口由里子 長沢美樹
13. I.SHINJI
他全25曲

CD[ALBUM] #10

NEON GENESIS EVANGELION S² WORKS

発売日：1998年12月1日
定価：10,000円（税込）
発売元：キングレコード
KICA-421

<収録内容>
DISC#01　全33曲
DISC#02　全42曲
DISC#03　全46曲
DISC#04　全29曲
DISC#05　全34曲
DISC#06　全18曲
DISC#07　全23曲

CD[ALBUM] #11

EVANGELION-THE DAY OF SECOND IMPACT-

発売日：2000/9/13
定価：2,000円（税込）
発売元：キングレコード
KICA-525

<収録内容>
01. ANGEL ATTACK(E-6)
02. 残酷な天使のテーゼ (Director' s Edit.Version)
03. DECISIVE BATTLE(E-1)
04. FLY ME TO THE MOON
05. THANATOS(E-13)
06. Kanon D-dur(Strings Orchestra)
07. 魂のルフラン
08. II Air［ORCHESTRAL SUITE No.3 in D Major, BWV.1068］
09. THANATOS-IF I CAN' T BE YOURS-
10. Komm, susser Tod (M-10 Director' s Edit.Version)
11. Jesus bleibet meine Freude［Herz und Mund und Tat und Leben BWV.147］（ストリングス）

CD[ALBUM] #12

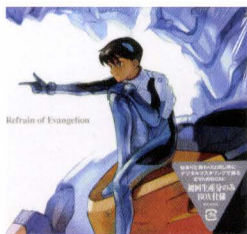
EVANGELION-THE BIRTHDAY OF Rei AYANAMI

発売日：2001年3月30日
定価：2,000円（税込）
発売元：キングレコード
KICA-537

<収録内容>
01. 残酷な天使のテーゼ［A.D.2001］
02. Rei I (A-1)
03. Hedgehog' s Dilemma (B-1)
04. Rei II (B-20)
05. FLY ME TO THE MOON［AYANAMI Version］
06. Do you love me?(A-4 ジャンボサイズのみ)
07. HOSTILITY RESTRAINED（A-13C）
08. Good, or Don' t Be.（OP-2Dタイプ）
09. 魂のルフラン [Aqua Groove Mix]
10. 始まりへの逃避（M-4）
11. 閉塞の拡大（M-9改）
12. 夢のスキマ (M-4 ピアノおまかせバージョン)
13. THANATOS-IF I CAN' T BE YOURS-
14. FLY ME TO THE MOON

CD

CD[ALBUM] #13
Refrain of Evangelion

発売日：2003年7月24日
定価：2,800円（税込）
発売元：キングレコード
KICA-608

<収録内容>
01. Suiten fur Violoncello solo Nr.1 G-dur,BWV.1007 1.Vorspier
02. DECISIVE BATTLE（E-1）
03. ANGEL ATTACK（E-6）
04. THE BEAST（E-5テンポ早）
05. THANATOS（E-13）
06. MARKING TIME,WAITING FOR DEATH（E-7）
07. THE BEAST II
08. Kanon D-dure（Strings Orchestra）
09. Rei（A-1）
10. MISATO（B-16）
11. ASUKA STRIKES!（B-17）
12. FLY ME TO THE MOON（Aya Bossa Techno TV. Size Version）
13. FLY ME TO THE MOON（Aki Jungle TV.Size Version）
他全26曲

CD[ALBUM] #14
NEON GENESIS EVANGELION DECADE

発売日：2005/10/26
定価：2,800円（税込）
発売元：キングレコード
KICM-718

<収録内容>
01. 残酷な天使のテーゼ（Director's Edit Version）
02. FLY ME TO THE MOON
03. 月の迷宮
04. 予感
05. 幸せは罪の匂い
06. 無限抱擁
07. FLY ME TO THE MOON（メインバージョン）
08. 魂のルフラン
0 9.心よ原始に戻れ
10. THANATOS-IF I CAN' T BE YOURS-
11. Komm, susser Tod（M-10 Director' s Edit. Version）
12. 残酷な天使のテーゼ（10th ANNIVERSARY VERSION）
13. 魂のルフラン（10TH ANNVERSARY VERSION）
14. 天国の記憶

CD[SINGLE] #01
残酷な天使のテーゼ

発売日：1995/10/25
定価：1,020円（税込）
KIDA-114

<収録内容>
01. 残酷な天使のテーゼ
02. 月の迷宮
03. 残酷な天使のテーゼ(OFF VOCAL VERSION)
04. 月の迷宮(OFF VOCAL VERSION)

CD[SINGLE] #02
FLY ME TO THE MOON

発売日：1995/10/25
定価：1,020円（税込）
KIDA-115

<収録内容>
01. FLY ME TO THE MOON
02. FLY ME TO THE MOON－4 BEAT VERSION－
03. FLY ME TO THE MOON(OFF VOCAL VERSION)
04. FLY ME TO THE MOON－4 BEAT VERSION－(OFF VOCAL VERSION)

CD[SINGLE] #03
残酷な天使のテーゼ

残酷な天使のテーゼ
発売日：1995/10/25
定価：1,020円（税込）
KIDA-116

<収録内容>
01. 残酷な天使のテーゼ
02. FLY ME TO THE MOON

CD[SINGLE] #04
魂のルフラン

発売日：1997/2/21
定価：1,020円（税込）
KIDA-146

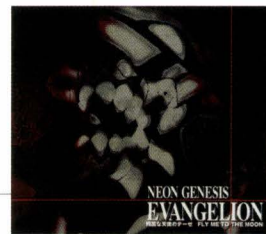
<収録内容>
01. 魂のルフラン
02. 心よ原始に戻れ
03. 魂のルフラン(OFF VOCAL VERSION)
04. 心よ原始に戻れ(OFF VOCAL VERSION)

CD[SINGLE] #05
THE END OF EVANGELION

発売日：1997/8/1
定価：1,020円（税込）
KIDA-155

<収録内容>
01. THANTOS -IF I CAN'T YOURS-
02. Komm, susser Tod
03. II Air

CD[SINGLE] #06
残酷な天使のテーゼ／FLY ME TO THE MOON

発売日：2003/3/26
定価：1,200円（税込）
KICM-3041

<収録内容>
01. 残酷な天使のテーゼ
02. FLY ME TO THE MOON
03. 残酷な天使のテーゼ(OFF VOCAL VERSION)
04. FLY ME TO THE MOON(OFF VOCAL VERSION)
05. 残酷な天使のテーゼ(Director's Edit)

CD[SINGLE] #07
魂のルフラン／THANATOS

発売日：2006/5/24
定価：1,200円（税込）
KICM-3122

<収録内容>
01. 魂のルフラン
02. THANATOS－IF I CAN'T BE YOURS－
03. 心よ原始に戻れ
04. THANATOS－IF I CAN'T BE YOURS－"Nine Years After Mix"
05. 魂のルフラン(OFF VOCAL VERSION)

GOODS COLLECTION #03

ACTION FIGURE

10年以上の間、新商品のリリースが続くエヴァのアクションフィギュア。そのプレイバリューはもちろん、"フィギュア"としての造形力も大きな魅力と言えよう。

ACTION FIGURE [REVOLTECH] #01

リボルテック［第1世代］

エヴァ初号機

発売日：2006年6月15日
価格：1,995円（税込）
備考：デザートイーグル、パレットライフル、プログレッシブナイフ、マゴロクソード、オプションハンド×6、暴走モード頭部、アンビリカルケーブル付属
企画・制作：海洋堂
販売元：オーガニック

EVA-01
VIEW 01

EVA-01
VIEW 02

ACTION FIGURE
[REVOLTECH] #02

リボルテック [第1世代]

エヴァ零号機

発売日：2006年6月15日
価格：1,995円（税込）
備考：ポジトロンスナイパーライフル、オリジナルショットガン、シールド、オプションハンド×6、アンビリカルケーブル付属
企画・制作：海洋堂
販売元：オーガニック

EVA-00
VIEW 01

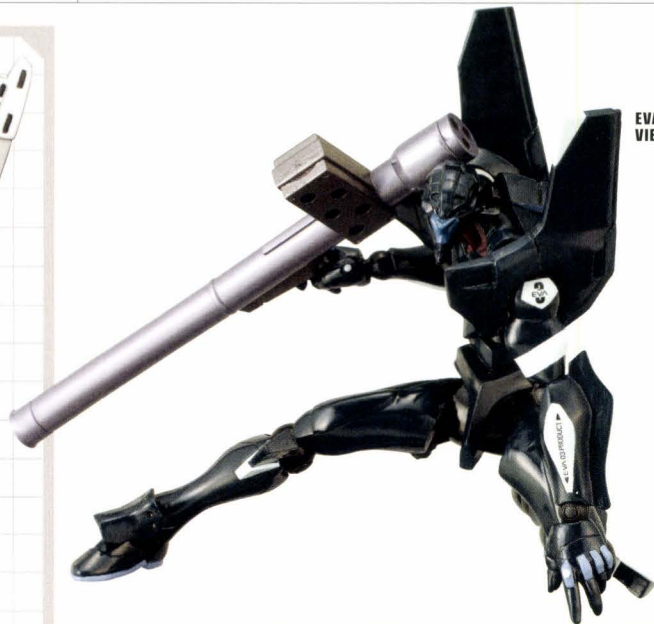
ACTION FIGURE
[REVOLTECH] #03

リボルテック [第1世代]

エヴァ弐号機

発売日：2006年7月15日
価格：1,995円（税込）
備考：ソニックグレイブ、スマッシュホーク、プログレッシブナイフ、パレットライフル、オリジナルハンドガン、オプションハンド×6、アンビリカルケーブル付属
企画・制作：海洋堂
販売元：オーガニック

EVA-02
VIEW 01

EVA-03
VIEW 01

EVA-03
VIEW 02

ACTION FIGURE
[REVOLTECH] #04

リボルテック [第1世代]

エヴァ参号機

発売日：2006年8月15日
価格：1,995円（税込）
備考：ランチャー銃、オリジナルサブマシンガン、トンファー、庵野版シールド、暴走モード頭部、オプションハンド×6、アンビリカルケーブル付属
企画・制作：海洋堂
販売元：オーガニック

ACTION FIGURE
[REVOLTECH] #05

リボルテック [第1世代]

エヴァ零号機・改

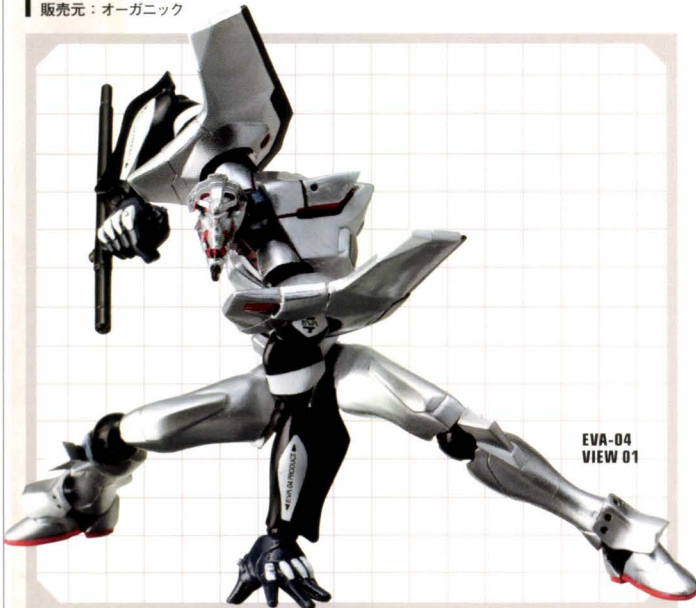
発売日：2006年9月15日
価格：1,995円（税込）
備考：ポジトロンライフル、スナイパーライフル、パレットライフル、プログレッシブナイフ、N²爆弾、オプションハンド×6、アンビリカルケーブル付属
企画・制作：海洋堂
販売元：オーガニック

EVA-00'
VIEW 01

ACTION FIGURE
[REVOLTECH] #06

リボルテック [第1世代]

エヴァ四号機

発売日：2006年10月15日
価格：1,995円（税込）
備考：ランチャー銃、オリジナルサブマシンガン、トンファー、庵野版シールド、暴走モード頭部、オプションハンド×6、アンビリカルケーブル付属
企画・制作：海洋堂
販売元：オーガニック

EVA-04
VIEW 01

ACTION FIGURE
[REVOLTECH] #07

リボルテック [第2世代]

劇場版 エヴァンゲリオン 弐号機

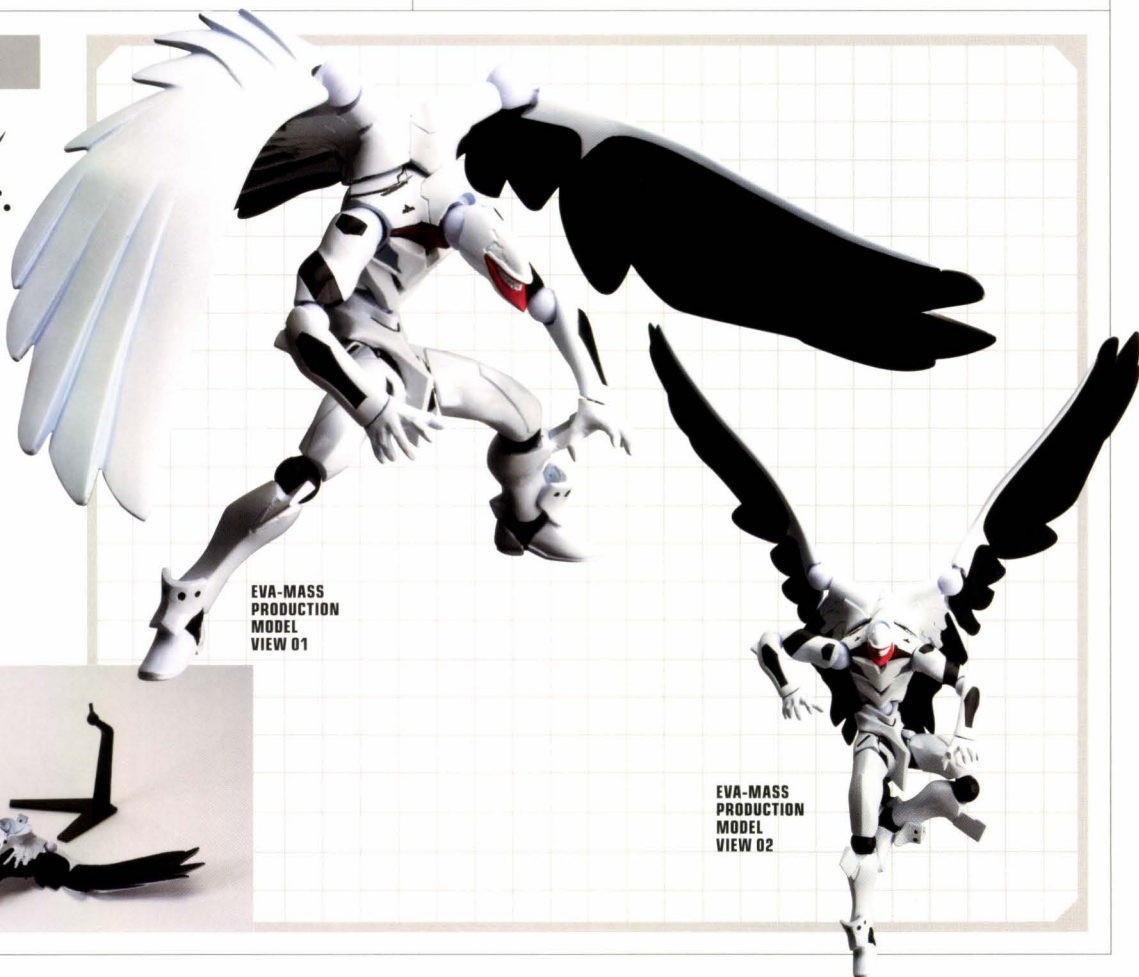
発売日：2007年5月15日
価格：1,995円（税込）
備考：アンビリカルケーブル、オプションハンド×5、交換用肩パーツ×2、プログレッシブナイフ、両刃刀（ロンギヌスの槍コピー）、ディスプレイベース付属
企画・制作：海洋堂
販売元：オーガニック

EVA-02
VIEW 01

ACTION FIGURE
[REVOLTECH] #08

リボルテック [第2世代]

エヴァンゲリオン 量産機 翼Ver.

発売日：2007年5月15日
価格：1,995円（税込）
備考：オプションハンド×4、ディスプレイベース、専用翼セット付属
企画・制作：海洋堂
販売元：オーガニック

EVA-MASS
PRODUCTION
MODEL
VIEW 01

EVA-MASS
PRODUCTION
MODEL
VIEW 02

ACTION FIGURE
[REVOLTECH] #09

リボルテック[第2世代]

エヴァンゲリオン初号機 F型装備

発売日：2007年6月15日
価格：【初回版】1,995円（税込）
【通常版】2,415円（税込）
備考：インパクト・ボルト×2、プログレッシブ・ダガー×2、オプションヘッド、オプションハンド×6、ディスプレイベース付属
企画・制作：海洋堂
販売元：オーガニック

EVA-01
VIEW 01

ACTION FIGURE
[REVOLTECH] #10

EVANGELION STORE限定

エヴァンゲリオン初号機

山下いくとオリジナルカラーバージョン

発売日：2006年12月
価格：1,995円（税込）
備考：デザートイーグル、パレットライフル、プログレッシブナイフ、マゴロクソード、オプションハンド×6、暴走モード頭部、アンビリカルケーブル付属
山下いくと氏×海洋堂×ガイナックスのコラボによるEVANGELION STORE限定品
企画・制作：海洋堂
販売元：EVANGELION STORE（株式会社ガイナックス）

EVA-01
VIEW 01

ACTION FIGURE
[REVOLTECH] #11

サンディエゴ・コミコン限定

エヴァ初号機

蓄光Ver.

発売日：2006年7月19日
価格：2,200円（税込）
備考：デザートイーグル、パレットライフル、プログレッシブナイフ、マゴロクソード、オプションハンド×6、暴走モード頭部、アンビリカルケーブル付属
サンディエゴ・コミックコンベンション２００６での会場限定販売品
企画・制作：海洋堂
販売元：オーガニック

EVA-01
VIEW 01

ACTION FIGURE[REVOLTECH] #12

ハイパーホビー誌上限定

エヴァンゲリオンフィギュアコレクション“クリアカラーエディション”

発売日：2006年12月
価格：4,300円（税込）
備考：初号機／デザートイーグル、パレットライフル、プログレッシブナイフ、マゴロクソード、オプションハンド×6、暴走モード頭部、アンビリカルケーブル付属
弐号機／ソニックグレイブ、スマッシュホーク、プログレッシブナイフ、パレットライフル、オリジナルハンドガン、オプションハンド×6、アンビリカルケーブル付属
零号機・改／ポジトロンライフル、スナイパーライフル、パレットライフル、プログレッシブナイフ、N²爆弾、オプションハンド×6、アンビリカルケーブル付属
ハイパーホビーVOL.100突破記念として誌上通販された限定品
企画・制作：海洋堂

EVA-01
VIEW 01

EVA-00'
VIEW 01

EVA-02
VIEW 01

EVA-00
VIEW 01

ACTION FIGURE
[REVOLTECH] #13

フィギュア王誌上限定

エヴァ零号機

光の巨人Ver.

発売日：2006年5月
価格：ー
備考：フィギュア王100号に付録として同梱
企画・制作：海洋堂
企画協力：フィギュア王編集部

ACTION FIGURE
[REVOLTECH] #14

フレンドショップ限定

エヴァンゲリオン量産機

武器Ver.

発売日：2007年5月15日
価格：1,995円（税込）
備考：ロンギヌスの槍、ロンギヌスの槍レプリカ、ダミープラグ、ダメージパーツ×2、オプションヘッド×2、オプションハンド×4、ディスプレイベース付属
企画・制作：海洋堂
販売元：オーガニック

EVA-MASS
PRODUCTION MODEL
VIEW 01

ACTION FIGURE[KUBRICK] #01
KUBRICK
新世紀エヴァンゲリオン シリーズ1

発売日：2000年4月
定価：2,079円（税込）
原型製作：平田英明（MASTERD MODELS）
発売元：メディコム・トイ

▲碇シンジ
▲初号機
▲サキエル

ACTION FIGURE[KUBRICK] #02
KUBRICK
新世紀エヴァンゲリオン シリーズ2

発売日：2001年1月
定価：2,079円（税込）
原型製作：平田英明（MASTERD MODELS）
発売元：メディコム・トイ

▲零号機（テストタイプ）
▲綾波レイ（包帯バージョン）
▲ラミエル

ACTION FIGURE[KUBRICK] #03
KUBRICK
新世紀エヴァンゲリオン シリーズ3

発売日：2001年1月
定価：2,079円（税込）
原型製作：平田英明（MASTERD MODELS）
発売元：メディコム・トイ

▲惣流アスカラングレー
▲弐号機
▲イスラフェル

ACTION FIGURE[KUBRICK] #04
KUBRICK
新世紀エヴァンゲリオン シリーズ4

発売日：2001年7月
定価：2,079円（税込）
原型製作：平田英明（MASTERD MODELS）
発売元：メディコム・トイ

▲零号機（改）
◀綾波レイ
▲リリス

ACTION FIGURE[KUBRICK] #05
KUBRICK
新世紀エヴァンゲリオン シリーズ5

発売日：2001年7月
定価：2,079円（税込）
原型製作：平田英明（MASTERD MODELS）
発売元：メディコム・トイ

▲鈴原トウジ
▲EVA参号機
▲ジェット・アローン
▶輸送台兼拘束具

ACTION FIGURE[KUBRICK] #06
KUBRICK
新世紀エヴァンゲリオン シリーズ6

発売日：2001年12月
定価：2,079円（税込）
原型製作：平田英明（MASTERD MODELS）
発売元：メディコム・トイ

▲葛城ミサト
▲EVA初号機暴走版
▲ゼルエル

ACTION FIGURE[KUBRICK] #07

KUBRICK

新世紀エヴァンゲリオン シリーズ7

発売日：2001年12月
定価：2,604円（税込）
原型製作：平田英明（MASTERD MODELS）
発売元：メディコム・トイ

▲渚カヲル
▲量産機専用輸送機
▲EVA量産機

ACTION FIGURE[KUBRICK] #08

KUBRICK

新世紀エヴァンゲリオン シリーズ8

発売日：2002年5月
定価：2,604円（税込）
原型製作：平田英明（MASTERD MODELS）
発売元：メディコム・トイ

▲弐号機D型装備
◀惣流アスカラングレーD型プラグスーツタイプ
▲サンダルフォン

ACTION FIGURE[KUBRICK] #09

KUBRICK

新世紀エヴァンゲリオン シリーズ9

発売日：2002年5月
定価：2,079円（税込）
原型製作：平田英明（MASTERD MODELS）
発売元：メディコム・トイ

▲レリエル
▲初号機返り血版
▲加持リョウジ

ACTION FIGURE[KUBRICK] #10

KUBRICK

新世紀エヴァンゲリオン シリーズ10

発売日：2002年5月
定価：2,604円（税込）
原型製作：平田英明（MASTERD MODELS）
発売元：メディコム・トイ

◀キール・ローレンツ
▲光の巨人
◀碇ゲンドウ
▲碇ユイ
▲ゼーレ01

ACTION FIGURE[KUBRICK]

KUBRICK

新世紀エヴァンゲリオン 初号機400％

発売日：2003年8月3日
定価：5,040円（税込）
原型製作：平田英明（MASTERD MODELS）
備考：ワンダーフェスティバル2003（夏）開催記念限定品
発売元：メディコム・トイ

初号機 400%

EXTRA COLUMN

HMV限定 KUBRICK

蓄光タイプなど全9種類がラインナップされたHMV限定版KUBRICK。HMVにおけるエヴァのDVD購入特典（2003年に実施）として配布された。

ACTION FIGURE
[MICRO ACTION]] #01

ミクロアクション
新世紀エヴァンゲリオン
綾波レイ
(プラグスーツVer.)

発売日：2006年5月
価格：1,575円（税込）
発売元：タカラトミー
備考：専用武器、オプションハンド付属

ACTION FIGURE
[MICRO ACTION]] #02

ミクロアクション
新世紀エヴァンゲリオン
惣流・アスカ・ラングレー
(プラグスーツVer.)

発売日：2006年5月
価格：1,575円（税込）
発売元：タカラトミー
備考：専用武器、オプションハンド付属

ACTION FIGURE
[MICRO ACTION]] #03

ミクロアクション
新世紀エヴァンゲリオン
綾波レイ (制服Ver.)

発売日：2005年
価格：1,365円（税込）
発売元：タカラトミー
備考：オプションハンド、学生カバン付属

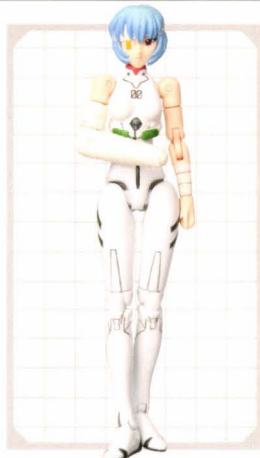
ACTION FIGURE
[MICRO ACTION]] #04

ミクロアクション
新世紀エヴァンゲリオン
惣流・アスカ・ラングレー
(私服Ver.)

発売日：2005年
価格：1,365円（税込）
発売元：タカラトミー
備考：オプションハンド、サルのぬいぐるみ付属

ACTION FIGURE
[MICRO ACTION]] #05

ミクロアクション
エヴァンゲリヲン新劇場版
綾波レイ (包帯Ver.)

発売日：2007年8月
価格：1,500円（税込）
発売元：タカラトミー
備考：イベント限定品

ACTION FIGURE
[MICRO ACTION]] #06

ミクロアクション
エヴァンゲリヲン新劇場版
綾波レイ
(新劇場版制服Ver.)

発売日：2007年9月20日
価格：1680円（税込）
発売元：タカラトミー
備考：カバン、ノートパソコン、オプションハンド付属

ACTION FIGURE
[MICRO ACTION]] #07

ミクロアクション
エヴァンゲリヲン新劇場版
惣流・アスカ・ラングレー
(新劇場版制服Ver.)

発売日：2007年9月20日
価格：1680円（税込）
発売元：タカラトミー
備考：カバン、ノートパソコン、オプションハンド付属

ACTION FIGURE
[MICRO ACTION]] #08

ミクロアクション
エヴァンゲリヲン新劇場版公開記念
プラグスーツセット

発売日：2007年9月20日
価格：3,675円（税込）
発売元：タカラトミー
備考：専用武器×2、オプションハンド×2付属

ACTION FIGURE[CUSTAMA] #01

かすたまP

綾波レイ

発売日：2007年5月20日
価格：7,140円（税込）
発売元：ボークス
備考：PVC製塗装済み完成。未塗装･未組立品の"カスタマイズフィギュア"版も限定販売された

ACTION FIGURE[CUSTAMA] #02

かすたまP

惣流･アスカ･ラングレー

発売日：2007年5月20日
価格：7,140円（税込）
発売元：ボークス
備考：PVC製塗装済み完成。未塗装･未組立品の"カスタマイズフィギュア"版も限定販売された

ACTION FIGURE[CUSTAMA] #03

カスタマイズフィギュア

碇シンジ

発売日：2006年9月20日
価格：7,140円
発売元：ボークス
備考：未塗装･未組立品、専用デカール付属。限定販売商品

ACTION FIGURE[CUSTAMA] #04

カスタマイズフィギュア

渚カヲル

発売日：2006年8月20日
価格：7,140円
発売元：ボークス
備考：未塗装･未組立品、専用デカール付属。限定販売商品

ACTION FIGURE[PINKY] #01

Pinky:cos

エヴァンゲリオンPinky

発売日：2004年6月
価格：1,050円
発売元：GSIクレオス
原型：金谷ゆうき
備考：PVC製塗装済み完成フィギュア２体セット、ブリスター仕様

ACTION FIGURE[PINKY] #02

Pinky:cos

綾波レイVer.2＆アスカVer.2

発売日：2007年9月
価格：2,856円
発売元：GSIクレオス
原型：金谷ゆうき
備考：PVC製塗装済み完成フィギュア２体セット、ブリスター仕様、包帯ドレスアップシール、布製包帯、インターフェース付おさげパーツ付属

GOODS COLLECTION #04

GARAGE KIT

昨今の美少女フィギュアブームにおいて、エヴァのガレージキットの存在は大きい。数々の名作フィギュアがこのムーブメントを牽引してきたのである。

GARAGE KIT #01
竜人／G-PORT
綾波レイ＆惣流・アスカ・ラングレー

GARAGE KIT #02
深山伸志／コトブキヤ
綾波レイ

GARAGE KIT #03
藤縄和彦／ツクダホビー
綾波レイ＆惣流・アスカ・ラングレー プラグスーツ

GARAGE KIT #04
徳永弘範／コトブキヤ
綾波レイ（制服Ver.2）

EXTRA COLUMN
エヴァフィギュアをチェックするなら

竹書房刊「レプリカント」は、GKを含めたフィギュアの数々を掲載、エヴァ関連フィギュアも最新作をチェックできる。最新のGK事情を知るのに最適な定期刊行誌となっている。

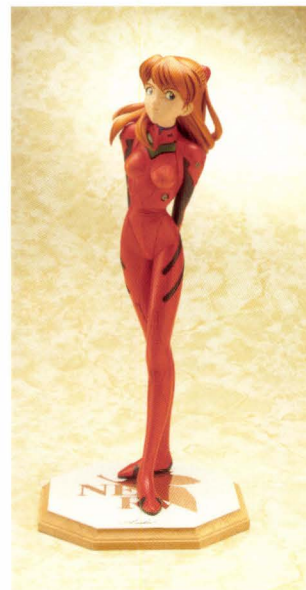
※これらガレージキットのディーラー名、メーカー名は発表当時のままで掲載しております。基本的に個人ディーラーのものについてはイベント限定品、またはアマチュア版権システムによるもの、メーカー品については絶版となっております。そのため、各ディーラー、各メーカーへの問い合わせはご遠慮下さい。

GARAGE KIT #08
K.PIERO／リアライズ
惣流・アスカ・ラングレー

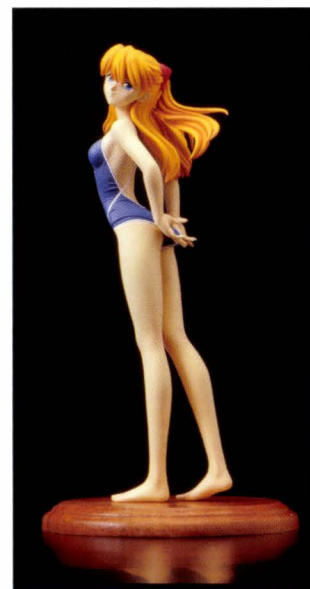
GARAGE KIT #06
あげたゆきを／Free-X
綾波レイ フォーエヴァー

GARAGE KIT #05
宮川武／クレイズ
綾波レイ

GARAGE KIT #07
河合孝典（まけいぬ）／アミエ・グラン
葛城ミサト

GARAGE KIT #09
佐々木明／P-UNiT
惣流・アスカ・ラングレー

GARAGE KIT #10
浅井真紀／F-FACE
渚カヲル

GARAGE KIT #12
寺岡邦明／海洋堂
アスカとシンジ

GARAGE KIT #11
BOME／Pia PINK・CADILLAC2000GTR
アクセスしてね♥のレイ

GARAGE KIT #13
五右衛門／ニューライン
惣流・アスカ・ラングレー（スクール水着Ver.）

GARAGE KIT #14
竜人／リューノス
綾波レイ「転校生Ver.」

GARAGE KIT #15
河野忠男／ムサシヤ
アスカ2000

GARAGE KIT #16

稲垣洋／コトブキヤ

レイ＆アスカ プラグスーツVer.

GARAGE KIT #17

臼井政一郎（軽音堂）／Wonder Showcase Plus

綾波レイ、惣流・アスカ・ラングレー

GARAGE KIT #18

川上宗武／Do ! LUCK

綾波レイ

GARAGE KIT #23

suzu(ATOMIC-BOM)／アミエ・グラン

バイクミサト

GARAGE KIT #24

斉藤厚志／メガテクボディ

綾波レイ(改造)、惣流・アスカ・ラングレー

GARAGE KIT #25

YOSHI（how（s））／コトブキヤ

綾波レイ レース クィーンVer.

GARAGE KIT #26

白髭創／コトブキヤ

綾波レイ BMX トリックVer.

GARAGE KIT #27

北原＝Choro＝康介（造型村）／ボークス

綾波レイ

GARAGE KIT #28
歌麻呂／TAROT
綾波レイ メイド服Ver.

GARAGE KIT #29
片桐克博／Vispo
惣流・アスカ・ラングレー

GARAGE KIT #30
岬太郎（造型村）／ボークス
綾波レイ、惣流・アスカ・ラングレー

GARAGE KIT #32
SUZU／ATOMIC-BOM
'05ドレスアスカ＆iP●dレイ

GARAGE KIT #31
山本苦力猿／D-SPEC
綾波レイ、惣流・アスカ・ラングレー

THE ESSENTIAL EVANGELION CHRONICLE SIDE A

発行日　2007年11月25日
発行人　鈴木徹也
発行　株式会社ウィーヴ
〒102-0074
東京都千代田区九段南2-1-30
発売　株式会社ソニー・マガジンズ
〒102-8679
東京都千代田区五番町5-1
共同製作　株式会社テレビ東京
印刷製本　大日本印刷株式会社

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。
定価はカバーに明記してあります。
Printed in Japan

編集　株式会社ウィーヴ（石川裕人／田代豪／大久保圭）
有限会社メガロマニア
（加藤和弘／山田展寛／桑木貴章／鈴木秀治）
執筆　ぽろり春草
イラスト　市川裕文、深野洋一（M.I.C.）、木下ともたけ、射尾卓弥、森下直親、鵜沼安希雄、twinbell（湯沢時子）
デザイン　L.S.D.（角田正明）
YUMEX
写真協力　竹書房「レプリカント」
監修　株式会社ガイナックス

©GAINAX・カラー／Project Eva.
©GAINAX・カラー／EVA製作委員会

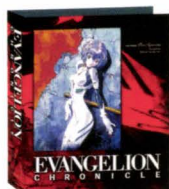
■読者お問い合わせ先（制作部）
TEL：03-5211-6261（平日 13：00～18：00）
■乱丁・落丁本に関するお問い合わせ先（お客様相談係）
TEL：03-3234-7375（平日 10：00～12：00、13：00～17：00）

エヴァンゲリオン・クロニクル バインダー＆バックナンバーご購入の案内

エヴァンゲリオン・クロニクル専用バインダー、及びすでに刊行済みのバックナンバーをご希望の場合は、電話もしくはインターネットからのご注文受付を行っております。なお、送料はお客様負担となります。
品切れの際はご容赦ください。
※在庫には限りがありますので、品切れの際はご容赦ください。
※専用バインダーの送料は1冊あたり190円です。バックナンバーは1冊～3冊までが一括送料190円、4冊以上の場合は宅配便での発送となり、一括送料525円となります。

■フリーダイヤル
0120-721-040（受付時間 平日9：00～18：00）
受付後、代金をお支払いいただく振込用紙をお送りしますので、指定の期日までにコンビニエンスストアからお振込ください。お振込確認後、商品を発送いたします。

■インターネット
http://www.sonymagazines.jp/eva/　（24時間受付）
お支払方法はクレジットカードになります。代引きでご注文希望の場合は、上記ページにアクセス後、お問合せ窓口にメールにてお問合せください。
携帯電話からの受付も可能！
i-mode▶http://www.catchbon.jp/i/
EZweb▶http://www.catchbon.jp/ez/
Yahoo!ケータイ▶http://www.catchbon.jp/v/

本誌創刊号
定価590円（本体562円+税）
本誌2号～30号
定価690円（本体657円+税）

専用バインダー
価格1,600円（本体1,524円+税）
※全30号をファイリングするには3冊必要です。

新世紀エヴァンゲリオン オフィシャルページ

エヴァンゲリオンのリアルタイム情報はこちらで！
PC サイト
▶ http://www.gainax.co.jp/anime/eva/
携帯サイト
▶ http://wpp.jp/eva/
エヴァンゲリオン オフィシャルストア
▶ http://www.evastore.jp/
ココからGO!

誌上限定通販のお知らせ

分冊百科『エヴァンゲリオン・クロニクル』のために描き下ろされたイラストをモチーフに、ファンの人気も高い二人の原型師が新規造形したフィギュアは、他では手に入らないスペシャルアイテムです！このフィギュアを、ぜひ、あなたのコレクションに加えてください。

お申し込み方法と注意事項

Step.1 本誌『エッセンシャル エヴァンゲリオン・クロニクル SIDE A』に付いている申し込みはがきに必要事項を記入し、ご投函ください。その際、申し込みはがきの表面と、申し込み個数を記入した裏面をコピーして、お手元にお控えください。

Step.2 申し込みハガキ到着後、振込み用紙をお送りいたします。同封の案内状に記載の振込期限内にお振込みください。

Step.3 フィギュアお受け取り（2008年2月下旬発送予定）。
※完全受注生産商品のため、発送予定日より遅れる場合があります。

■申込期限　2007年11月30日まで（当日消印有効）
※振込期限は申し込み時期によって変わりますのでご注意下さい。

※送料はレイ、アスカ合計のお申し込み個数が1～2個なら480円（税込）、3～4個なら960円（税込）となります。
※商品不良以外での返品、およびキャンセルは受け付けられません。
※申し込みはがきの到着について、事務局からご連絡は致しておりません。
※1枚の申し込みはがきで各2個までお申し込みいただけます。
※お申し込み方法に不備（記入漏れ、誤記等）がある場合には、お申し込み無効とさせていただく場合がございます。
※ご記入いただいた個人情報は商品・サービスをお届けするために利用し、その目的以外での利用はいたしません。
※住所変更等のあった場合はすみやかにご連絡ください。

誌上通販に関するお問い合わせ先

〒171-8464 東京都豊島区南池袋
1-13-23 池袋YSビル5F
「エヴァンゲリオン・クロニクル」
通信販売受付事務局
Tel：03-5951-1936
受付時間：平日（月～金）10：00～18：00（土日祝休）

送料	合計お申し込み個数			
	1個	2個	3個	4個
送料（税込）	480円		960円	

綾波レイ
原型製作：冬音（雨の日晴の日）
商品No.A-1／No.A-2

惣流・アスカ・ラングレー
原型製作：西村直起（pilot）
商品No.B-1／No.B-2

本体価格（税込）
1体あたり
1,980円
（送料別）

高さ：約13cm
非フタル酸PVC製
スタンド付き
塗装済み完成品
監修：ガイナックス
企画協力・製造：やまと